

高齢者に関する調査
報告書

介護サービス事業所調査
報告書

平成26年3月

青梅市

高齢者に関する調査
報告書

介護サービス事業所調査
報告書

平成26年3月

青梅市

目次

第1章 調査の構成と概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	4
5. 報告書利用上の留意点	4
第2章 高齢者に関する調査	7
問1 あなたの御家族や生活状況について	9
問2 運動・閉じこもりについて	26
問3 転倒予防について	33
問4 口腔・栄養について	36
問5 物忘れについて	44
問6 日常生活について	47
問7 社会参加について	58
問8 健康について	76
問9 高齢者福祉サービスなどについて	87
生活支援ソフトによる調査結果の評価	113
第3章 介護サービス事業所調査	133
[資料] 調査票	171
青梅市高齢者に関する調査	173
介護サービス事業所調査	193

第 1 章 調査の構成と概要

1. 調査実施の目的

介護保険制度がスタートしてから13年が経ち、平成26年度には3年に一度の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しが行われることになっている。

これに当たり、青梅市では、介護保険も含め高齢者福祉施策のより一層の充実を図るため、御意見・御要望などをお伺いするアンケート調査を行った。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 高齢者に関する調査	市内に住所のある満65歳以上の市民3,000名
2. 介護サービス事業所調査	市内にある163介護サービス事業所・施設

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：平成25年12月2日から12月24日

< 回収状況 >

調査名	発送数	回収数	回収率
1. 高齢者に関する調査	3,000件	2,047件	68.2%
2. 介護サービス事業所調査	163件	163件	100.0%
合計	3,163件	2,210件	69.9%

< 高齢者に関する調査 地区別回収状況 >

地区名	発送数	回収数	回収率
青梅	334	259	77.5
長淵	479	323	67.4
大門	389	259	66.6
梅郷	279	185	66.3
沢井	124	89	71.8
小曾木	123	87	70.7
成木	69	46	66.7
東青梅	377	228	60.5
新町	283	179	63.3
河辺	332	214	64.5
今井	211	148	70.1
無回答		30	
計	3,000	2,047	68.2

4. 調査項目

調査名	調査項目
1. 高齢者に関する調査	1. あなたの御家族や生活状況について 2. 運動・閉じこもりについて 3. 転倒予防について 4. 口腔・栄養について 5. 物忘れについて 6. 日常生活について 7. 社会参加について 8. 健康について 9. 高齢者福祉サービスなどについて 10. 自由意見
2. 介護サービス事業所調査	1. 事業所の概要について 2. 事業運営について 3. 居宅介護支援事業者への質問 4. サービスの提供について 5. 事業所と地域等の関わりについて 6. 介護老人福祉施設等への質問 7. 第6期に参入を検討しているサービスについて 8. 自由意見

5. 報告書利用上の留意点

・回答者数について

図表中の「n」は、その項目の回答者数で、各比率は「n」を100%として算出した。

・図表の単位について

本報告書に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り「%」(回答率)をあらわしている。

また、回答率は小数第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならない場合がある。

質問の終わりに(は3つまで)とある場合は、1人の回答者が2つ以上の回答選択肢を選んでよい質問なので、比率合計は100%を超える場合がある。

ある質問の「特定の回答」を選んだ人のみが答える質問は、「限定質問」といい、その場合の【n】は「特定の回答数」を指す。

図表中あるいは集計表の中の「無回答」という表示は、無記入もしくは指示通り回答していない場合を指す。

・図表における選択肢等の記載について

図表の記載にあたっては、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

・グラフについて

複数回答のグラフにおいては、傾向をよりわかりやすくするために、選択肢を回答率(%)の高いものから低いものへと並び換えて表示している場合がある。

・ 本調査における地区の構成

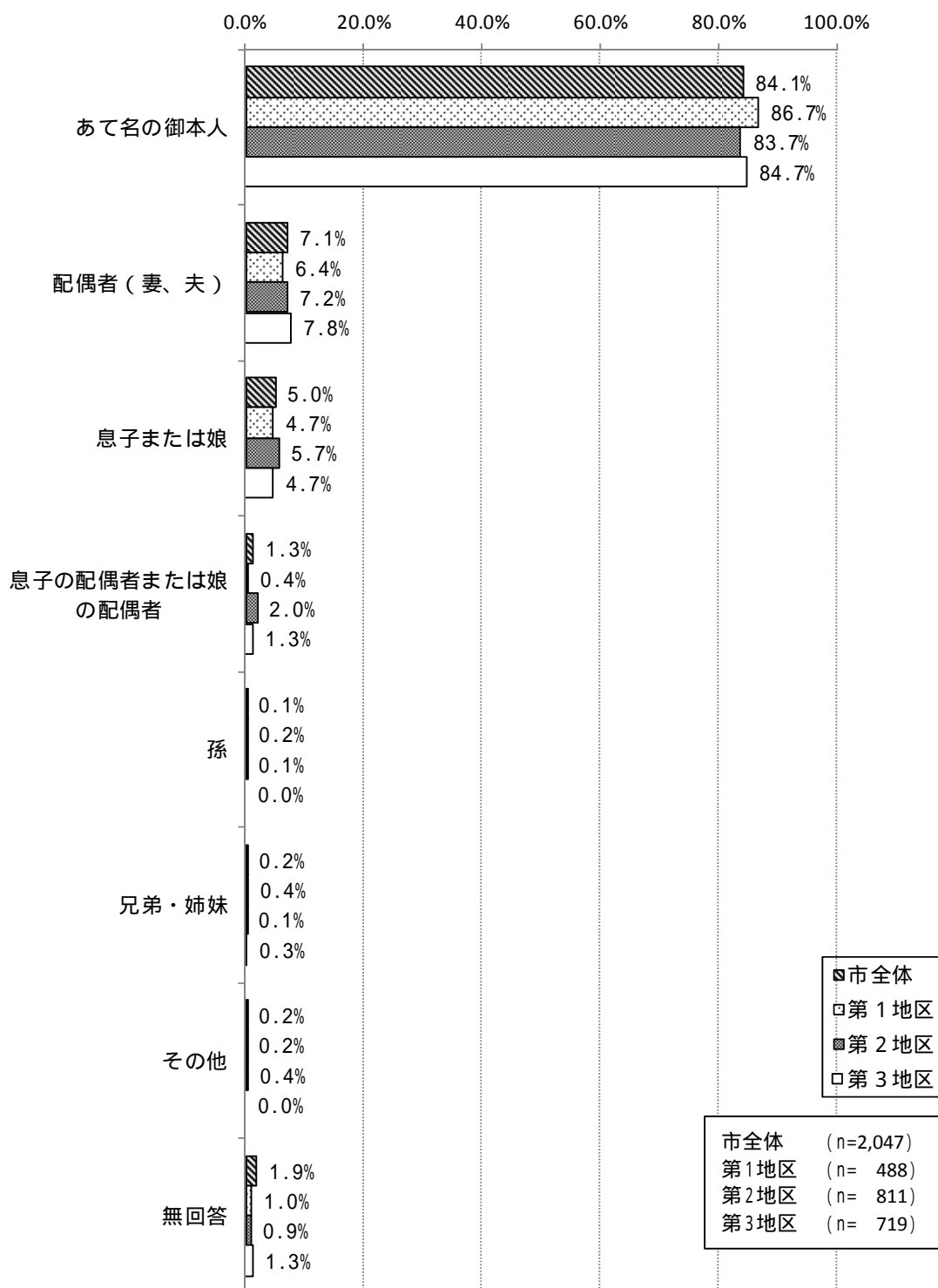
町 名	地 区 名	生活圏域
勝沼、西分町、住江町、本町、仲町、上町、森下町 裏宿町、天ヶ瀬町、滝ノ上町、大柳町、日向和田	青梅地区	第1地区
駒木町、長淵、友田町、千ヶ瀬町	長淵地区	第2地区
吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺	大門地区	第3地区
畑中、和田町、梅郷、柚木町	梅郷地区	第2地区
二俣尾、沢井、御岳本町、御岳、御岳山	沢井地区	第2地区
富岡、小曾木、黒沢	小曾木地区	第3地区
成木	成木地区	第3地区
東青梅、根ヶ布、師岡町	東青梅地区	第1地区
新町、末広町	新町地区	第3地区
河辺町	河辺地区	第2地区
藤橋、今井	今井地区	第3地区

第2章 高齢者に関する調査

問1 あなたの御家族や生活状況について

(1) 回答者

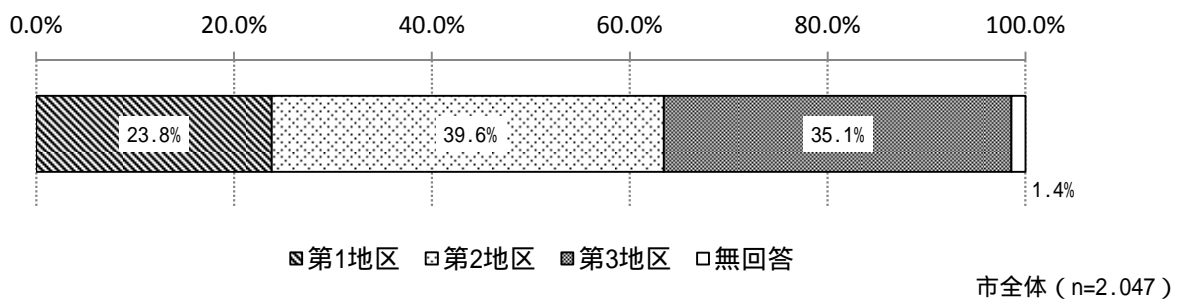
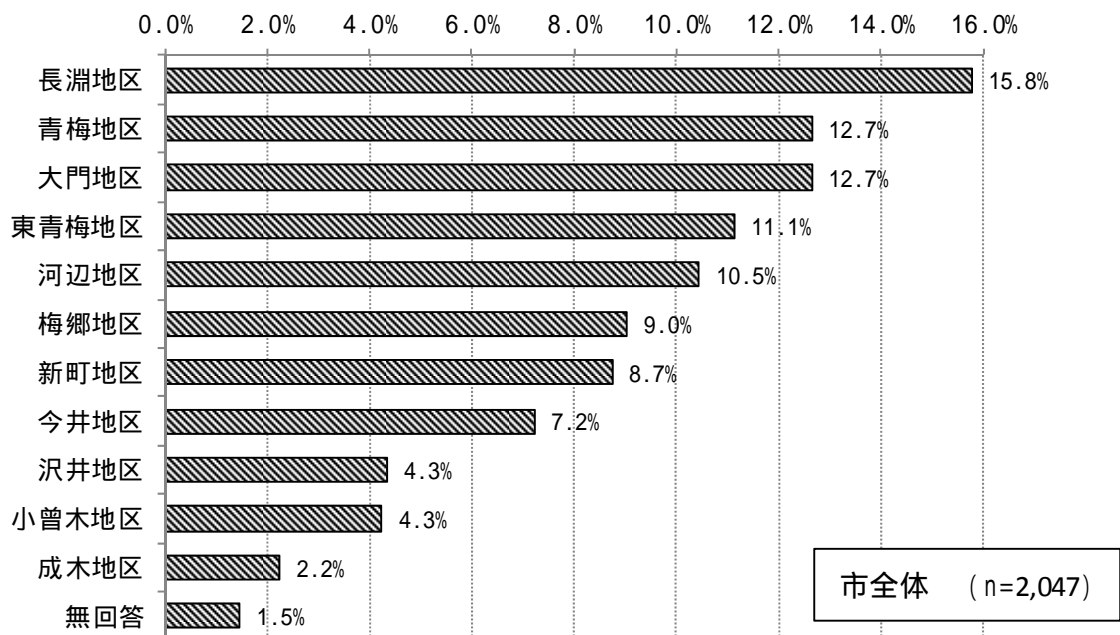
Q1. この調査票を記入されたのはどなたですか。(は1つ)



回答者は、「あて名の御本人」が大多数である。市全体が84.1%、第1地区が86.7%、第2地区が83.7%、第3地区が84.8%に達している。

(2) 居住地区

Q2. あて名の御本人がお住まいの地区はどちらですか。(は1つ)

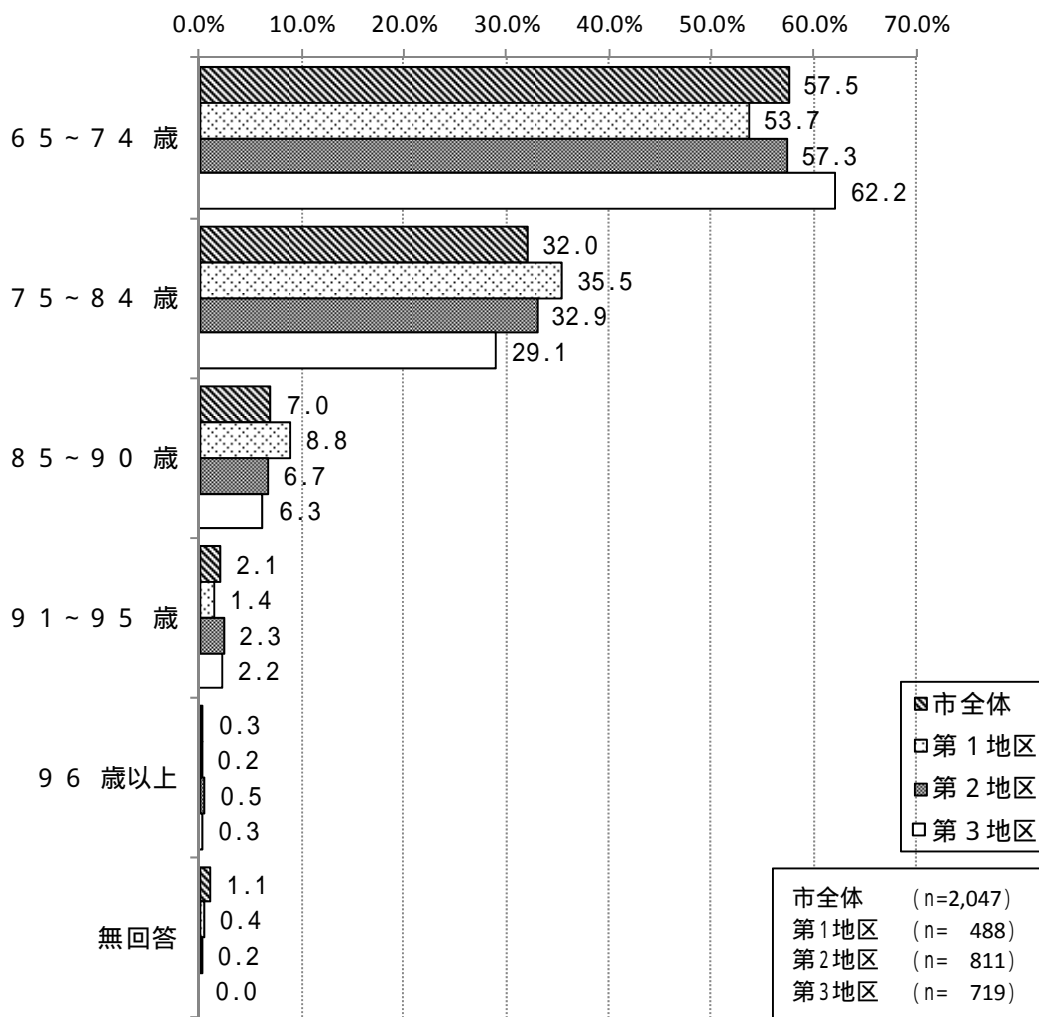


居住地区は、「長淵地区」が15.8%で最も多く、以下「青梅地区」と「大門地区」が12.7%で続いている。

地区で見ると、第2地区が39.6%、第3地区が35.1%、第1地区が23.8%の順となっている。

(3) 本人の年齢

Q3. あなた(あて名御本人)の年齢は、次のどれですか。(は1つ)

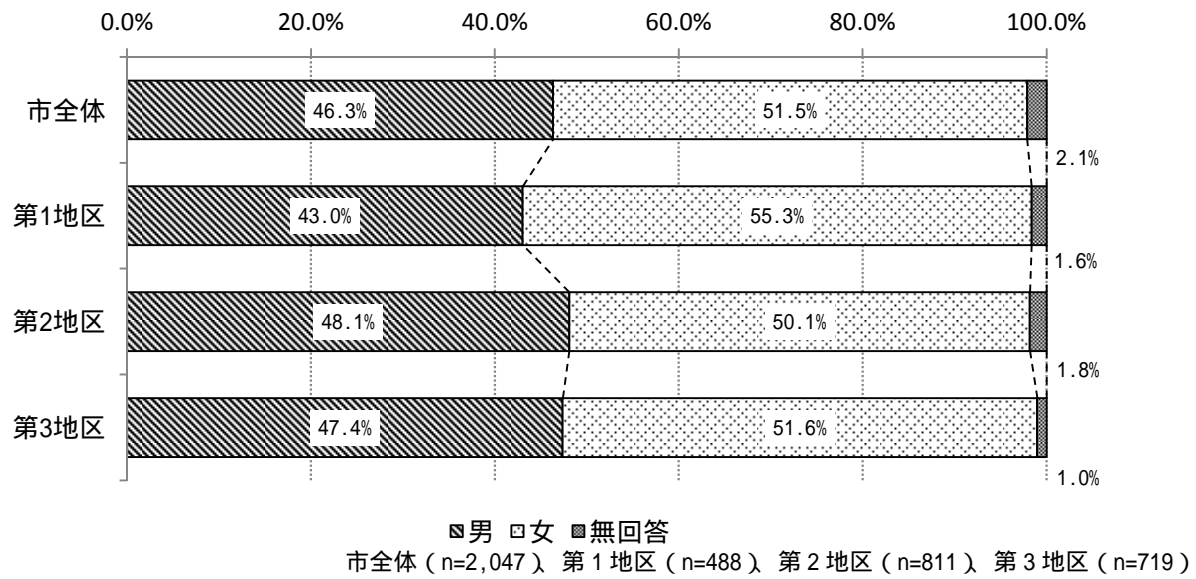


本人の年齢はいずれの地区でも「65~74歳」が過半数である。特に第3地区では62.2%が「65~74歳」で、第1地区の53.7%を大きく上回っている。

「75歳以上」の割合は第1地区が他の地区より高くなっている。

(4) 本人の性別

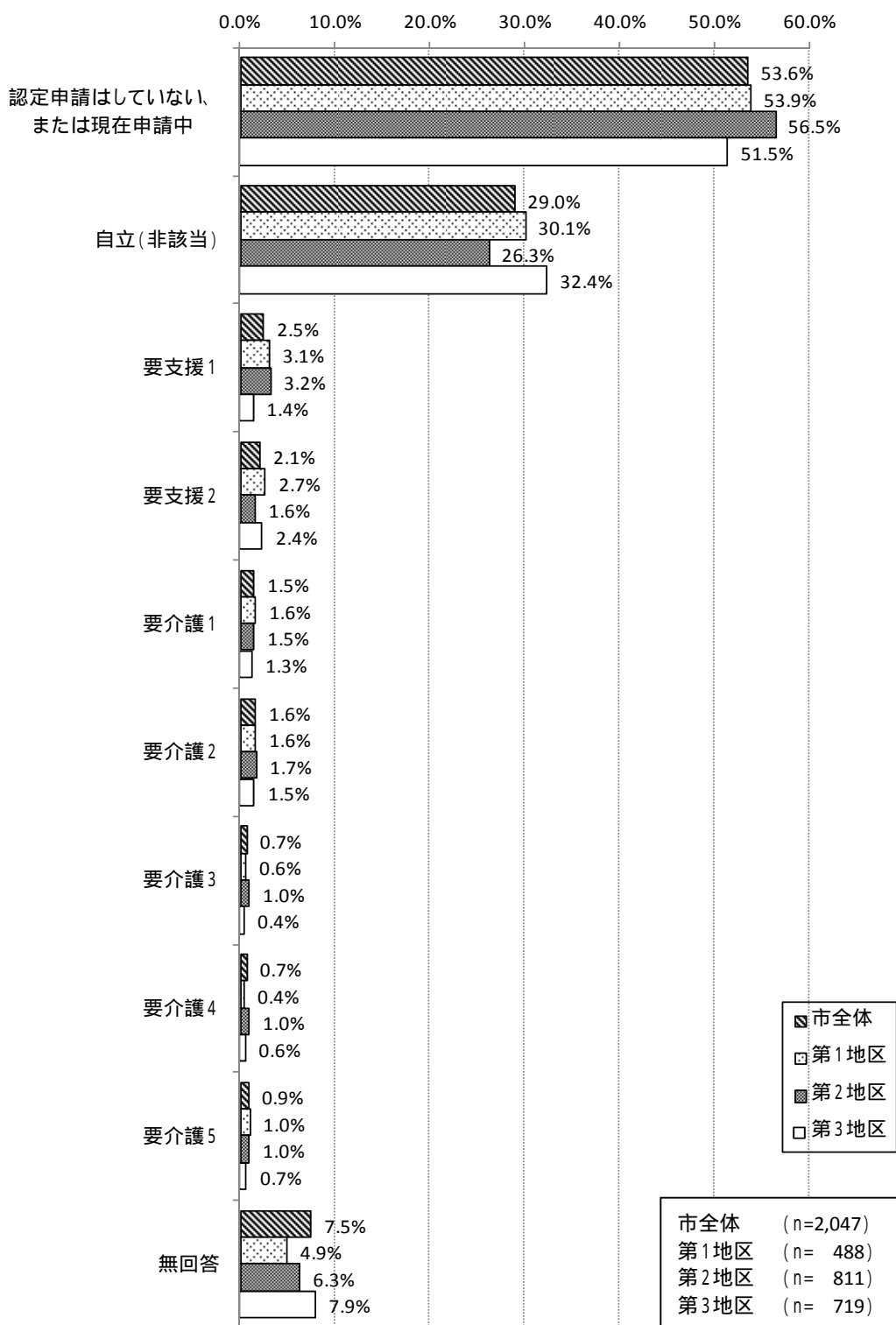
Q4. あなた(あて名御本人)の性別は、どちらですか。(は1つ)



性別は市全体では女性が51.5%である。地区別では第1地区の男女差が最も大きく、女性55.3%に対し、男性は43.0%となっている。

(5) 介護認定

Q5. あなた(あて名御本人)は、介護認定の申請をしましたか。認定を受けている場合は、現在の要介護度をお答えください。(は1つ)

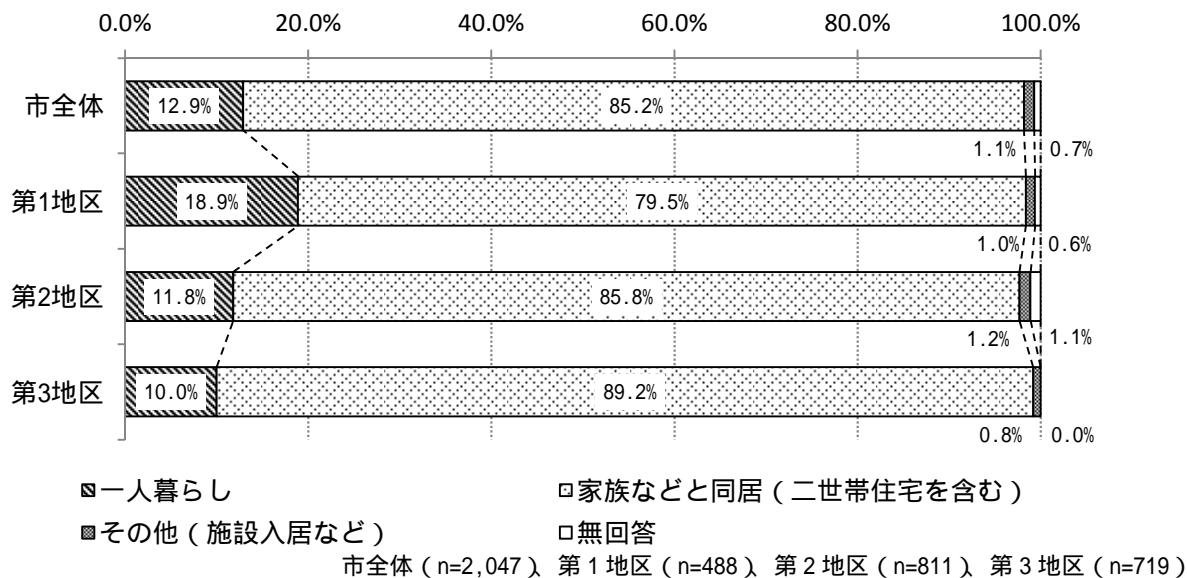


介護認定の状況については「介護認定をしてない、または申請中」が最も多く、いずれの地区でも過半数を占めている。

「自立」と答えた人の割合は、第3地区が32.4%で最も高く、以下、第1地区、第2地区の順となっている。

(6) 家族構成

Q6. 家族構成を教えてください。(は1つ)



家族構成は「家族など同居」が、市全体で85.2%と最も多く、「一人暮らし」が12.9%で続いている。

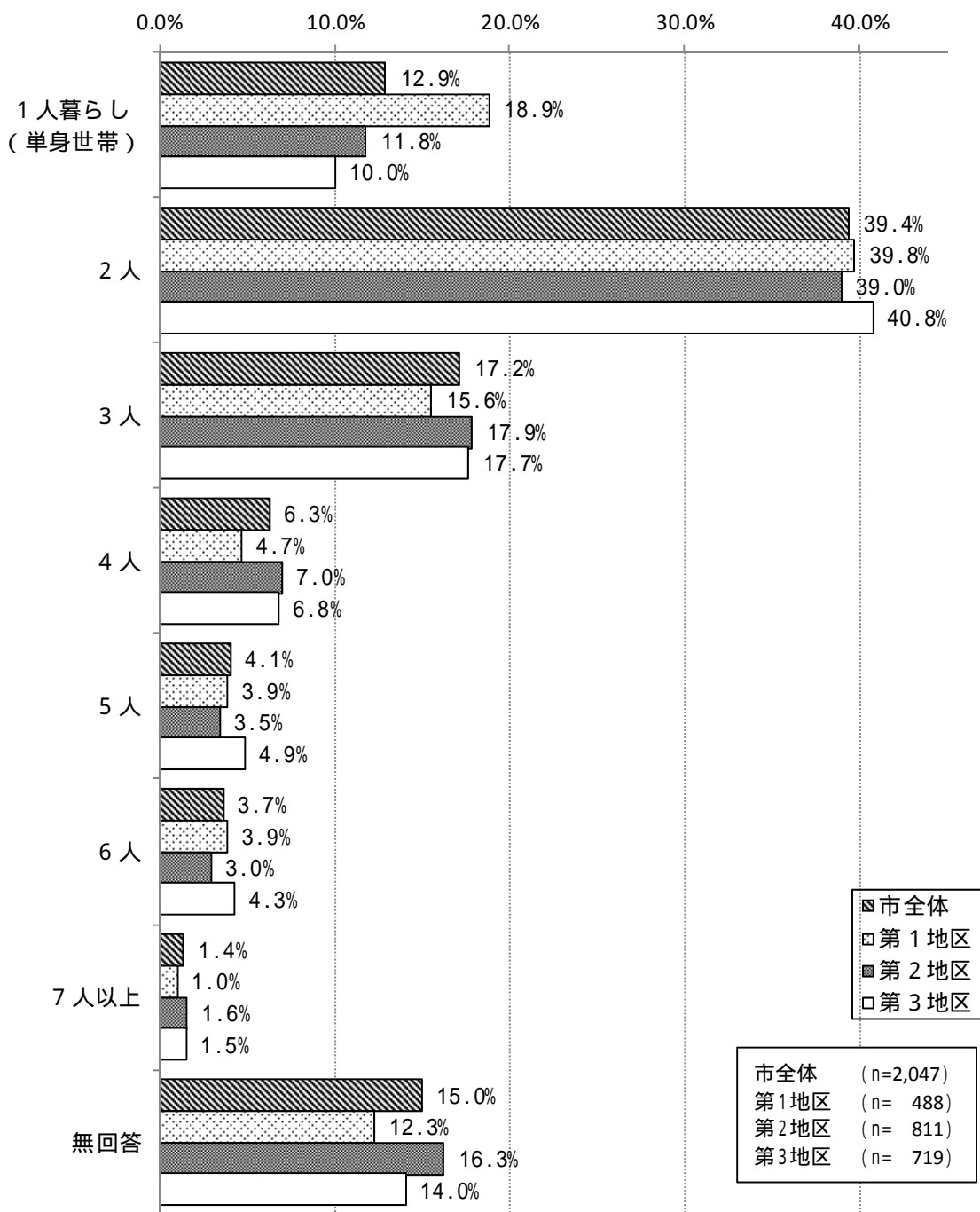
地区別では第3地区で「家族など同居」が89.2%と、他の地区を上回っている。

「一人暮らし」の割合が高いのは第1地区で18.9%、約5人に1人が「一人暮らし」と答えている。

(7) 同居者

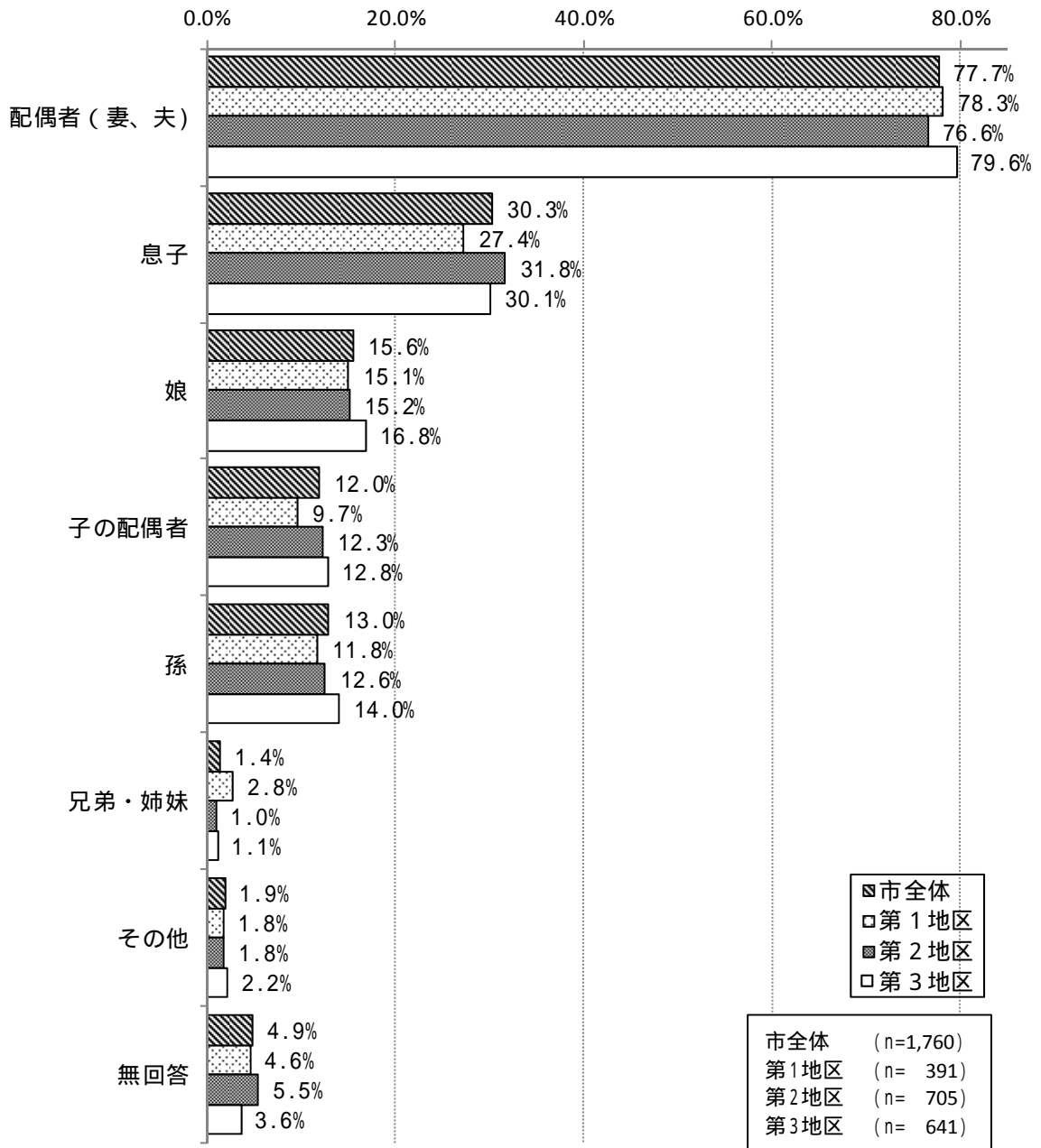
Q6-1. 御自分を含めて何人で暮らしていますか。(は1つ)
 また、同居されている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに)

御自分を含めて何人で暮らしていますか。(は1つ)



同居者の人数は全体の約4割が自分を含めて「2人」で、次に多いのが「3人」である。

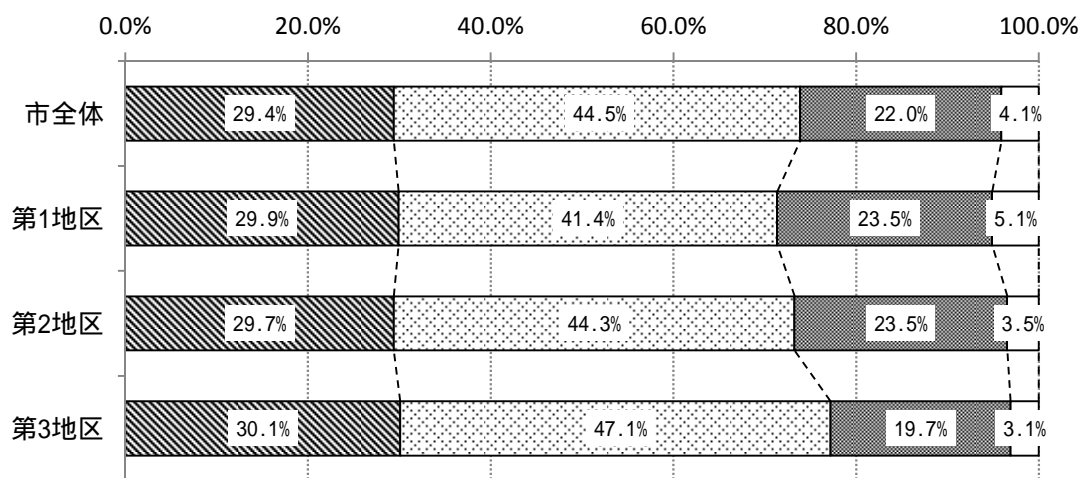
また、同居されている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに)



同居の相手は「配偶者」が多く、市全体で 77.7%、第1地区が 78.3%、第2地区が 76.6%、第3地区が 79.6%と、いずれの地区も 80%近くに達している。次いで「息子」をあげた人が 30%前後あり、「娘」のほぼ2倍となっている。

(8) 日中の状況

Q6-2. 日中、一人になることはありますか。(は1つ)



■よくある □たまにある ■ない □無回答

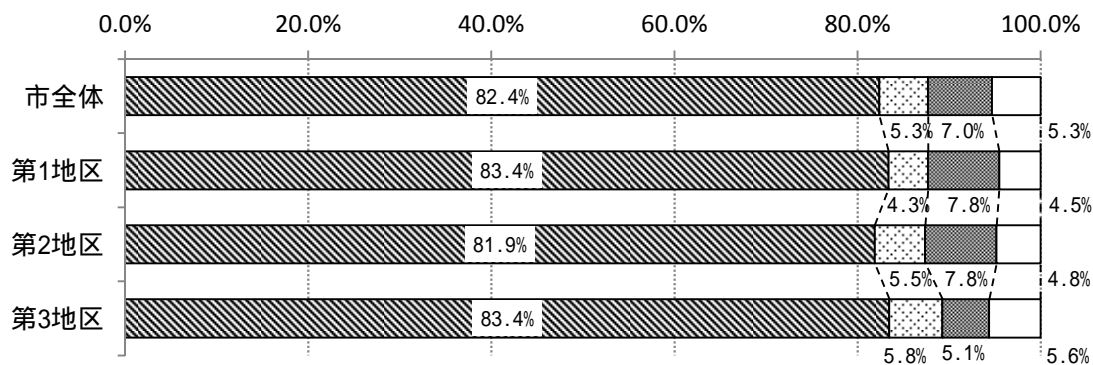
市全体 (n=1,760) 第1地区 (n=391) 第2地区 (n=705) 第3地区 (n=641)

「1人になること」は「よくある」と「たまにある」を合わせると4人に3人が「ある」と答えている。

地区別では第3地区で、「よくある」と「たまにある」の合計が77.2%となり、「ない」の19.7%を大きく上回っている。

(9) 介助・介護の必要性

Q7. あなたは、普段の生活で何らかの介護・介助が必要ですか。(は1つ)



- ▨ 介護・介助の必要ない
- 介護・介助は必要だが現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている
- 無回答

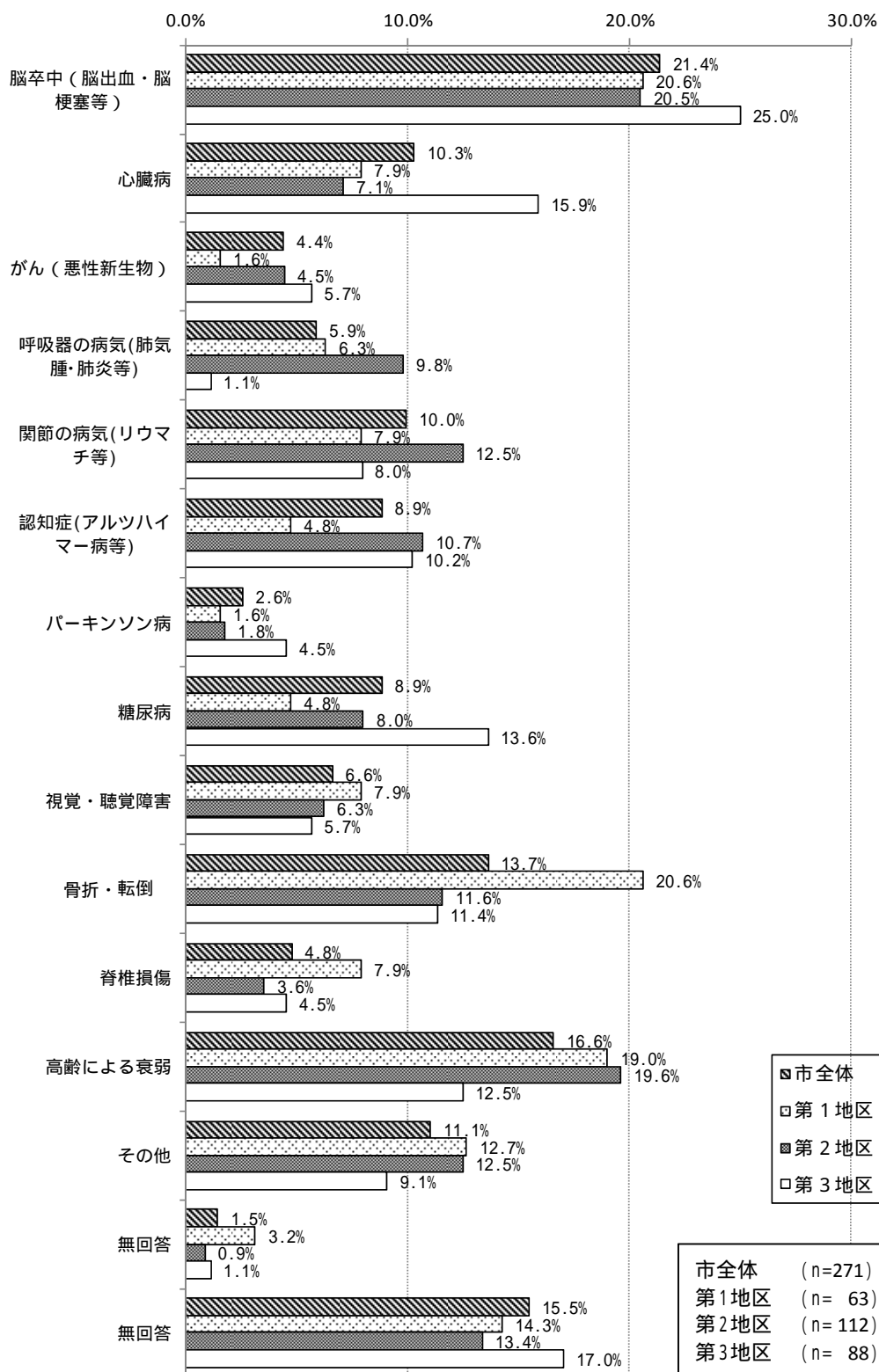
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

「介護・介助の必要はない」は市全体で82.4%である。

「現在何らかの介護を受けている」は第1地区と第2地区がどちらも7.8%で、第3地区は5.1%となっている。

(10) 介助・介護の原因

Q7-1. (介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった原因はなんですか。(あてはまるものすべてに)



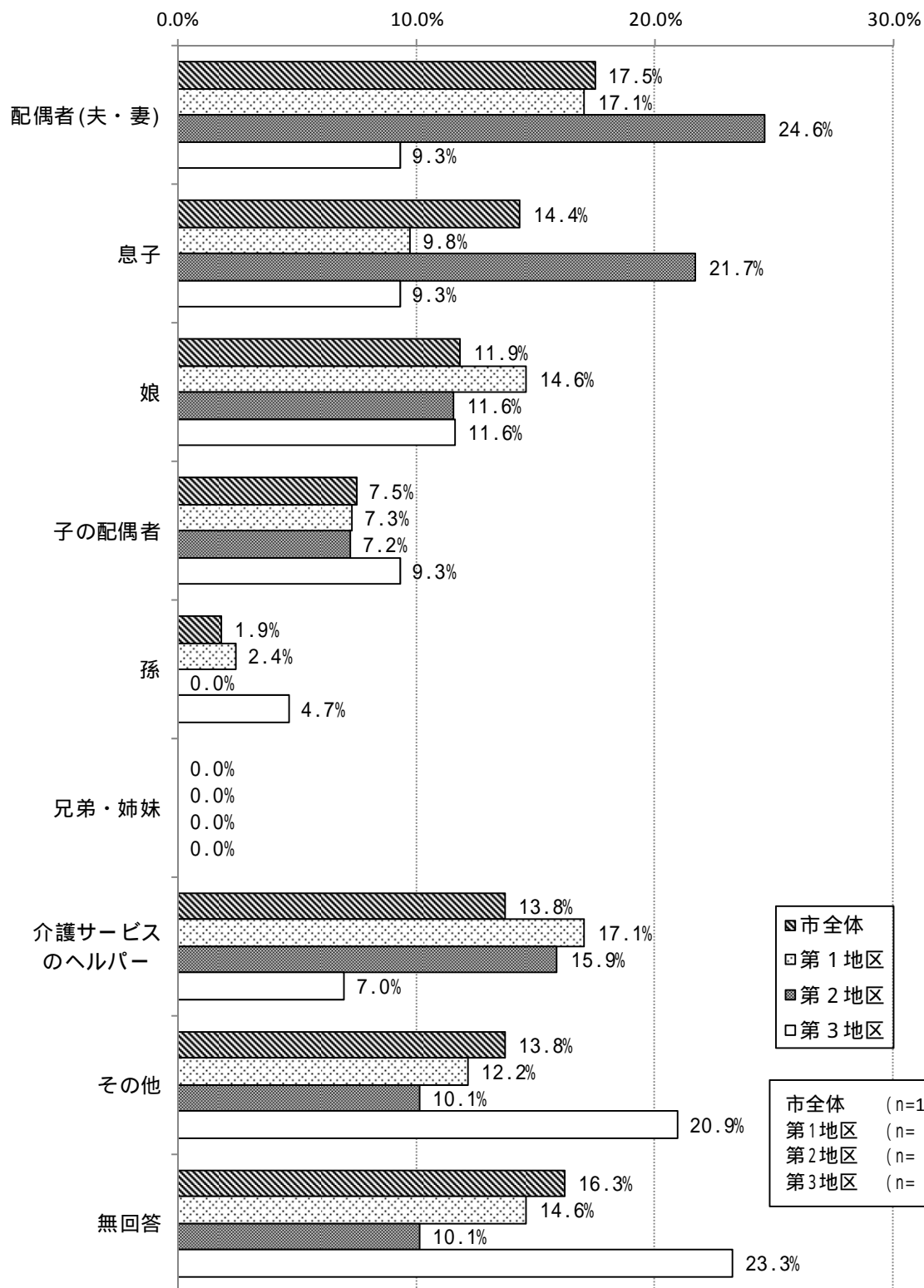
介護・介助が必要になった原因は、いずれの地区でも「脳卒中(脳出血・脳梗塞)」が大きな比重を占めており、第1地区と第2地区では5人に1人、第3地区では4人に1人があげている。

第1地区ではその他に、「骨折・転倒」が他の地区より多いのが特徴的といえる。

一方、第3地区は「心臓病」が15.9%、「糖尿病」が13.6%で、どちらも他の地区より高い。

(11) 介護・介助をする人

Q7-2. (介護・介助を受けている方のみ)主にご自分の介護・介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに)

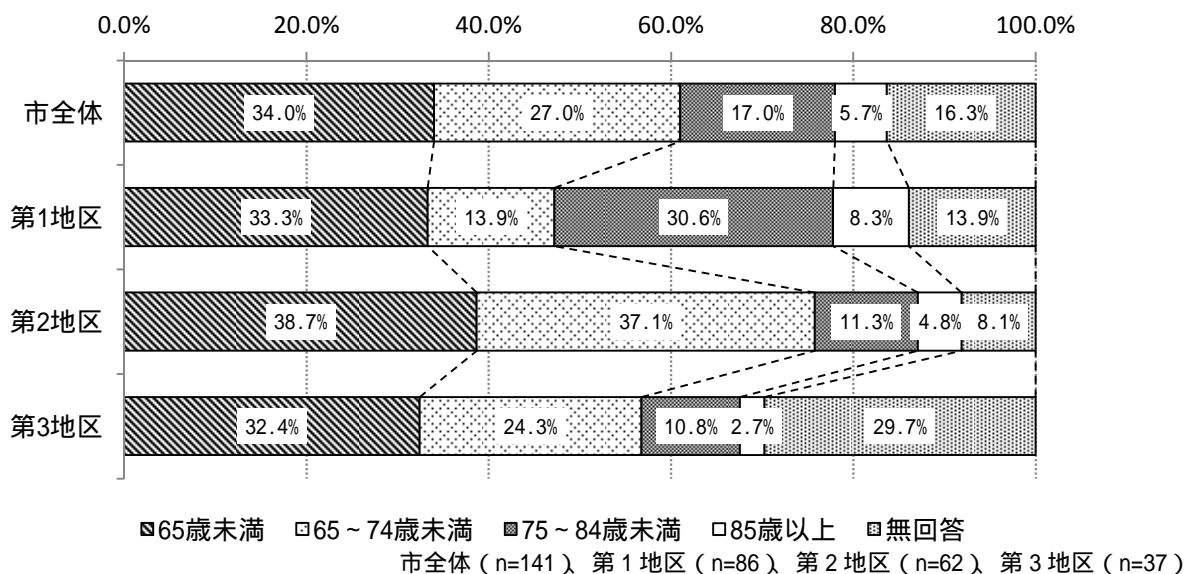


介護・介助をする人は、第2地区では、「配偶者(夫・妻)」が24.6%、「息子」が21.7%でこの2つが他の地区より際立って多い。

それに引き換え、第3地区では「配偶者(夫・妻)」、「息子」がどちらも9.3%で、対照的である。

(12) 介護・介助をする人の年齢

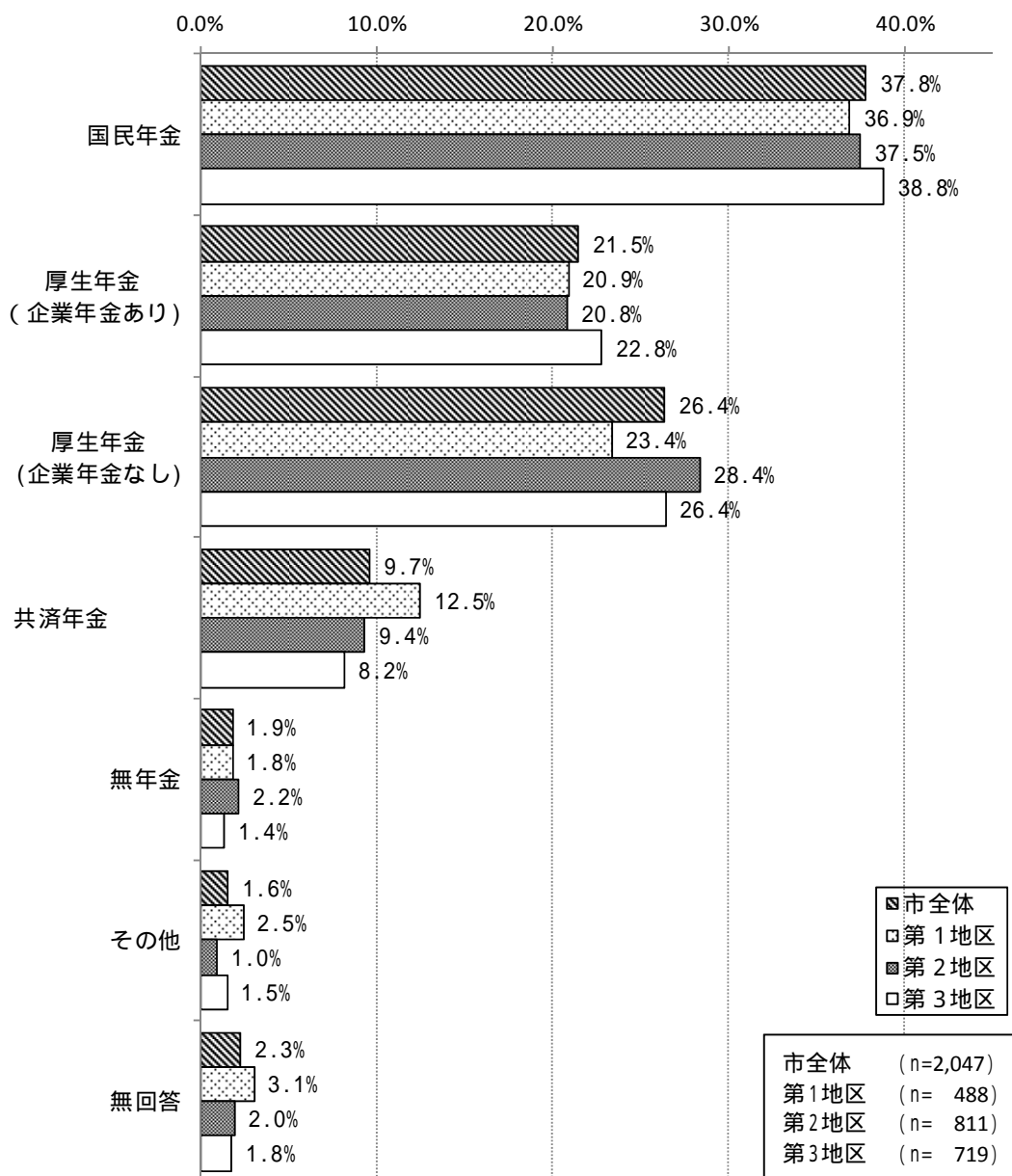
Q7-3. (介護・介助を受けている方のみ)主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。
(は1つ)



介護・介助をする人の年齢は、第2地区で「65歳未満」と「65~74歳」の合計が75.8%である。しかし、第1地区ではその割合は47.2%に留まり、75歳以上の後期高齢者(「75~84歳」と「85歳以上」の合計)が38.9%を占めている。

(13) 年金の種類

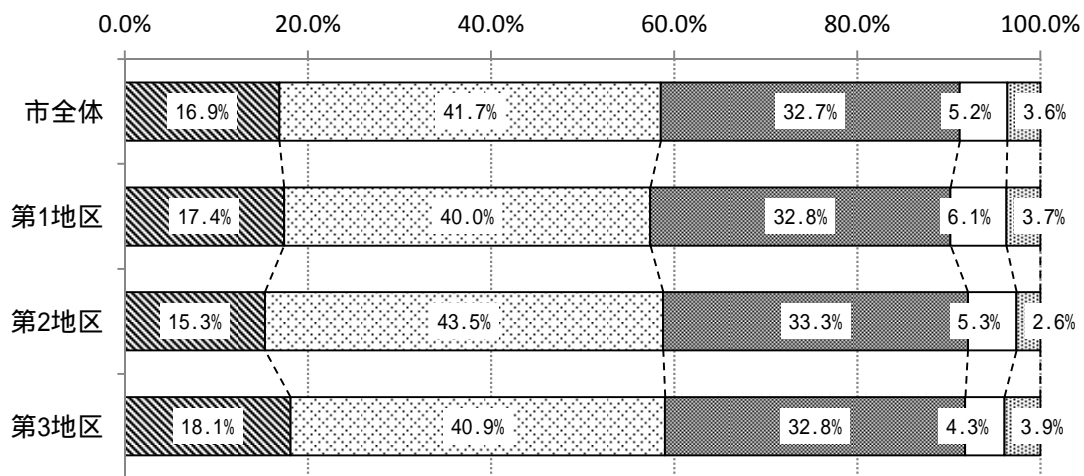
Q8. 年金の種類は次のどれですか。(は1つ)



年金の種類については、「国民年金」が市全体で 37.8%、第1地区が 36.9%、第2地区が 37.5%、第3地区が 38.8%で最も多く、「厚生年金(企業年金なし)」(市全体 26.4%)、「厚生年金(企業年金あり)」(市全体 21.5%)の順となっている。

(14) 暮らしの状況

Q9. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。 (は1つ)



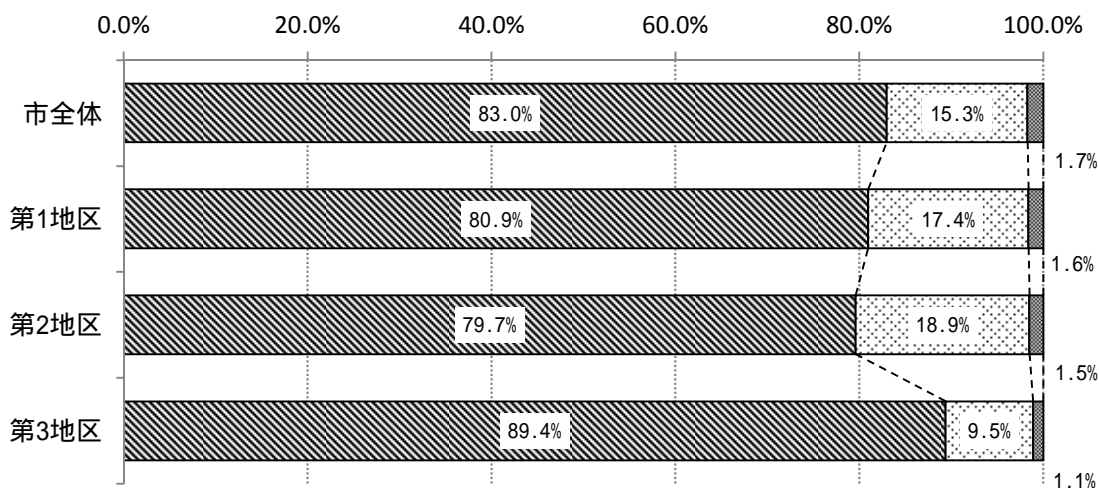
■ 苦しい □ やや苦しい ■ ややゆとりがある □ ゆとりがある ■ 無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

暮らしの状況については、「やや苦しい」が市全体で41.7%、第1地区が40.0%、第2地区が43.5%、第3地区が40.9%で最も多い。

以下、「ややゆとりがある」(市全体で32.7%)、苦しい(市全体で16.9%)の順となっている。

(15) 一戸建てか共同住宅か

Q10. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。 (は1つ)



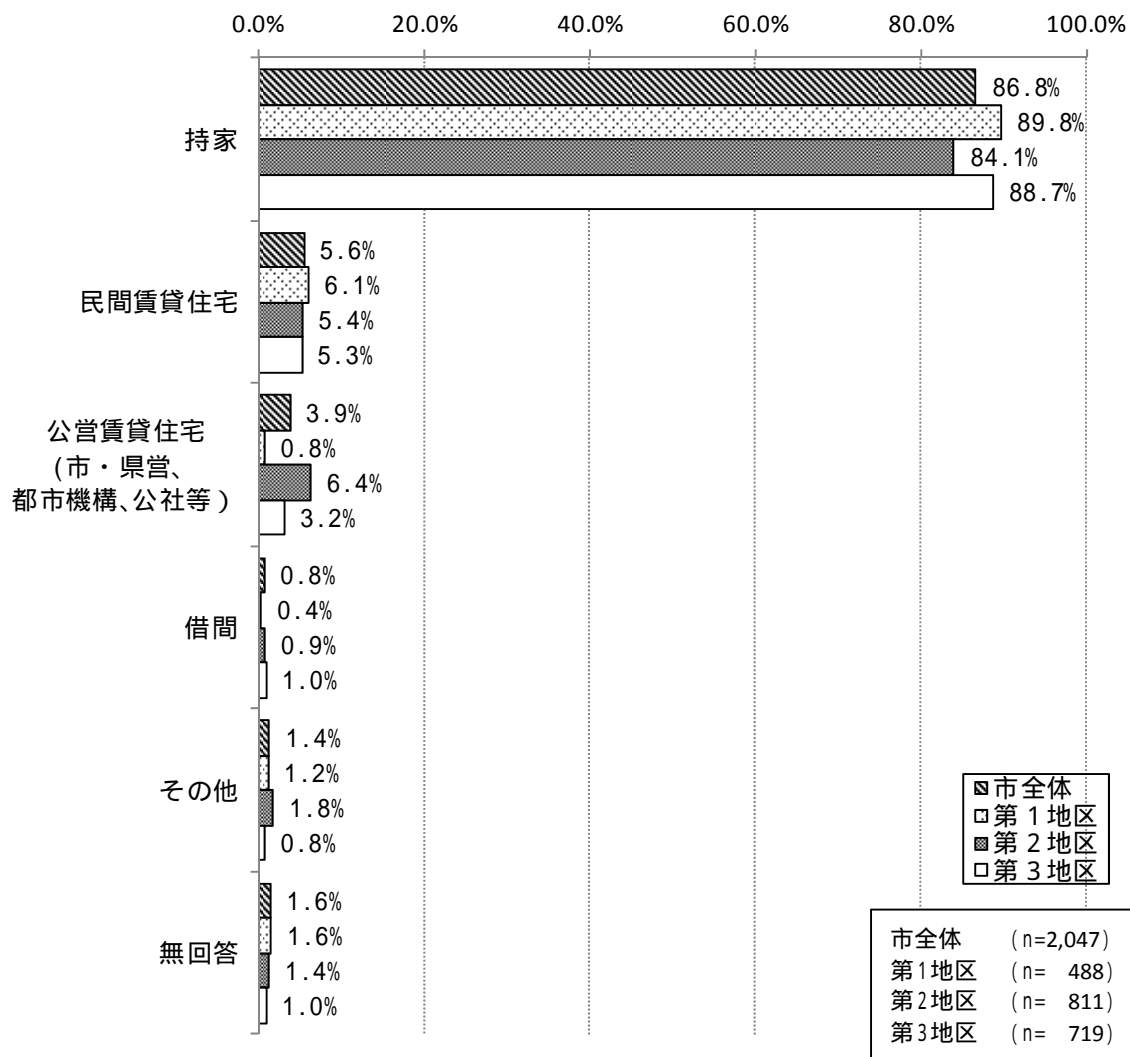
■ 一戸建て □ 集合住宅 ■ 無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

一戸建てか集合住宅かについては、「一戸建て」が市全体で83.0%である。

地区別では第3地区で「一戸建て」が89.4%、「集合住宅」が9.5%で、一戸建ての割合がもっとも高くなっている。

(16) 住居形態

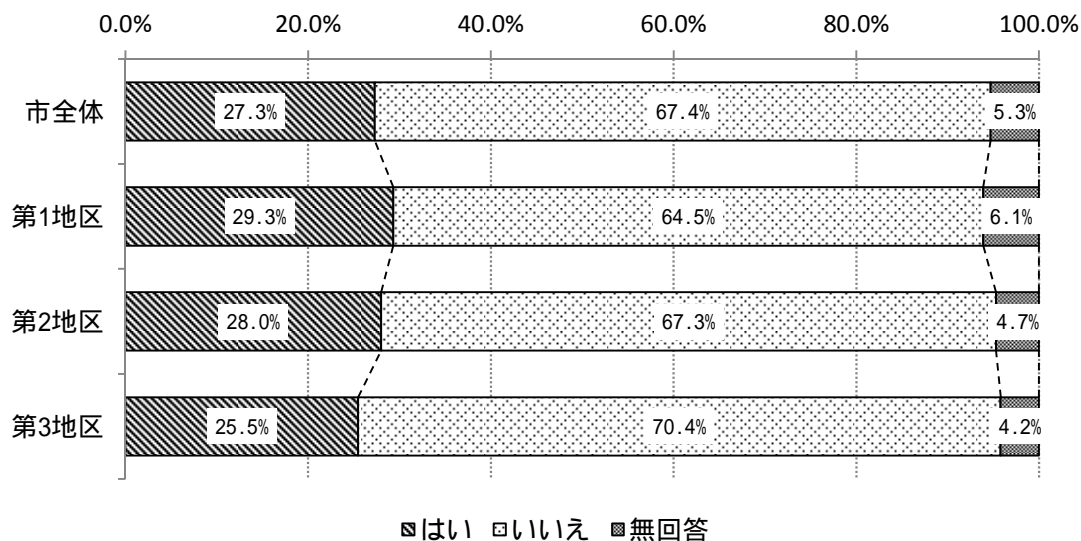
Q11. お住まいは、次のどれにあたりますか。(は1つ)



居住形態については、「持家」の割合が市全体で86.8%、第1地区が89.8%、第2地区が84.1%、第3地区が88.7%で、圧倒的に持ち家率が高くなっている。

(17) 住まいの階数

Q12. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか。(は1つ)

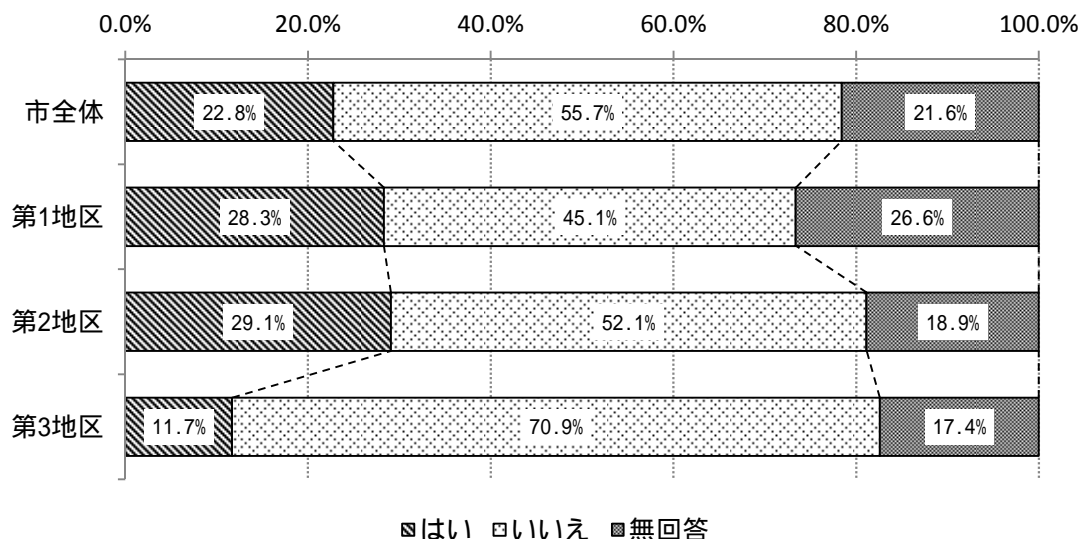


市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

住まいの階数については、2階以上に住んでいる人は市全体では27.3%である。第1地区では64.5%、第2地区では67.3%、第3地区では70.4%が1階に住んでいる。

(18) エレベーターの有無

Q12-1. (2階以上の方) お住まいにエレベーターは設置されていますか。(は1つ)



市全体 (n=688) 第1地区 (n=173) 第2地区 (n=265) 第3地区 (n=213)

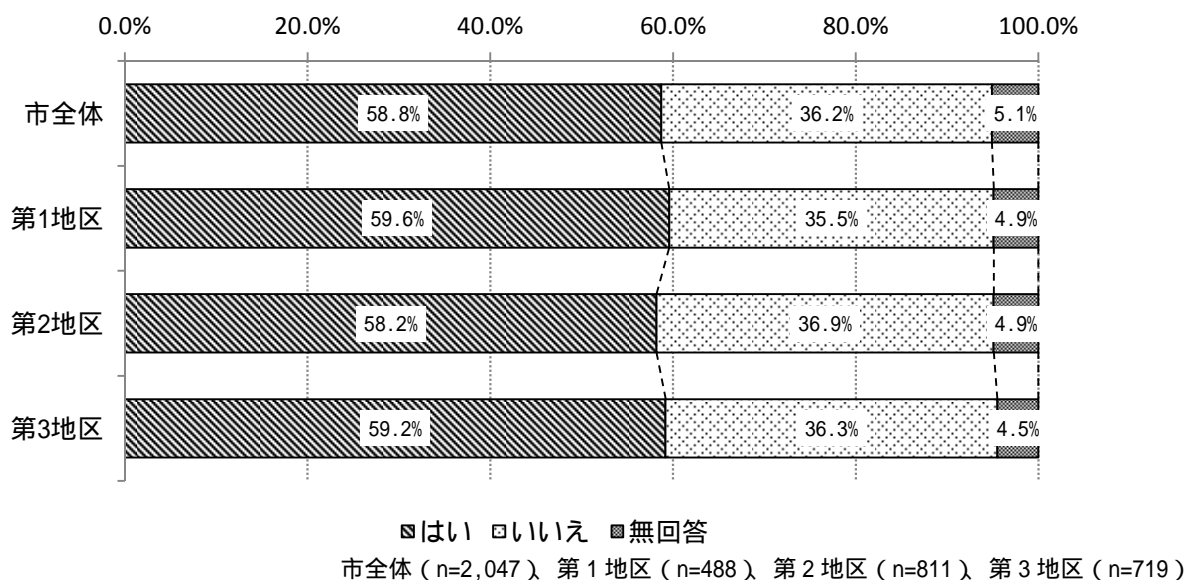
2階以上に住んでいる688人のうち、エレベーターが設置されているのは、市全体で22.8%である。

第1地区と第2地区ではそれぞれ28.3%、29.1%であるが、第3地区では11.7%と、他の地区と比較すると低い割合となっている。

問2 運動・閉じこもりについて

(1) 階段の昇り方

Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。 (は1つ)

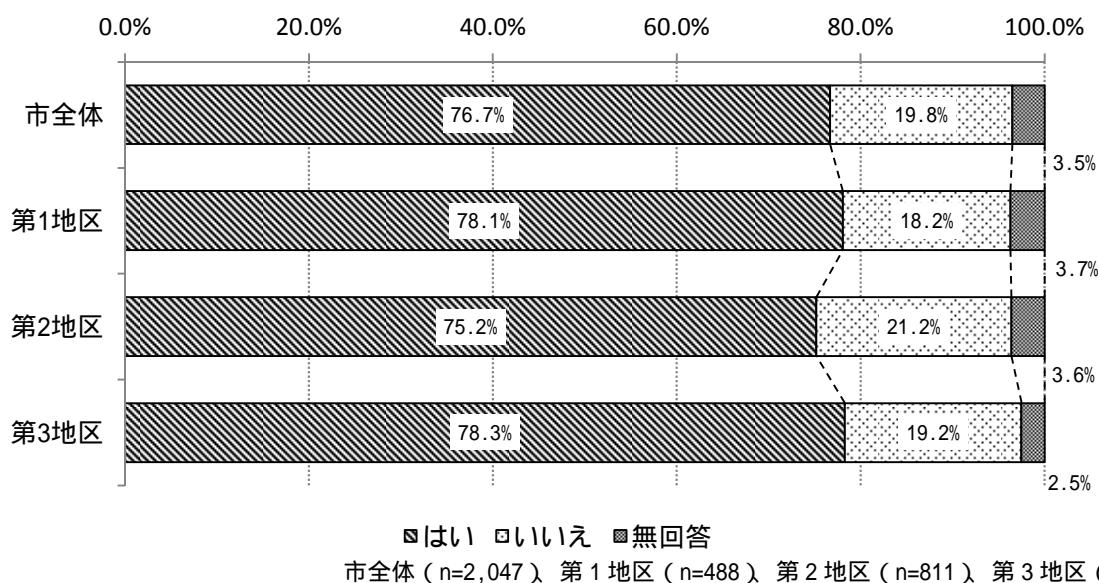


階段の昇り方については、市全体で58.8%の人が、手すりや壁を伝わらずに階段を昇ることができている。

これはどの地区も同じような割合で、ほとんど差はなかった。

(2) 椅子からの立ち上がり方

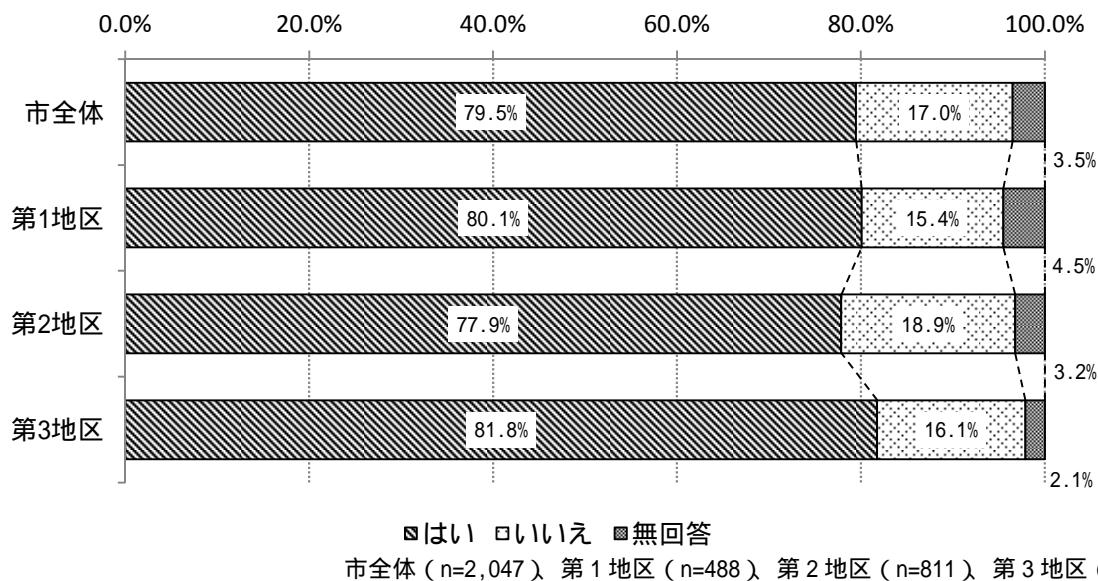
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 (は1つ)



椅子からの立ち上がり方については「何かにつかまらないと立ち上がれない人」が、市全体で19.8%である。第2地区では第1地区と第3地区をわずかに上回り、21.2%となっている。

(3) 歩ける時間

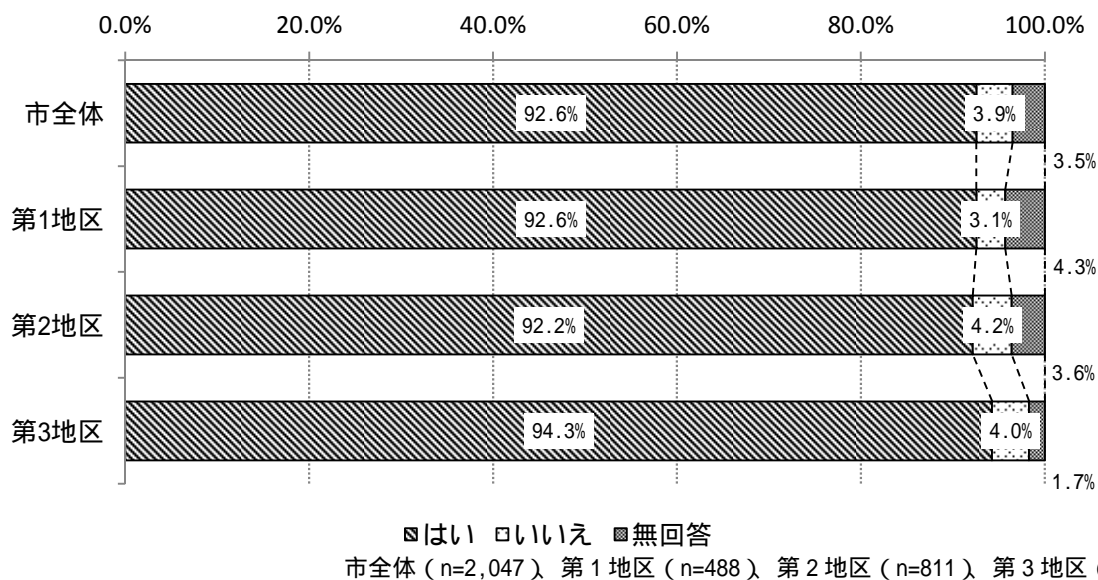
Q3. 15分位続けて歩いていますか。(は1つ)



歩ける時間については、「15分位続けて歩かない人」が、市全体で17.0%である。第1地区では15.4%、第2地区では18.9%、第3地区では16.1%となっている。

(4) 歩ける距離

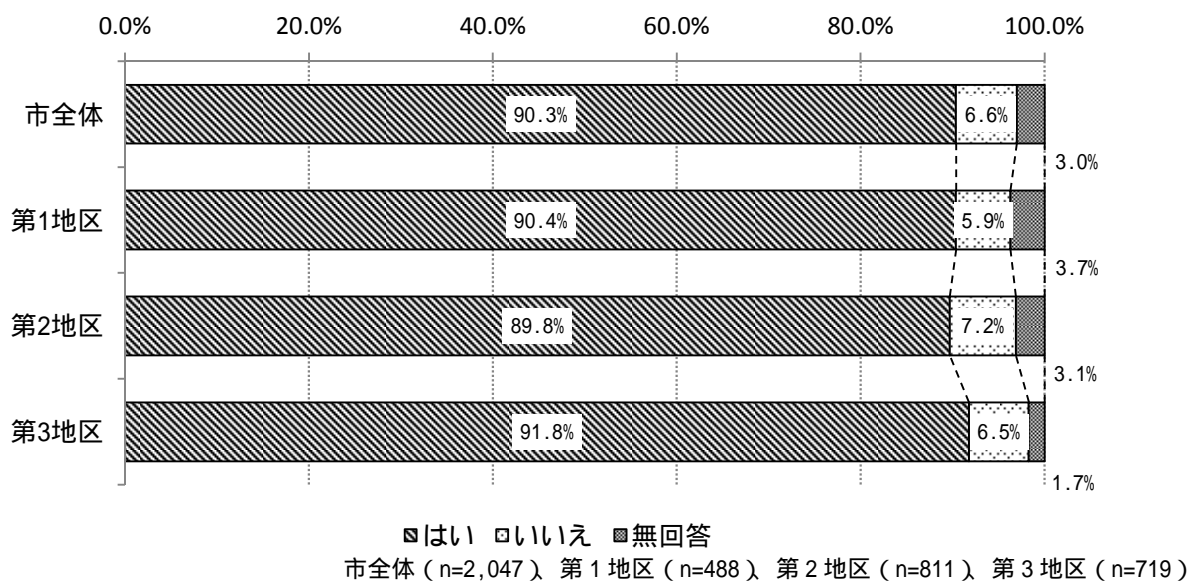
Q4. 5m以上歩けますか。(は1つ)



歩ける距離については、「5m以上歩けない人」は、市全体で3.9%、第1地区が3.1%、第2地区が4.2%、第3地区が4.0%となっている。

(5) 外出の回数

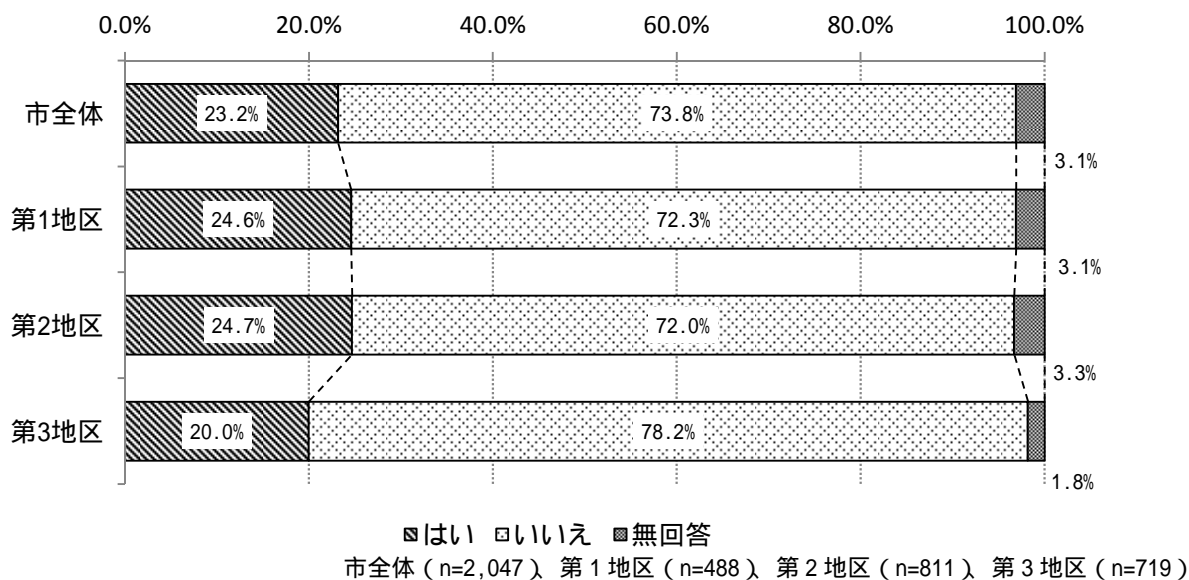
Q5. 週に1回以上は外出していますか。(は1つ)



外出の回数については、「週に1回以上は外出していない人」の割合は、市全体では6.6%、第1地区が5.9%、第2地区が7.2%、第3地区が6.5%となっている。

(6) 昨年と比べた外出の回数

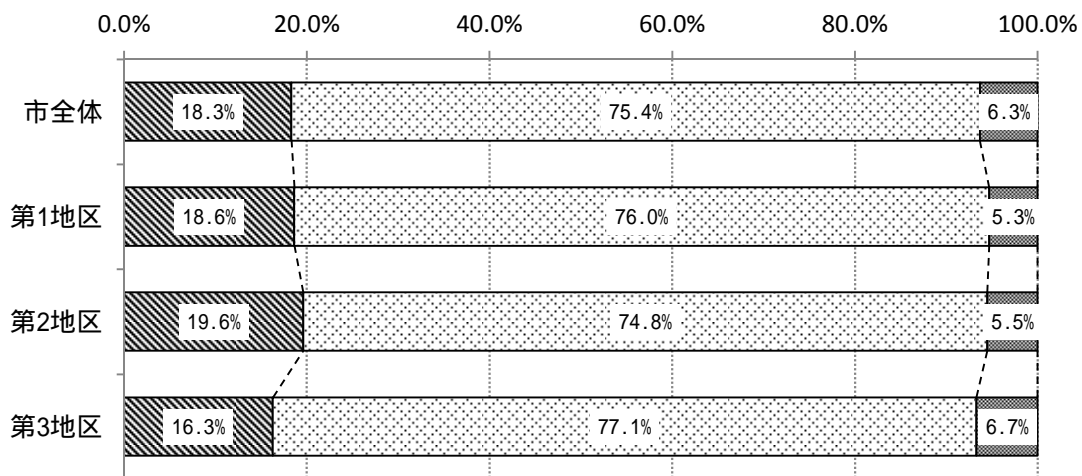
Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(は1つ)



昨年と比べた外出の回数については、「減った人」は、市全体では23.2%、第1地区が24.6%、第2地区が24.7%、第3地区が20.0%となっている。

(7) 外出を控えているか

Q7. 外出を控えていますか。 (は1つ)

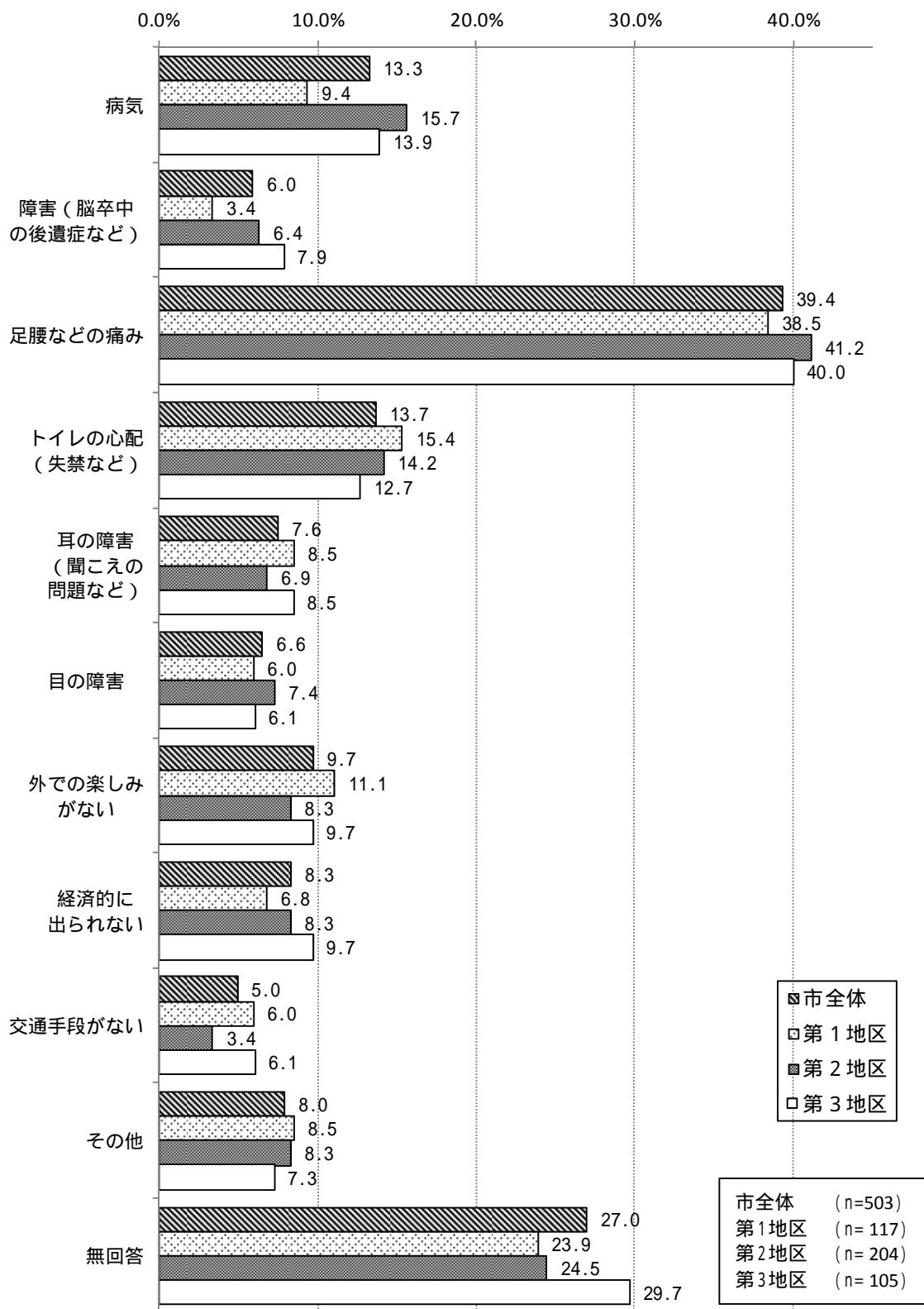


はい
 いいえ
 無回答
 市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

外出を控えている人は、市全体では 18.3%、第1地区が 18.6%、第2地区が 19.6%、第3地区が 16.3%となっている。

(8) 外出を控えている理由

Q7-1. (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか。(は1つ)

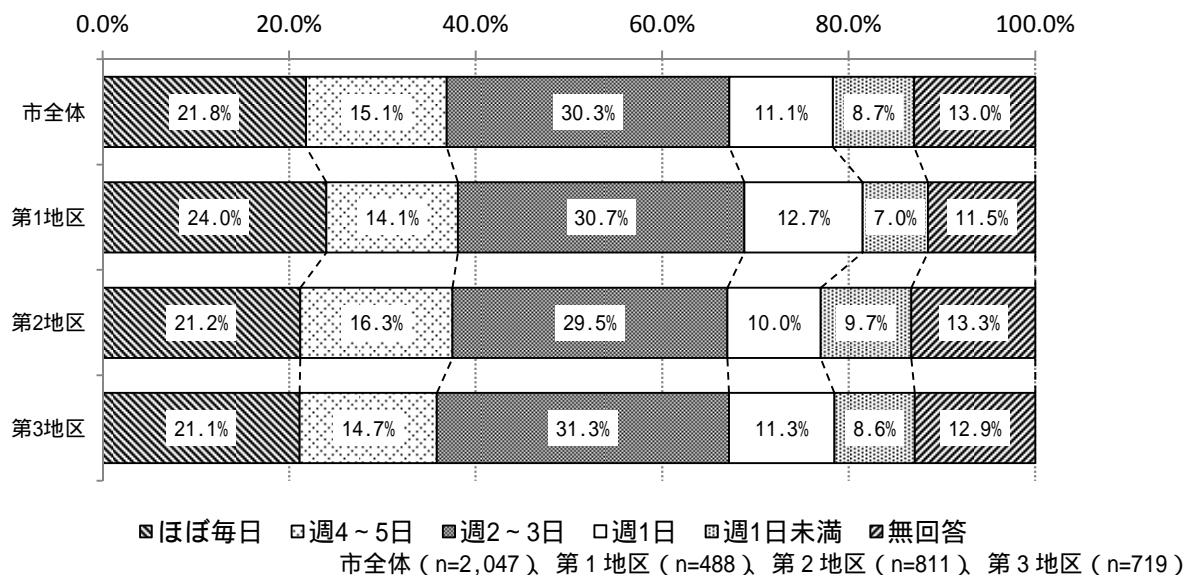


外出を控えている理由として、最も多かったのは「足腰などの痛み」である。市全体で39.4%、第1地区が38.5%、第2地区が41.2%、第3地区が40.0%となっている。

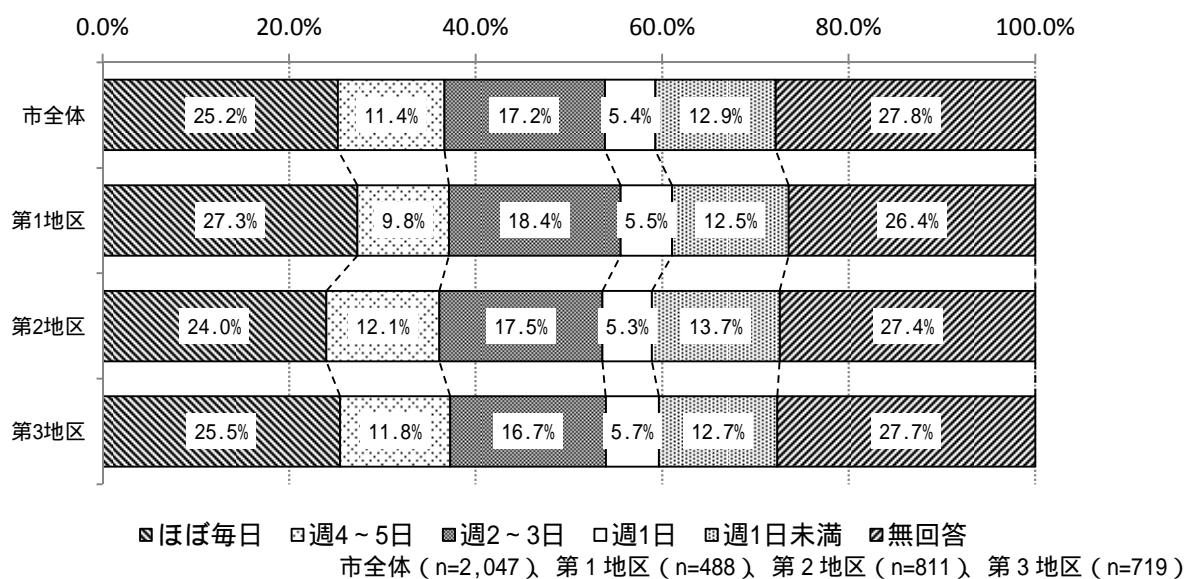
(9) 外出する頻度

Q8. 買い物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。(は1つ)

【買い物】



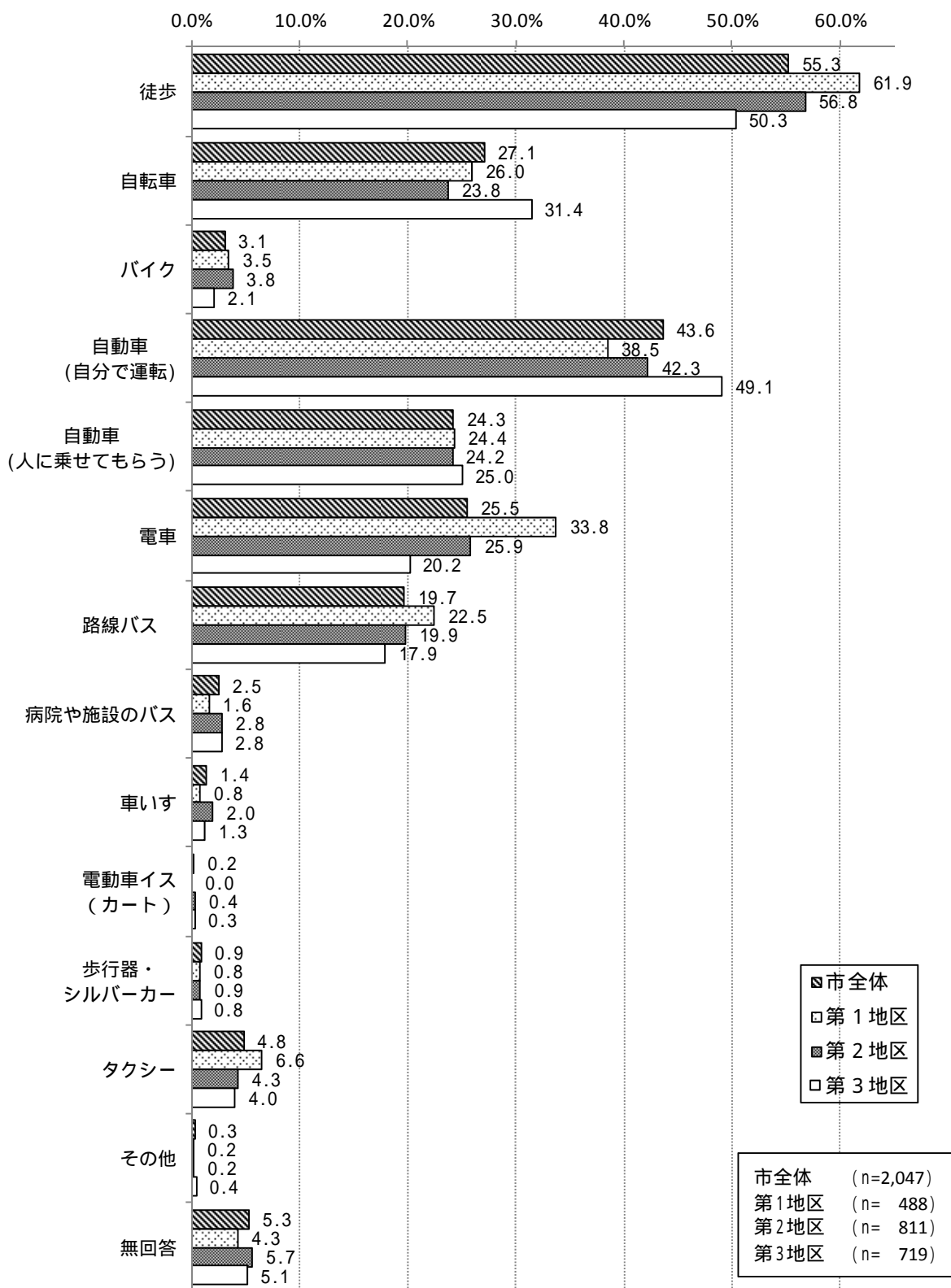
【散歩】



買い物では「週2~3日」が30%前後で第1位、次に多かったのは「ほぼ毎日」である。
 散歩では「ほぼ毎日」が25%前後で第1位、次に多かったのは「週2~3日」である。
 買い物に比べて散歩では「無回答」の割合が高く、4人に1人以上が回答していない。

(10) 外出時の移動手段

Q9. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに)

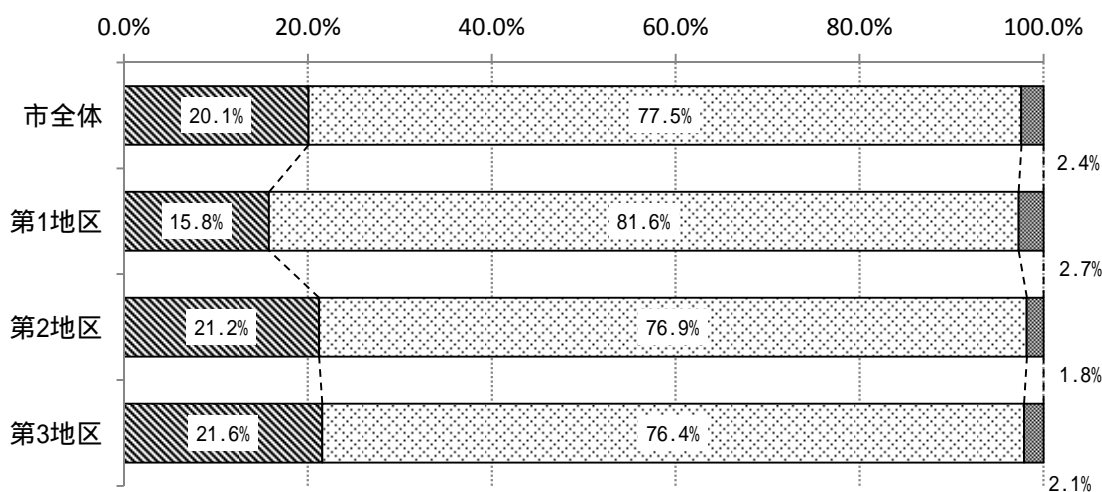


外出時の移動手段については、「徒歩」が最も多く、市全体で55.3%、第1地区が61.9%、第2地区が56.8%、第3地区が50.3%となっている。第3地区では「自動車(自分で運転)」も多く、「徒歩」とあまり差のない49.1%となっている。

問3 転倒予防について

(1) 転倒の有無

Q1. この1年間に転んだことがありますか。(は1つ)



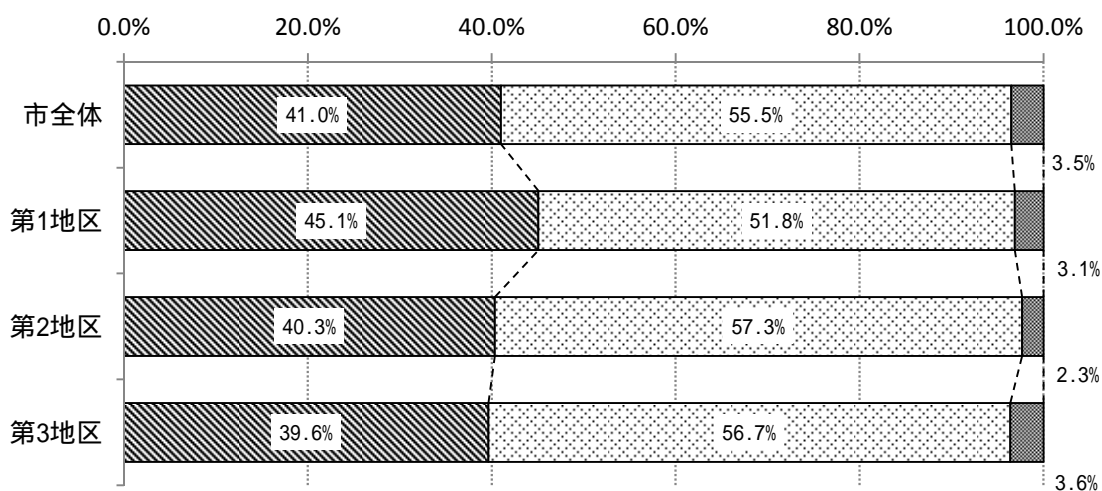
■はい □いいえ ■無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

転倒予防については、「この1年間に転んだことがある人」が市全体で20.1%である。地区別では第1地区が15.8%で、他の地区に比べて低くなっている。

(2) 転倒への不安

Q2. 転倒に対する不安は大きいですか。(は1つ)



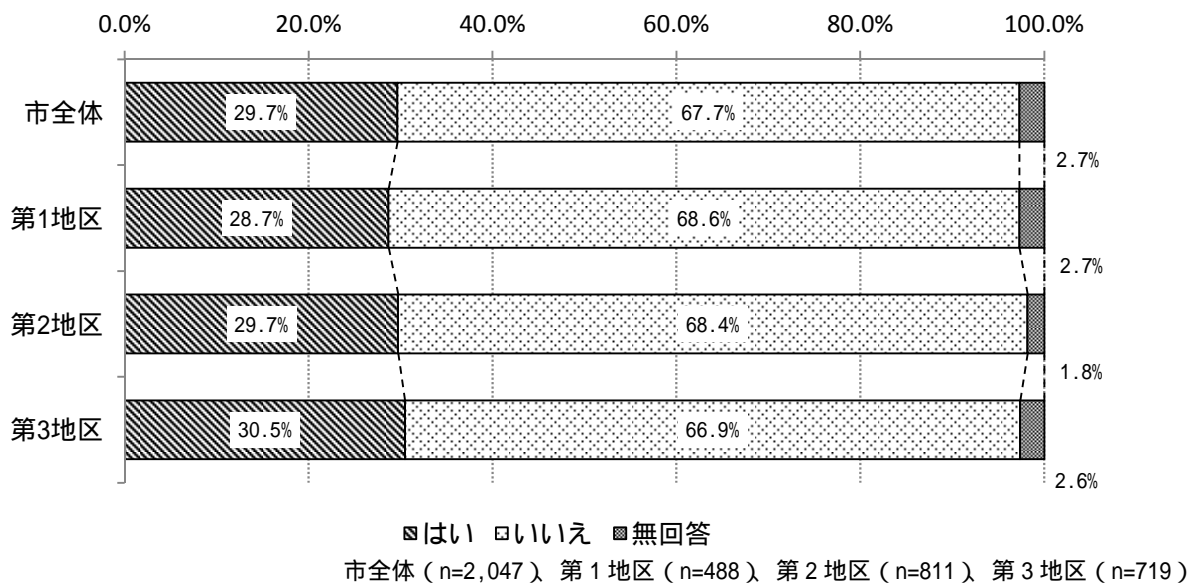
■はい □いいえ ■無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

転倒に対する不安については、「不安が大きい人」が、市全体では41.0%、第1地区が45.1%、第2地区が40.3%、第3地区が39.6%となっている。

(3) 背中の状態

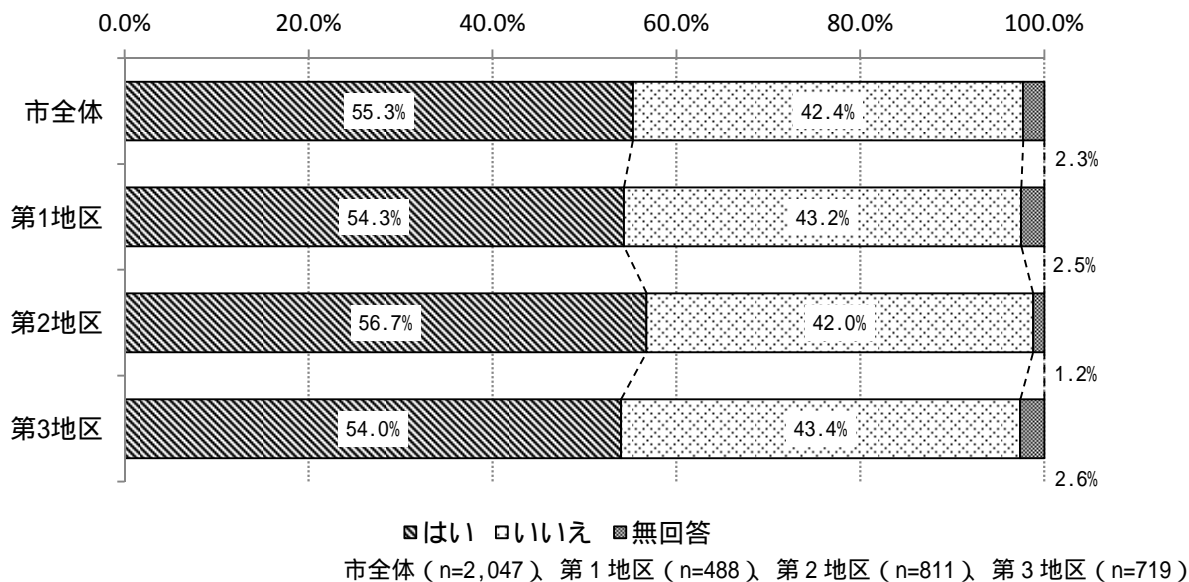
Q3. 背中が丸くなってきましたか。(は1つ)



背中の状態については、「背中が丸くなってきた人」が、市全体では29.7%、第1地区が28.7%、第2地区が29.7%、第3地区が30.5%となっている。

(4) 歩く速度

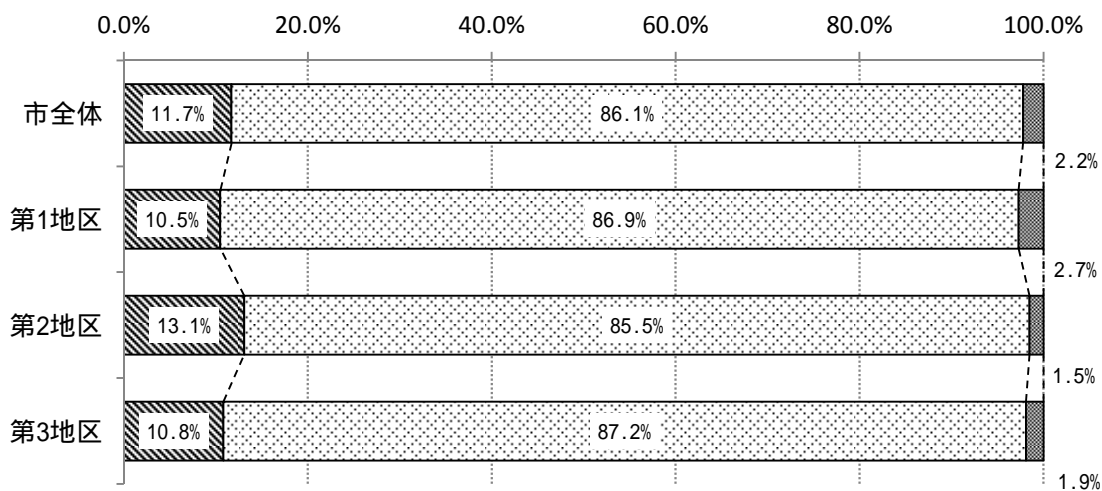
Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。(は1つ)



歩く速度については、「速度が遅くなってきた」と思う人が、市全体で55.3%、第1地区が54.3%、第2地区が56.7%、第3地区が54.0%となっている。

(5) 杖の使用

Q5. 杖を使っていますか。 (は1つ)



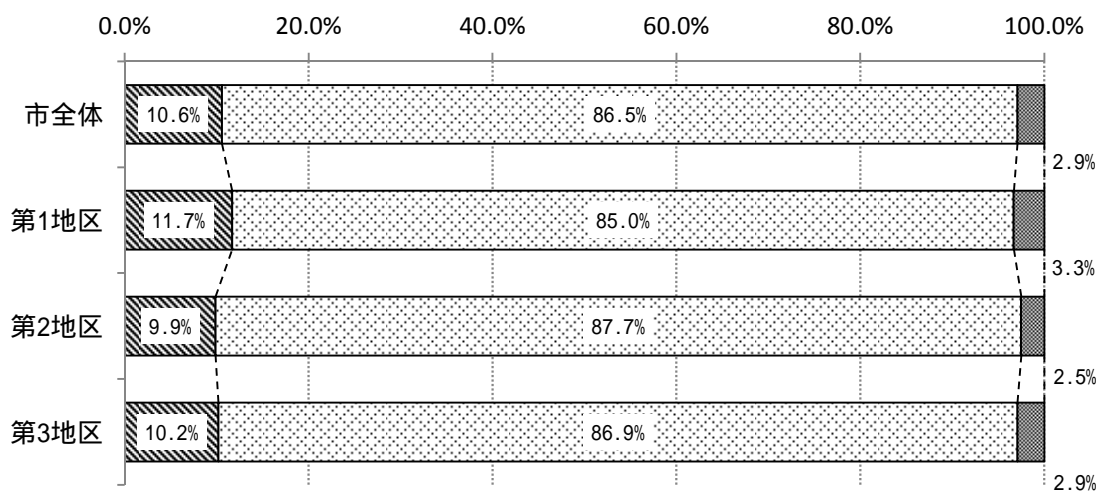
■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

杖の使用については、「杖を使っている人」が、市全体で11.7%、第1地区が10.5%、第2地区が13.1%、第3地区が10.8%となっている。

問4 口腔・栄養について

(1) 体重減少

Q1. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(は1つ)

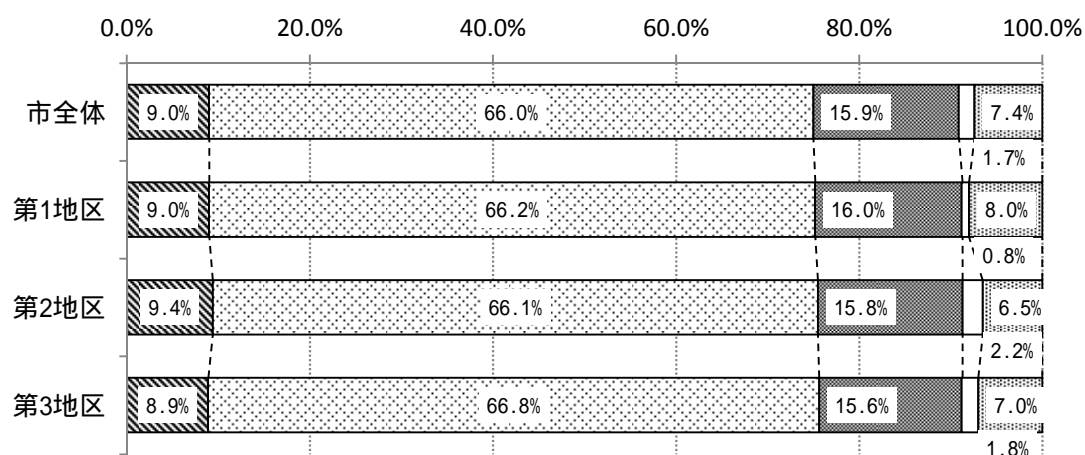


■あった □なかった ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

体重減少については、「6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人」が、市全体で10.6%、第1地区が11.7%、第2地区が9.9%、第3地区が10.2%となっている。

(2) 身長と体重

Q2. 身長 (cm) 体重 (kg)



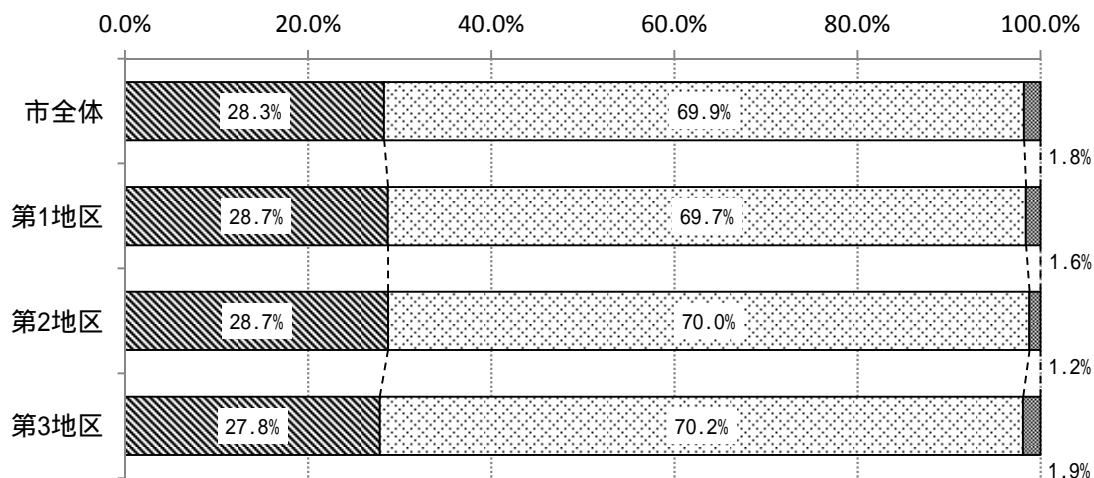
■低体重 (痩せ形) (18.5未満) □普通体重 (18.5～25) ■肥満1 (25～30) □肥満2 (30以上) ■無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

体重と身長の関係からBMI指数を算出した。ここから市民の肥満の割合をみると、市全体では18.5未満の「痩せ型」が9.0%、18.5～25未満の「普通体重」が66.0%、25以上の「肥満気味」が17.6%だった。この割合は、どの地区もほとんど変わらない。

(3) 固いもの

Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(は1つ)

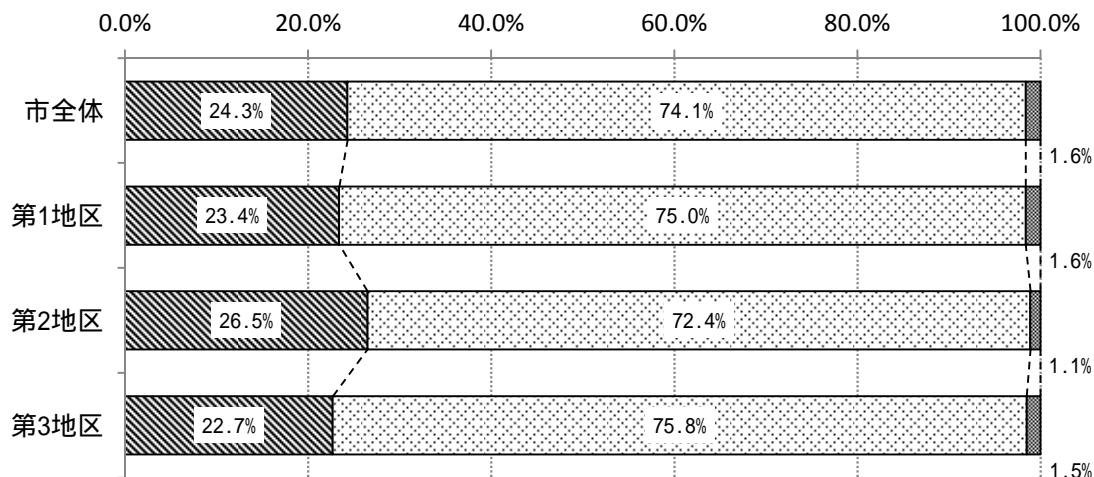


■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

半年前に比べて、固いものが食べにくくなったかについては、「食べにくくなった人」が、市全体で28.3%である。地区による差はほとんど見られない。

(4) お茶などでむせるか

Q4. お茶や汁物等でむせることがありますか。(は1つ)

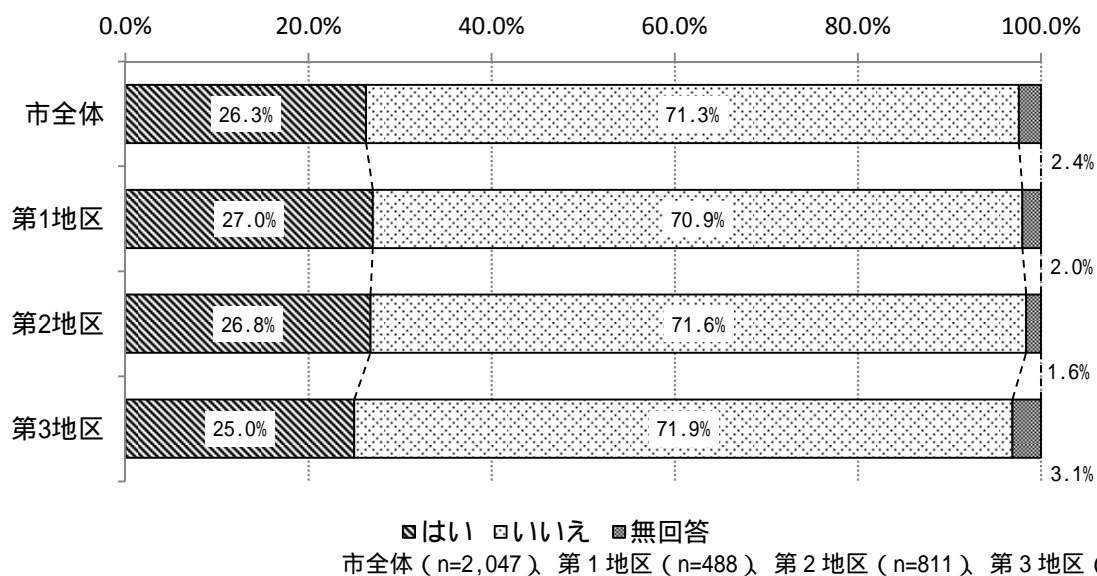


■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

飲み込むときにむせるかについては、「お茶や味噌汁等でむせることがある人」が、市全体で24.3%、第1地区が23.4%、第2地区が26.5%、第3地区が22.7%となっている。

(5) 口の渇き

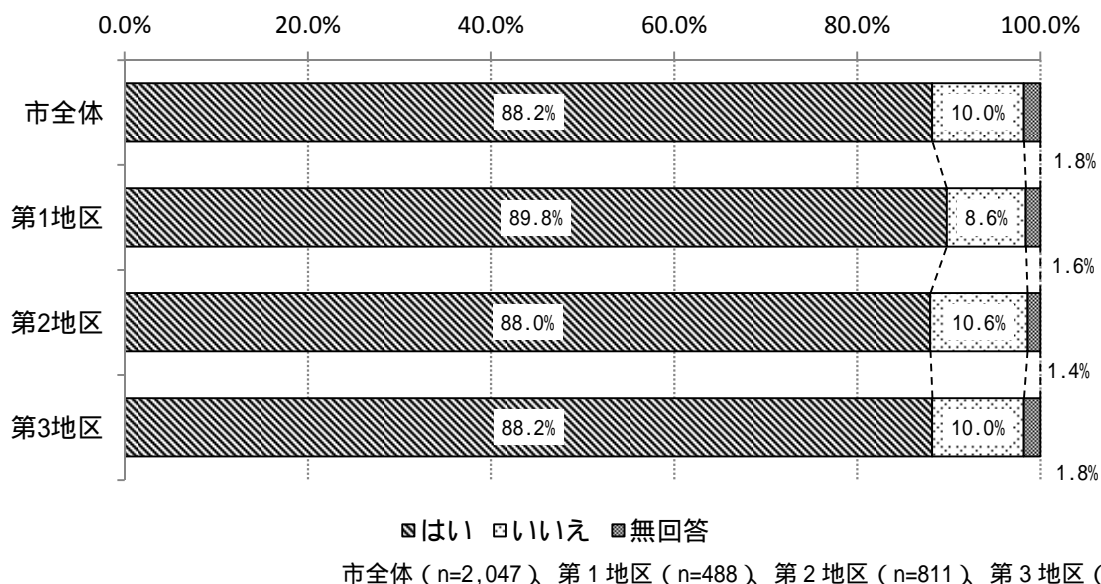
Q5. 口の渇きが気になりますか。 (は1つ)



口の渇きについては、「口の渇きが気になる人」が、市全体で 26.3%、第1地区が 27.0%、第2地区が 26.8%、第3地区が 25.0%となっている。

(6) 歯磨き

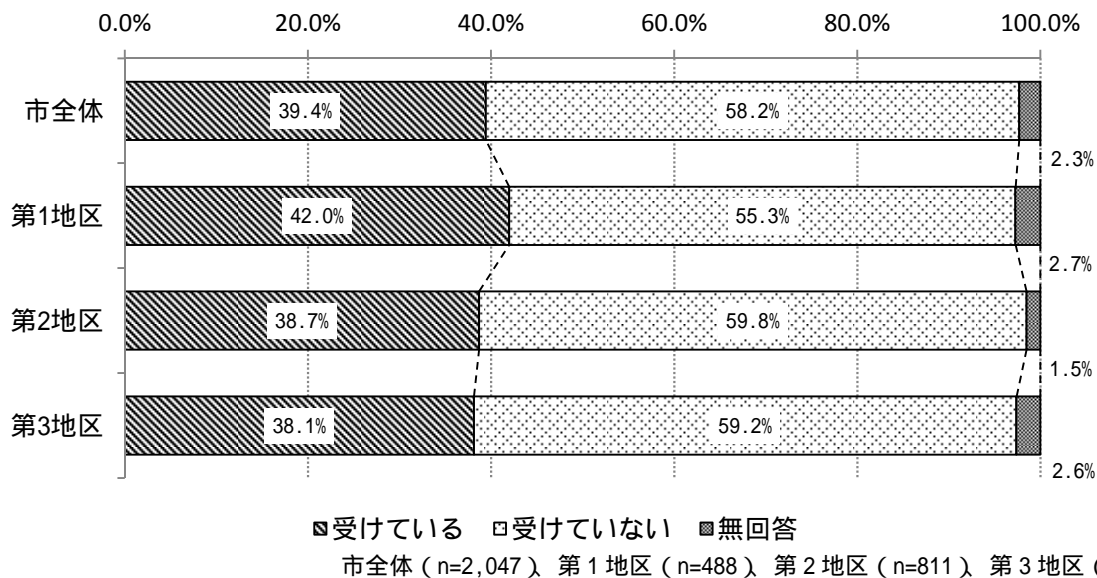
Q6. 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。 (は1つ)



歯磨きについては、「毎日している人」が、市全体で 88.2%、第1地区が 89.8%、第2地区が 88.0%、第3地区が 88.2%と、全ての地区で 88%に達している。

(7) 歯科検診

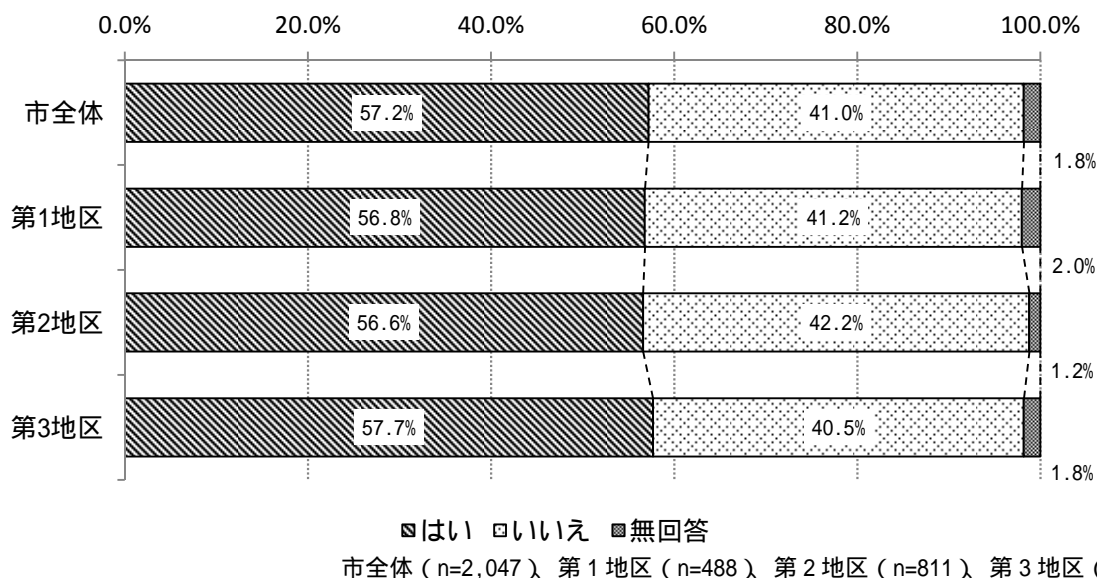
Q7. 定期的に歯科検診(健診を含む)を受けていますか。(は1つ)



定期的に歯科検診を受けている人は、市全体で 39.4%、第1地区が 42.0%、第2地区が 38.7%、第3地区が 38.1%の順となっている。

(8) 入れ歯の使用

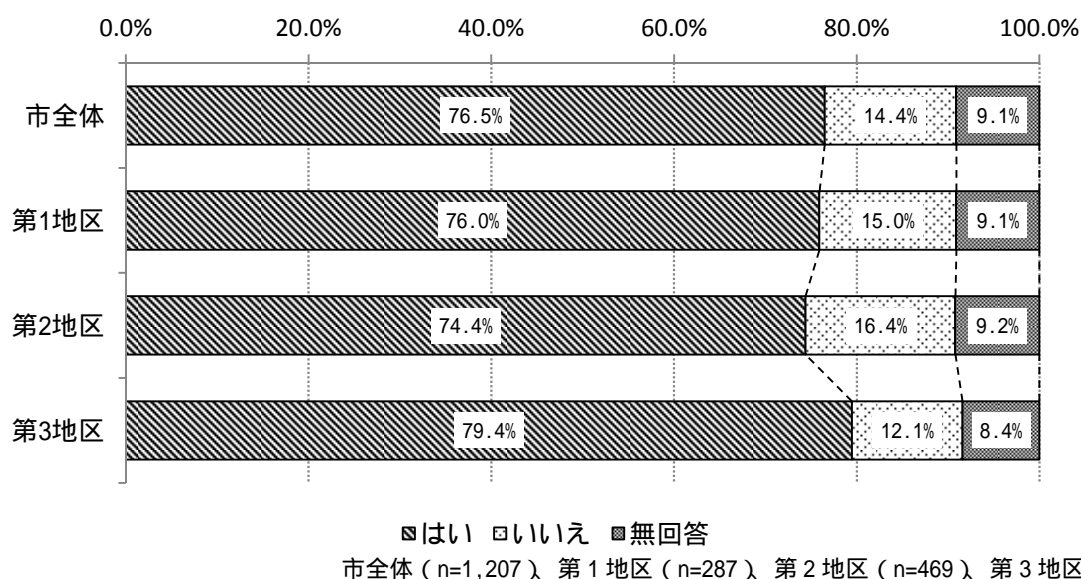
Q8. 入れ歯を使用していますか。(は1つ)



入れ歯については、「入れ歯をしている人」が市全体で 57.2%、第1地区が 56.8%、第2地区が 56.6%、第3地区が 57.7%と、全ての地区で過半数を超えている。

(9) 入れ歯の噛み合わせ

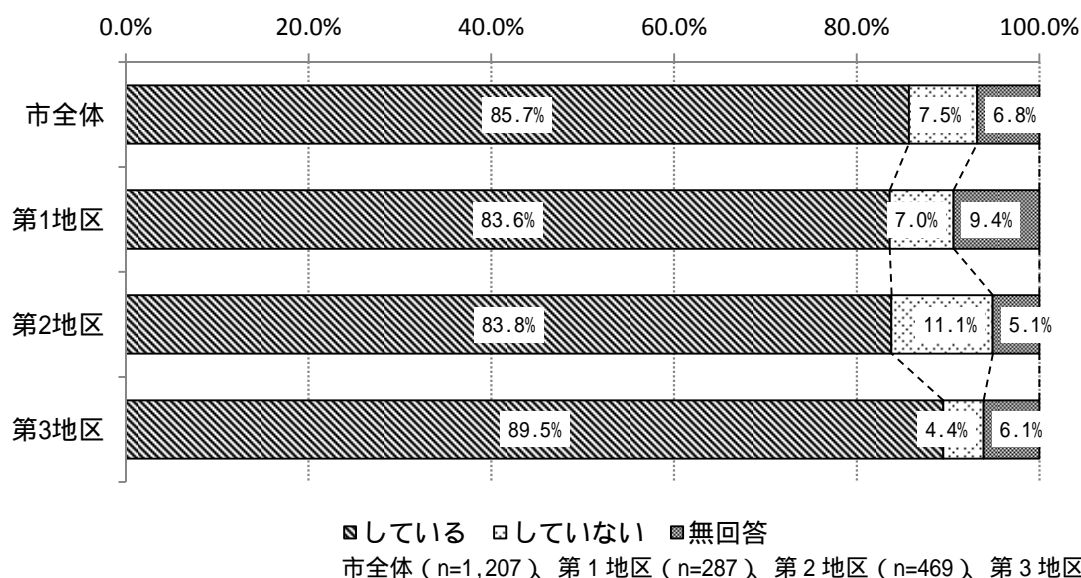
Q8-1. <入れ歯のある方> 噛み合わせは良いですか。 (は1つ)



入れ歯をしている1,207人のうち、4分の3以上の方が「噛み合わせはよい」と答えている。特に第3地区では「よい」の割合が最も高く、79.4%となっている。

(10) 入れ歯の手入れ

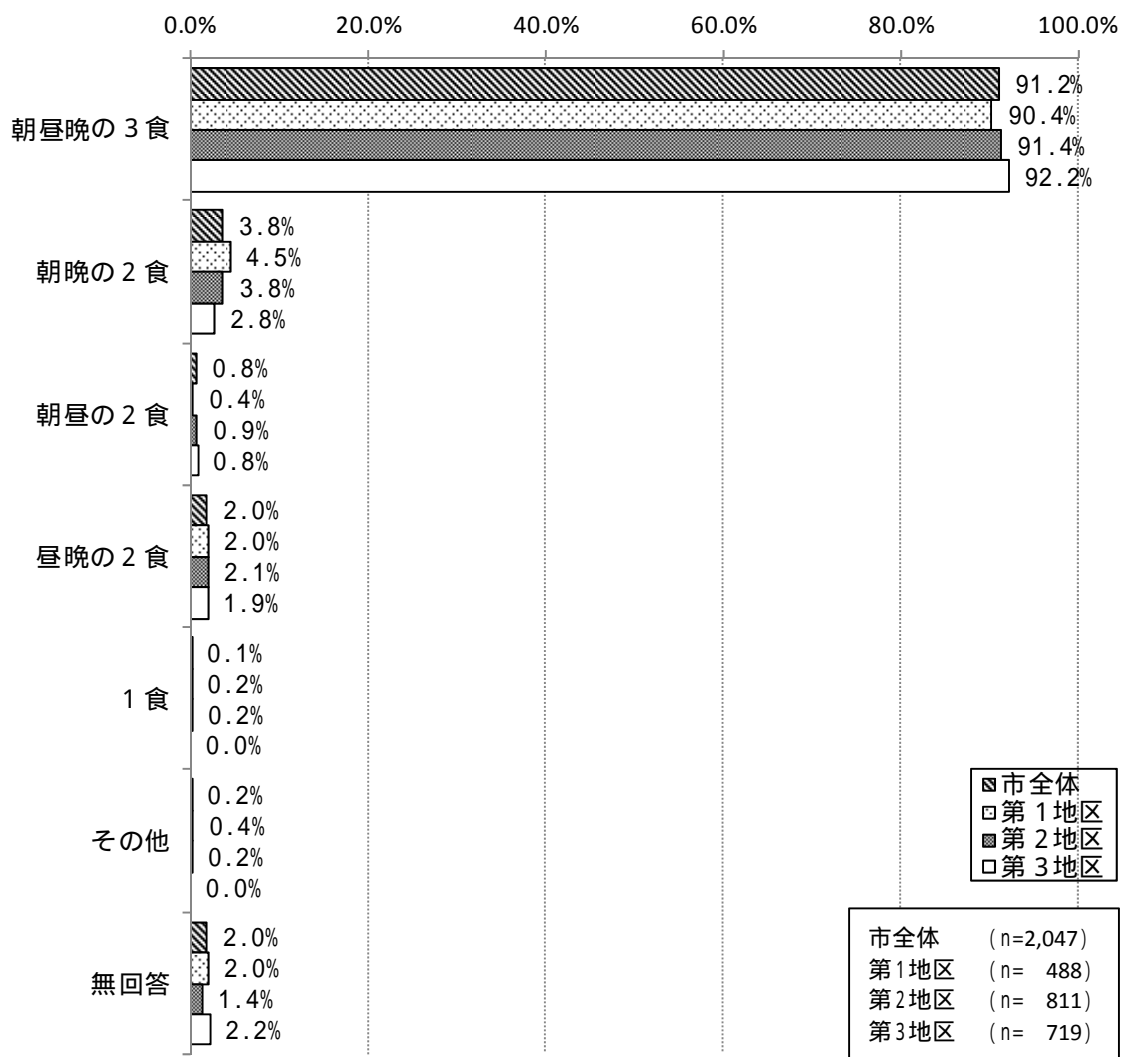
Q8-2. <入れ歯のある方> 毎日入れ歯の正しい手入れをしていますか。 (は1つ)



同じく入れ歯をしている1,207人のうち、全体で8割以上が「毎日入れ歯の正しい手入れ」を行っている。手入れをしている人の割合が最も高いのは第3地区で、89.5%となっている。

(11) 食事の回数

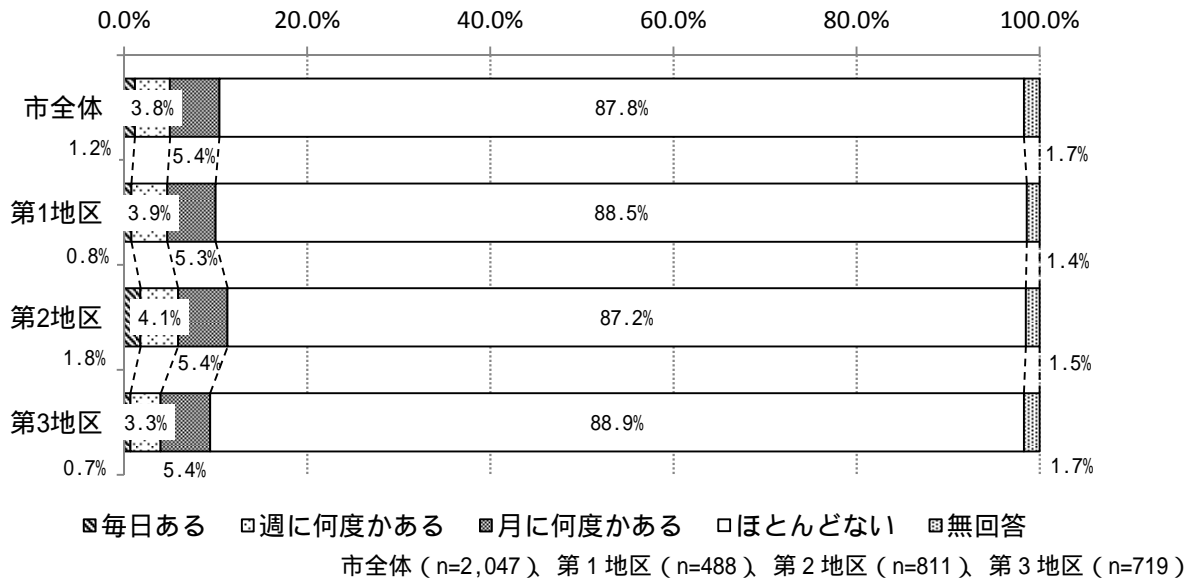
Q9. 1日の食事の回数は何回ですか。 (は1つ)



1日の食事の回数については、9割以上が朝昼晩の3食をきちんと摂っている。

(12) 食事を抜くこと

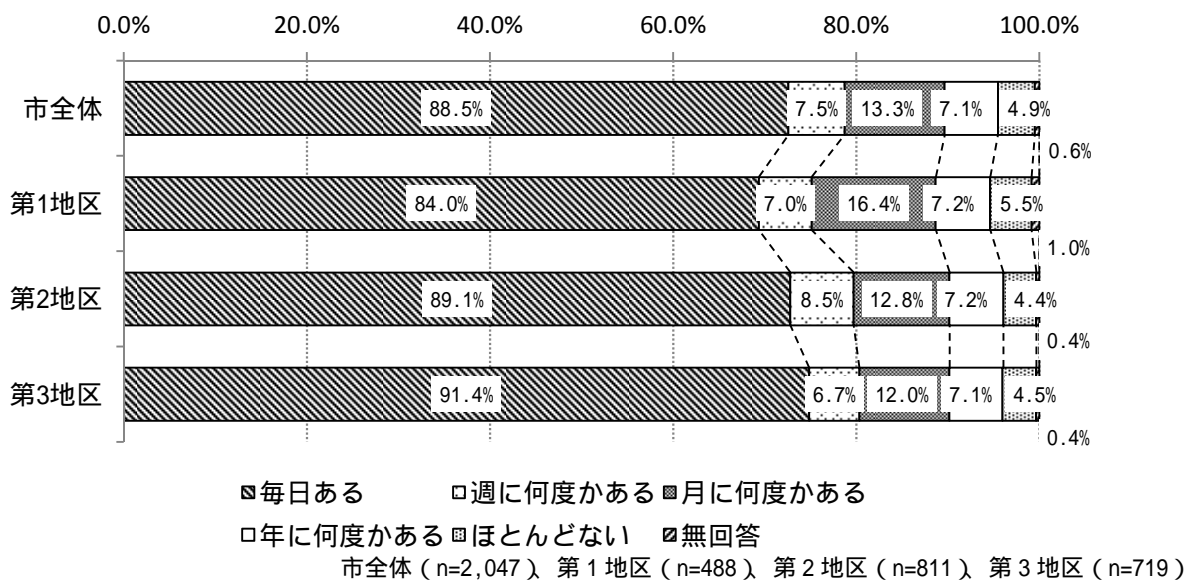
Q10. 食事を抜くことがありますか。(は1つ)



「食事を毎日抜くことがある」人は1割弱である。地域による差はほとんど見られない。

(13) 誰かと食事をする機会

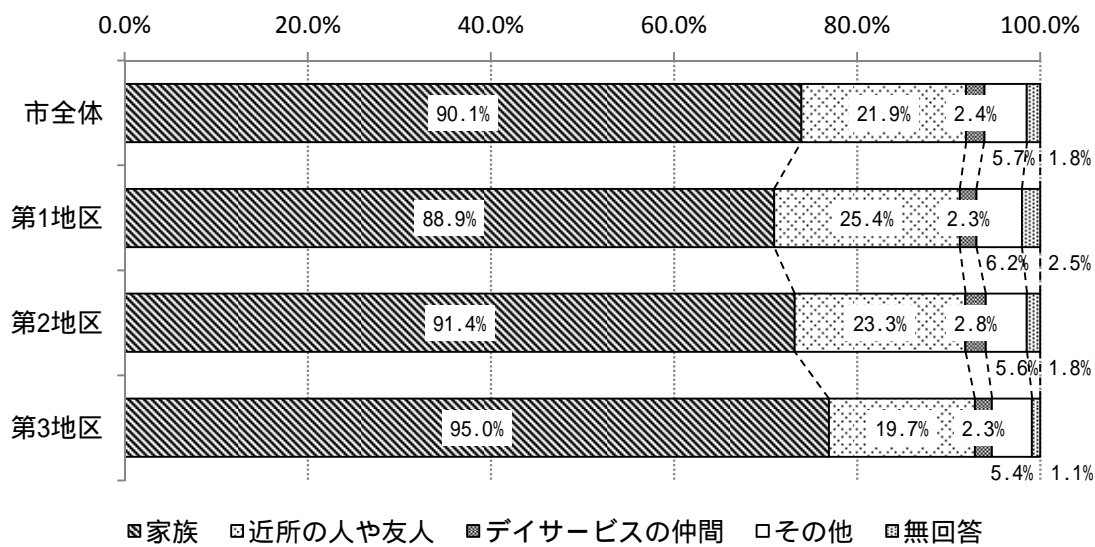
Q11. 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか。(あてはまるものすべてに)



誰かと毎日食事をとっている人が市全体で 88.5%、第1地区が 84.0%、第2地区が 89.1%、第3地区が 91.4%となっている。

(14) 食事をともしる人

Q11-1. (どなたかと食事をともしる機会がある方のみ) 食事をともしる人はどなたですか。
(あてはまるものすべてに)



市全体 (n=2,009)、第1地区 (n=476)、第2地区 (n=798)、第3地区 (n=707)

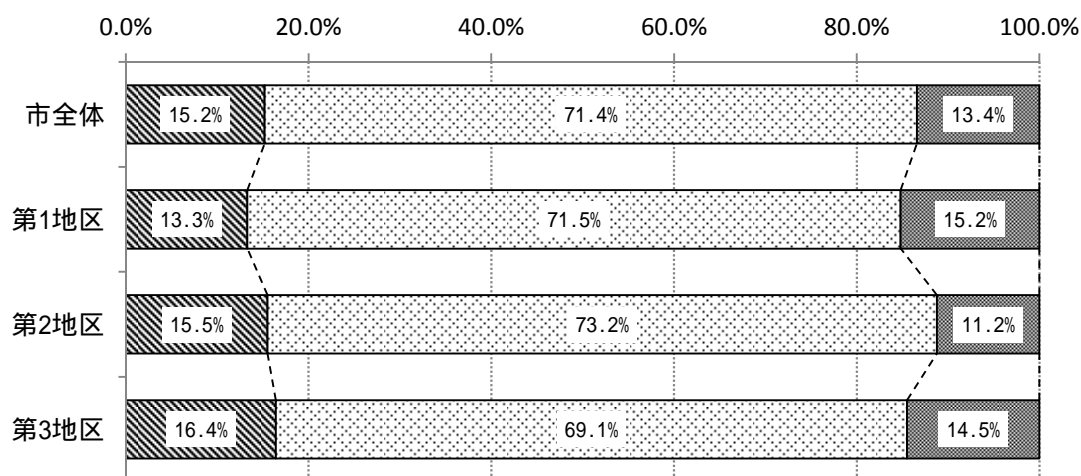
誰かと一緒に食事をする機会があると答えた 2,009 人のうち、食事の相手は「家族」と答えた人が市全体で 90.1%、第1地区が 88.9%、第2地区が 91.4%、第3地区が 95.0% となっている。

また、家族以外の食事の相手としては、第1地区で 25.4%、第2地区で 23.3%、第3地区で 19.7% が「近所の人や友人」と答えている。

問5 物忘れについて

(1) 物忘れ

Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。 (は1つ)



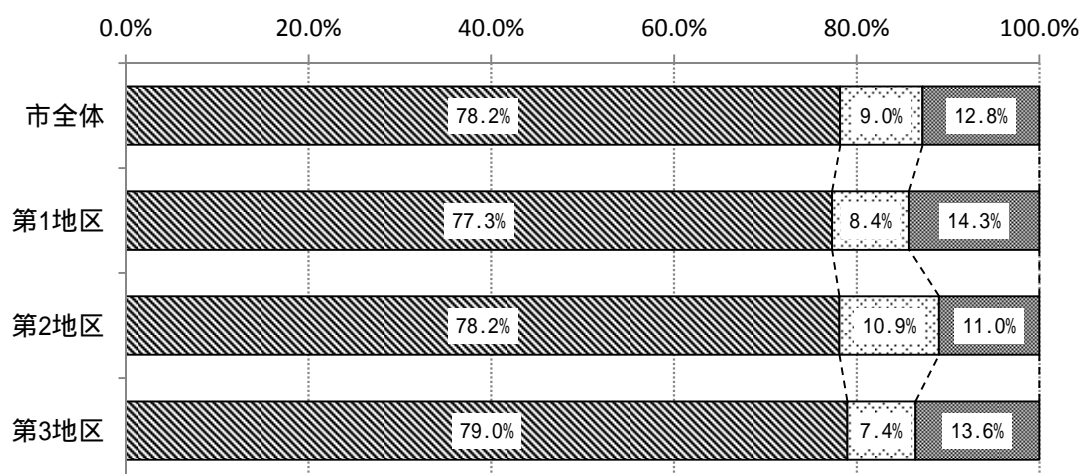
■はい □いいえ ■無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

周りの人から「物忘れがある」といわれる人は市全体で15.2%である。第1地区が13.3%、第2地区が15.5%、第3地区が16.4%の順で多くなっている。

(2) 電話の利用の可否

Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。 (は1つ)



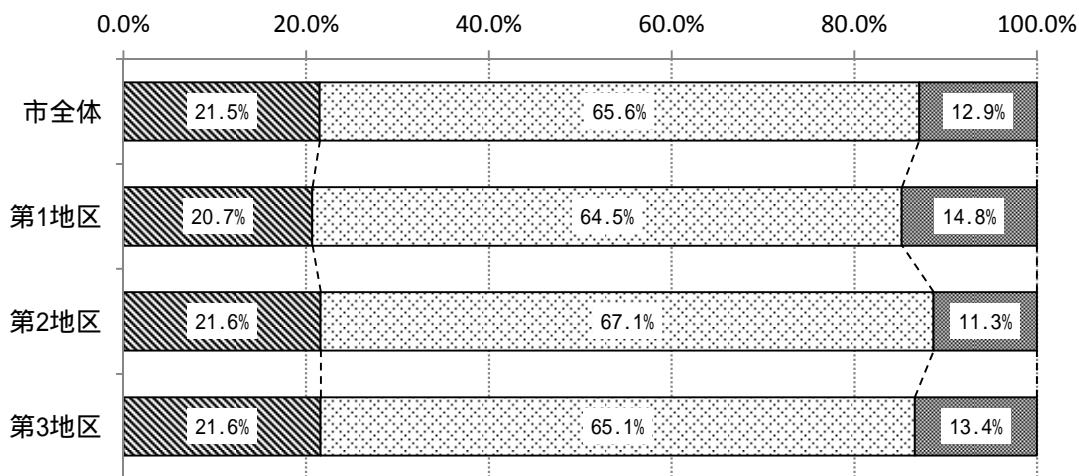
■はい □いいえ ■無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

自分で電話をかけることについては「自分で電話番号を調べて電話をかける人」は市全体で78.2%、第1地区が77.3%、第2地区が78.2%、第3地区が79.0%となっている。

(3) 日にちの理解

Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか。(は1つ)

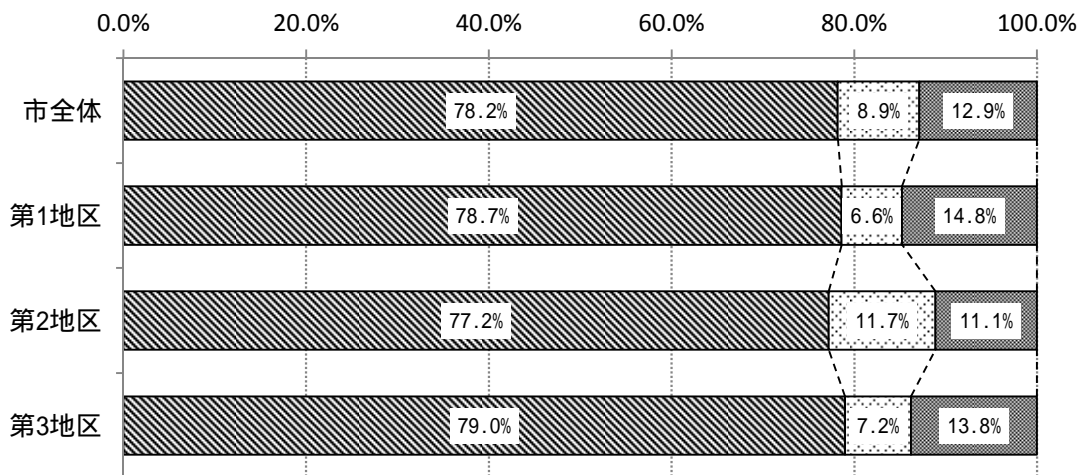


■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

今日の日付の認識については「今日が何月何日かわからない時がある人」は市全体で21.5%、第1地区が20.7%、第2地区が21.6%、第3地区が21.6%となっている。

(4) 5分前の記憶

Q4. 5分前のことが思い出せますか。(は1つ)

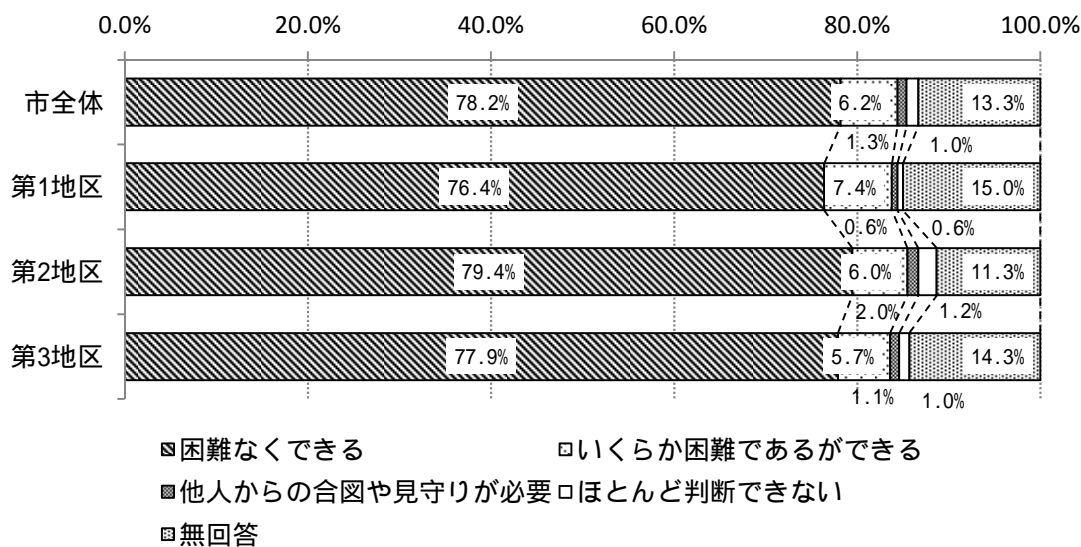


■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

5分前の記憶については「5分前のことが思い出せないことがある人」人は市全体で8.9%、第1地区が6.6%、第2地区が11.7%、第3地区が7.2%となっている。

(5) 活動の判断

Q5. その時の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。（は1つ）

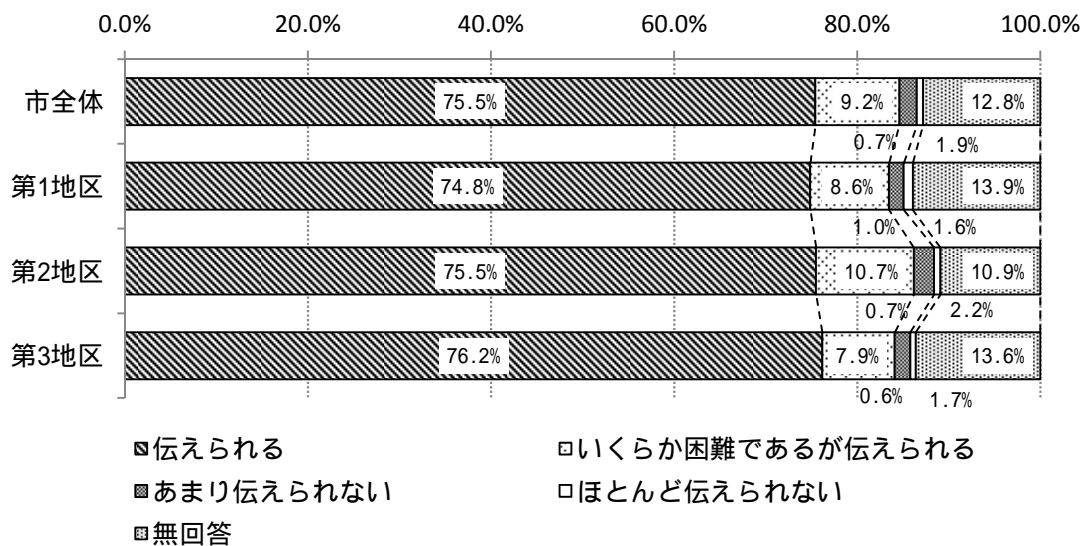


市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

活動の判断については、食事をする、衣服を選ぶなどの状況を「自分で困難なく判断できる」人は、市全体で78.2%、第1地区が76.4%、第2地区が79.4%、第3地区が77.9%となっている。

(6) 考えの伝達

Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか。（は1つ）



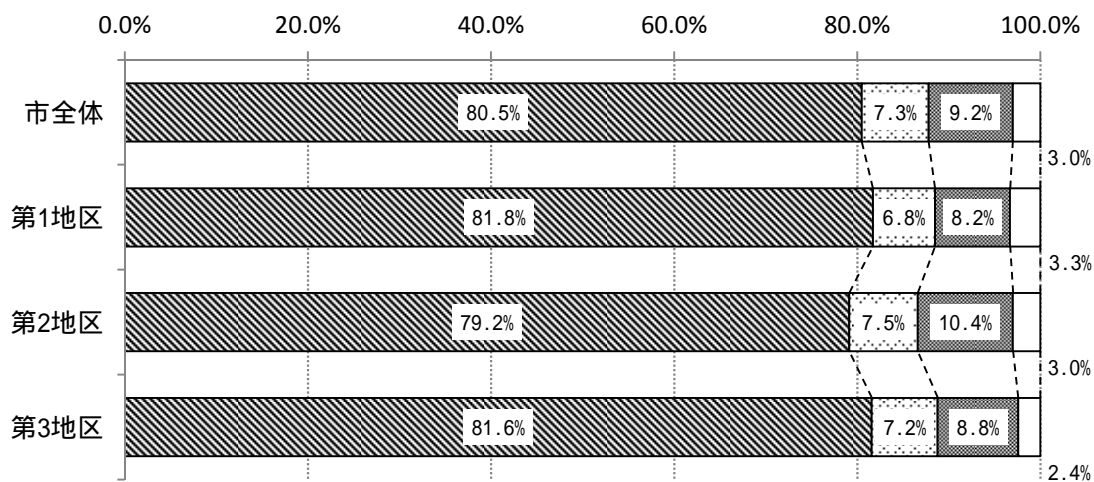
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

考えの伝達については、「伝えられる」と「いくらか困難であるが伝えられる」を合計した割合は、市全体で84.7%、第1地区が83.4%、第2地区が86.2%、第3地区が84.1%となっている。

問6 日常生活について

(1) 外出

Q1. バスや電車で、一人で外出していますか（自家用車でも可）（は1つ）



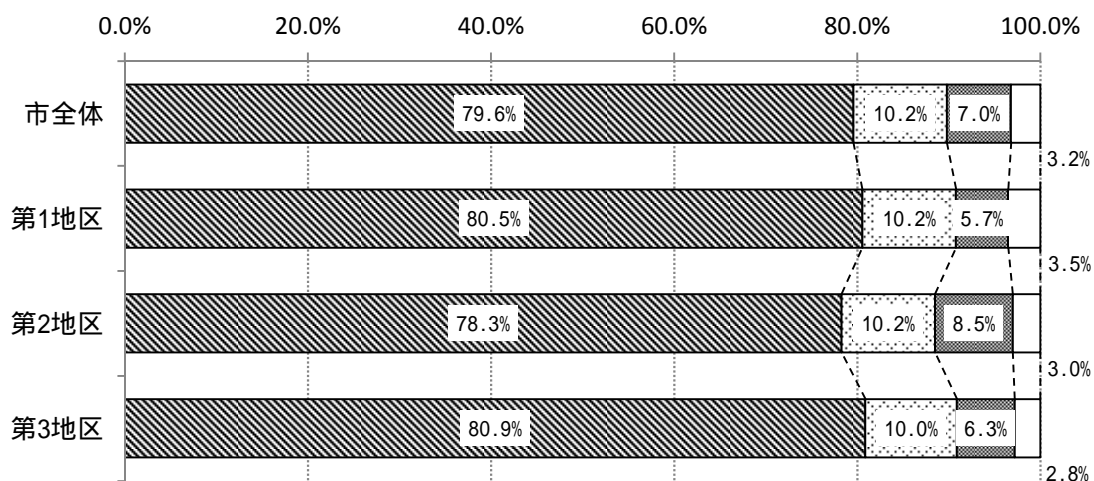
■できるし、している □できるけどしていない ▨できない □無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

一人での外出については、自分一人でバスや電車、自家用車に乗って「外出できない人」は、市全体で9.2%、第1地区が8.2%、第2地区が10.4%、第3地区が8.8%となっている。

(2) 買い物の可否

Q2. 日用品の買物をしていますか。（は1つ）



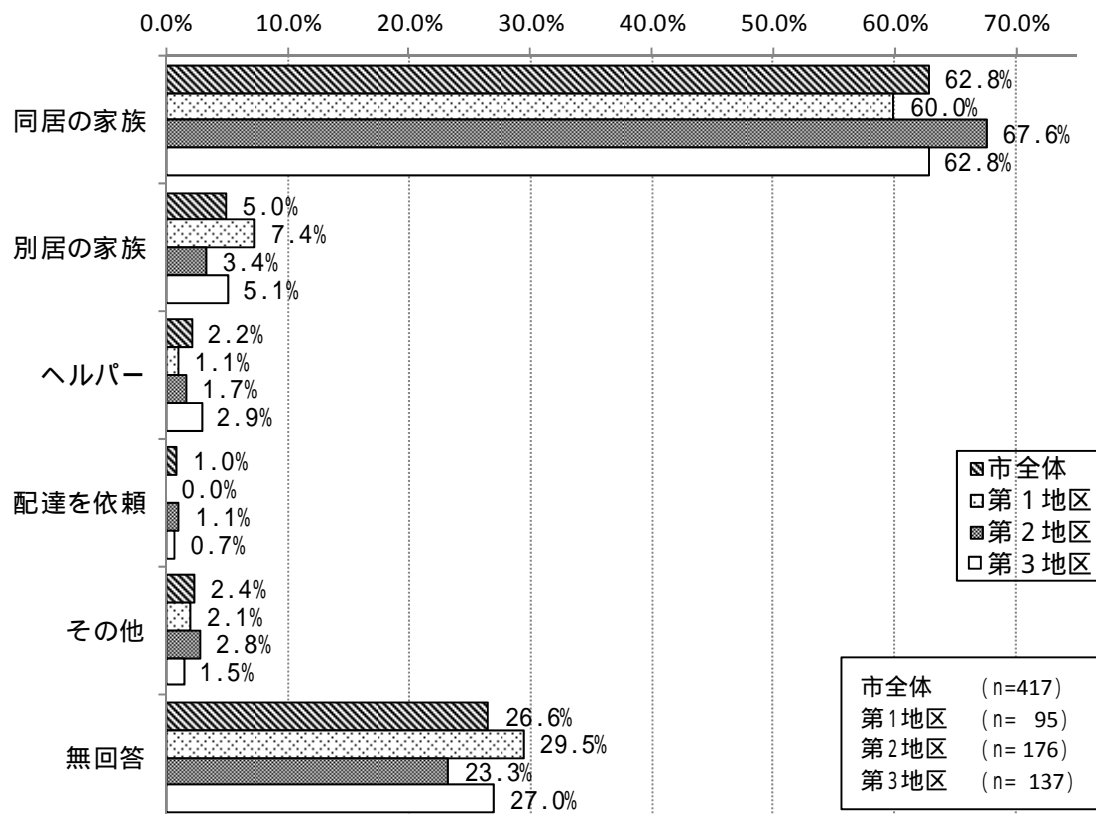
■できるし、している □できるけどしていない ▨できない □無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

日用品の買い物については「できない人」は、市全体で7.0%、第1地区が5.7%、第2地区が8.5%、第3地区が6.3%となっている。

(3) 買い物をする人

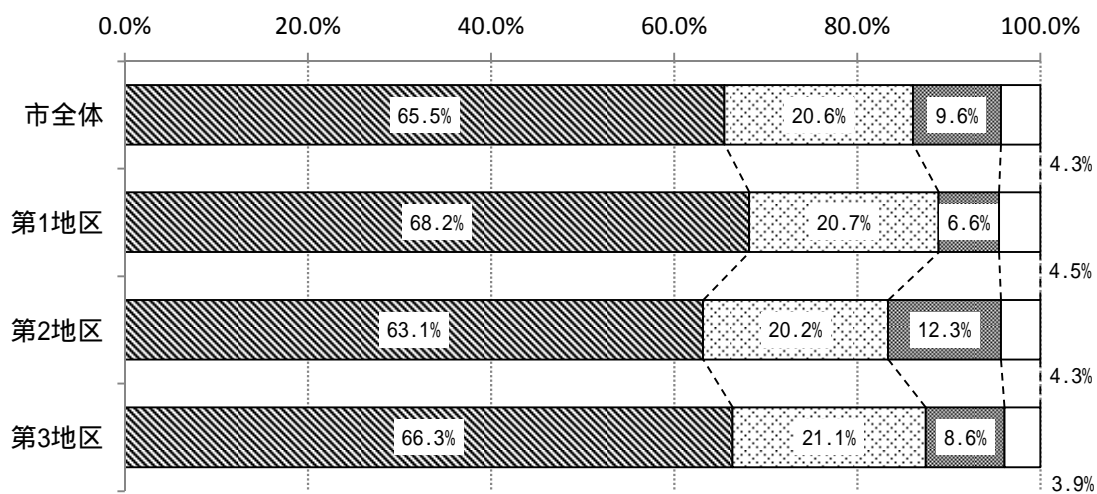
Q2-1. (日用品の買物をしていない、できない方のみ) 日用品の買物をする人は主にどなたですか。(は1つ)



日用品の買い物が、「できるけどしていない」または「できない」と答えた417人に、買い物をするのは誰かとたずねたところ、「同居の家族」が最も多く、市全体で62.8%、第1地区が60.0%、第2地区が67.6%、第3地区が62.8%となっている。

(4) 食事の用意

Q3. 自分で食事の用意をしていますか。 (は1つ)

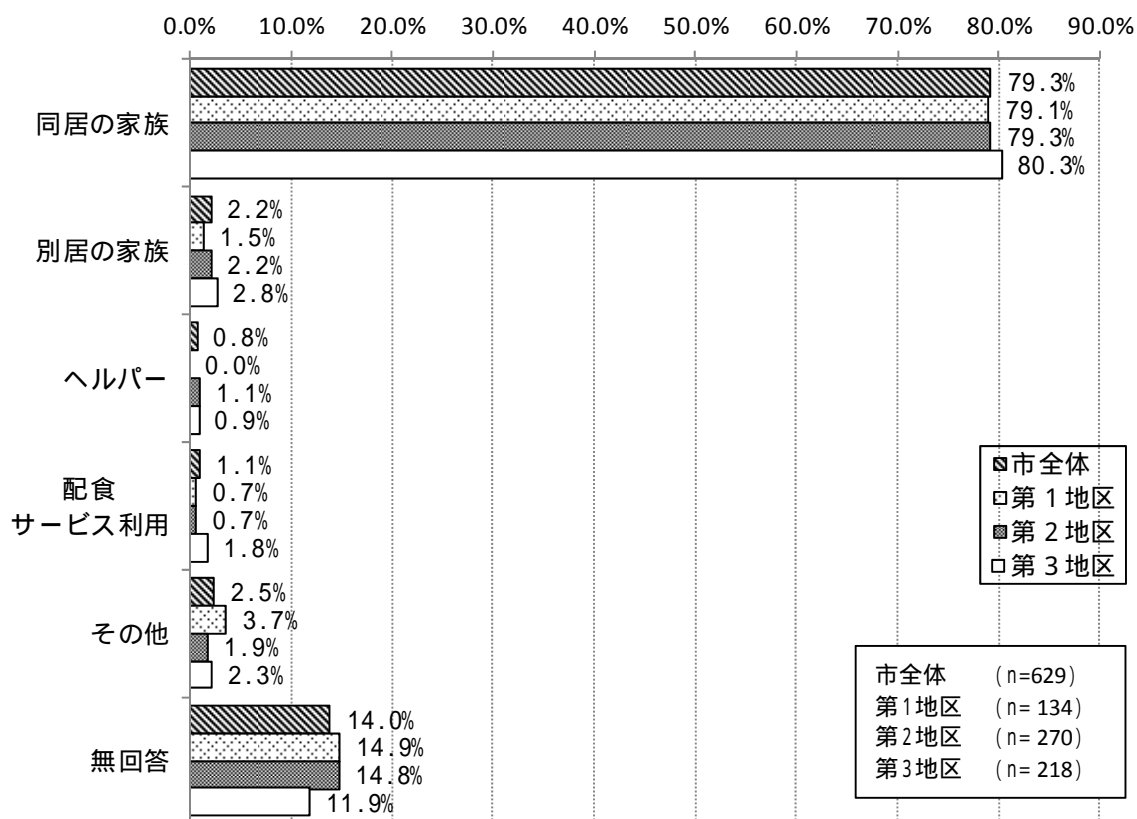


できるし、している
 できるけどしていない
 できない
 無回答
 市全体 (n=2,047)、第1地区 (n=488)、第2地区 (n=811)、第3地区 (n=719)

食事の用意については「できるし、している人」は、市全体で65.5%、第1地区が68.2%、第2地区が63.1%、第3地区が66.3%となっている。

(5) 食事を用意する人

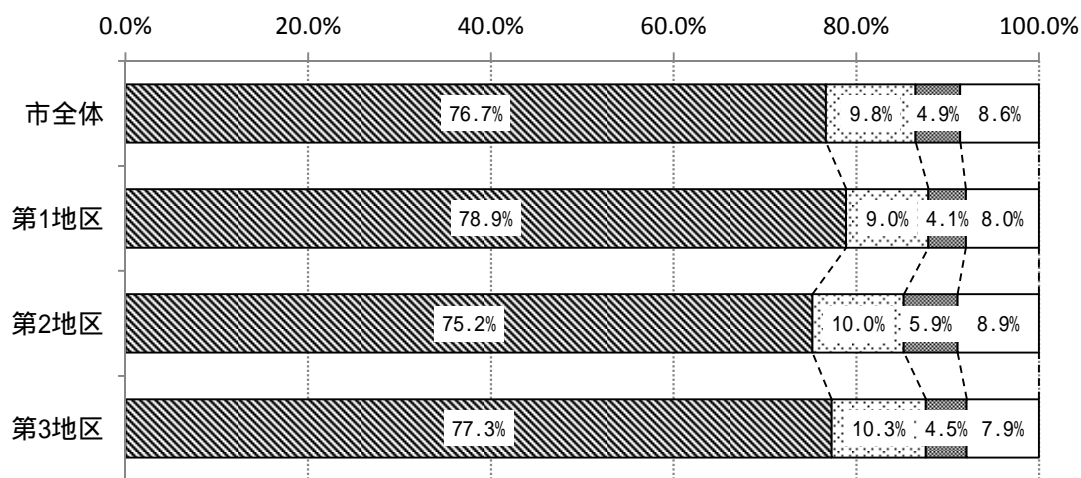
Q3-1. (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ) 食事の用意をする人は主にどなたですか。(は1つ)



食事の用意が「できるけどしていない」または「できない」と答えた 629 人のうち、食事の用意は「同居の家族」がする人が最も多く、市全体で 79.3%、第1地区が 79.1%、第2地区が 79.3%、第3地区が 80.3%となっている。

(6) 請求書の支払い

Q4. 請求書の支払いをしていますか。(は1つ)



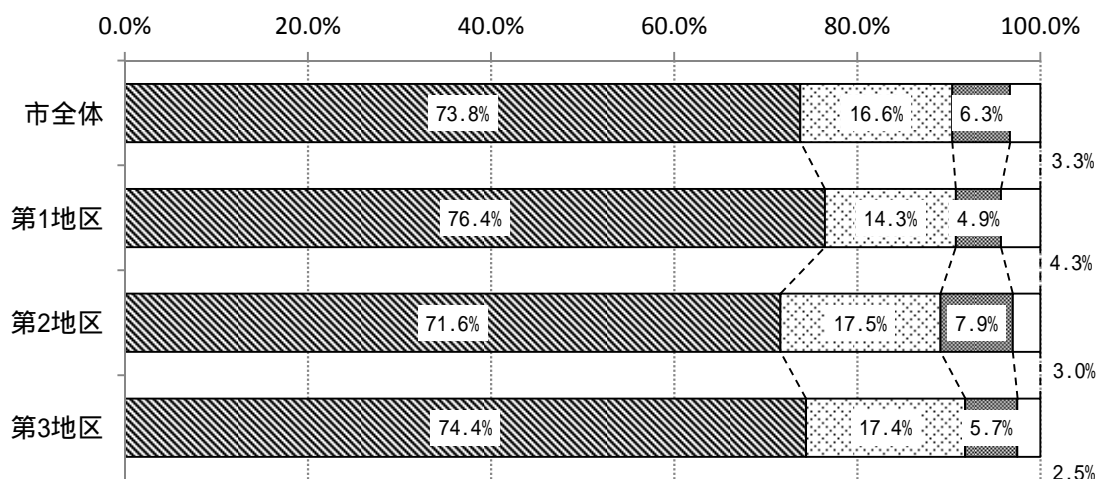
■できるし、している □できるけどしていない ▨できない □無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

請求書の支払いについては「できない」人が市全体で4.9%、第1地区が4.1%、第2地区が5.9%、第3地区が4.5%となっている。

(7) 預貯金の出し入れ

Q5. 預貯金の出し入れをしていますか。(は1つ)



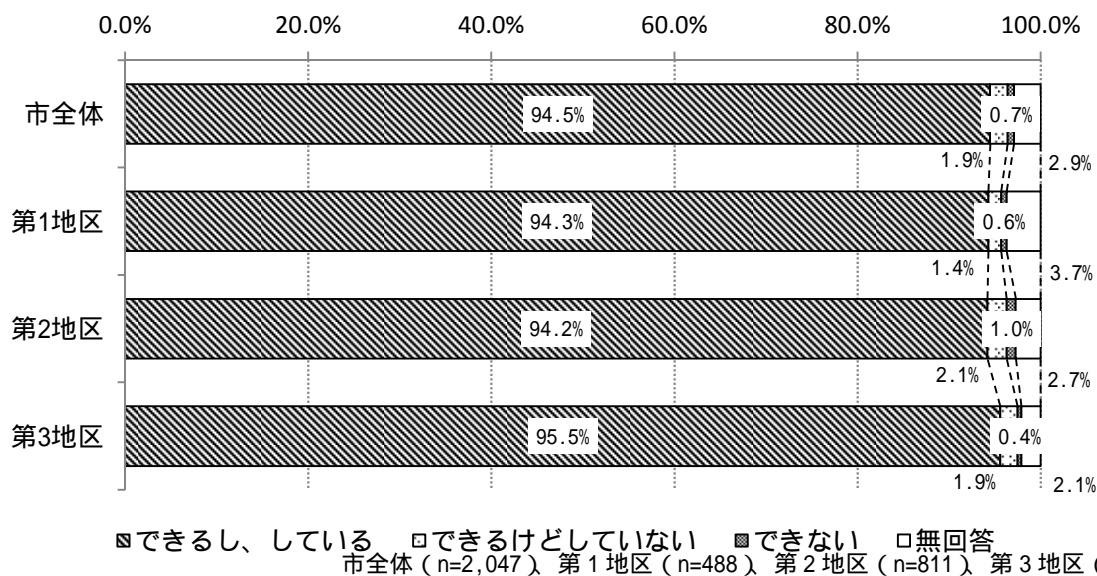
■できるし、している □できるけどしていない ▨できない □無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

預貯金の出し入れについては「できない」人が市全体で6.3%、第1地区が4.9%、第2地区が7.9%、第3地区が5.7%となっている。

(8) 食事

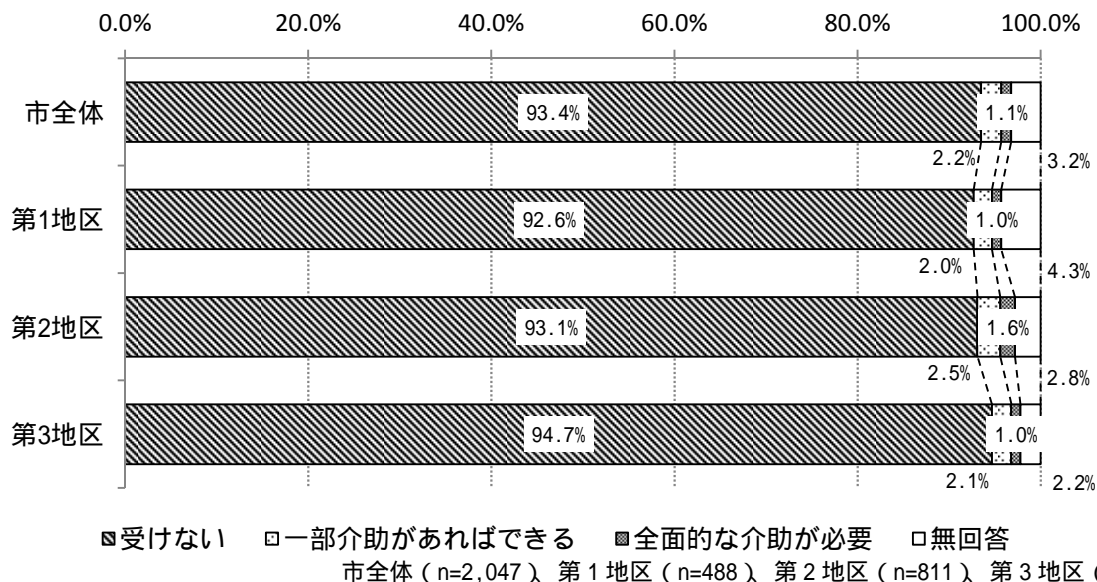
Q6. 食事は自分で食べられますか。(は1つ)



食事については「自分で食べることができる人」が市全体で94.5%、第1地区が94.3%、第2地区が94.2%、第3地区が95.5%となっている。

(9) 就寝時の介助

Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けていますか。(は1つ)

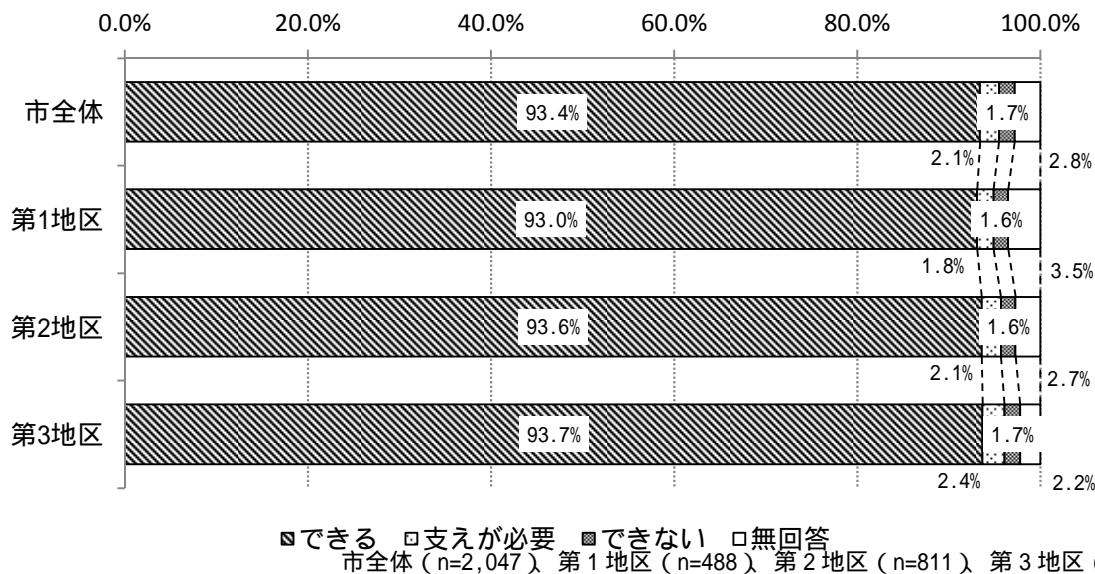


寝床に入るときに「介助を受けない人」は、市全体で93.4%、第1地区が92.6%、第2地区が93.1%、第3地区が94.7%となっている。

一方、全ての地区で「全面的な介助が必要な人」が約1%いる。

(10) 座ること

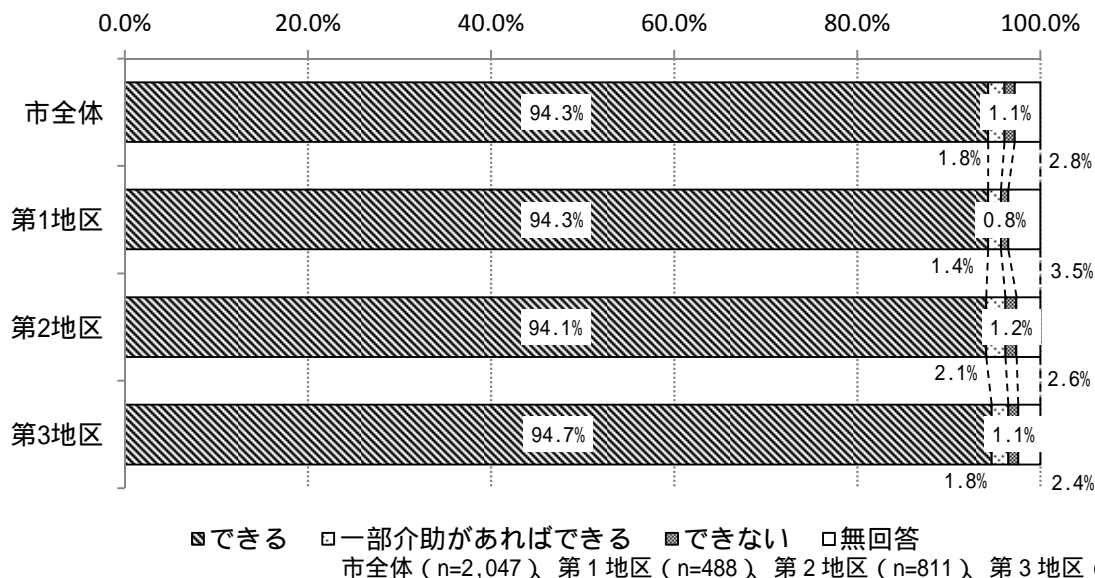
Q8. 座っていることができますか。 (は1つ)



座ることについては、「座っていることができる人」は市全体では 93.4%であり、地区別でも全ての地区で 93%台を示している。支えがあれば座っていることができる人を含めると 95%前後となる。

(11) 洗面・歯磨き

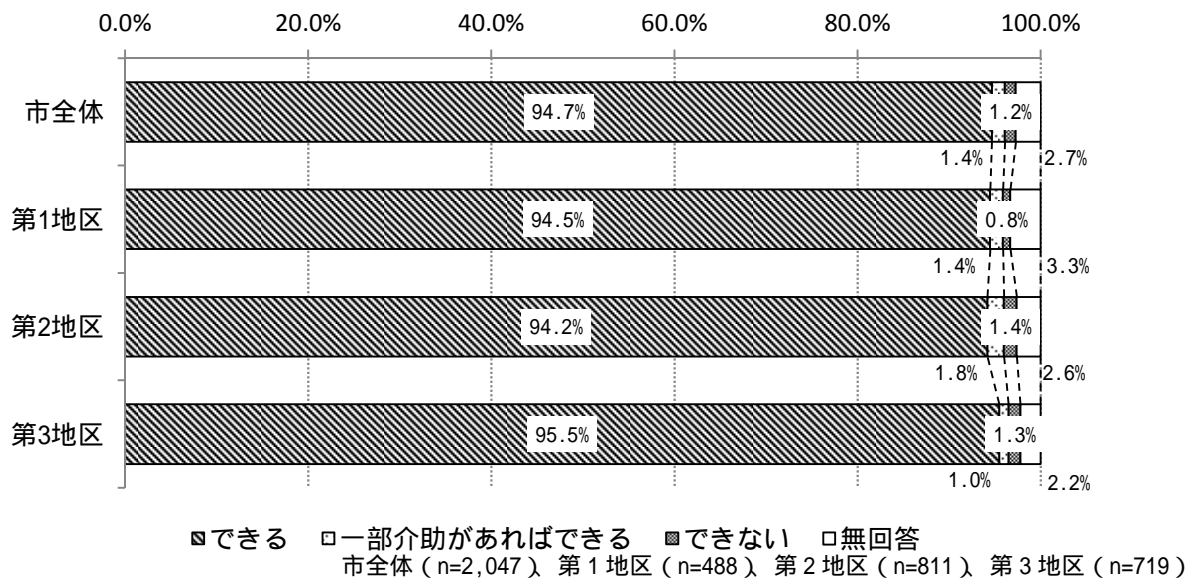
Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか。 (は1つ)



洗面・歯磨きについては、「できる人」は市全体では 94.3%であり、地区別でも全ての地区で 94%台を示している。一部介助があればできる人を含めると 95%以上となる。

(12) トイレの利用

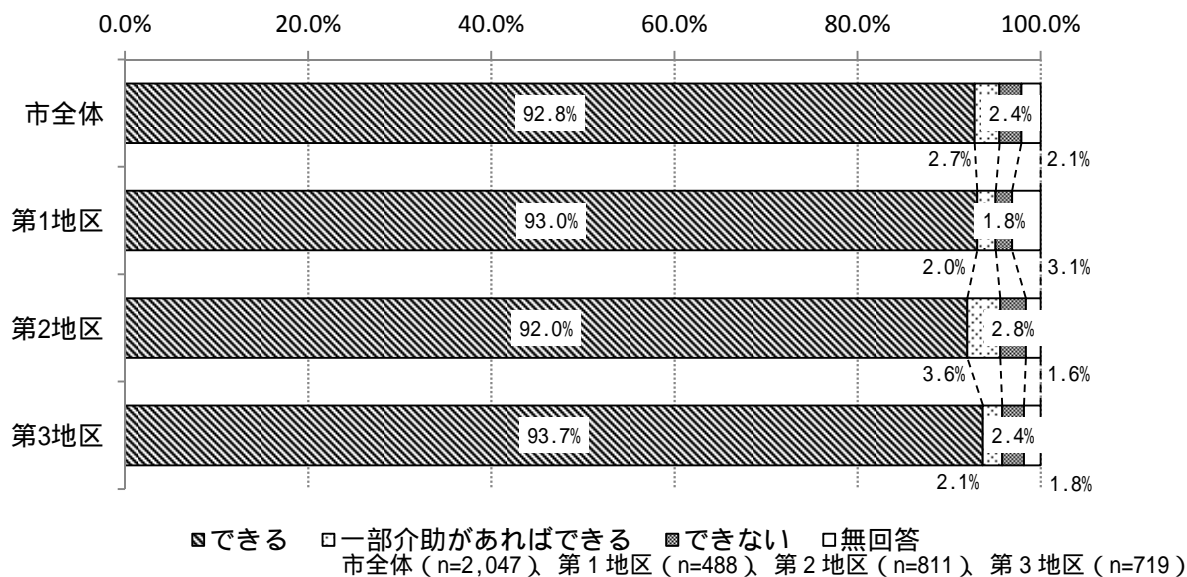
Q10. 自分でトイレの利用ができますか。(は1つ)



自分でトイレを利用できる人は市全体では94.7%である。地区別でも全ての地区で94%以上となっている。

(13) 入浴

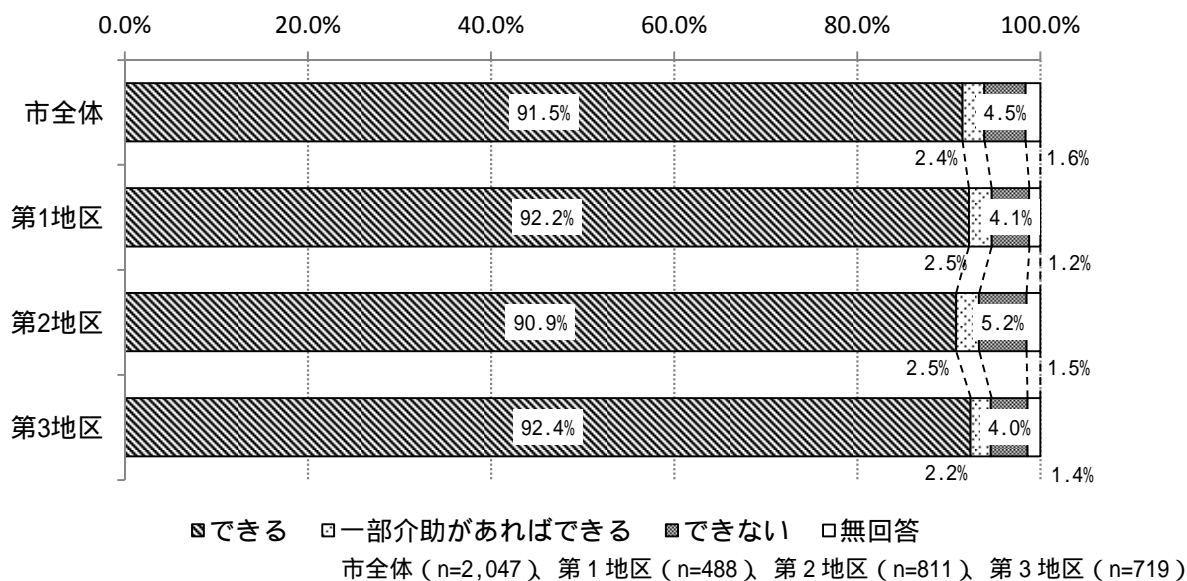
Q11. 自分で入浴ができますか。(は1つ)



入浴については、自分でできる人の割合は、市全体では92.8%である。地区別では第1地区が93.0%、第2地区が92.0%、第3地区が93.7%となっている。

(14) 歩行

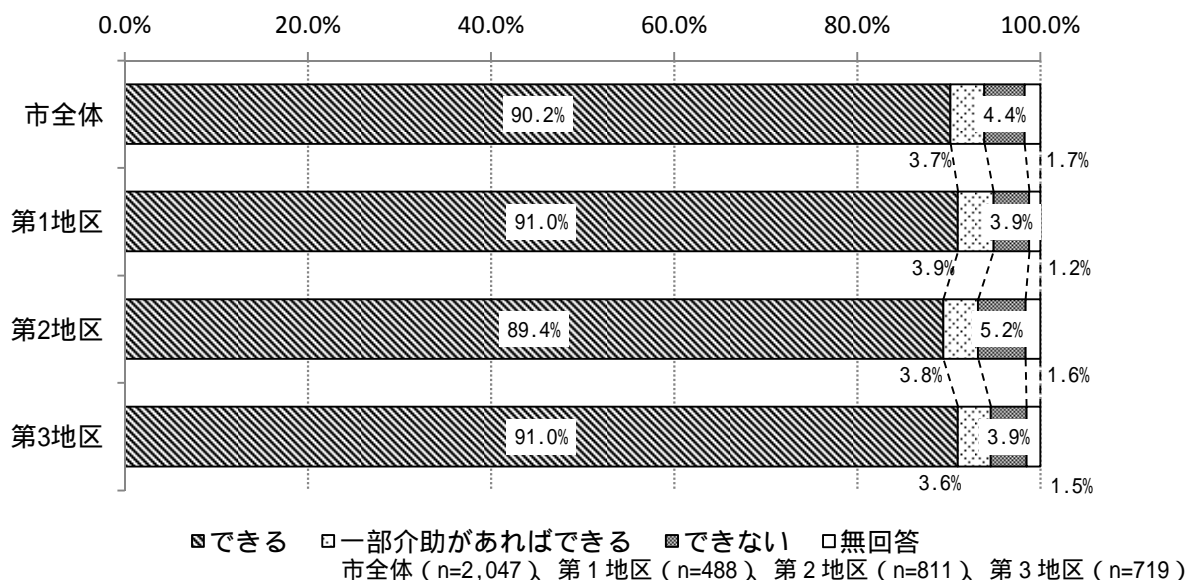
Q12. 50m以上歩けますか。(は1つ)



歩行については、「50m以上歩ける人」は、市全体では91.5%である。
 地区別では第1地区が92.2%、第2地区が90.9%、第3地区が92.4%となっている。

(15) 階段の昇降

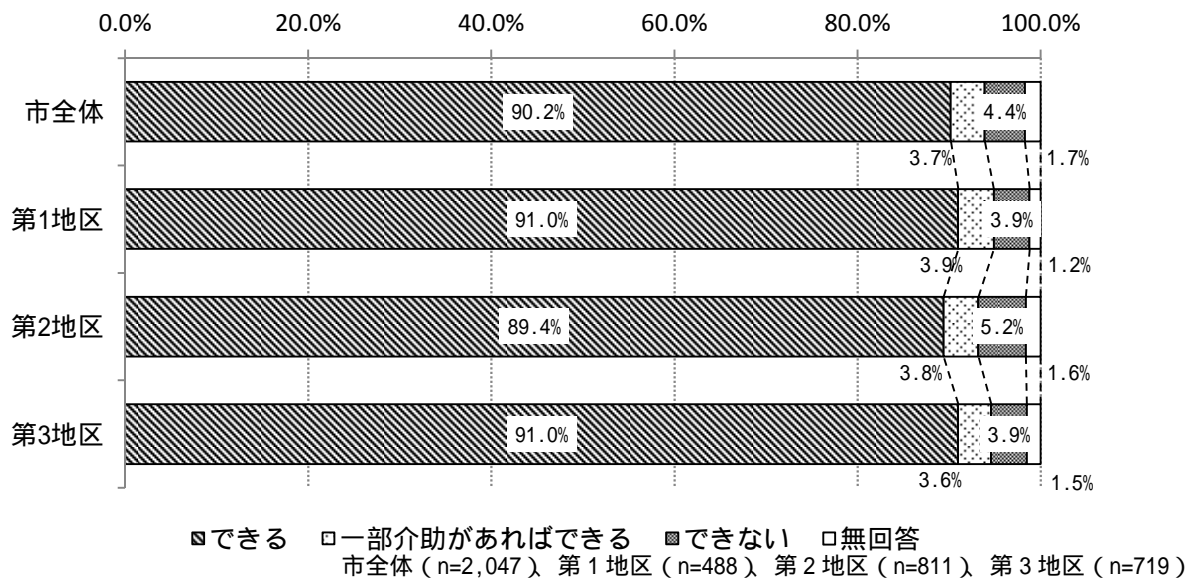
Q13. 階段を昇り降りできますか。(は1つ)



階段の昇降については、「できる人」は、市全体では90.2%である。
 「介助があればできる」を合計すると、第1地区が94.9%、第2地区が93.2%、第3地区が94.6%となっている。

(16) 着替え

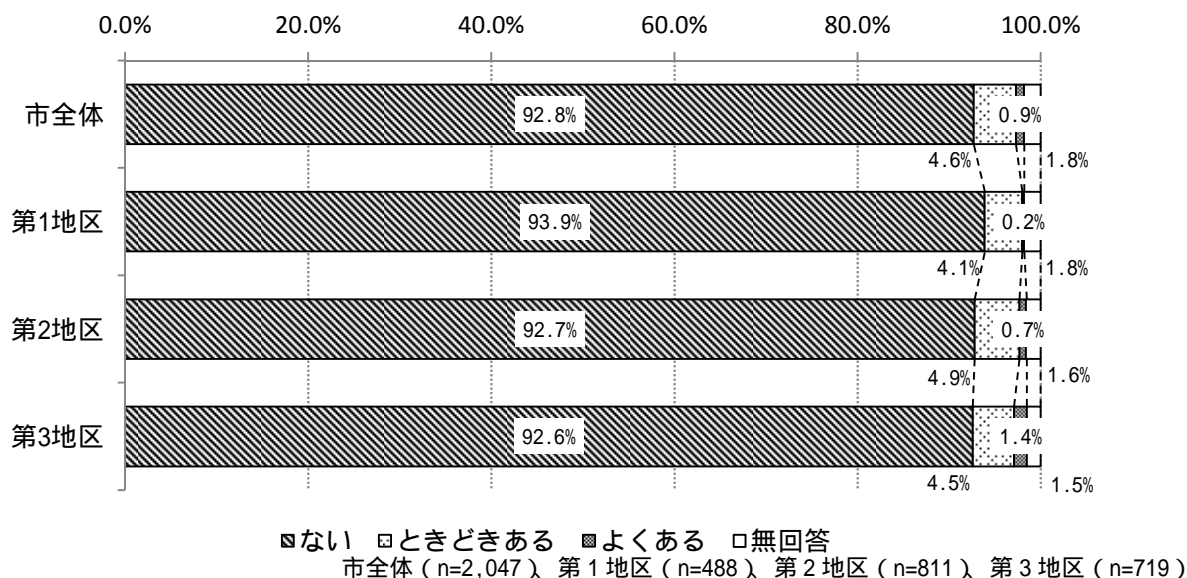
Q14. 自分で着替えができますか。 (は1つ)



着替えについては、「自分でできる人」は、市全体では90.2%である。地区別では第1地区が91.0%、第2地区が89.4%、第3地区が91.0%となっている。

(17) 大便

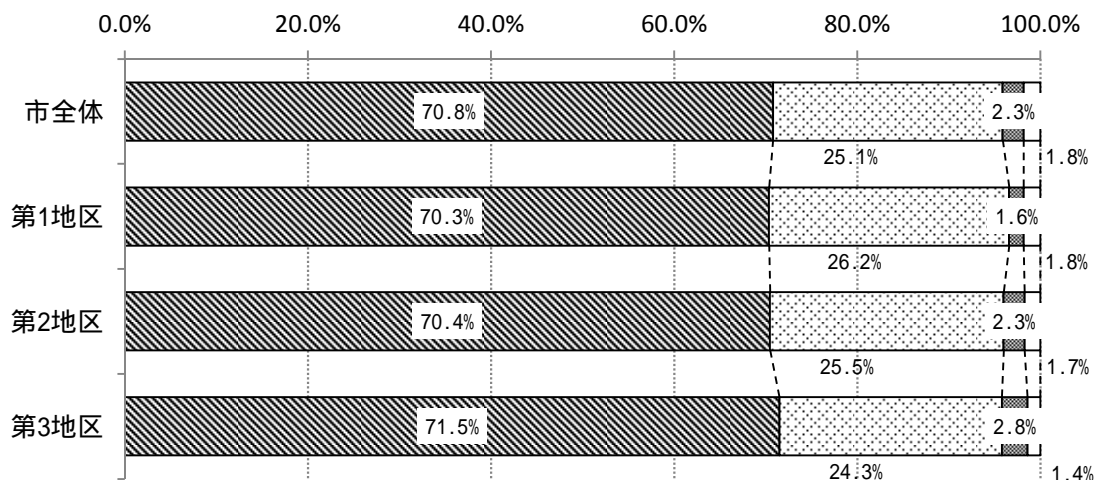
Q15. 大便の失敗がありますか。 (は1つ)



大便については、失敗することが「ときどきある」と「よくある」を合計すると、市全体では5.5%、地区別では第1地区が4.3%、第2地区が5.6%、第3地区が5.9%となっている。

(18) 尿もれ・尿失禁

Q16. 尿もれや尿失禁がありますか。(は1つ)



■ない □ときどきある ■よくある □無回答

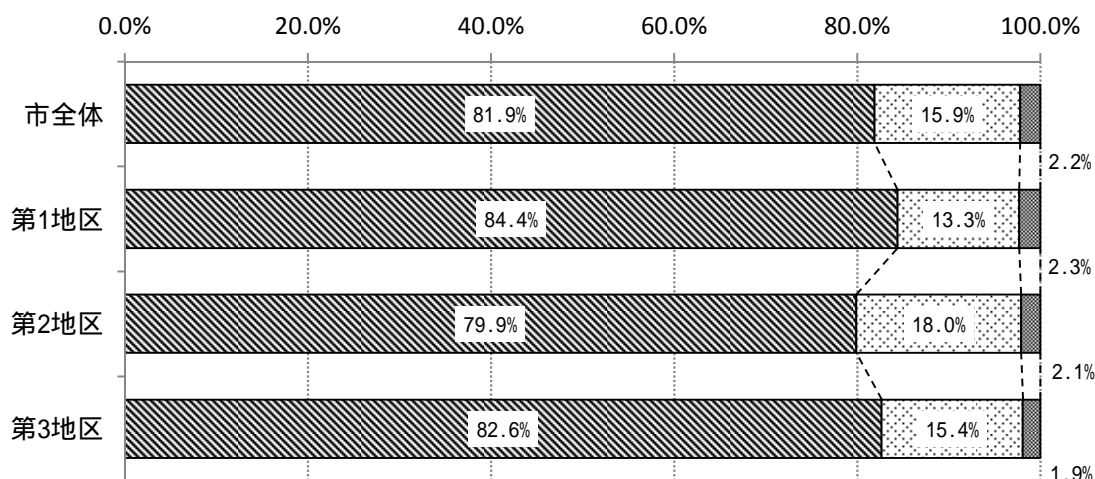
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

尿もれ・尿失禁については、「ときどきある」と「よくある」を合計すると、市全体では27.4%、地区別では第1地区と第2地区がどちらも27.8%、第3地区が27.1%となっている。

4人に1人以上が尿もれの経験があることがわかる。

(19) 家事全般

Q17. 家事全般ができていますか。(は1つ)



■できている □できていない ■無回答

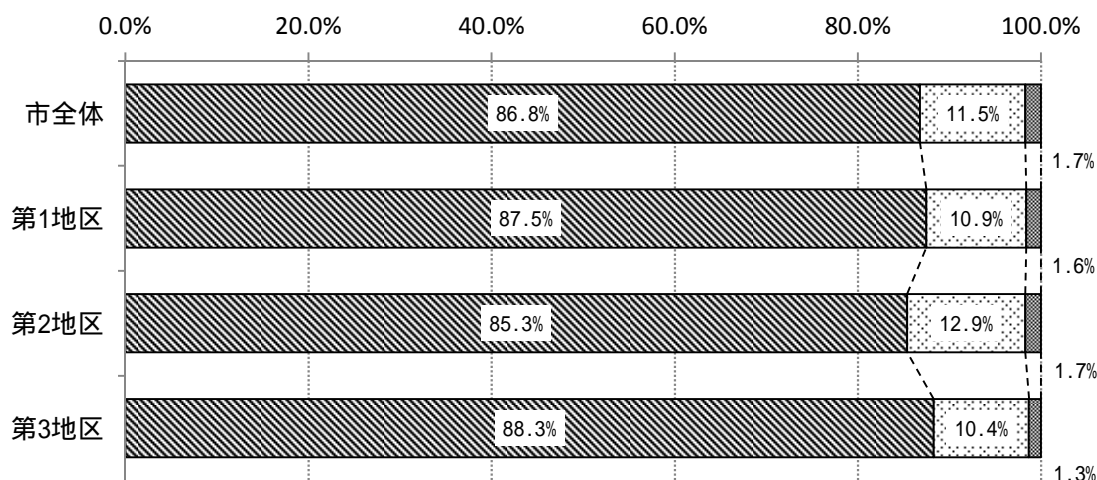
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

家事全般については、「できている人」が、市全体で81.9%、地区別では第1地区が84.4%、第2地区が79.9%、第3地区が82.6%となっている。

問7 社会参加について

(1) 書類書き

Q1. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（は1つ）



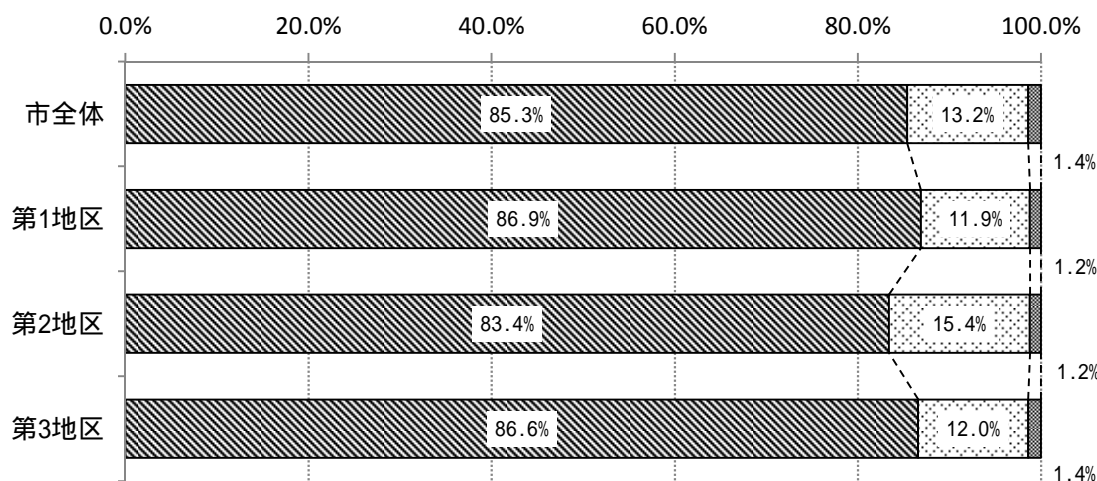
■はい □いいえ ■無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

役所や病院などに出す書類が書けるかについては、「できる人」が、市全体で86.8%、地区別では第1地区が87.5%、第2地区が85.3%、第3地区が88.3%となっている。

(2) 新聞

Q2. 新聞を読んでいますか。（は1つ）



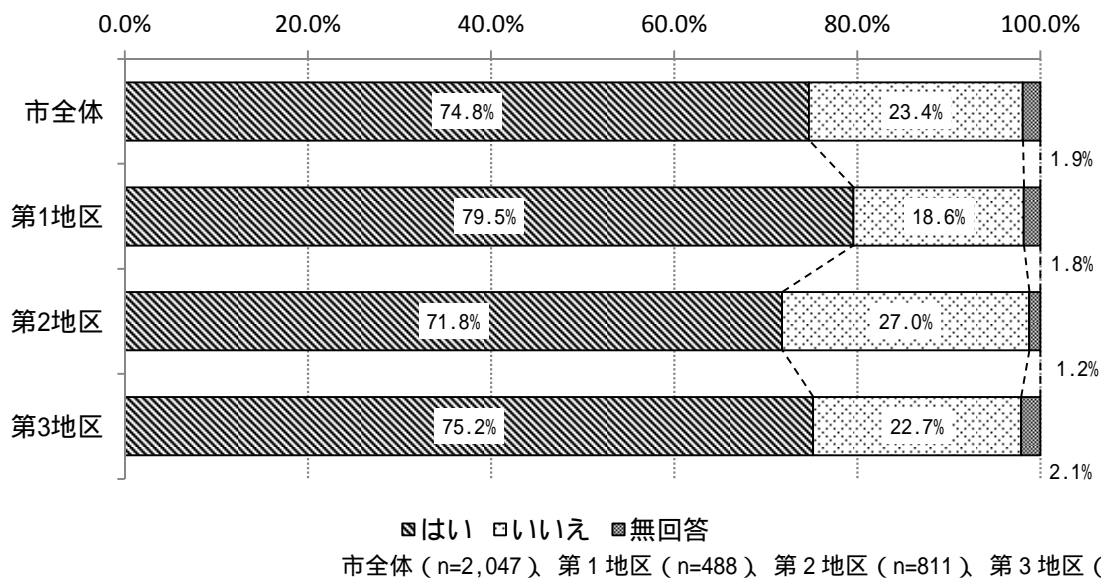
■はい □いいえ ■無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

新聞については、「読んでいる人」が、市全体で85.3%、地区別では第1地区が86.9%、第2地区が83.4%、第3地区が86.6%となっている。

(3) 本・雑誌

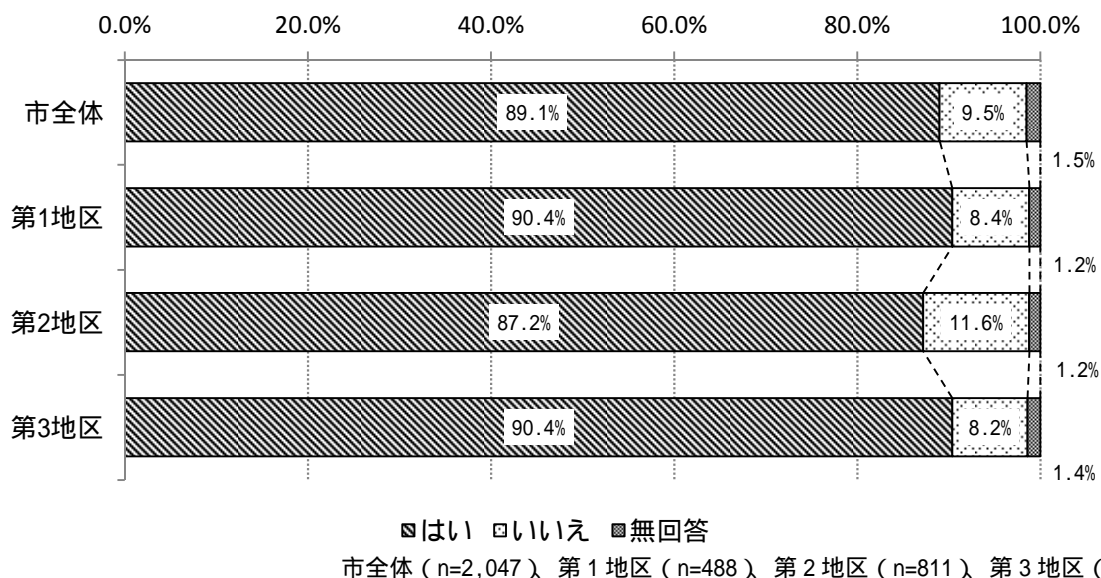
Q3. 本や雑誌を読んでいますか。 (は1つ)



本や雑誌については、「読んでいる人」が、市全体で74.8%、地区別では第1地区が79.5%、第2地区が71.8%、第3地区が75.2%となっている。

(4) 健康についての関心

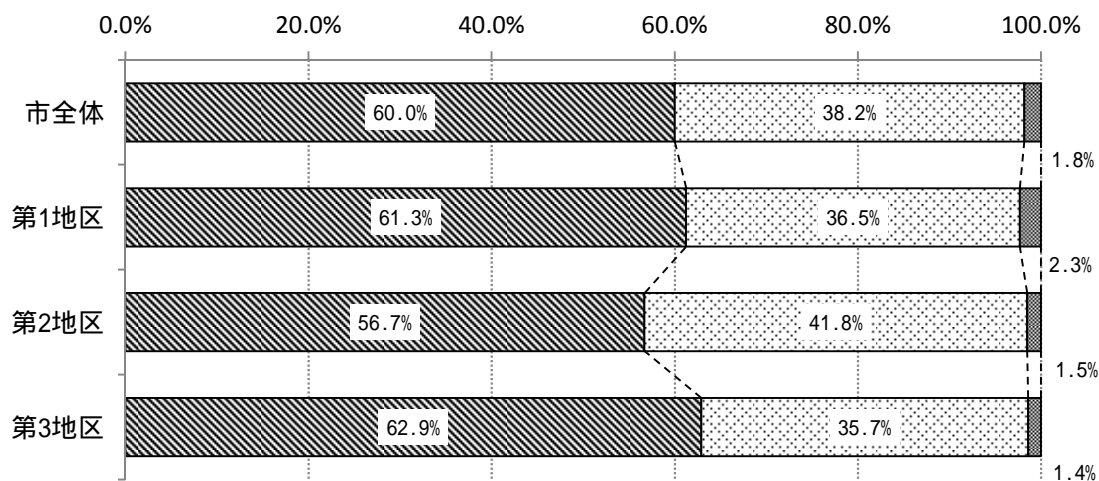
Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか。 (は1つ)



健康については、「健康についての記事や番組に関心がある人」が、市全体で89.1%、地区別では第1地区が90.4%、第2地区が87.2%、第3地区が90.4%となっている。

(5) 訪問

Q5. 友人の家を訪ねていますか。 (は1つ)

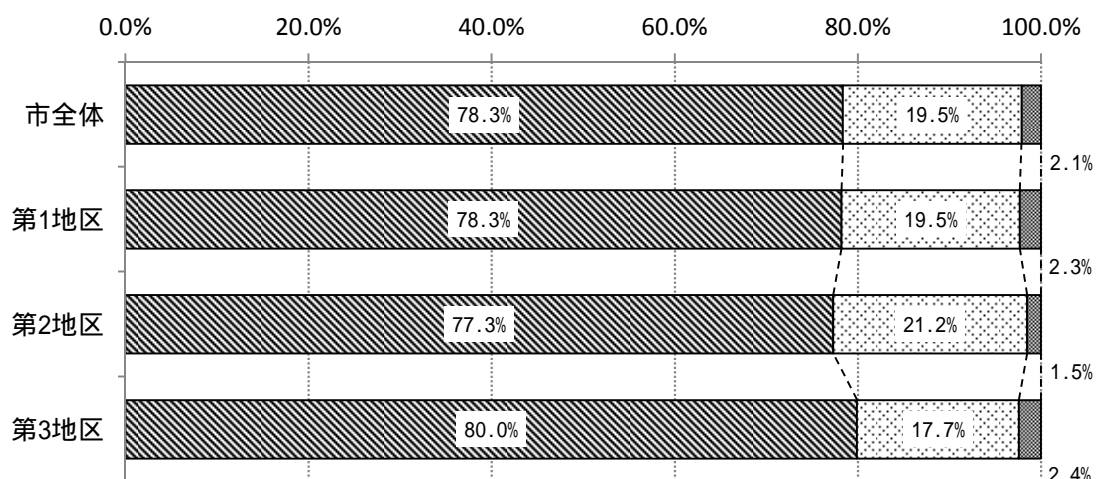


■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

訪問については、「友人の家を訪ねている人」が、市全体で 60.0%、地区別では第1地区が 61.3%、第2地区が 56.7%、第3地区が 62.9%となっている。

(6) 相談

Q6. 家族や友人の相談にのっていますか。 (は1つ)

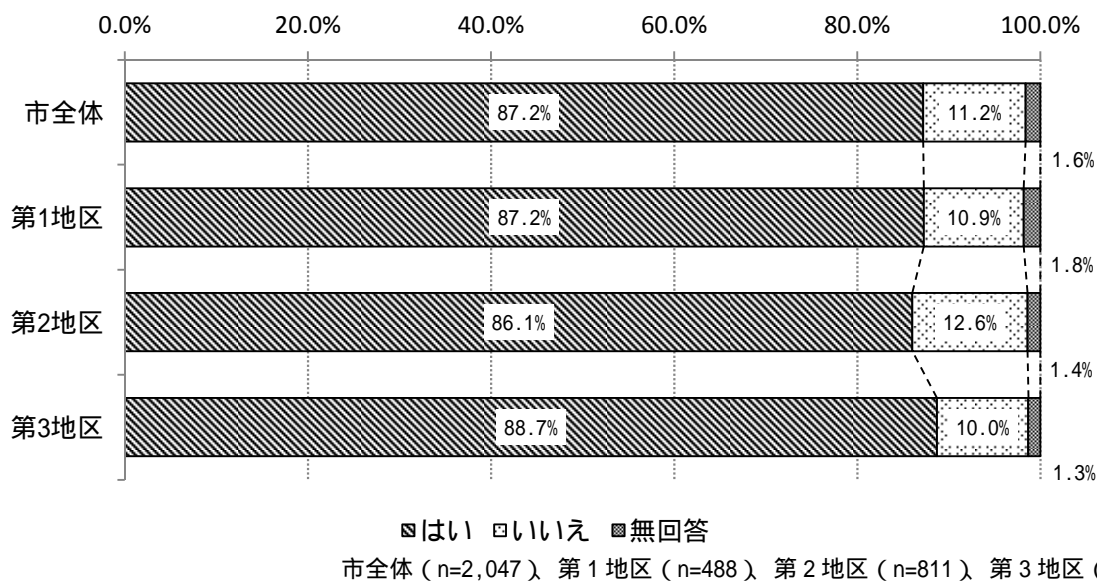


■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

相談については、「家族や友人の相談にのっている人」が、市全体で 78.3%、地区別では第1地区が 78.3%、第2地区が 77.3%、第3地区が 80.0%となっている。

(7) お見舞い

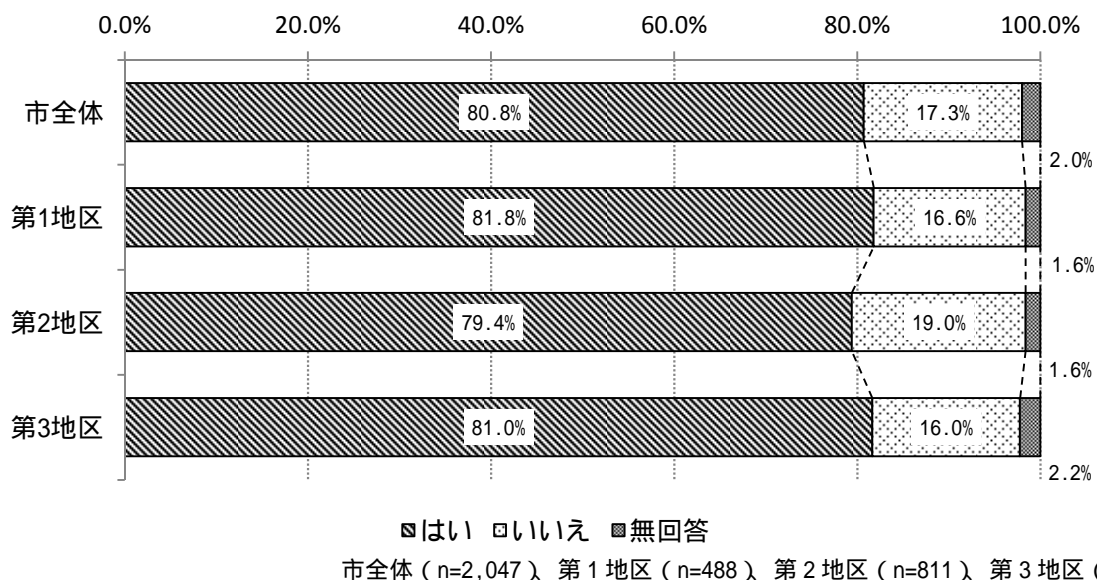
Q7. 病人を見舞うことができますか。(は1つ)



お見舞いについては、「病人を見舞うことができる人」が、市全体で87.2%、地区別では第1地区が87.3%、第2地区が86.1%、第3地区が88.7%となっている。

(8) 話しかけ

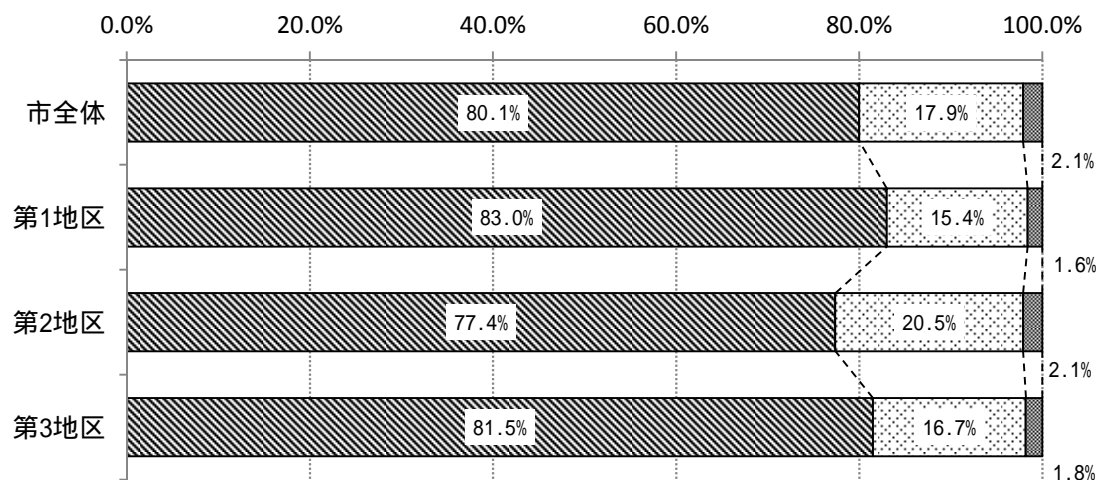
Q8. 若い人に自分から話しかけることがありますか。(は1つ)



話しかけについては、「若い人に自分から話しかけることがある人」が、市全体で80.8%、地区別では第1地区が81.8%、第2地区が79.4%、第3地区が81.0%となっている。

(9) 趣味

Q9. 趣味はありますか。 (は1つ)



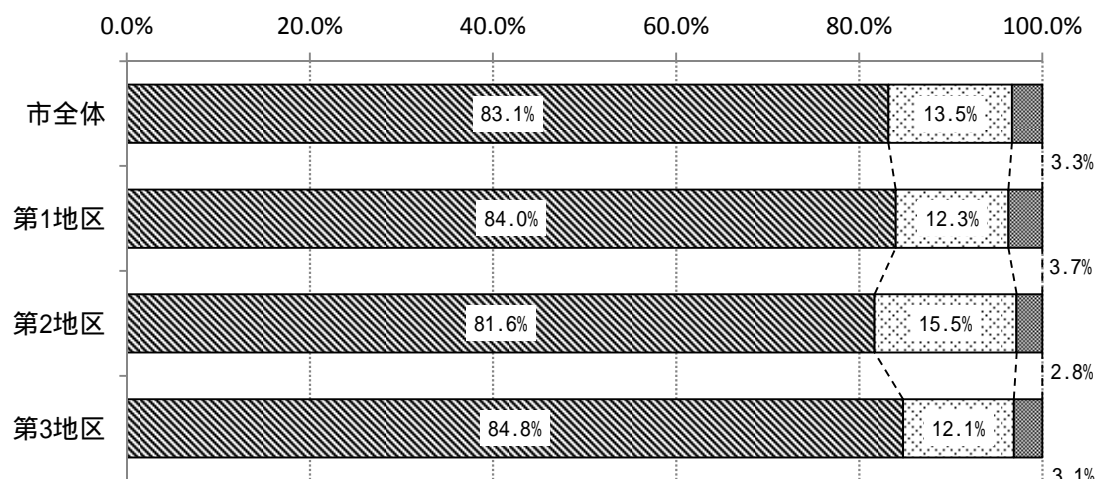
■はい □いいえ ■無回答

市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

趣味については、「趣味がある人」が、市全体で80.1%、地区別では第1地区が83.0%、第2地区が77.4%、第3地区が81.5%となっている。

(10) 生きがい

Q10. 生きがいはありますか。 (は1つ)



■はい □いいえ ■無回答

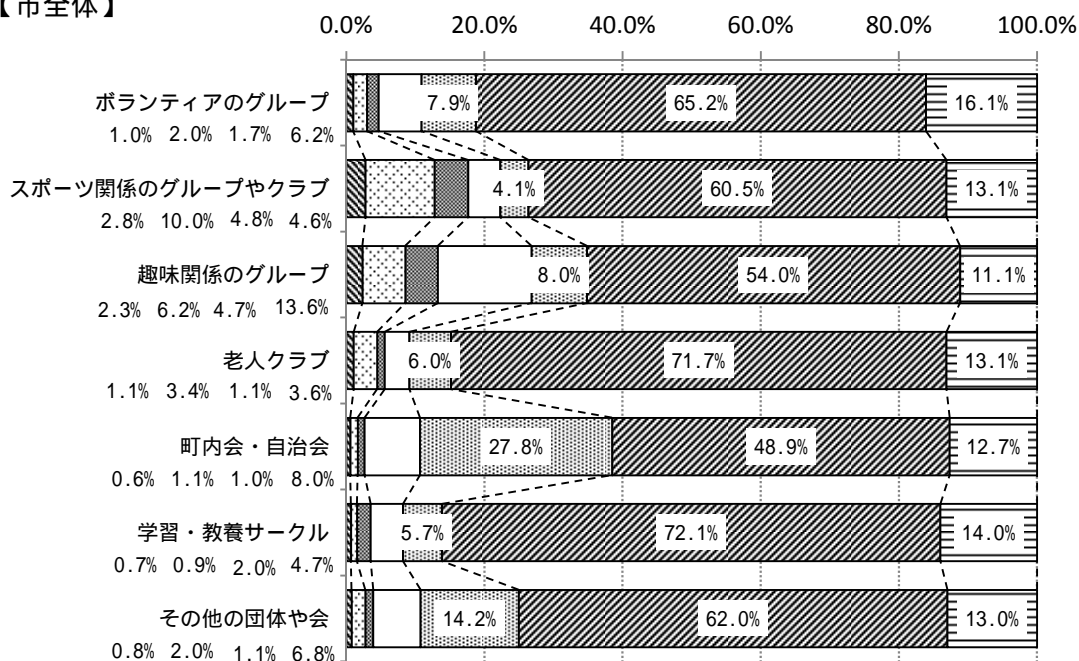
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

生きがいについては、「生きがいがある人」が、市全体で83.1%、地区別では第1地区が84.0%、第2地区が81.6%、第3地区が84.8%となっている。

(11) グループ活動

Q11. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(は1つ)

【市全体】



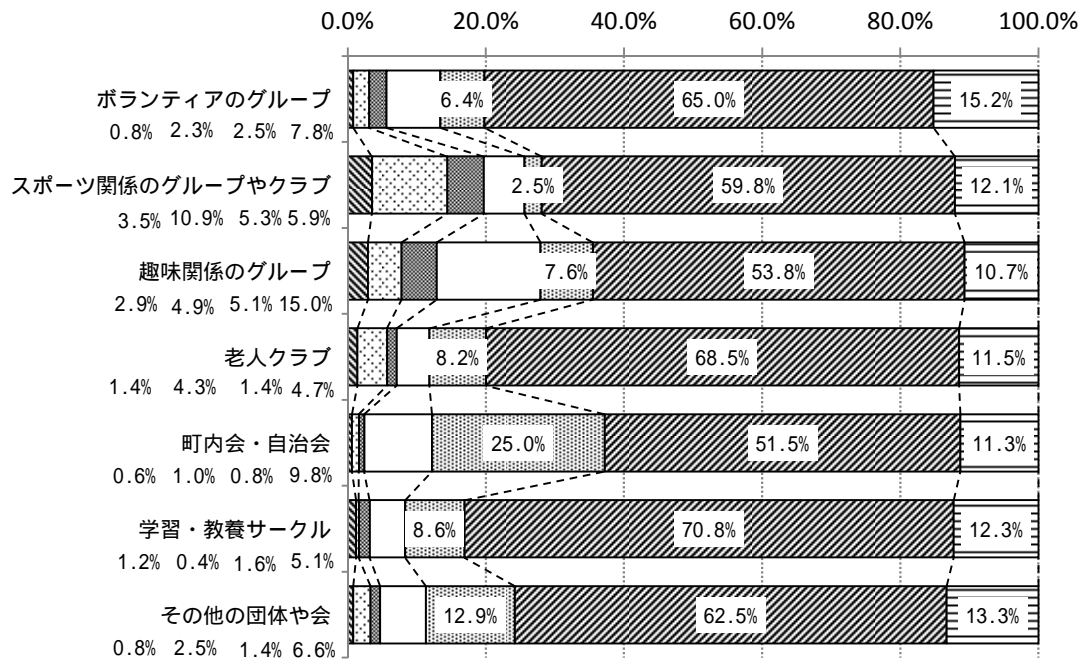
■週4回以上 □週2~3回 ■週1回 □月1~3回 □年に数回 ■参加していない □無回答

市全体 (n=2,047)

グループ活動について、市全体の状況では、最も参加している人が多いのは「町内会・自治会」で、「週4回以上」、「週2~3回」、「週1回」、「月1~3回」、「年に数回」を合計すると、38.5%となる。

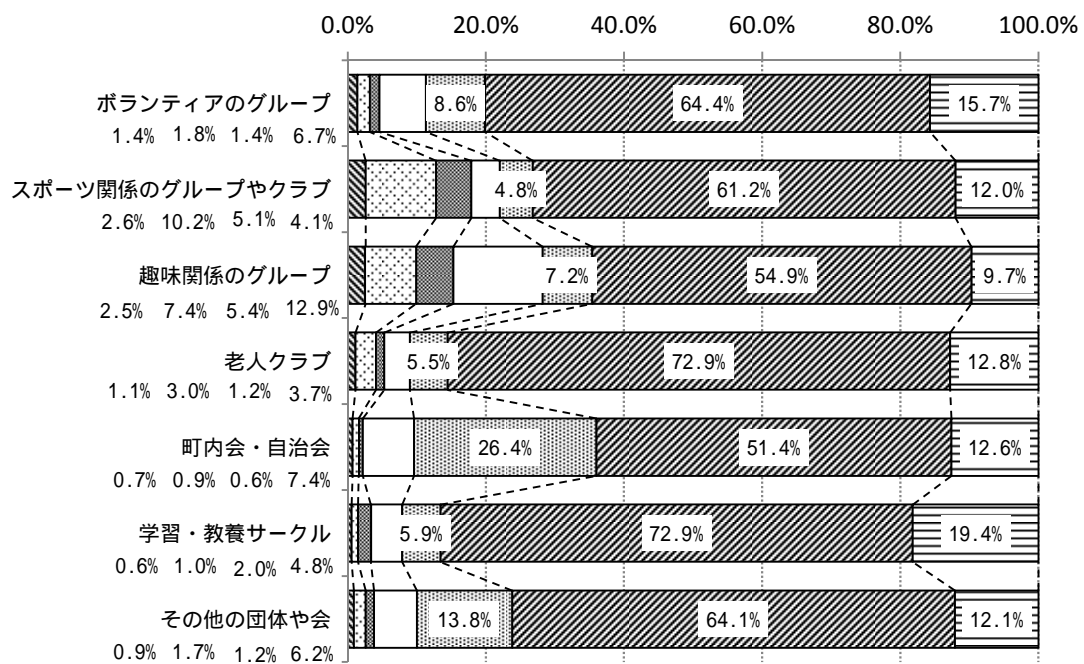
次に多いのは「趣味関係のグループ」で、同様の合計は34.8%である。しかしながら、前記合計から「年に数回」を除いて、月に1回以上参加している人の割合をみると「趣味関係のグループ」が最も高く、26.8%と4人に1人以上が参加していることがわかる。

【第1地区】



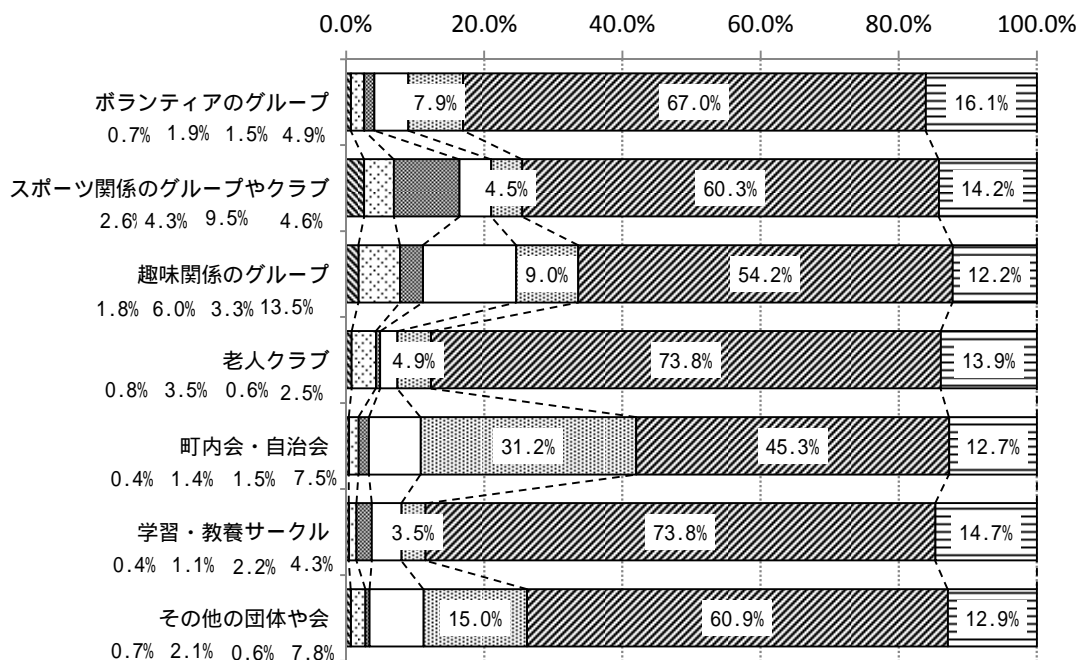
■週4回以上 □週2~3回 ■週1回 □月1~3回 ■年に数回 ■参加していない □無回答
第1地区 (n=488)

【第2地区】



■週4回以上 □週2~3回 ■週1回 □月1~3回 ■年に数回 ■参加していない □無回答
第2地区 (n=811)

【第3地区】



■週4回以上 □週2～3回 ■週1回 □月1～3回 ■年に数回 ■参加していない □無回答
第3地区 (n=719)

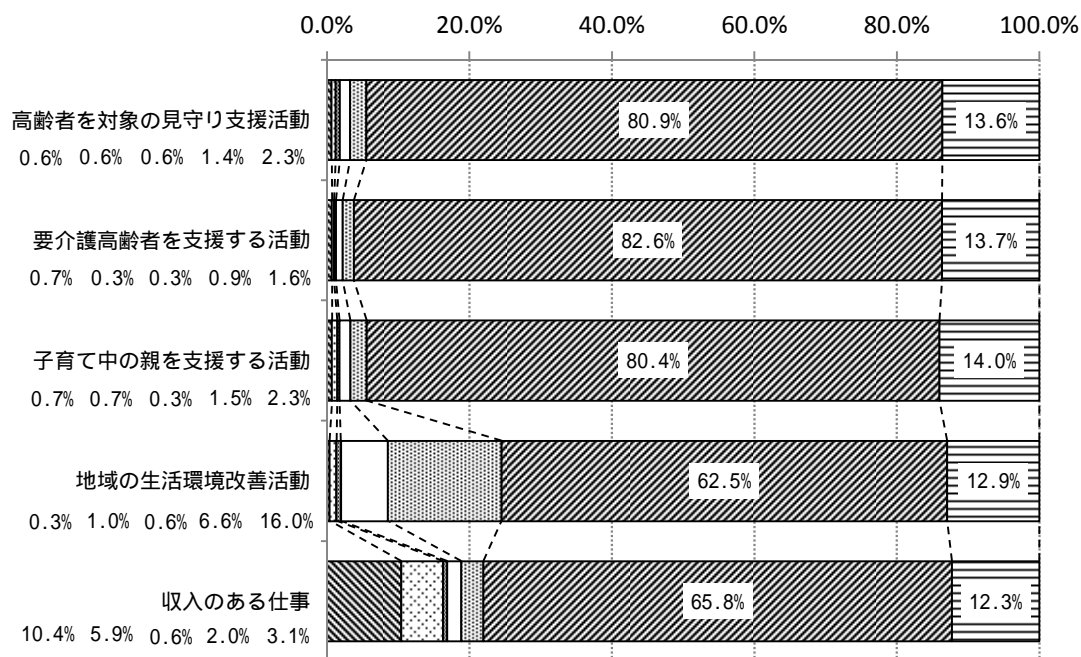
グループ活動について、地区別の状況を見ると、最も参加している人が多いのは「町内会・自治会」で、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」を合計すると、第1地区が37.2%、第2地区が36.0%、第3地区が42.0%となる。

次に多いのは「趣味関係のグループ」で、同様の合計は第1地区が35.5%、第2地区が35.4%、第3地区が33.6%である。しかしながら、前記合計から「年に数回」を除いて、月に1回以上参加している人の割合をみると「趣味関係のグループ」が「町内会・自治会」を上回り、第1地区が27.9%、第2地区が28.2%、第3地区が24.6%となっている。

(12) 社会活動や仕事

Q12. 以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか。(は1つ)

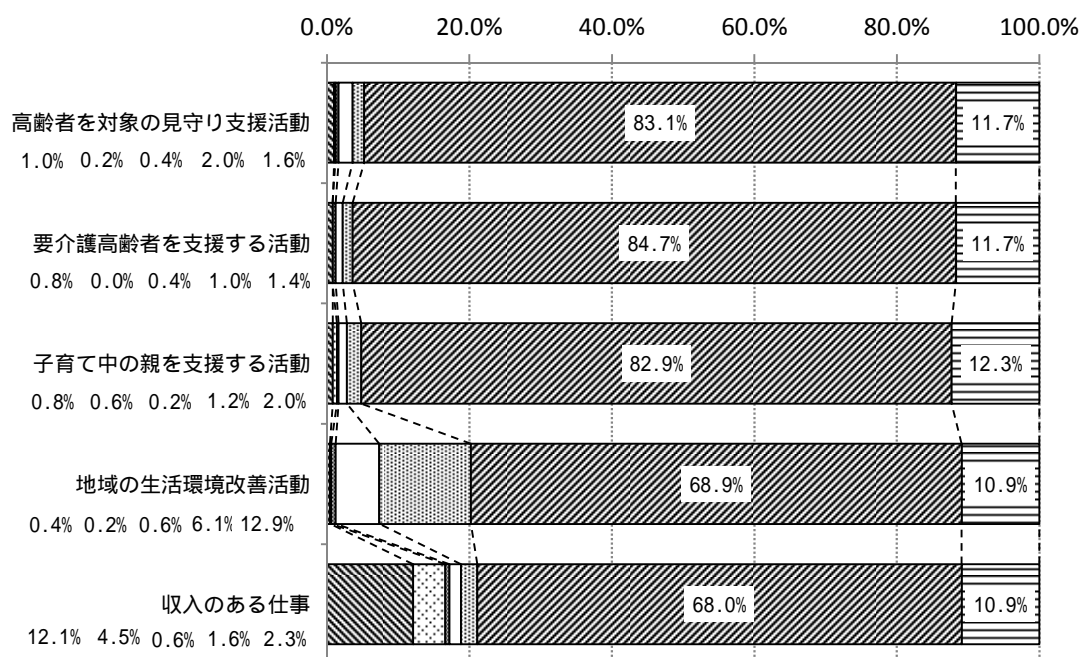
【市全体】



■週4回以上 □週2~3回 ■週1回 □月1~3回 ■年に数回 ■参加していない □無回答

市全体 (n=2,047)

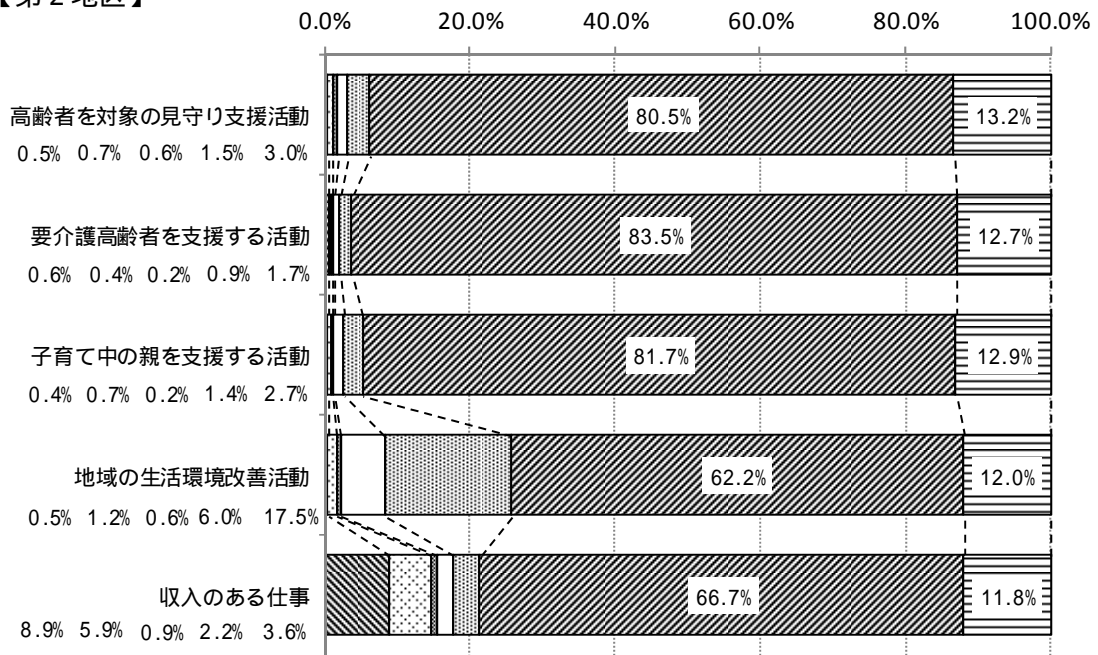
【第1地区】



■週4回以上 □週2~3回 ■週1回 □月1~3回 ■年に数回 ■参加していない □無回答

第1地区 (n=488)

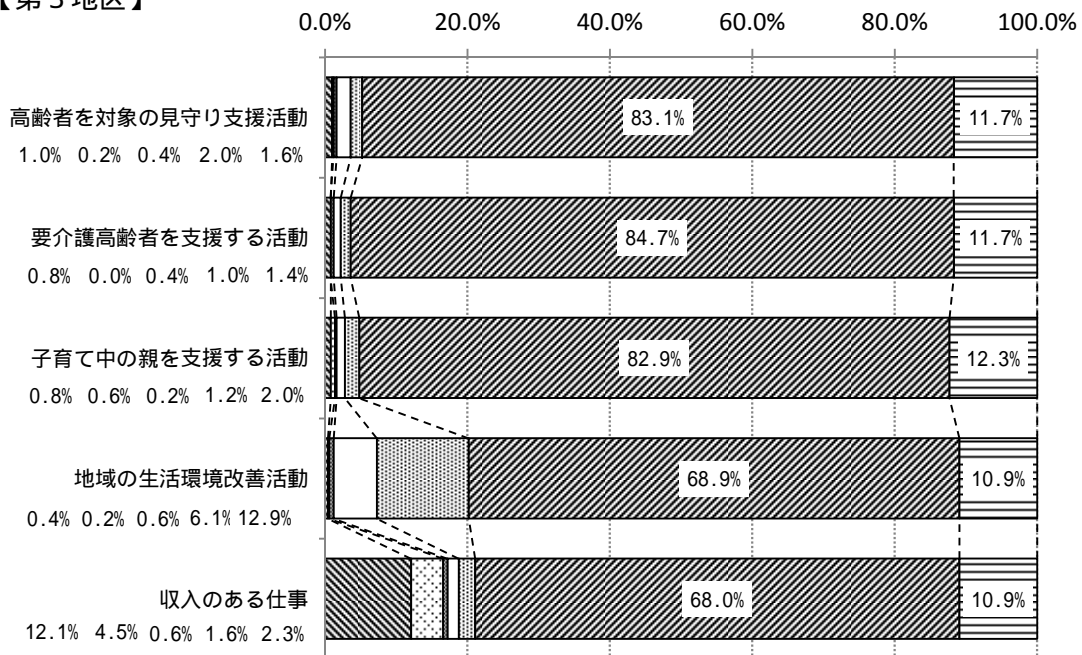
【第2地区】



■週4回以上 □週2~3回 ▨週1回 □月1~3回 ▩年に数回 ■参加していない □無回答

第2地区 (n=811)

【第3地区】



■週4回以上 □週2~3回 ▨週1回 □月1~3回 ▩年に数回 ■参加していない □無回答

第3地区 (n=719)

社会活動や仕事については、「高齢者を対象の見守り支援」、「要介護高齢者を支援」、「子育て中の親を支援」の3項目に関しては、おおむね80%の人が参加していない。

年に数回以上参加しているのは「地域の生活環境改善」では市全体で24.5%、第1地区が20.2%、第2地区が25.8%、第3地区が20.2%、「収入のある仕事」については、市全体で22.0%、第1地区が21.1%、第2地区が21.5%、第3地区が21.1%である。

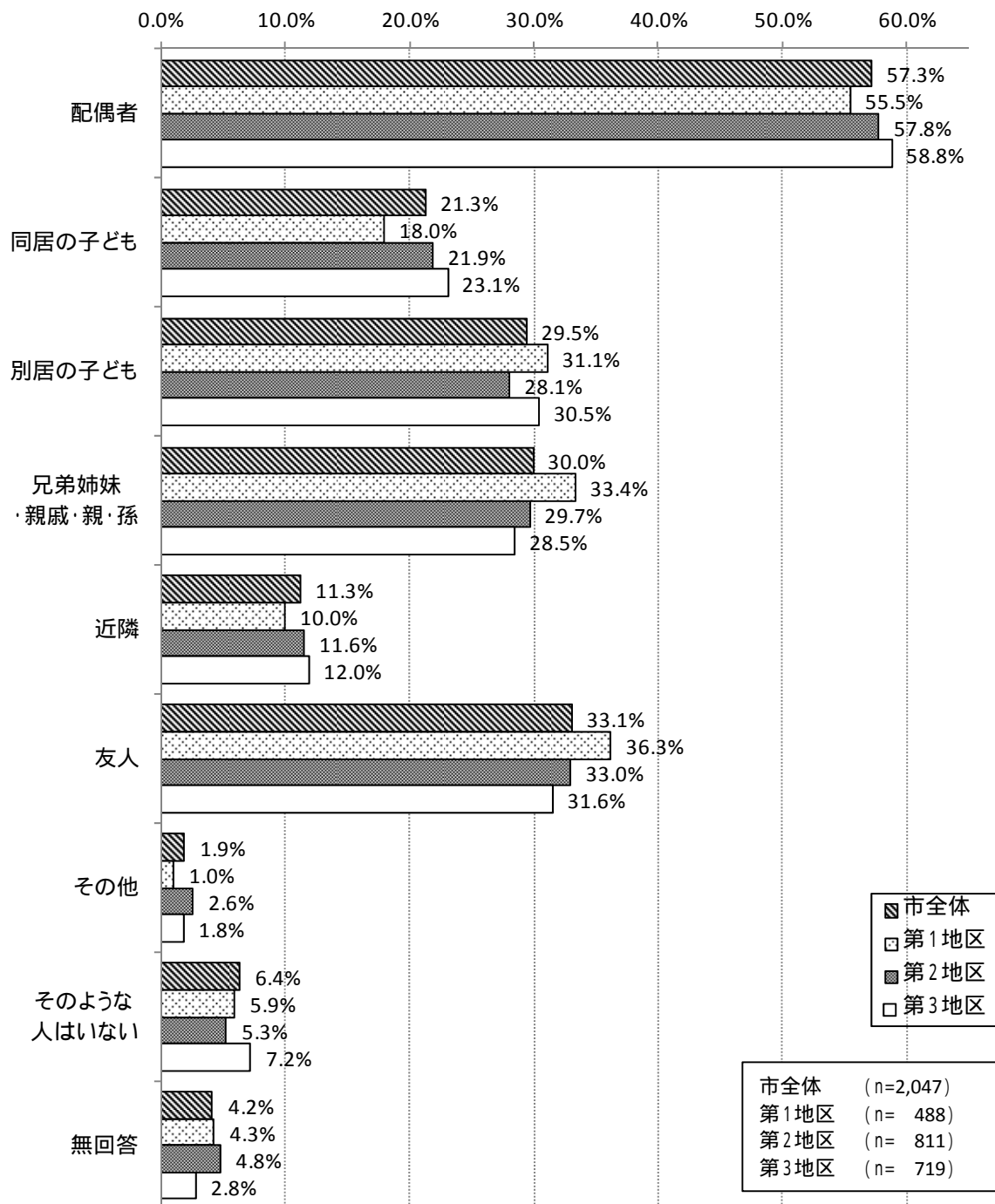
収入のある仕事で「週4回以上働いている人」は、第1地区が12.1%、第2地区が8.9%、第3地区が12.1%で、第1地区と第3地区が第2地区を上回っている。

(13) たすけあい

Q13. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

あてはまるすべてに をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に をつけてください。

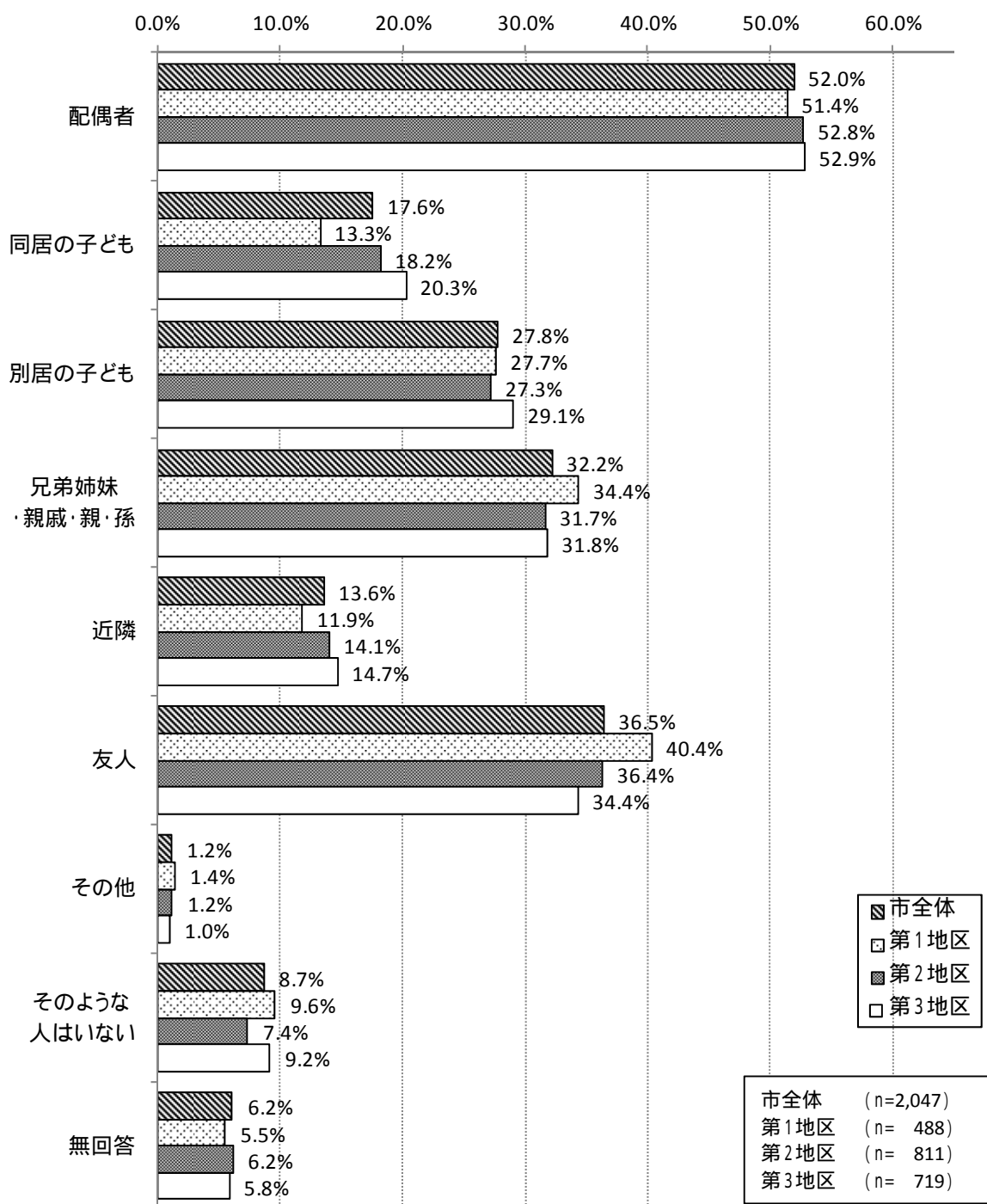
あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。



「心配事や愚痴を聞いてくれる人」で最も多かったのは配偶者で、市全体で 57.3%、第1地区が 55.5%、第2地区が 57.8%、第3地区が 58.8%となっている。

以下、「友人」(市全体で 33.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫(市全体で 30.0%)」、「別居の子ども」(市全体で 29.5%)と、どれも 30%前後で続いている。

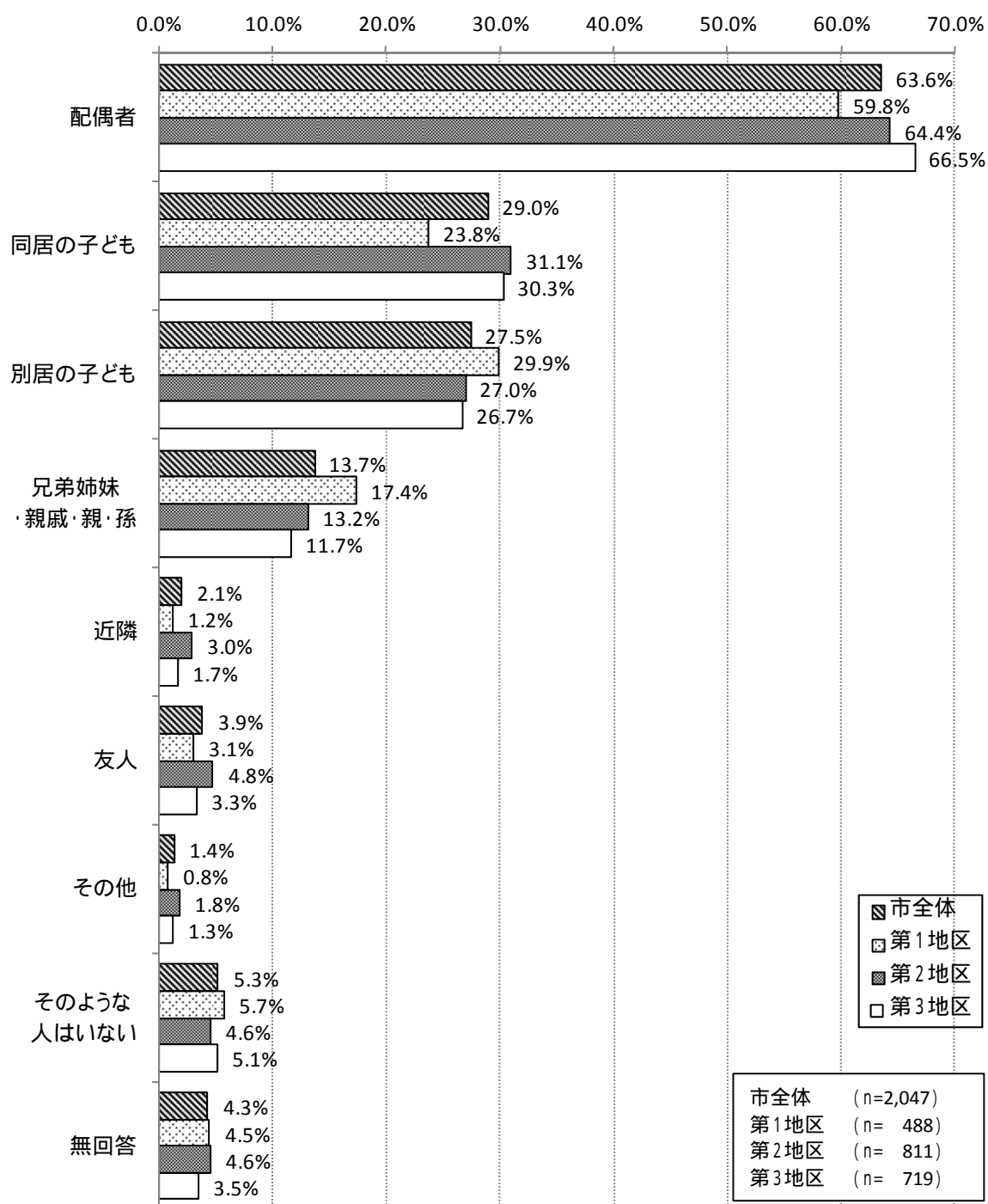
反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。



「心配事や愚痴を聞いてあげる人」で最も多かったのは配偶者で、市全体で 52.0%、第1地区が 51.4%、第2地区が 52.8%、第3地区が 52.9%と、どの地区でも過半数に達している。

次に多かったのが「友人」（市全体で 36.5%）で、特に第1地区では 40%を超える人が選んでいる。以下、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（市全体で 32.2%）、「別居の子ども」（市全体で 27.8%）の順で続いている。

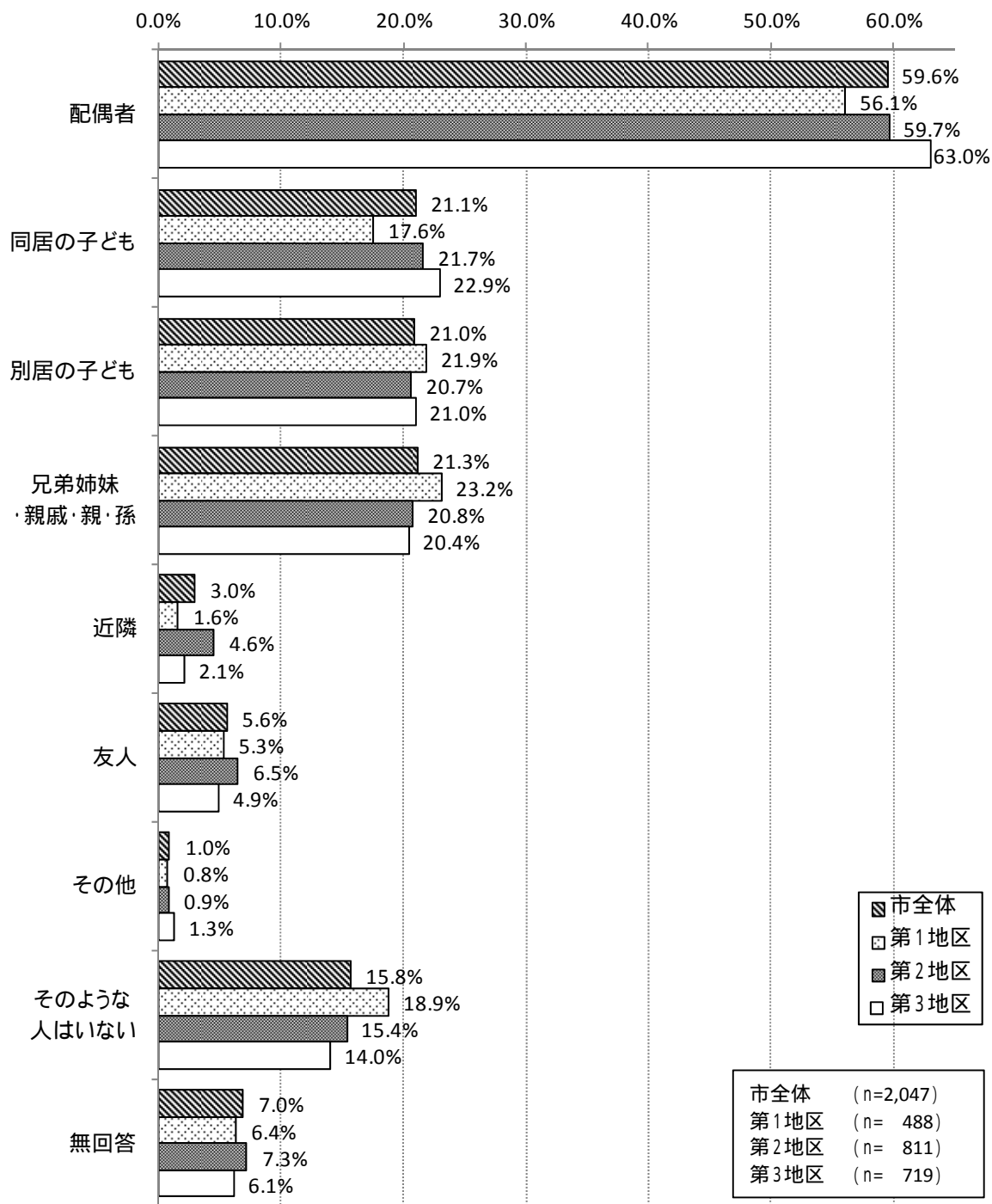
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。



「病気で寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」で最も多かったのは配偶者で、市全体で63.6%、第1地区が59.8%、第2地区が64.4%、第3地区が66.5%とどの地区でも6割を超えている。

次に多かったのが「同居の子ども」(市全体で29.0%)で、以下、「別居の子ども」(市全体で27.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(市全体で13.7%)の順が続いている。

反対に、看病や世話をしあける人。



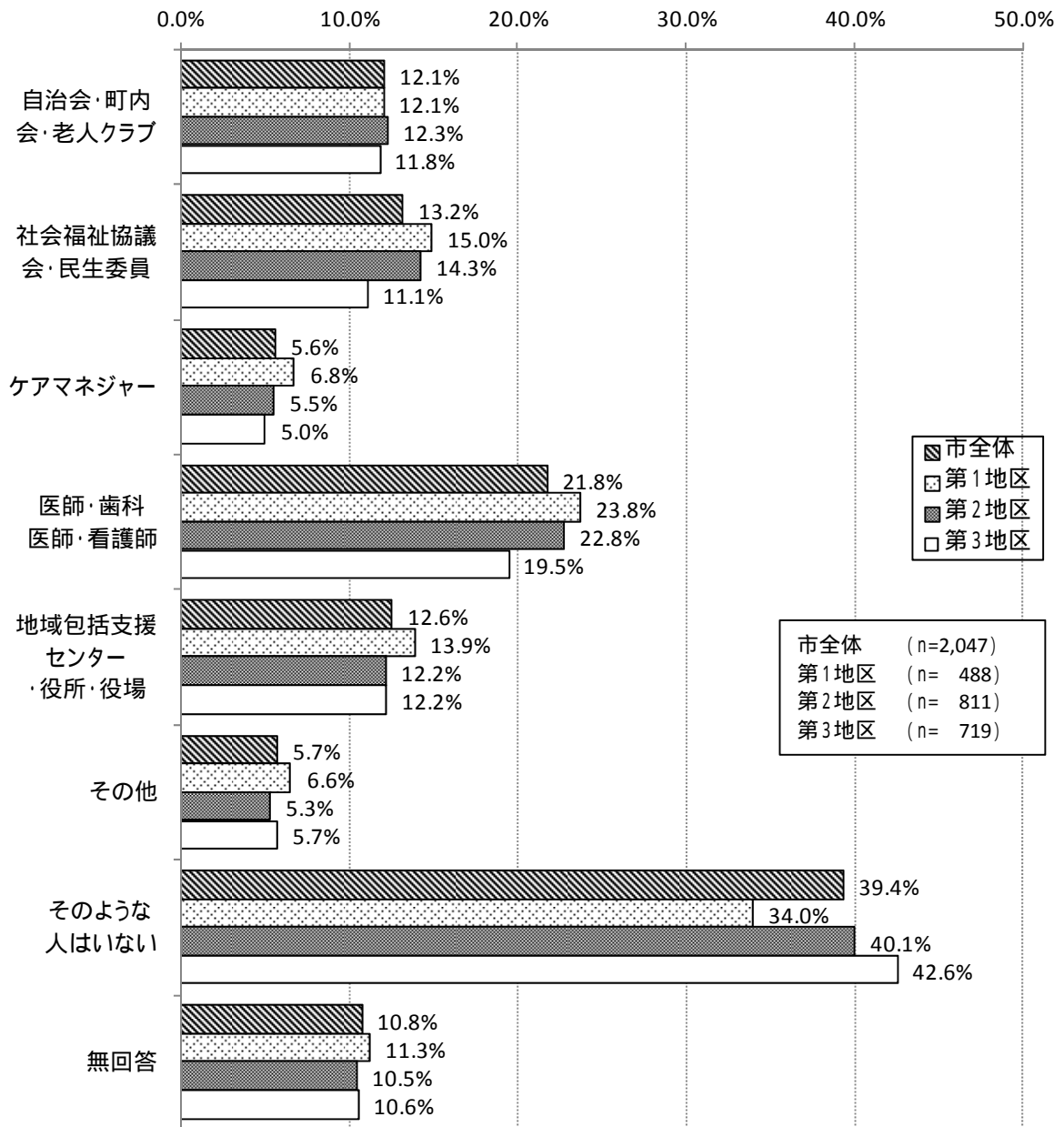
「看病や世話をしあける人」で最も多かったのは配偶者で、市全体で59.6%、第1地区が56.1%、第2地区が59.7%、第3地区が63.0%となっている。

「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(市全体で21.3%)、「同居の子ども」(市全体で21.1%)、「別居の子ども」(市全体で21.0%)は、ほぼ同率で並んでいる。

(14) 相談相手

Q14. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。

(あてはまるものすべてに)



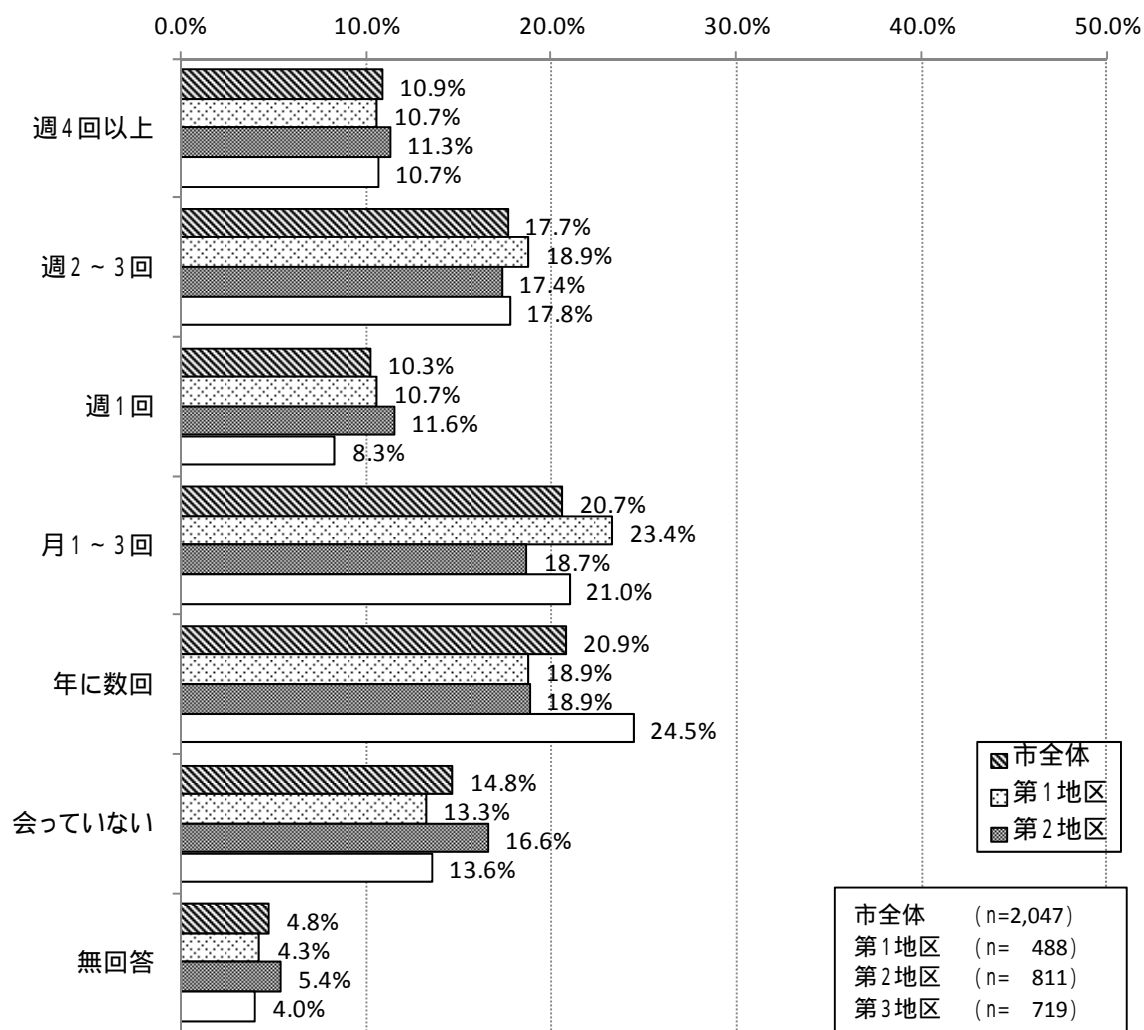
相談相手については「そのような人はいない」が最も多く、市全体で 39.4%、第1地区が 34.0%、第2地区が 40.1%、第3地区が 42.6%となっている。

相談する相手としては「医師歯科医師・看護師」(市全体で 21.8%)が最も多く、「社会福祉協議会・民生委員」(市全体で 13.2%)が続いている。

(15) 友人関係

Q15. 友人関係についておうかがいします。

友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(は1つ)



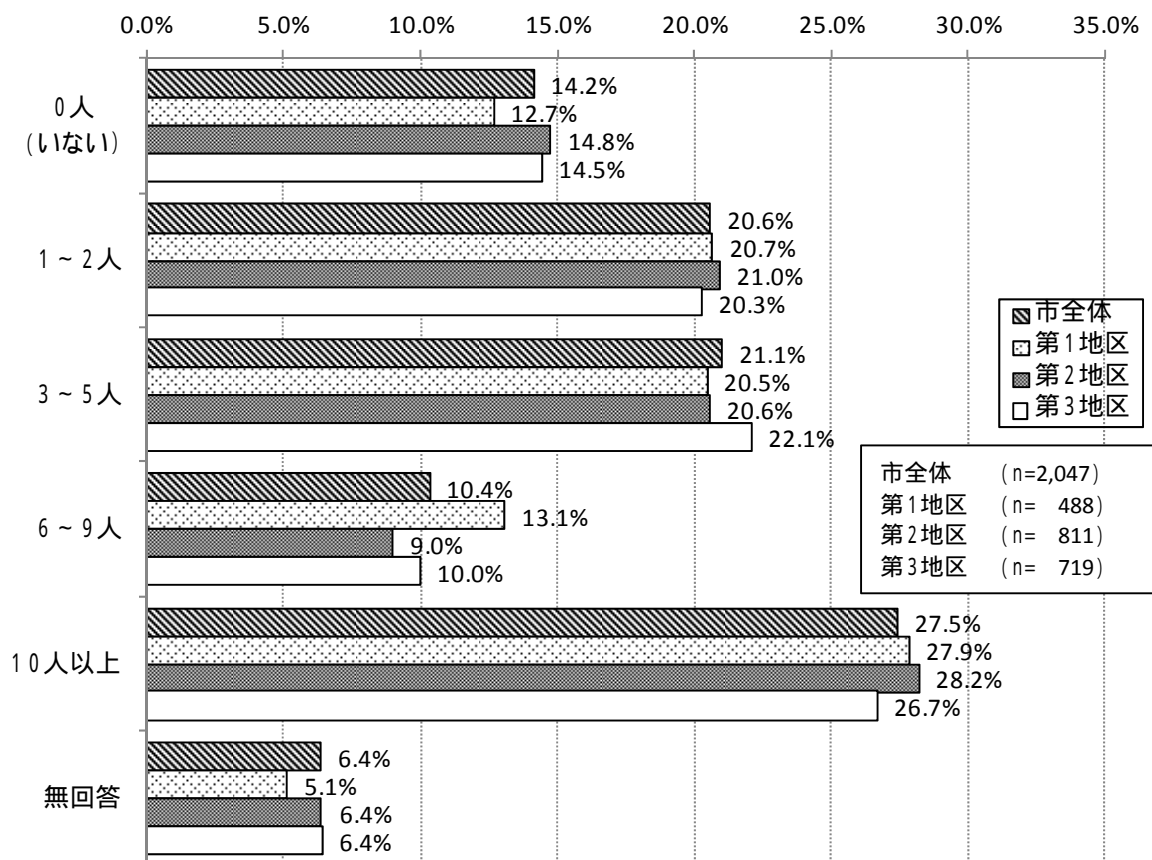
友人関係については「月に1~3回」(市全体で20.7%)と「年に数回」(市全体で20.9%)が、どちらも多い。

しかし、ここには地域による差も現れており、「月に1~3回」が第1地区では23.4%あるのに対し、第2地区では18.7%となっている。また、「年に数回」は第3地区で24.5%あるが、第1地区、第2地区ともに18.9%という結果であった。

全体の1割の人が「週4回以上」会っている友人がいる。

この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。（ は1つ）

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

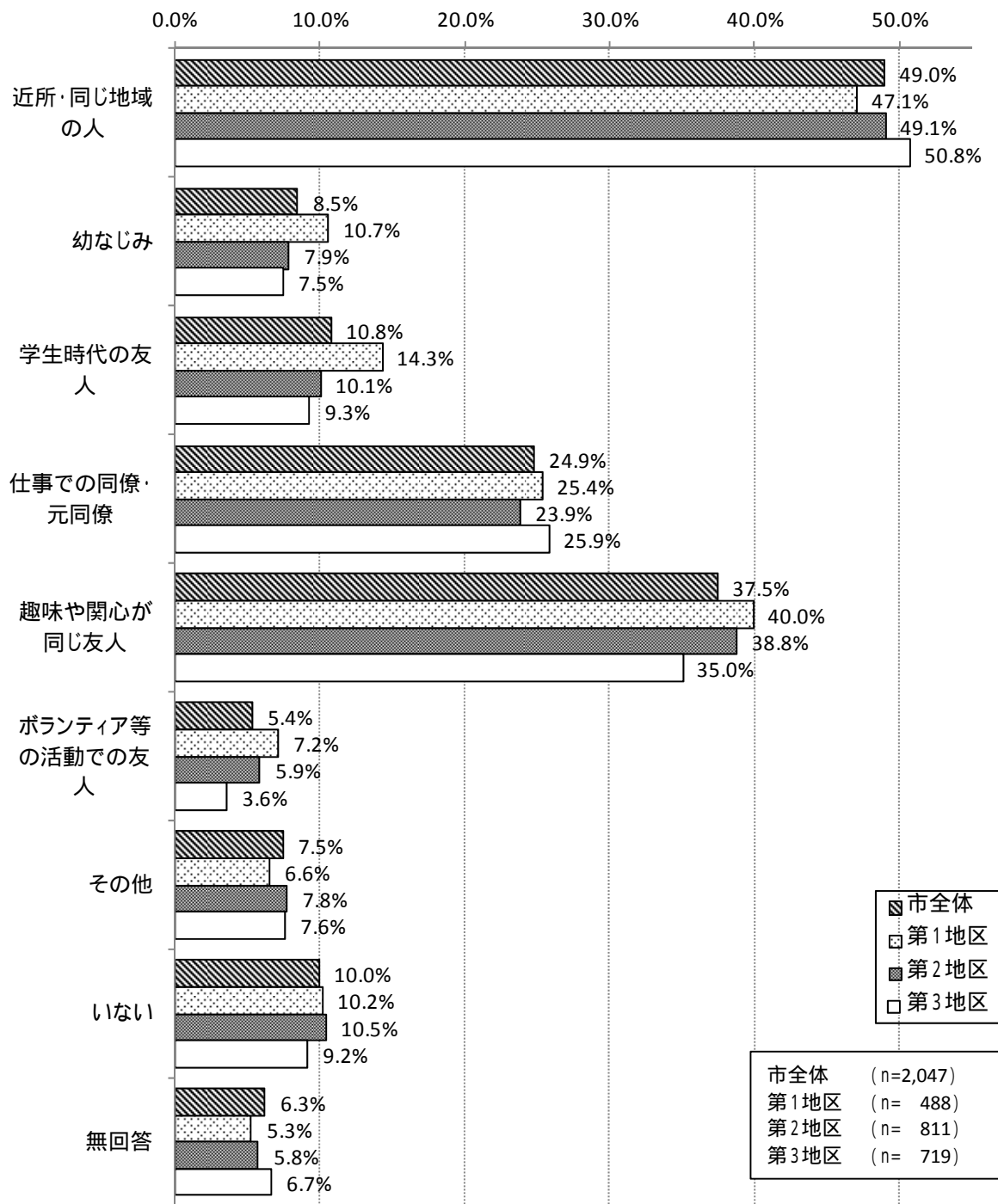


この1ヶ月間に会った人数は、「10人以上」が最も多く、市全体で27.5%、第1地区が27.9%、第2地区が28.2%、第3地区が26.7%となっている。

一方、「0人(いない)」と答えた人は、市全体で14.2%、第1地区が12.79%、第2地区が14.8%、第3地区が14.5%となっている。

よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。

(あてはまるものすべてに)



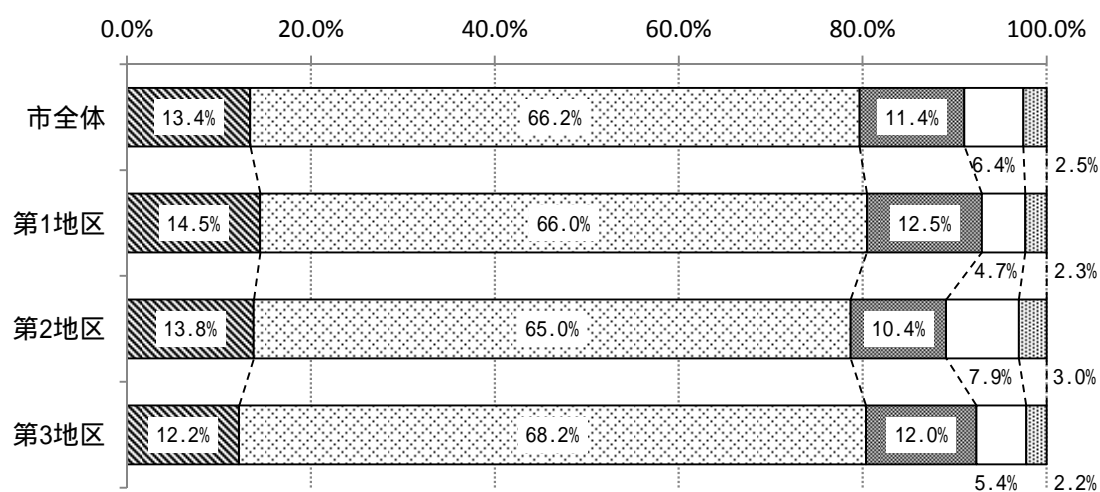
よく会う友人・知人とはどんな関係の人かについては「近所・同じ地域の人」が最も多く、市全体で49.0%、第1地区が47.1%、第2地区が49.1%、第3地区が50.8%となっている。

以下、「趣味や関心が同じ友人」(市全体で37.5%)、「仕事での同僚・元同僚」(市全体で24.9%)の順で続いている。

問8 健康について

(1) 健康の自覚

Q1. 普段、御自分で健康だと思いますか。(は1つ)



■とても健康 □まあまあ健康 ■あまり健康でない □健康でない □無回答
 市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

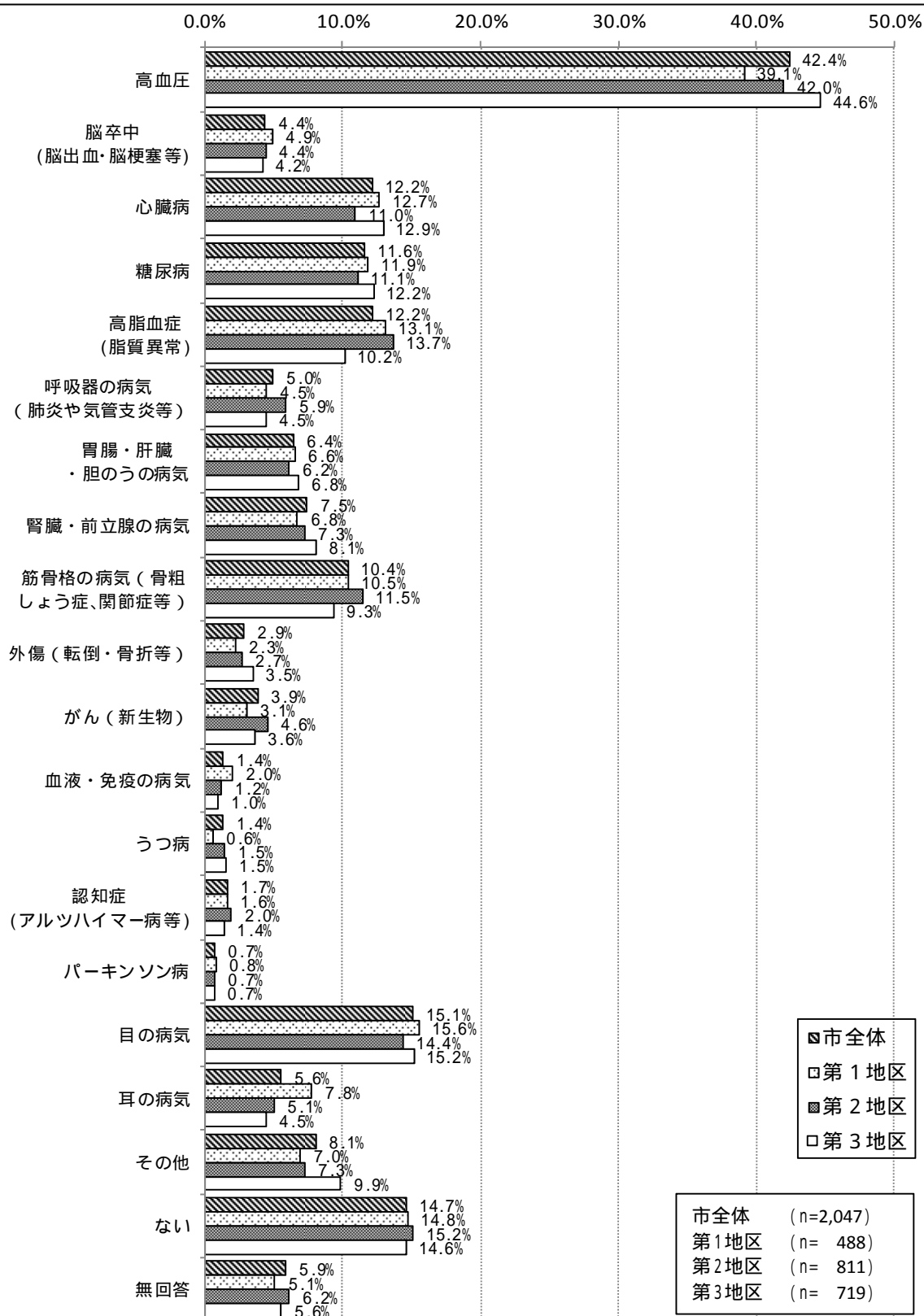
健康について「とても健康だと思う人」は、市全体で13.4%、第1地区が14.5%、第2地区が13.8%、第3地区が12.2%となっている。

「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせると、市全体で79.6%、第1地区が80.5%、第2地区が78.8%、第3地区が80.4%となり、8割が健康な生活を送っているという結果となった。

「健康でない」については第1地区と第3地区では5%前後であるが、第2地区では7.9%で、幾分高い傾向を示している。

(2) 治療中の病気

Q2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに)

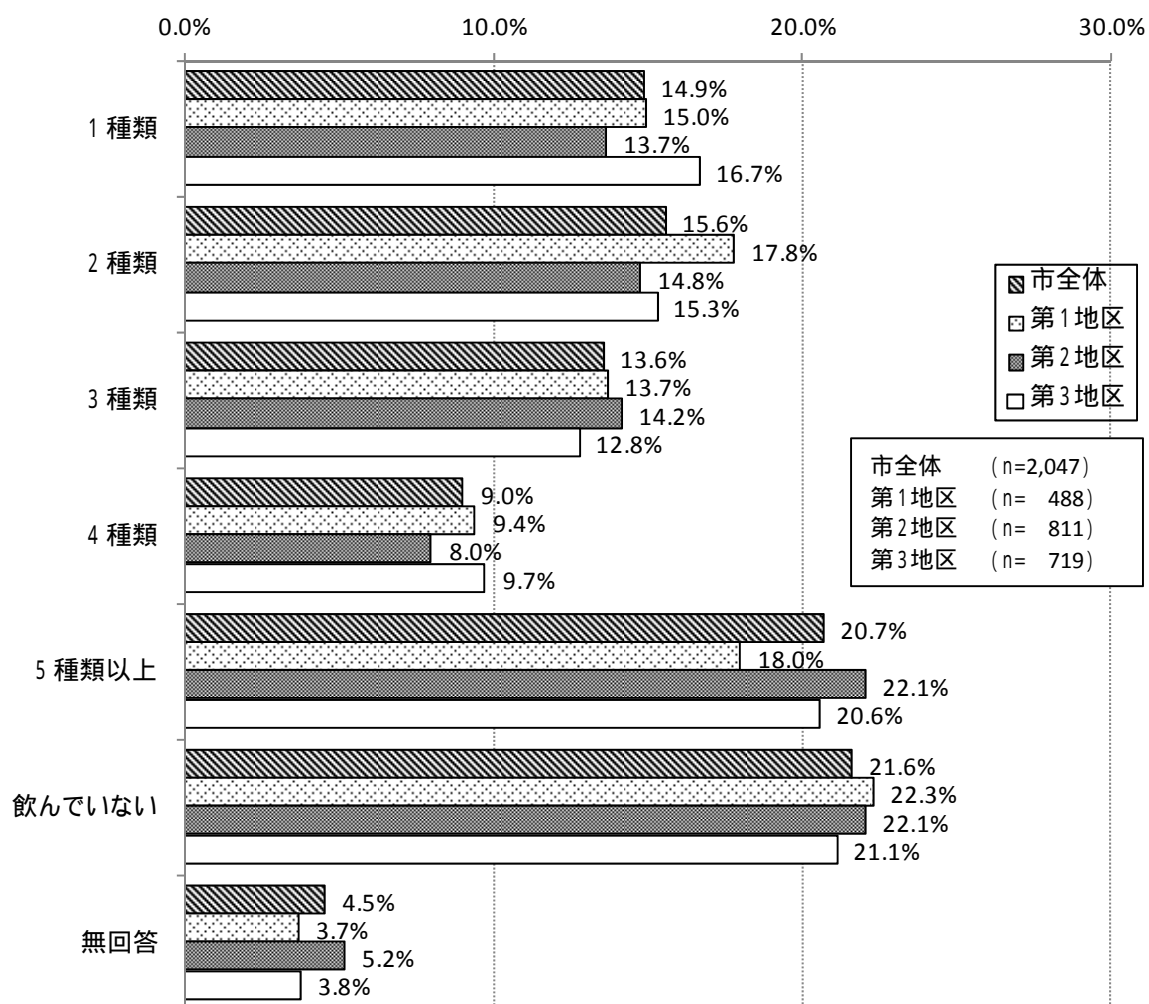


治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」が、市全体で42.4%、第1地区が39.1%、第2地区が42.0%、第3地区が44.6%と、最も多かった。

以下「目の病気」が市全体で15.1%、次いで「心臓病」と「高脂血症」がどちらも市全体で12.2%と続き、「糖尿病」(市全体で11.6%)、「筋骨格の病気」(市全体で10.4%)順となっている。

(3) 薬の種類

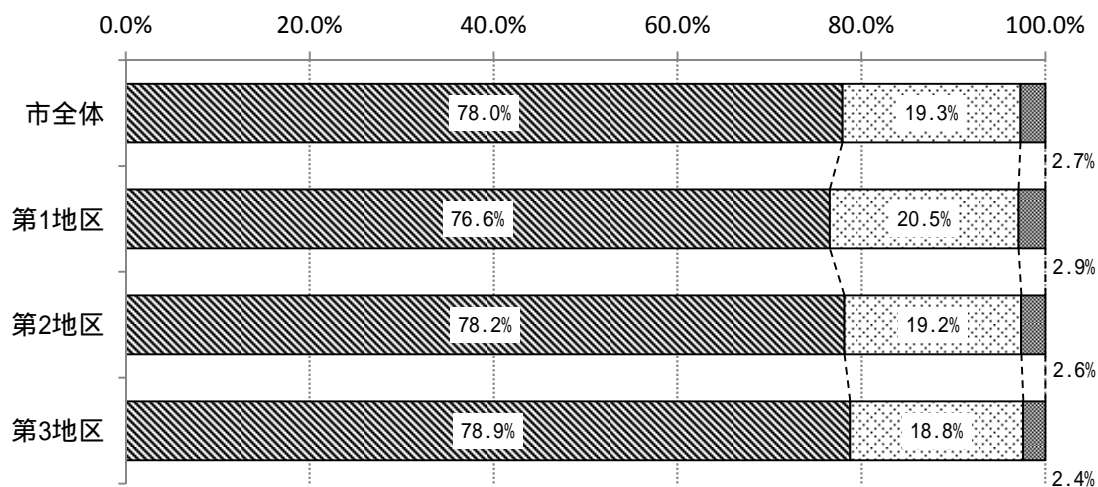
Q3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。(は1つ)



服用中の薬については、「飲んでいない」が、市全体で21.6%、第1地区が22.3%、第2地区が22.1%、第3地区が21.1%と最も多かったが、「5種類以上」(市体で20.7%)もほぼ同率で並んでいる。

(4) 通院

Q4. 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。（は1つ）

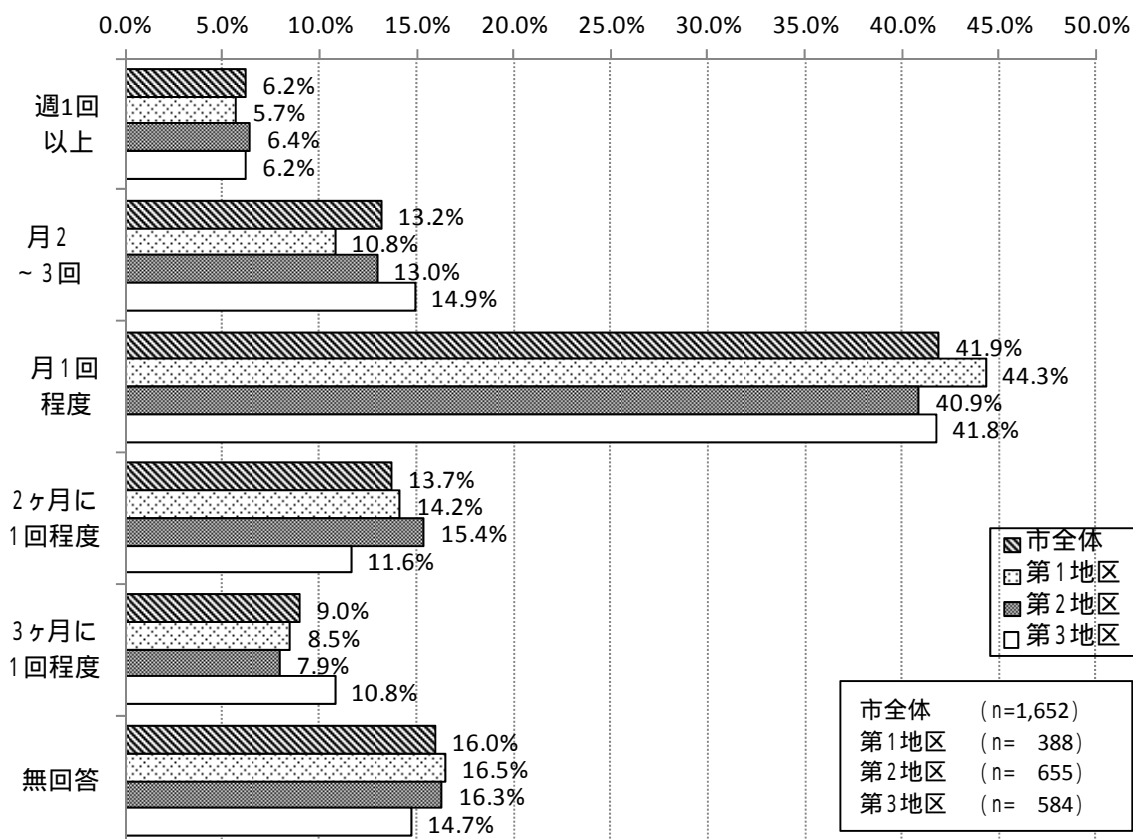


■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

通院については「通院している人」が市全体で78.0%、第1地区が76.6%、第2地区が78.2%、第3地区が78.9%となっている。

(5) 通院の頻度

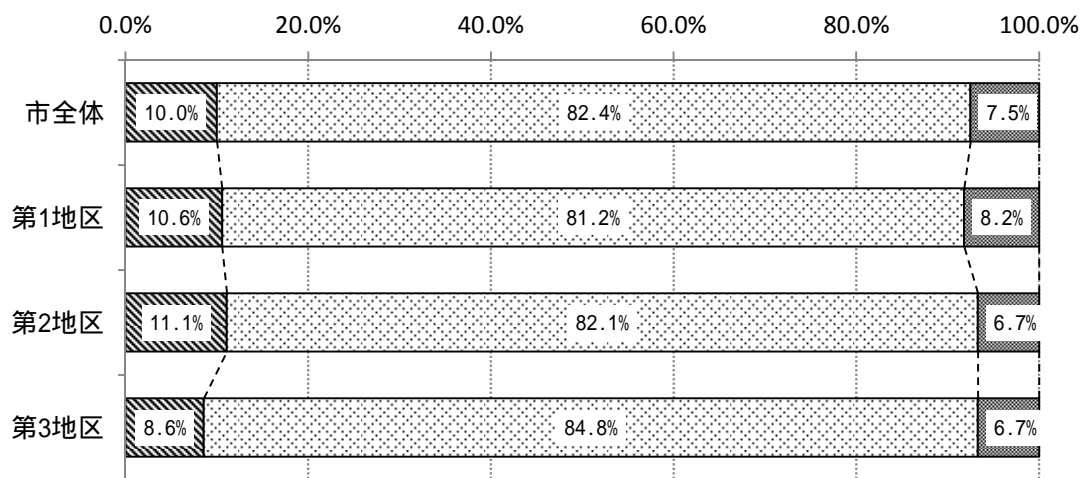
Q4-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか。(は1つ)



通院している 1,652 人に通院の頻度をたずねたところ、「月1回」が市全体で 41.8%、第1地区が 44.3%、第2地区が 40.9%、第3地区が 41.8%と最も多くなっている。

(6) 通院時の介助

Q4-2. (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか。 (は1つ)



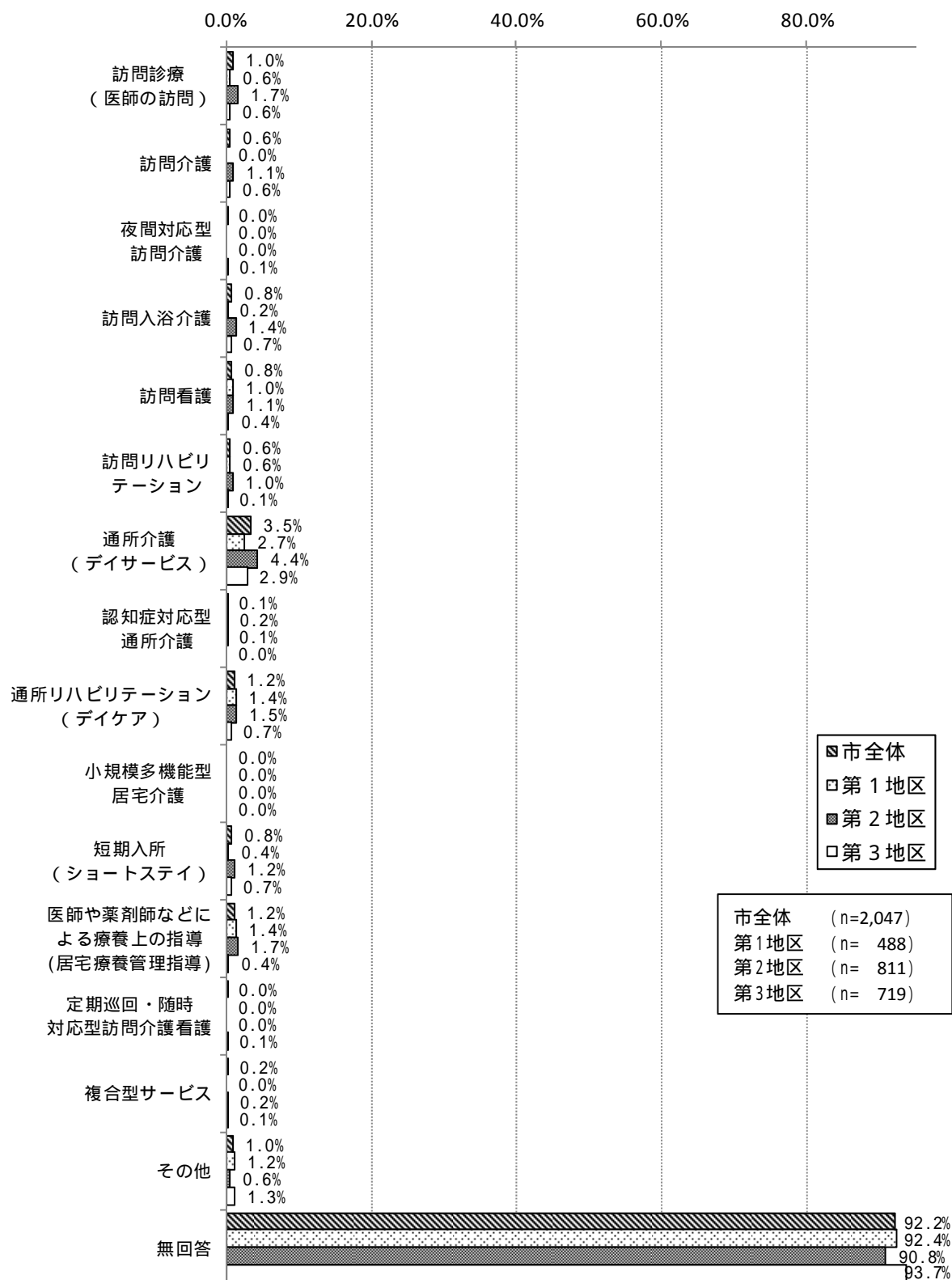
■はい □いいえ ▨無回答

市全体 (n=1,652) 第1地区 (n=388) 第2地区 (n=655) 第3地区 (n=584)

通院している 1,652 人に、通院の際介助が必要かどうかをたずねたところ、市全体で 10.0%、第1地区で 10.6%、第2地区で 11.1%、第3地区で 8.6%の人が「必要」と答えている。

(7) 在宅サービス

Q5. 以下の在宅サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに)

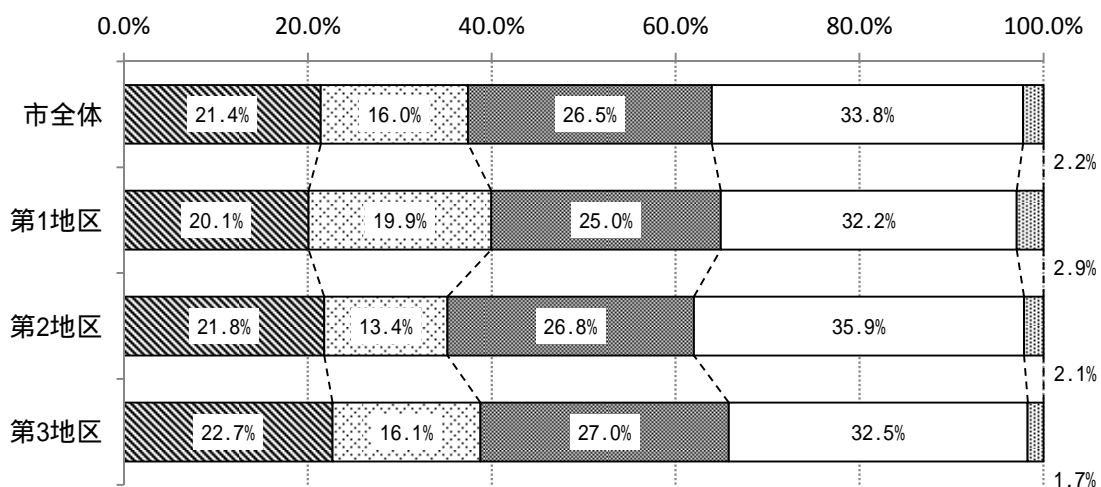


利用している在宅サービスについては、「ない」が市全体で92.2%、第1地区が92.4%、第2地区が90.8%、第3地区が93.7%で最も多い。

使っているサービスとしては「通所介護(デイサービス)」が最も多く、市全体で3.5%、第1地区が2.7%、第2地区が4.4%、第3地区が2.9%となっている。

(8) 飲酒

Q6. お酒は飲みますか。 (は1つ)



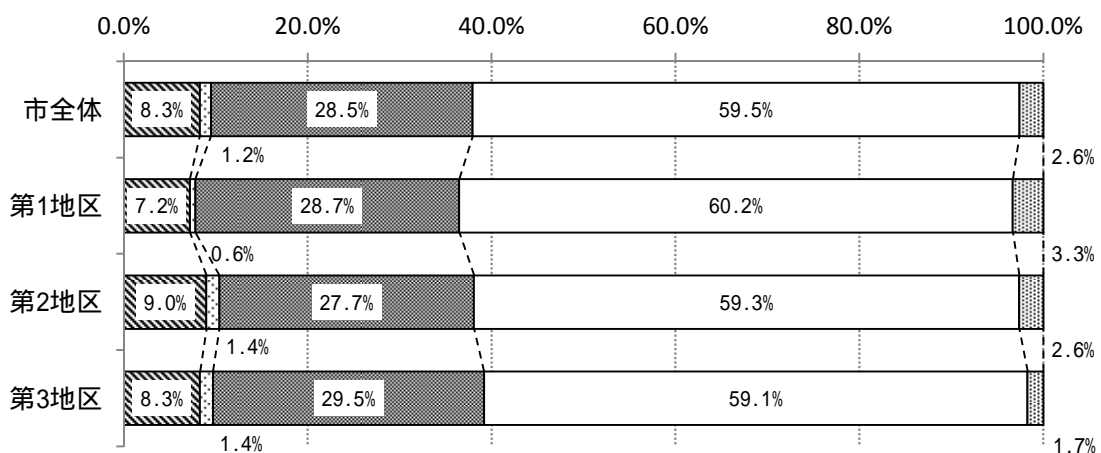
ほぼ毎日飲む
 時々飲む
 ほとんど飲まない
 もともと飲まない
 無回答
 市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

飲酒については「もともと飲まない」が市全体で33.8%、第1地区が32.2%、第2地区が35.9%、第3地区が32.5%で最も多い。

2割以上の方が「ほぼ毎日飲む」と答えており、「ほぼ毎日」と「時々」を合すると、市全体で37.4%となる。

(9) 喫煙

Q7. タバコは吸っていますか。 (は1つ)



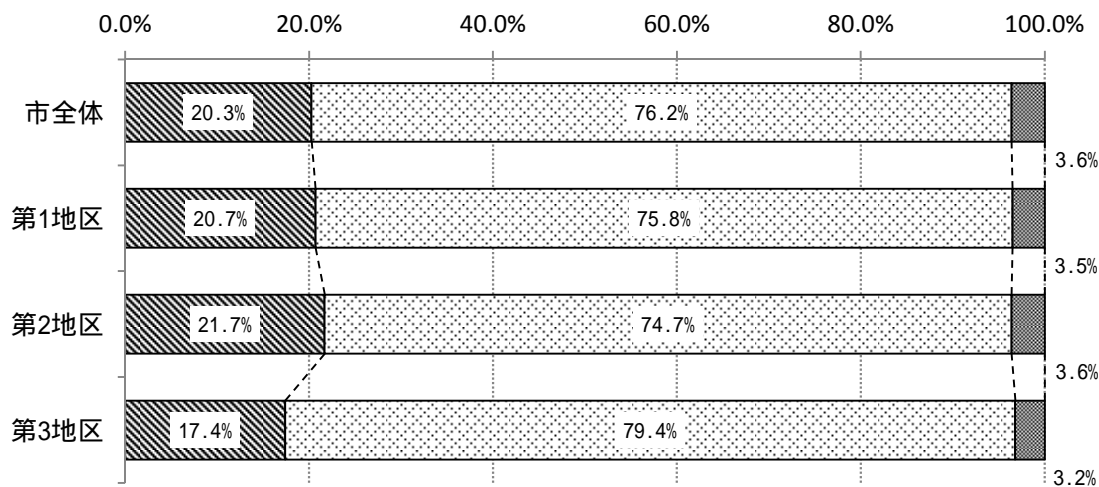
ほぼ毎日吸っている
 時々吸っている
 吸っていたがやめた
 もともと吸っていない
 無回答
 市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

喫煙については「もともと吸っていない」が市全体で59.5%、第1地区が60.2%、第2地区が59.3%、第3地区が59.1%で最も多い。

「吸っていたがやめた」人も3割弱おり、現在の喫煙者はほぼ1割といったところである。

(10) 生活の充実感

Q8. (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない。(は1つ)

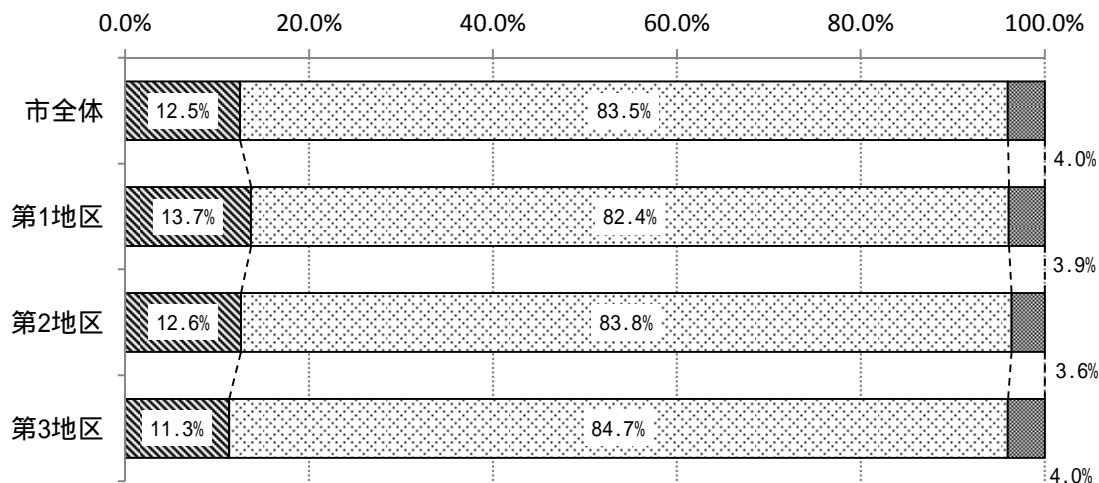


■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

生活の充実感については「充実感がある人」が市全体で 76.2%、第1地区が 75.8%、第2地区が 74.7%、第3地区が 79.4%となっている。

(11) 楽しみ

Q9. (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。(は1つ)

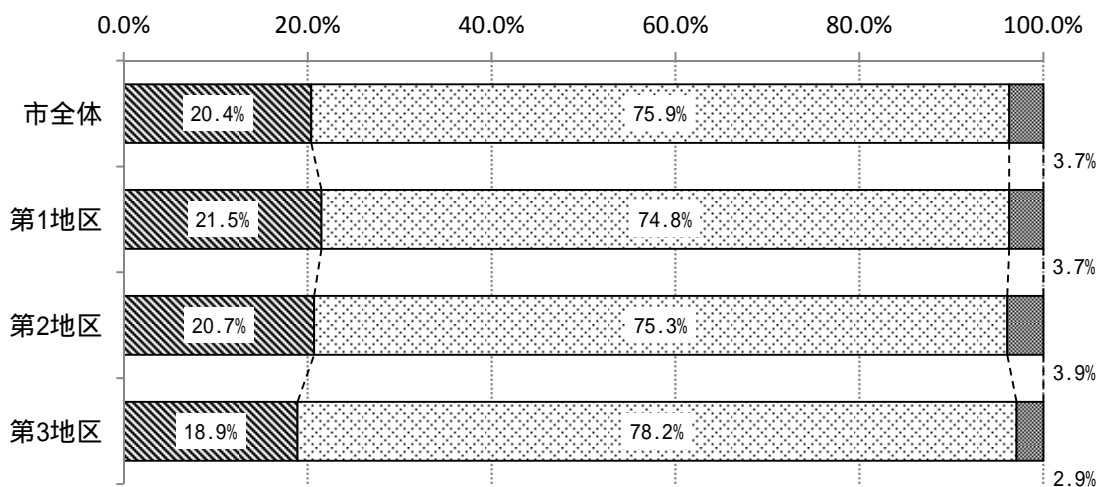


■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

楽しみについては「楽しかったことが楽しくなくなった人」が市全体で 12.5%、第1地区が 13.7%、第2地区が 12.6%、第3地区が 11.3%となっている。

(12) 楽にできていたこと

Q10. (ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今はおっくうに感じられる。(は1つ)

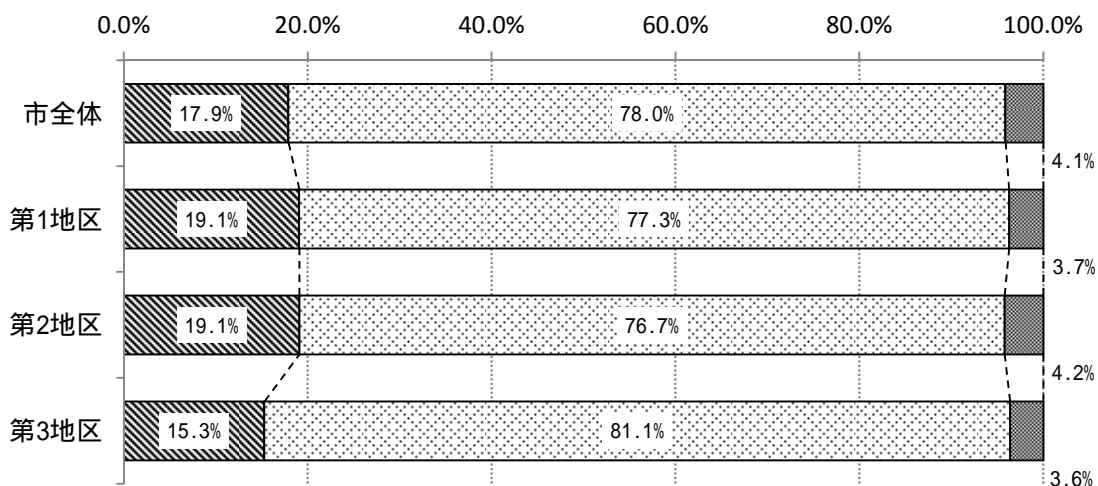


■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

以前楽にできていたことが「おっくうに感じられるようになってきた人」は市全体で20.4%、第1地区が21.5%、第2地区が20.7%、第3地区が18.9%となっている。

(13) 自分に対する自信

Q11. (ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない。(は1つ)

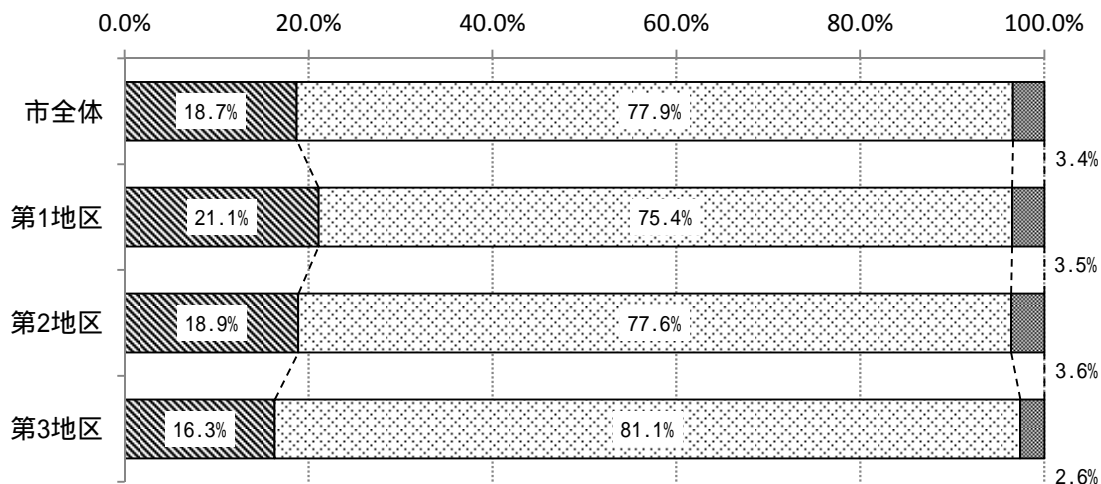


■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

自分に対する自信については、「自分が役に立つ人間だと思えない人」は、市全体で17.9%、第1地区と第2地区が19.1%、第3地区が15.3%となっている。

(14) 疲労感

Q12. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする。(は1つ)



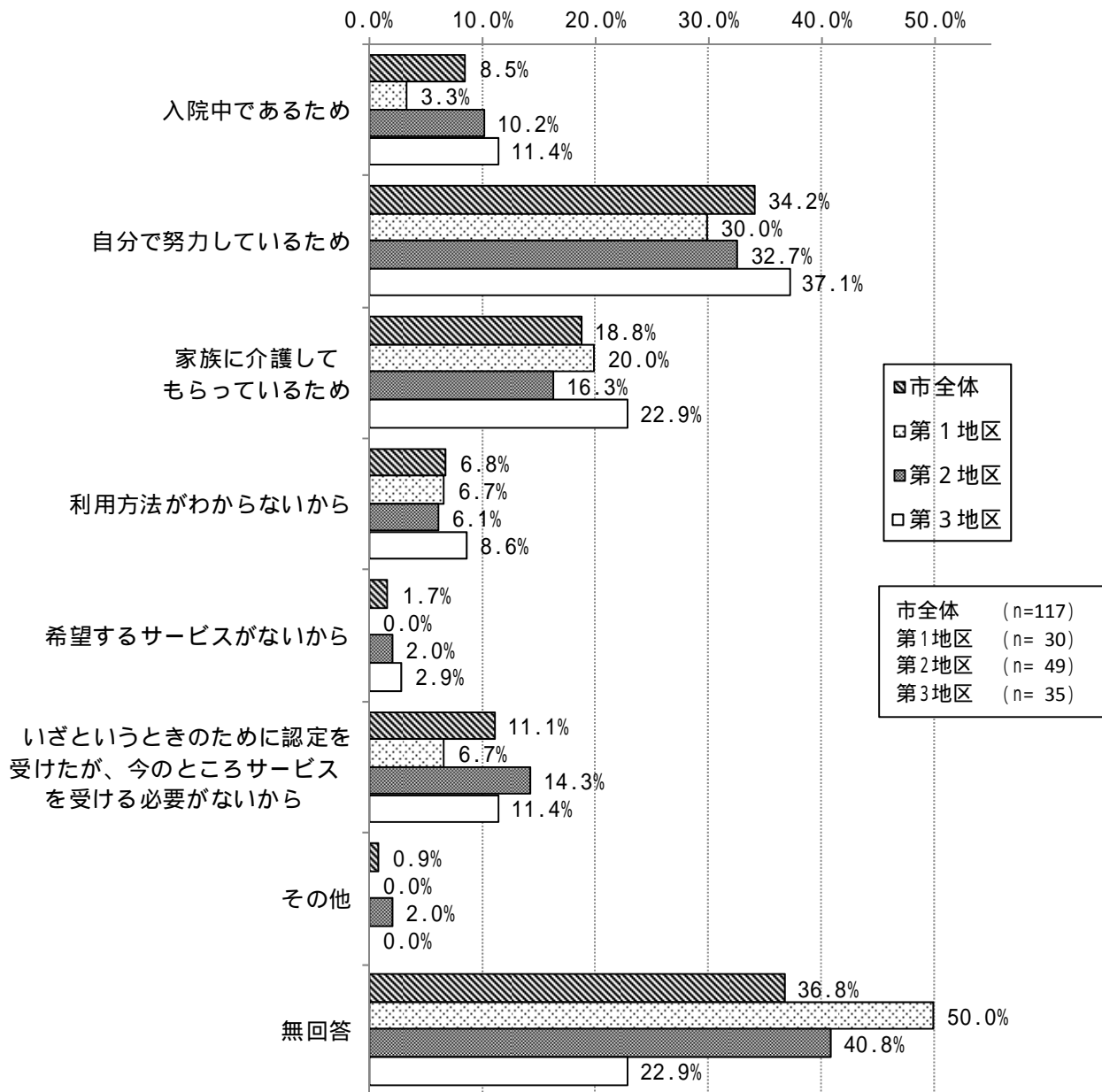
■はい □いいえ ■無回答
市全体 (n=2,047) 第1地区 (n=488) 第2地区 (n=811) 第3地区 (n=719)

疲労感については、「わけもなく疲労感がある人」は、市全体で 18.7%、第1地区が 21.1%、第2地区が 18.9%、第3地区が 16.3%となっている。

問9 高齢者福祉サービスなどについて

(1) 介護サービスを利用しない理由

Q1. 認定を受けた人で、介護保険のサービスを利用していない方にお尋ねします。
その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



介護サービスを利用しない理由については、「自分で努力しているため」が、市全体で 34.2%、第1地区で 30.0%、第2地区で 32.7%、第3地区が 37.1%と、最も多くなっている。

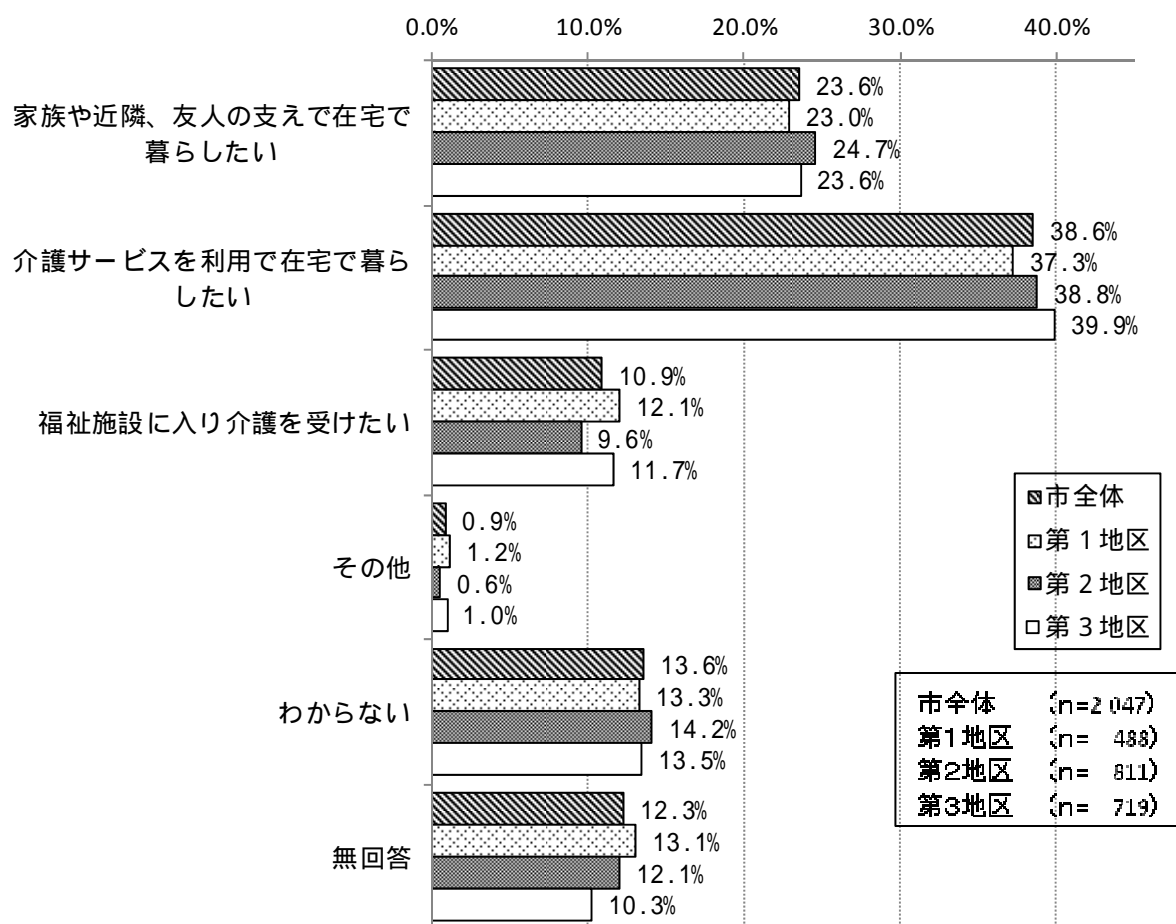
以下、「家族に介護してもらっているため」(市全体 18.8%)、「認定を受けたが、必要がないから」(市全体 11.1%)の順となっている。

なお、「無回答」については、この調査票結果からは認定を受けたか受けていないかの把握が困難であったため、この質問は全員に尋ねたこととした。

したがって、この「無回答」には認定を受けていない人も含まれている。

(2) 今後の介護の希望

Q2. 今後の介護について、あなた（あて名御本人）はどのような希望をお持ちですか。
 現在、介護を必要としていない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください。
 （は1つ）

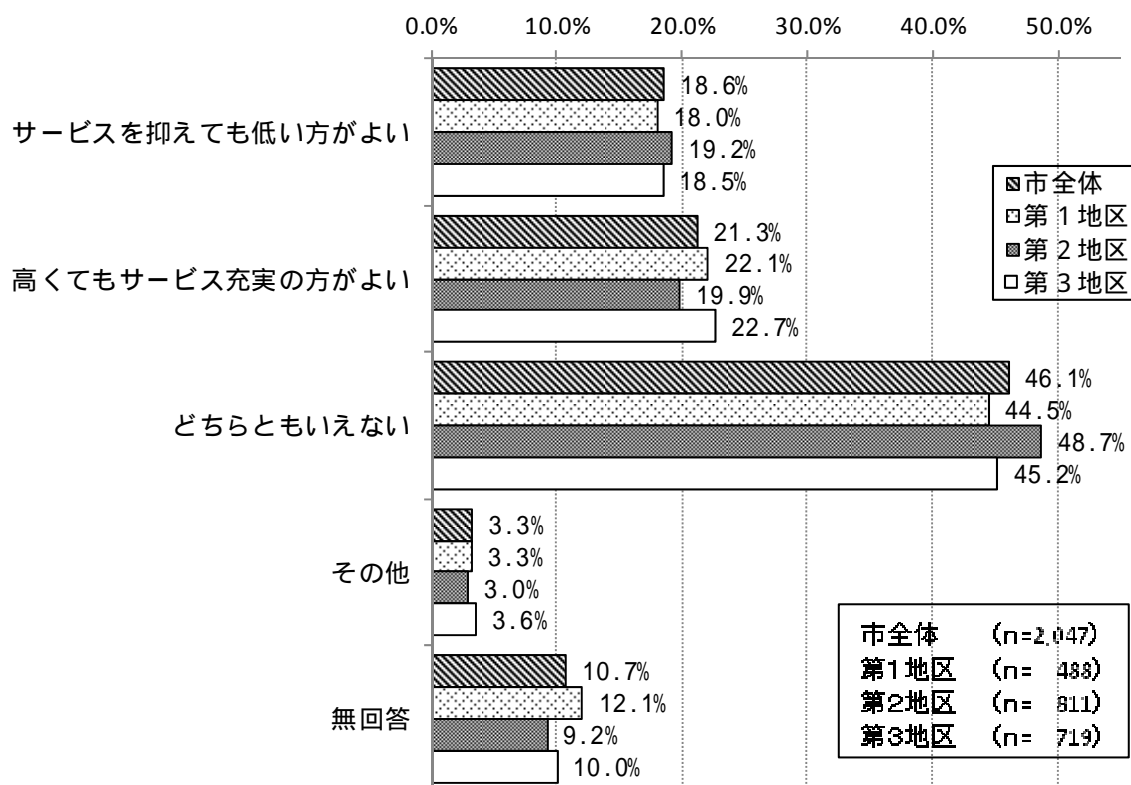


今後の介護の希望については、「介護サービスを利用しながら在宅で暮らしたい」が、市全体で38.6%、第1地区で37.3%、第2地区で38.8%、第3地区が39.9%と最も多く、次に多かったのが「家族や近隣・友人の支えで在宅で暮らしたい」（市全体23.6%）となっている。

(3) 介護保険料と介護サービス

Q3. 介護保険料と介護サービスのあり方について

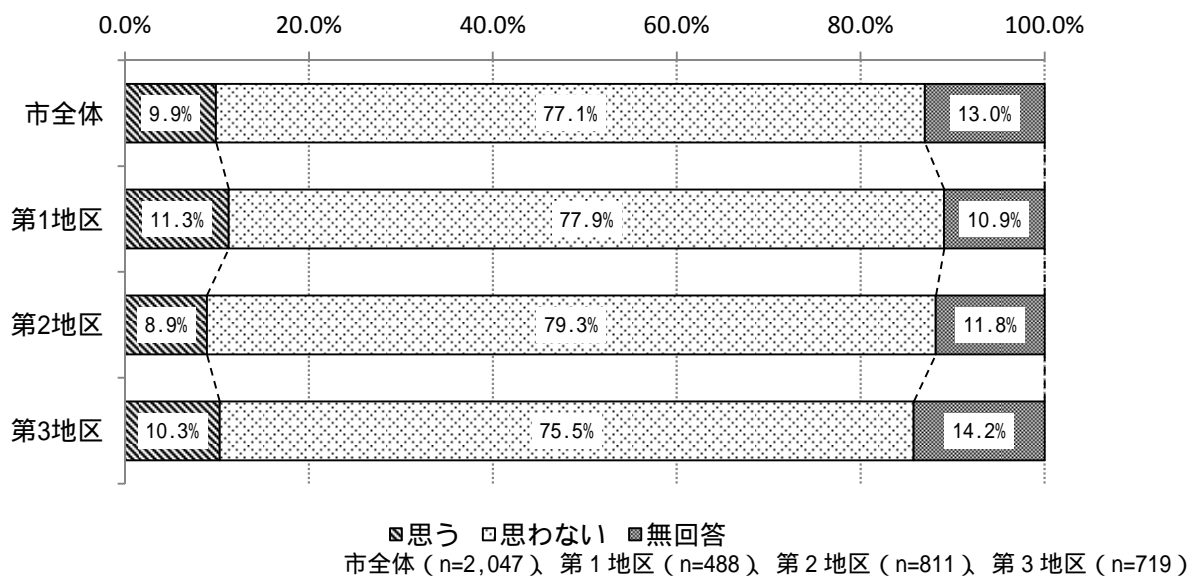
介護保険制度において65歳以上の方からいただいている保険料は、青梅市では、基準月額4,300円です。この保険料と介護サービスのあり方について、あなた(あて名御本人)のお考えに近いものはどれですか。(は1つ)



介護保険料と介護サービスのあり方については、「どちらともいえない」とする人が市全体で46.1%、第1地区で44.5%、第2地区で48.7%、第3地区が45.2%と最も多く、「サービスをおさえても低いほうがよい」と「高くてもサービスが充実していたほうがよい」はそれぞれ市全体で18.6%と21.3%で、それほど大きな差はみられなかった。

(4) サービス付き高齢者住宅

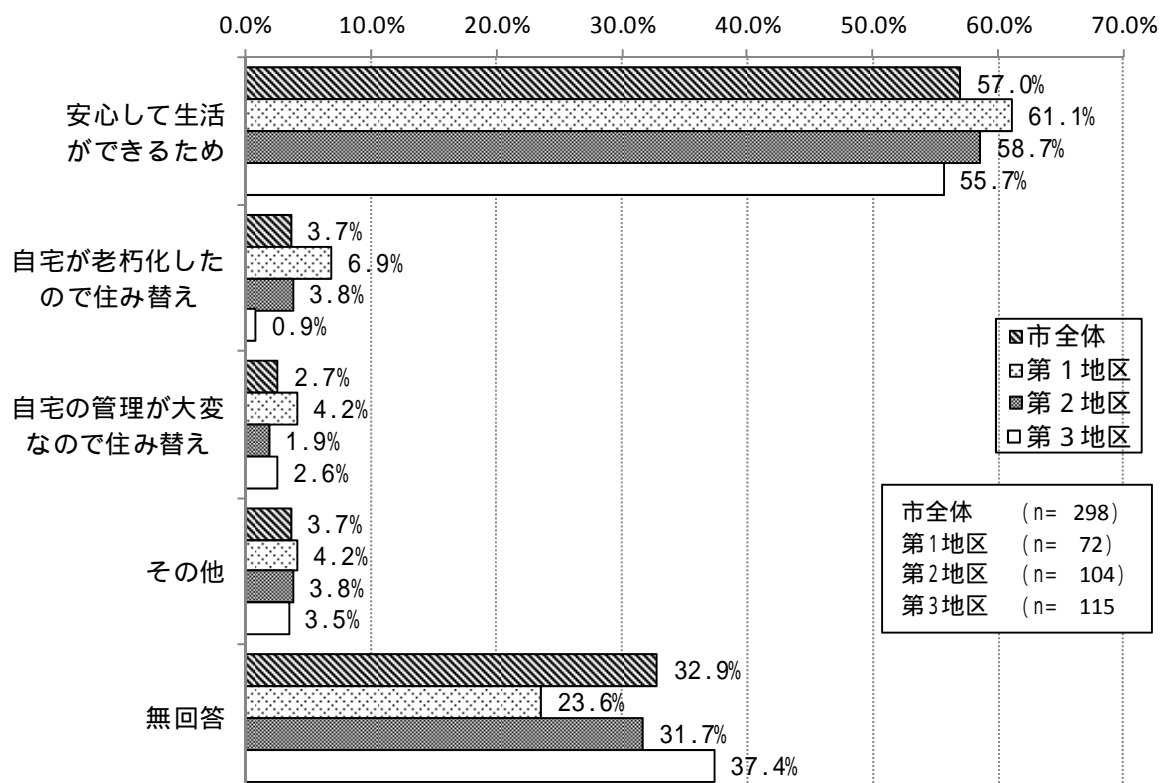
Q4. あなたは「サービス付き高齢者向け住宅」に入居したいと思いますか。(は1つ)



サービス付き高齢者住宅については、「入居したいと思う人」は、市全体で9.9%、第1地区が11.3%、第2地区が8.9%、第3地区が10.3%となっている。

(5) 入居したい理由

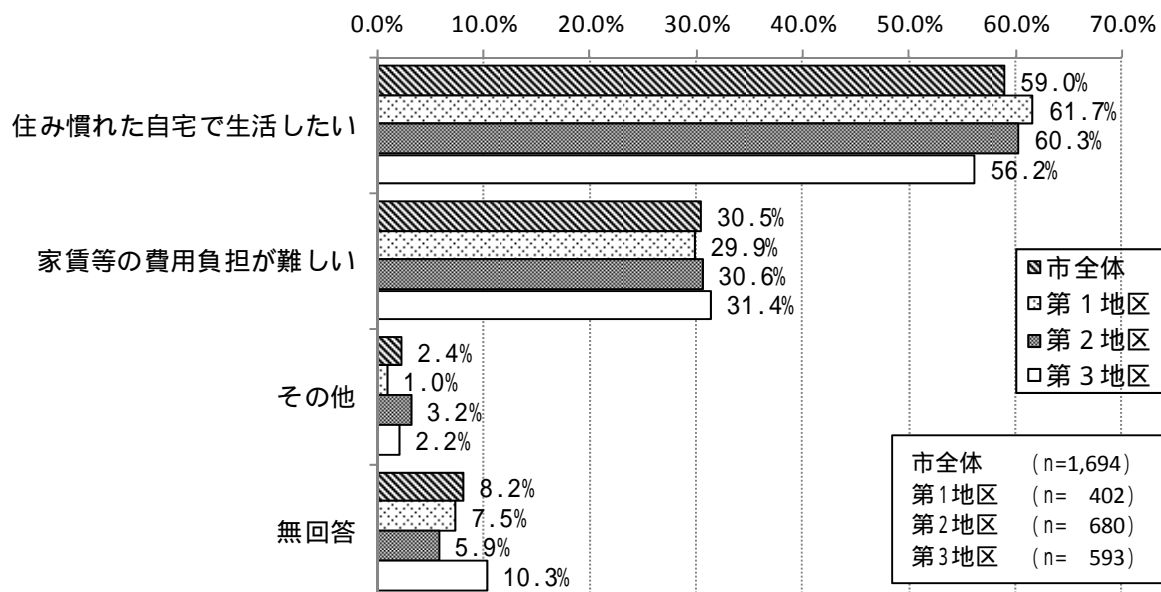
Q4-1. Q4で「思う」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか。(は1つ)



サービス付き高齢者住宅に「入居したいと思う」と答えた 298 人にその理由を聞いたところ、最も多かったのは「安心して生活できるため」で、市全体で 57.0%、第1地区が 61.1%、第2地区が 58.7%、第3地区が 55.7%となっている。

(6) 入居したくない理由

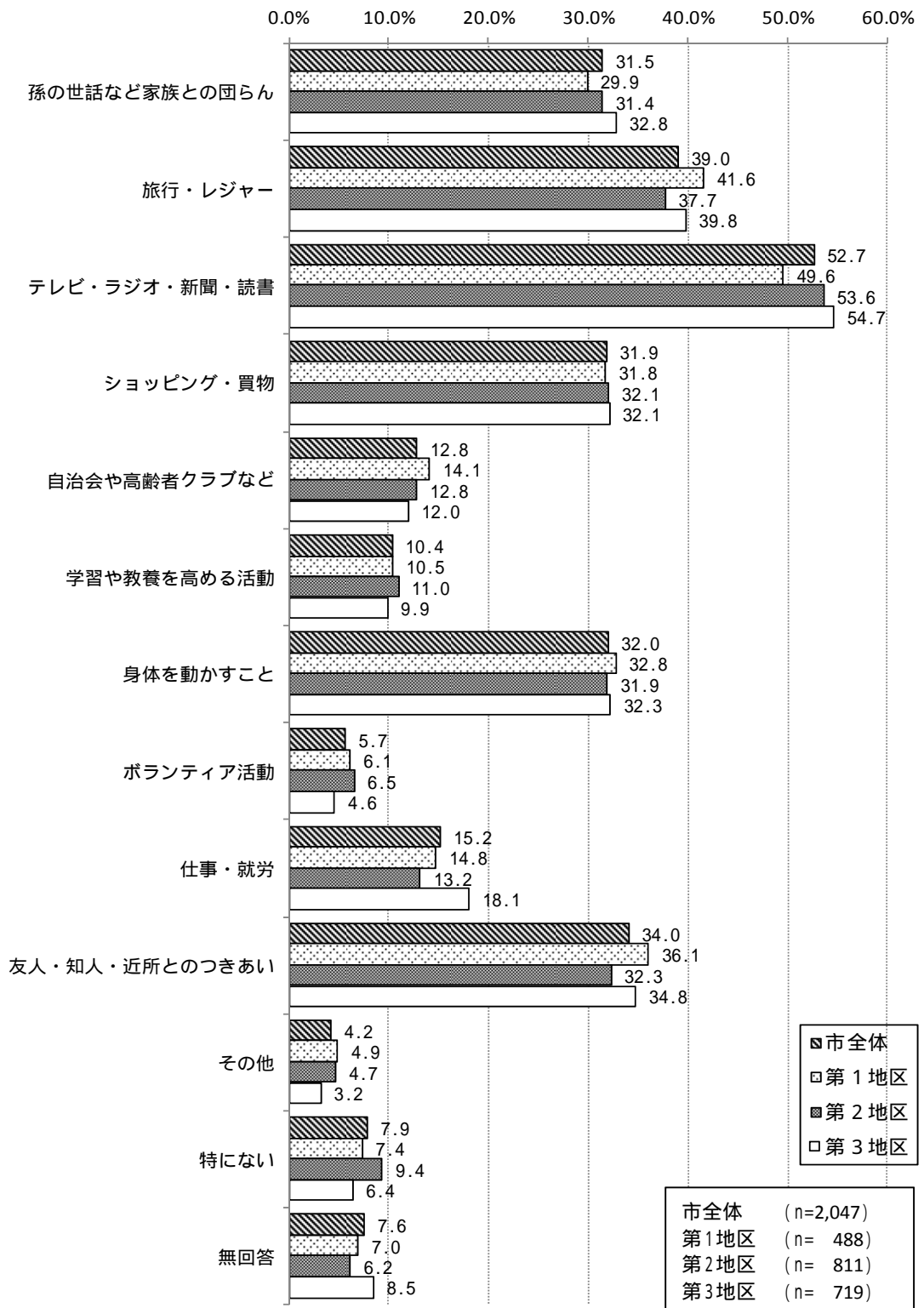
Q4-2. Q4で「思わない」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか。(は1つ)



「入居したいとは思わない」と答えた1,694人の理由で最も多かったのは「住み慣れた自宅で生活したい」で、市全体で59.0%、第1地区が61.7%、第2地区が60.3%、第3地区が56.2%となっている。

(7) 充実感や生きがい

Q5. あなた(あて名御本人)は、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか。(あてはまるものすべてに)

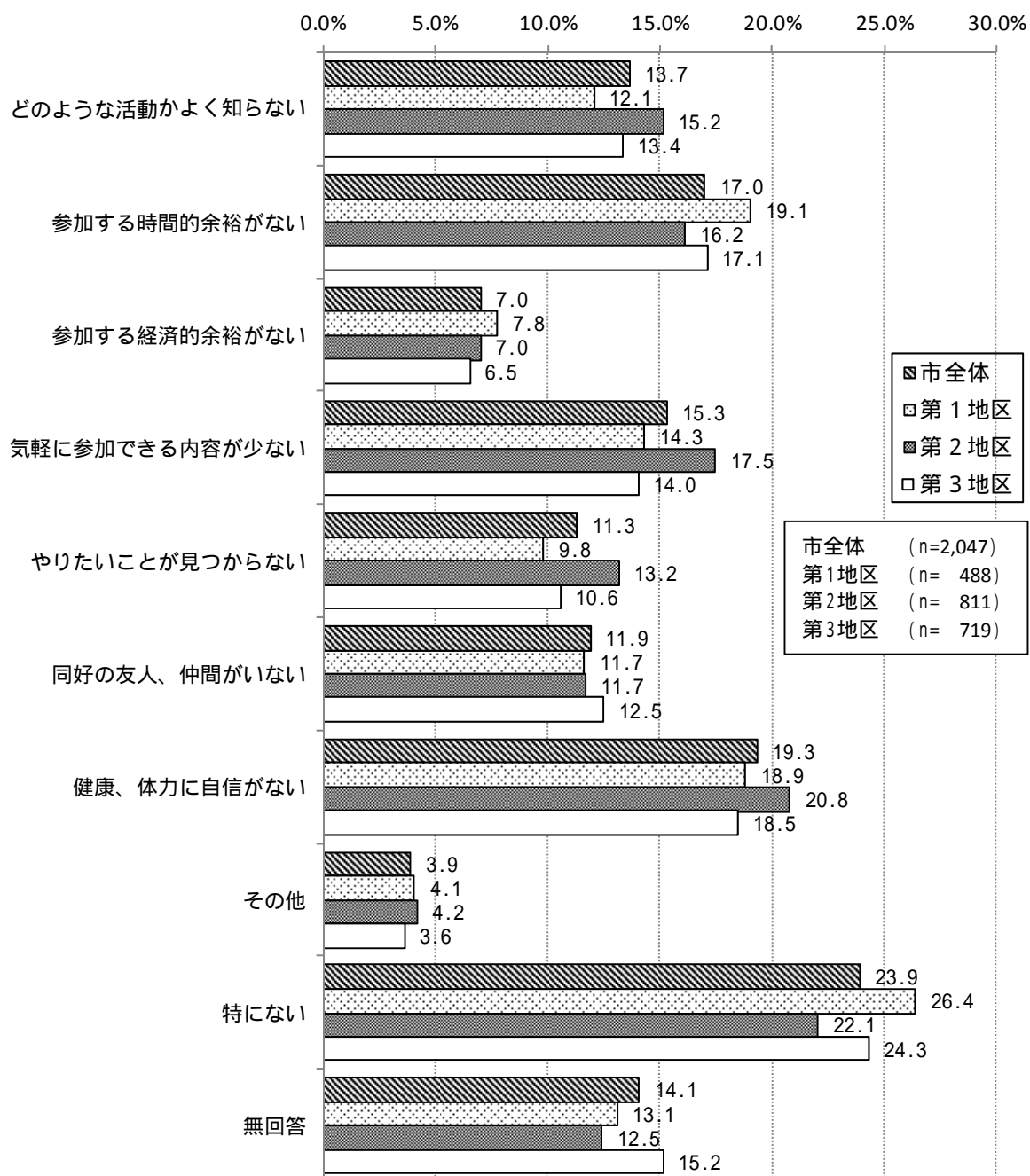


充実感や生きがいについては、「テレビ・ラジオ・新聞・読書」が、市全体で 52.7%、第1地区で 49.6%、第2地区で 53.6%、第3地区が 54.7%と、最も多くなっている。

以下、「旅行・レジャー」(市全体 39.0%)、「友人・知人・近所とのつきあい」(市全体 34.0%)、「身体を動かすこと」(市全体 32.0%)、「ショッピング・買い物」(市全体 31.9%)の順となっている。

(8) 地域活動参加の問題点

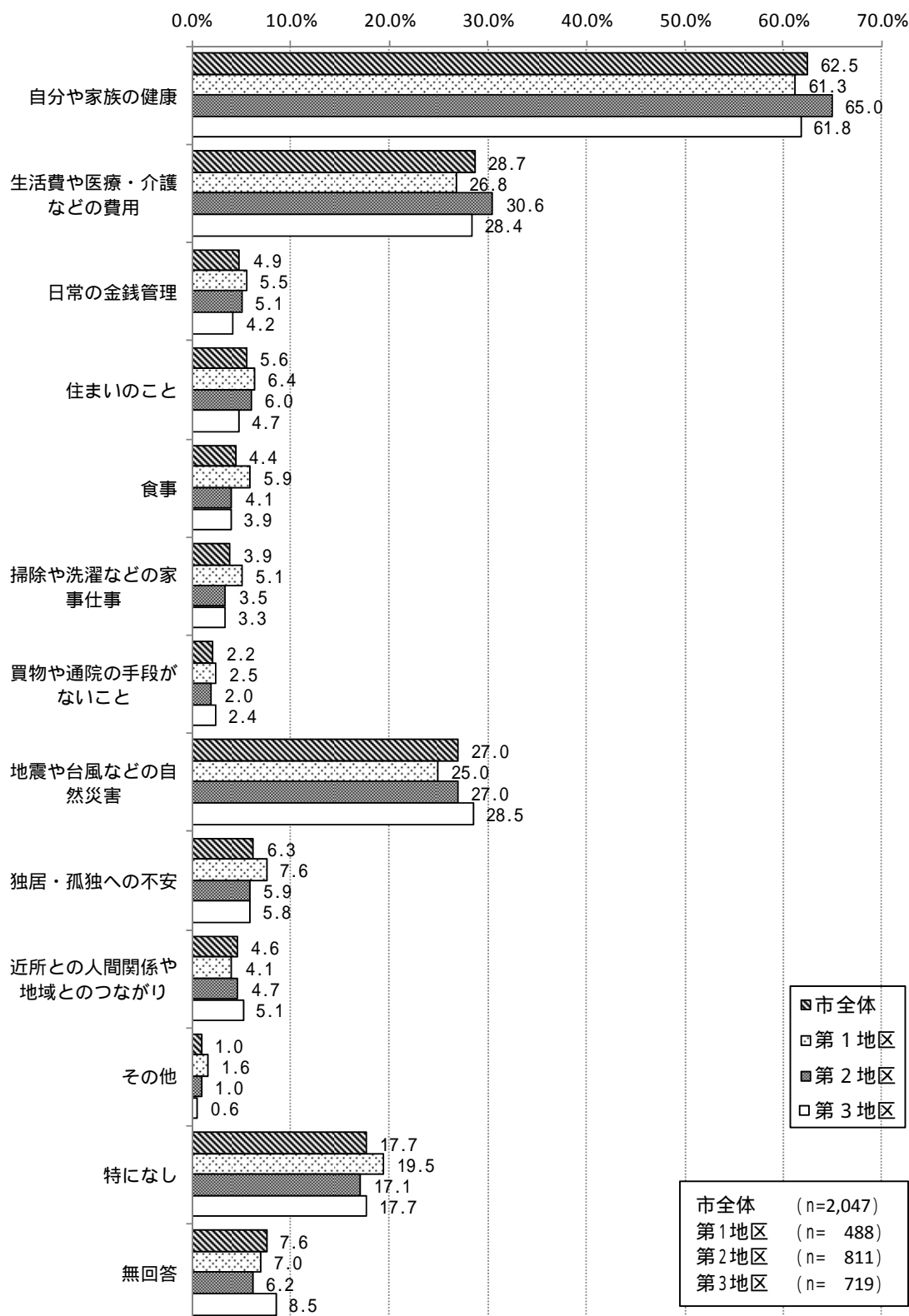
Q6. 地域の活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。(あてはまるものすべてに)



地域活動に参加する上での問題点については、「特にない」とした人が最も多かった。具体的にあげられた問題点としては、「健康、体力に自信がない」が、市全体で19.3%、第1地区で18.9%、第2地区で20.8%、第3地区が18.5%と最も多く、以下、「参加する時間的余裕がない」(市全体17.0%)、「気軽に参加できる内容が少ない」(市全体15.3%)の順となっている。

(9) 日常生活での不安

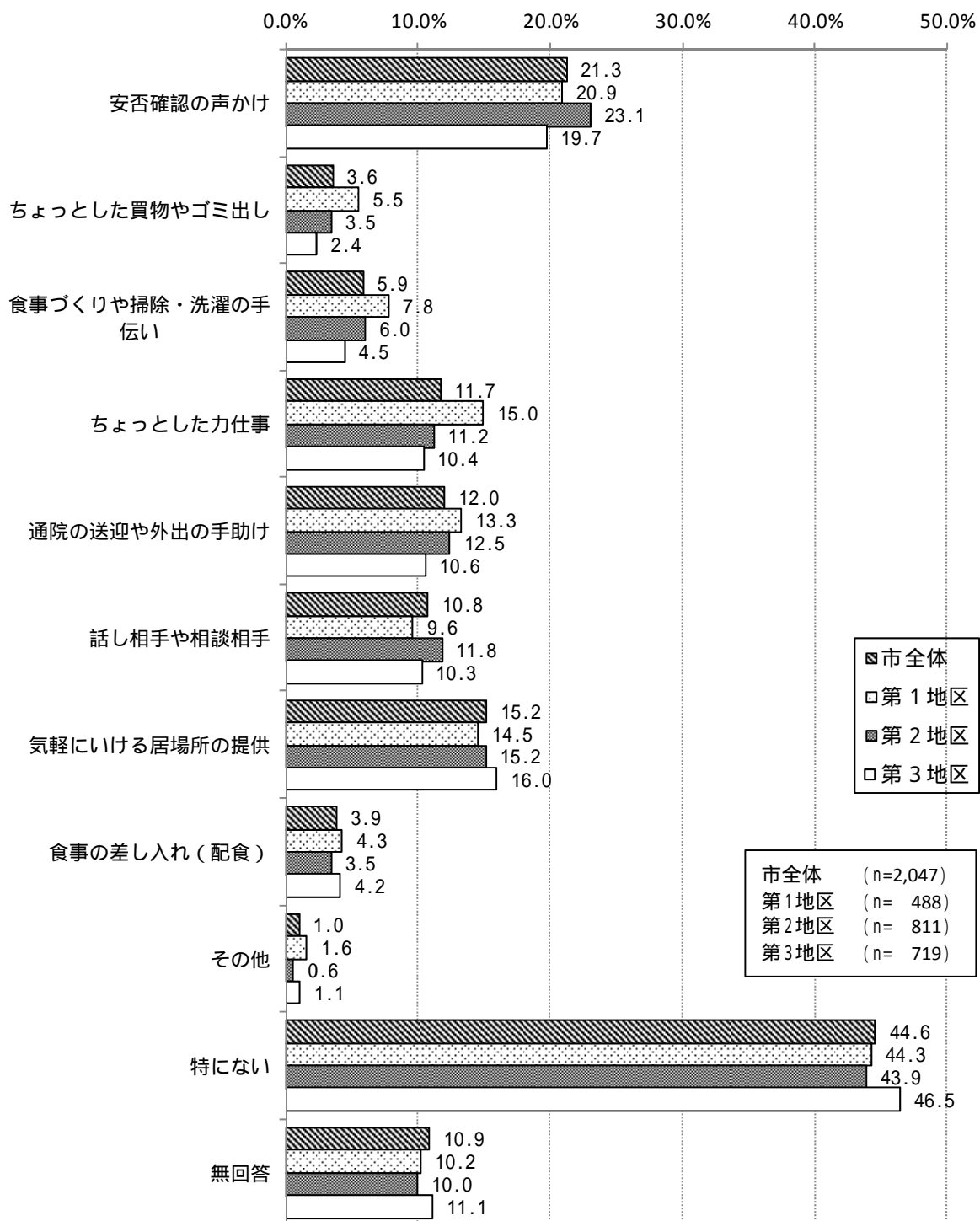
Q7. 日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすることがありますか。(あてはまるものすべてに)



日常生活での不安については、「自分や家族の健康」とした人が、市全体で62.5%、第1地区で61.3%、第2地区で65.0%、第3地区が61.8%と最も多く、以下、「生活費や医療・介護などの費用」(市全体28.7%)、「地震や台風などの自然災害」(市全体27.0%)の順となっている。

(10) 地域の手助け

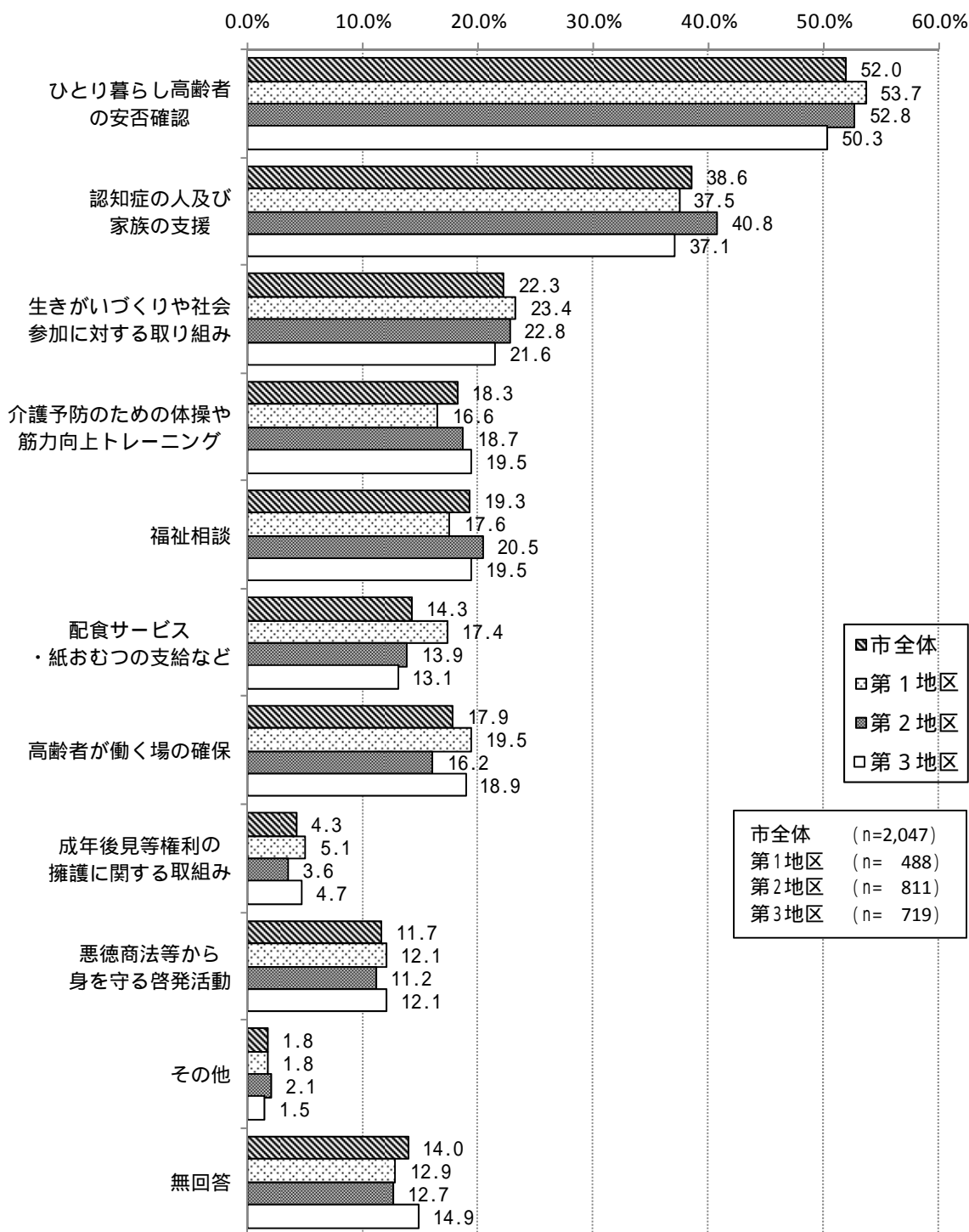
Q8. 現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域でどのような手助けがあれば助かると思いますか。
(あてはまるものすべてに)



地域の手助けについては、「特にない」とした人が最も多かった。具体的にあげられた手助けの内容では、「安否確認の声かけ」が市全体で21.3%、第1地区が20.9%、第2地区が23.1%、第3地区が19.7%と最も多く、以下、「気軽にいける居場所の提供」(市全体15.2%)、「退院の送迎や外出の手助け」(市全体12.0%)、「ちょっとした力仕事」(市全体11.7%)の順となっている。

(11) 高齢者施策

Q9. 市が充実させるべきと思う高齢者施策は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに)



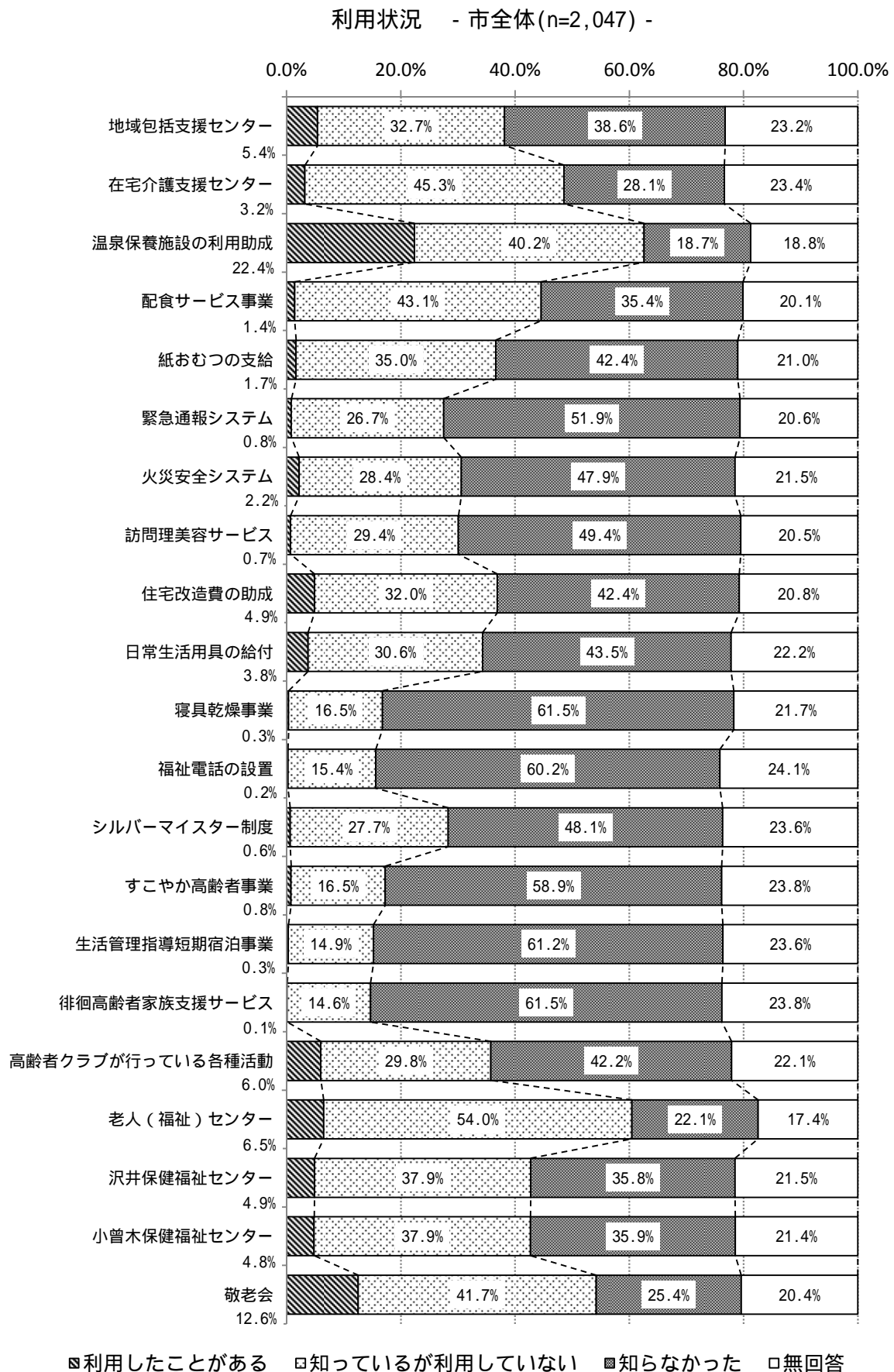
高齢者施策については、「ひとり暮らし高齢者の安否確認」が、市全体で52.0%、第1地区が53.7%、第2地区が52.8%、第3地区が50.3%と最も多くなっている。

市全体としては、次いで「認知症の人及び家族の支援」38.6%、と「生きがいきづくりや社会参加に対する取り組み」22.3%となっている。

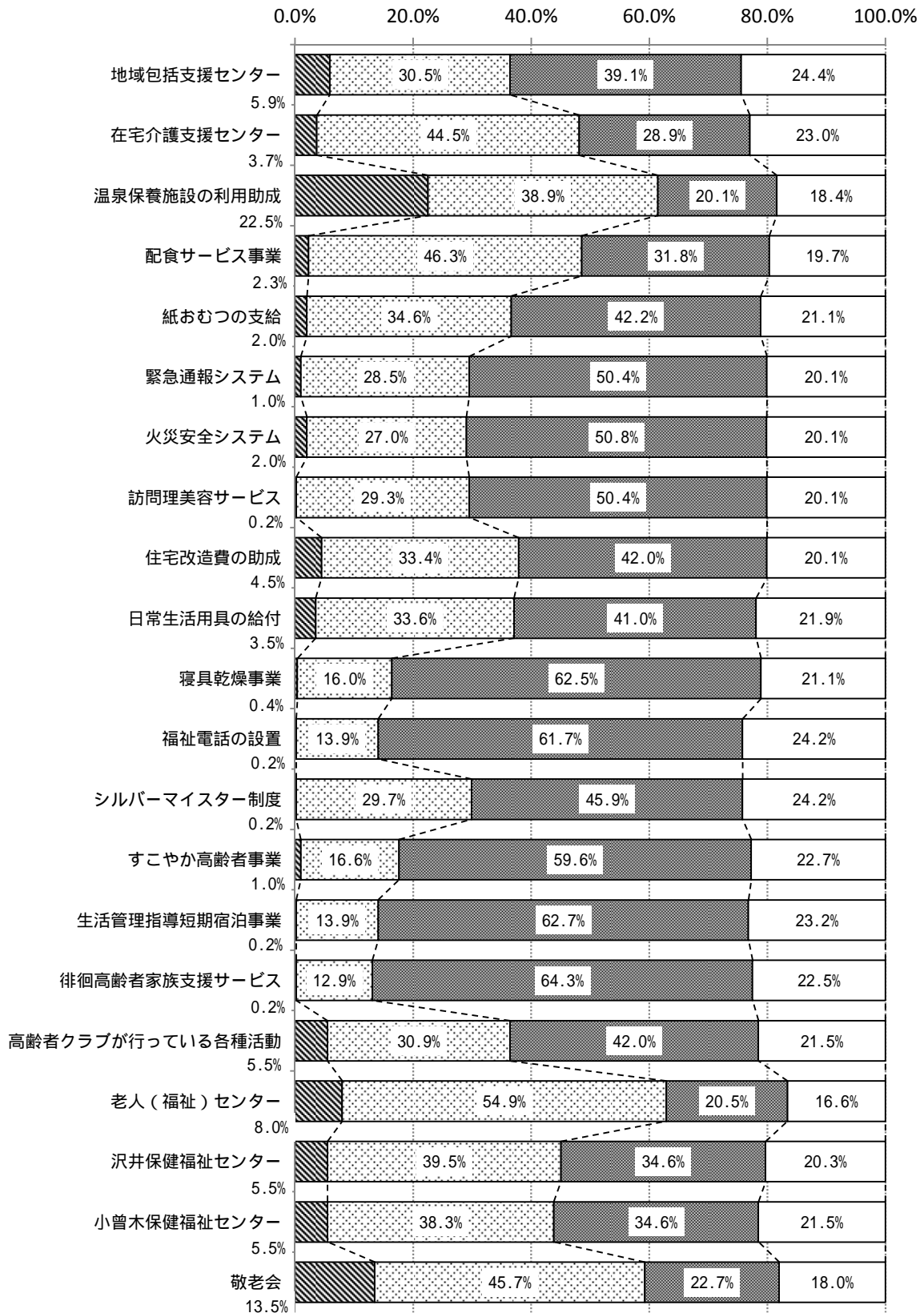
(12) 高齢者福祉サービス

Q10. 高齢者福祉サービス

各事業ごとに、利用状況と今後の利用希望について、該当するものを選んでください。(は1つ)

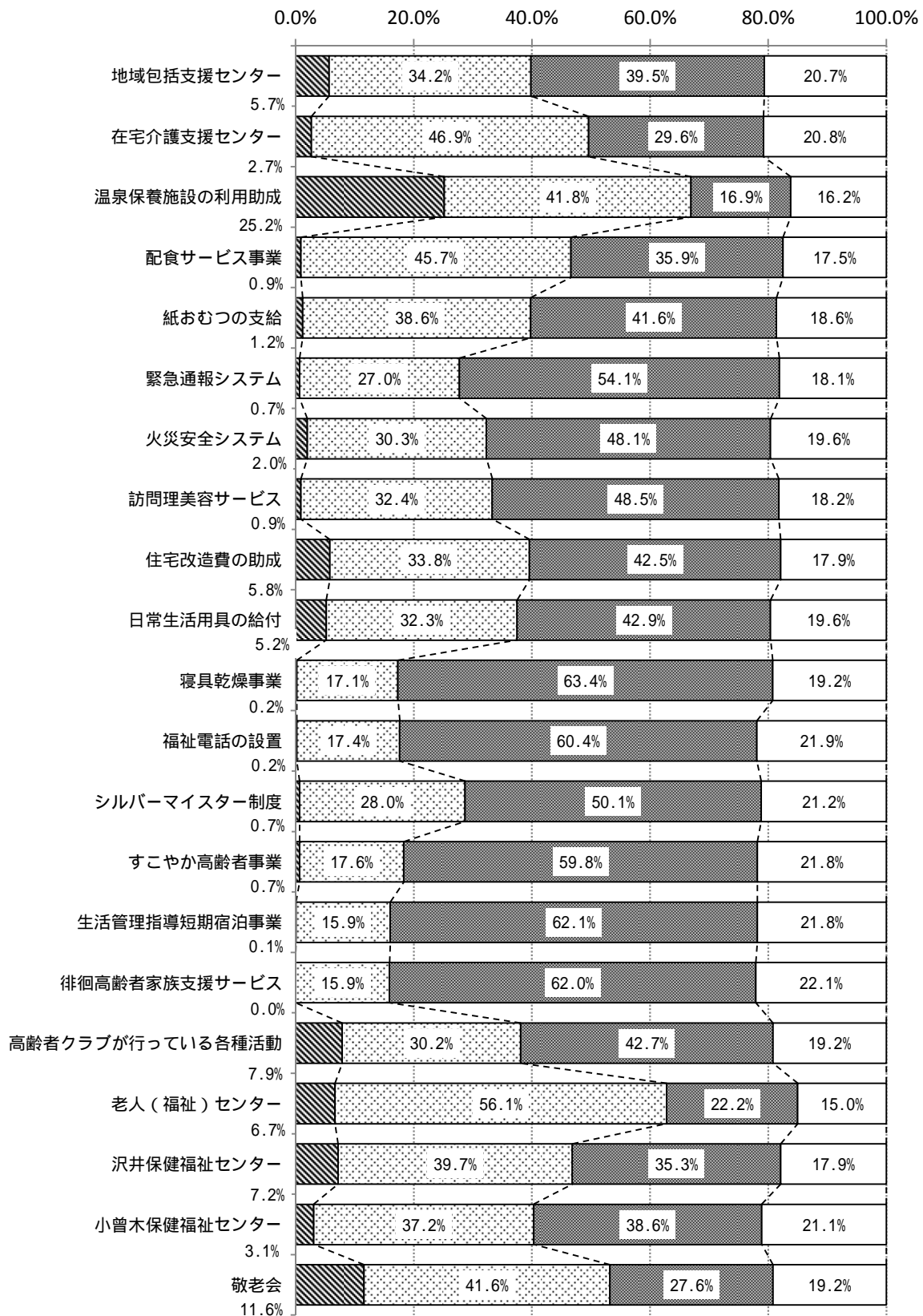


利用状況 - 第1地区 (n=488) -



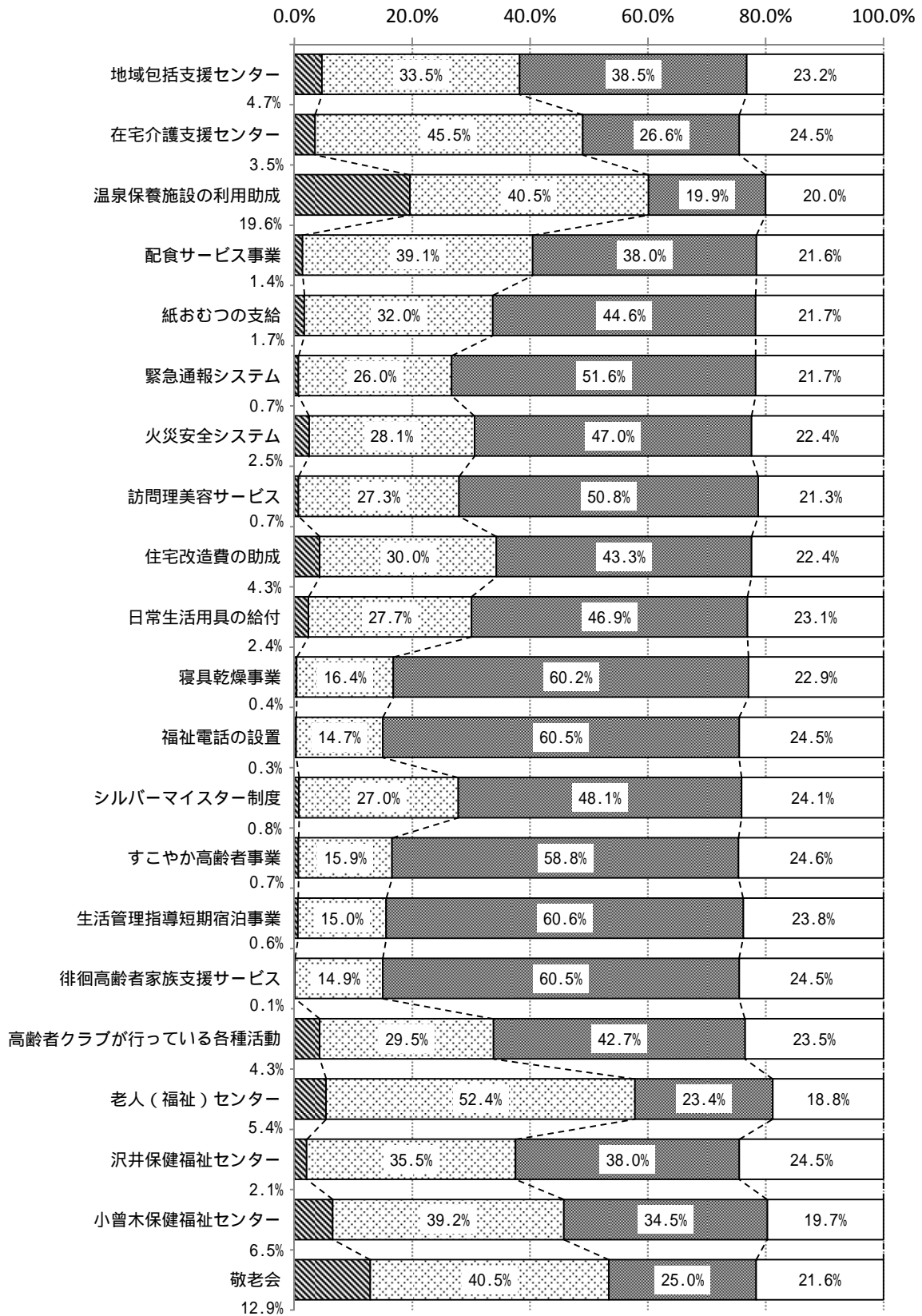
■利用したことがある □知っているが利用していない ■知らなかった □無回答

利用状況 - 第2地区 (n=811) -



■利用したことがある □知っているが利用していない ■知らなかった □無回答

利用状況 - 第3地区 (n=719) -



▨利用したことがある ◻知っているが利用していない ■知らなかった □無回答

高齢者福祉サービスの利用状況について

「利用したことがある」割合は、【温泉保養施設の利用助成】が市全体で22.4%、第1地区が22.5%、第2地区が25.2%、第3地区が19.6%で最も高く、続いて【敬老会】が市全体で12.6%、第1地区が13.5%、第2地区が11.6%、第3地区が12.9%である。

以下、【老人(福祉)センター】(市全体6.5%)、【高齢者クラブが行っている各種活動】(市全体6.0%)、【地域包括支援センター】(市全体5.4%)の順となっている。

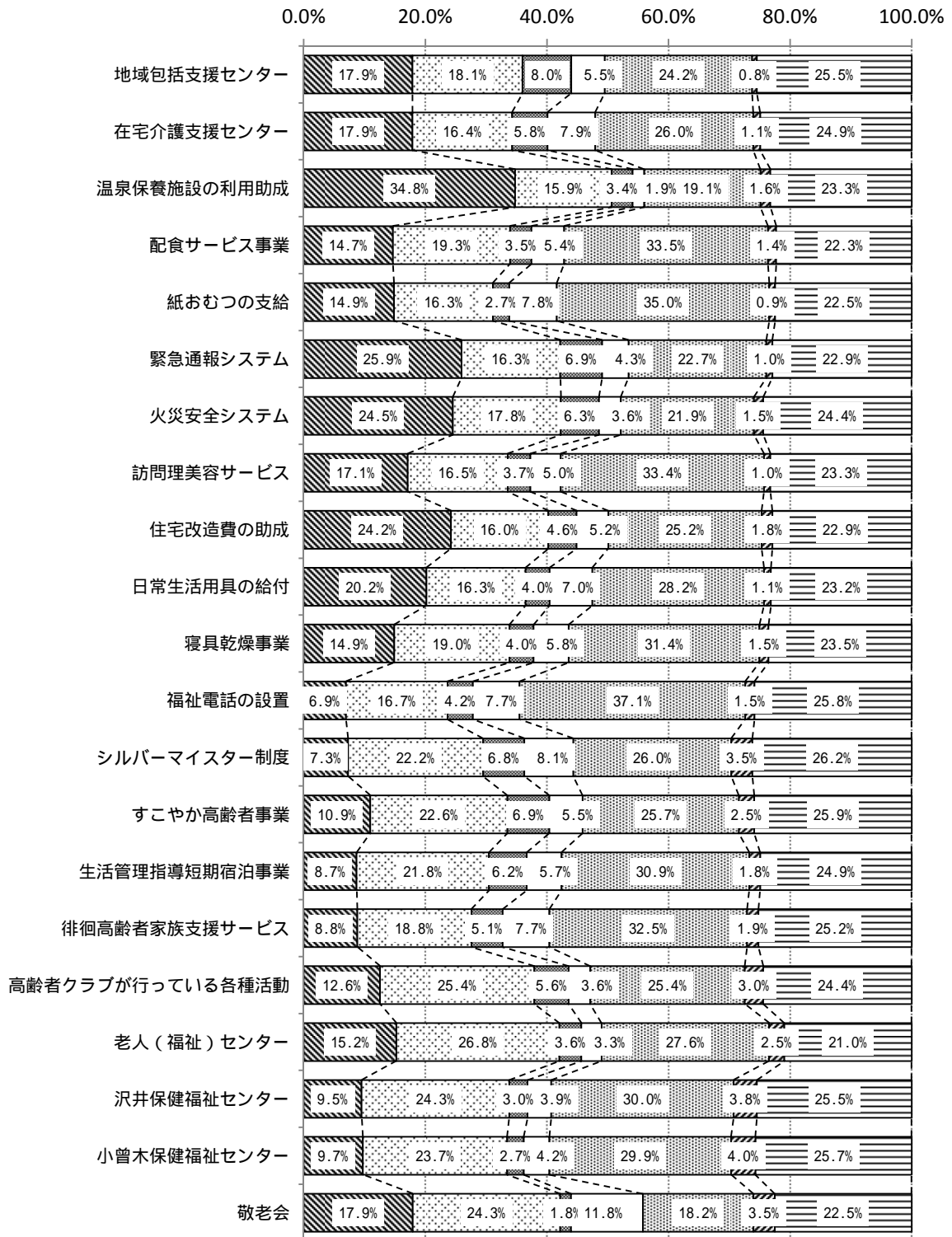
「知っているが利用していない」の割合は、【老人(福祉)センター】が市全体で54.0%、第1地区が54.9%、第2地区が56.1%、第3地区が52.4%で最も高く、続いて【在宅介護支援センター】が市全体で45.3%、第1地区が44.5%、第2地区が46.9%、第3地区が45.5%である。

以下、【配食サービス事業】(市全体43.1%)、【敬老会】(市全体41.7%)、【温泉保養施設の利用助成】(市全体40.2%)の順となっている。

「知らなかった」割合は、【寝具乾燥事業】が市全体で61.5%、第1地区が62.5%、第2地区が63.4%、第3地区が60.2%、また、【徘徊高齢者家族支援サービス】も市全体では【寝具乾燥事業】と同率の61.5%、第1地区が64.3%、第2地区が62.0%、第3地区が60.5%と、この2つの事業が高かった。

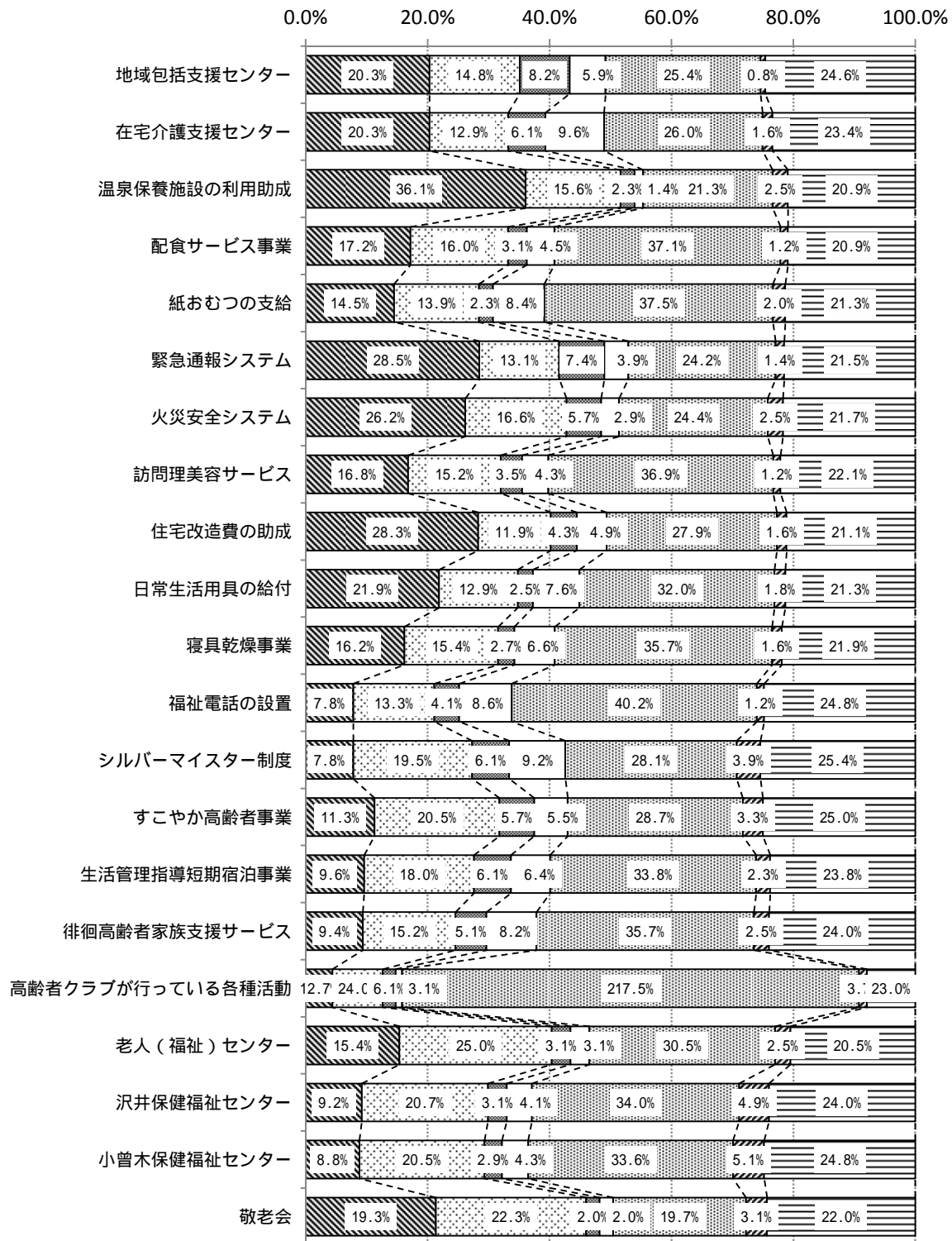
以下、【生活管理指導】(市全体61.2%)、【福祉電話の設置】(市全体60.2%)、【すこやか高齢者事業】(市全体58.9%)の順となっている。

利用希望 - 市全体 (n=2,047) -



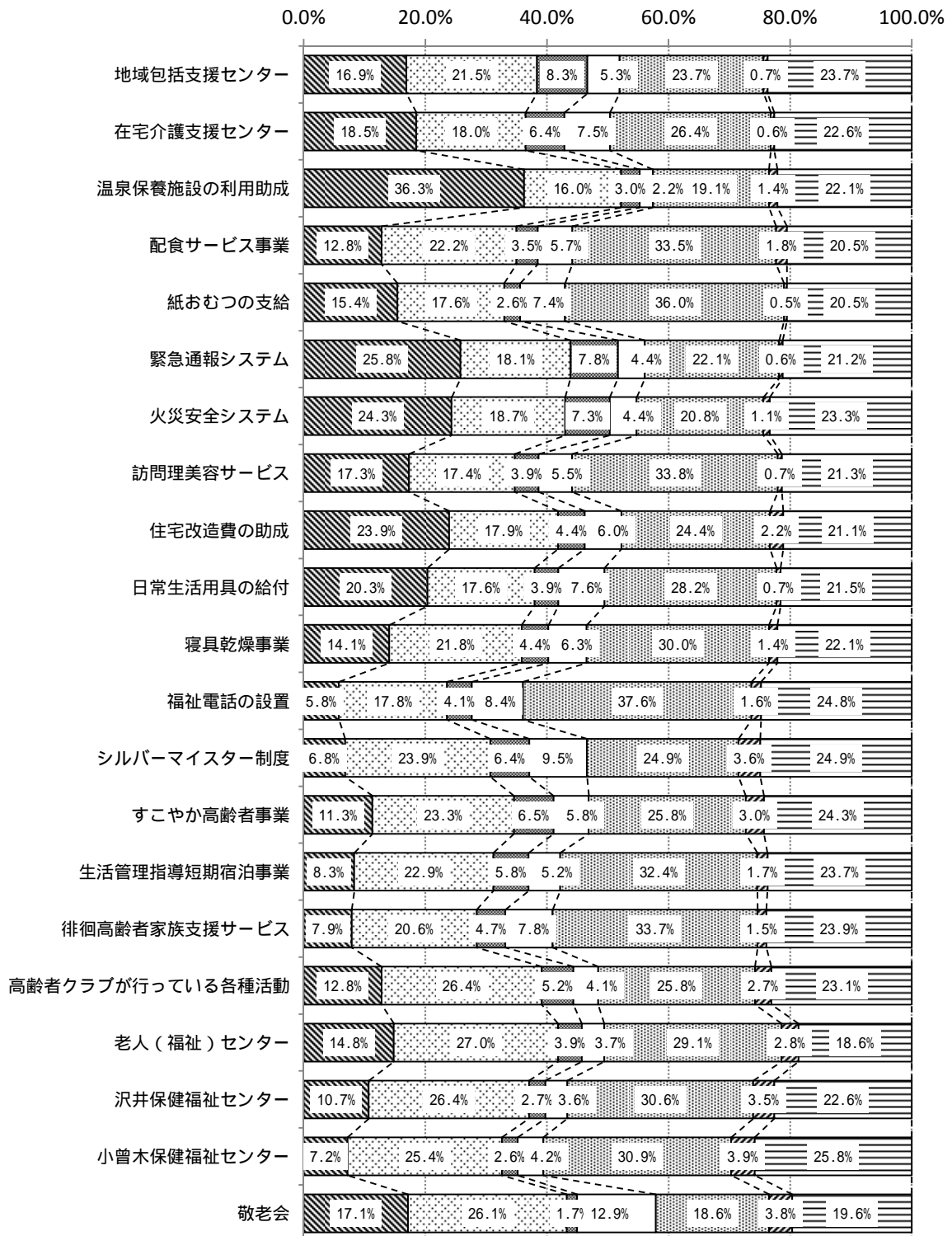
- 利用したい
- 希望しない
対象者ではないため
- 希望しない
必要としないため
- 希望しない
制度がよくわからないため
- 希望しない
その他
- 無回答

利用希望 - 第1地区 (n=488) -



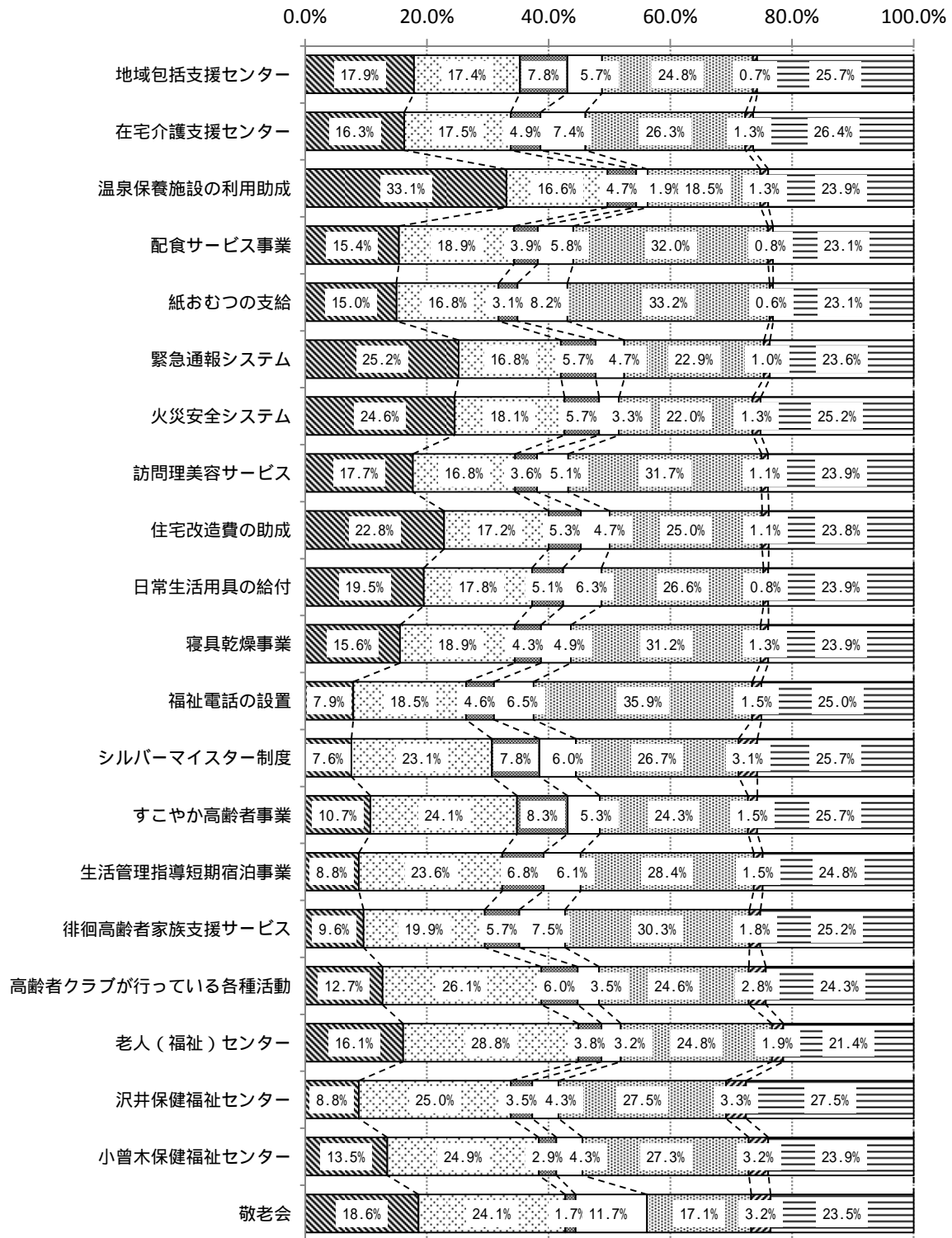
- 利用したい
- 希望しない
- 希望しない
対象者ではないため
- 無回答
- どちらともいえない
- 希望しない
必要としないため
- 希望しない
制度がよくわからないため
- 希望しない
その他

利用希望 - 第2地区 (n=811) -



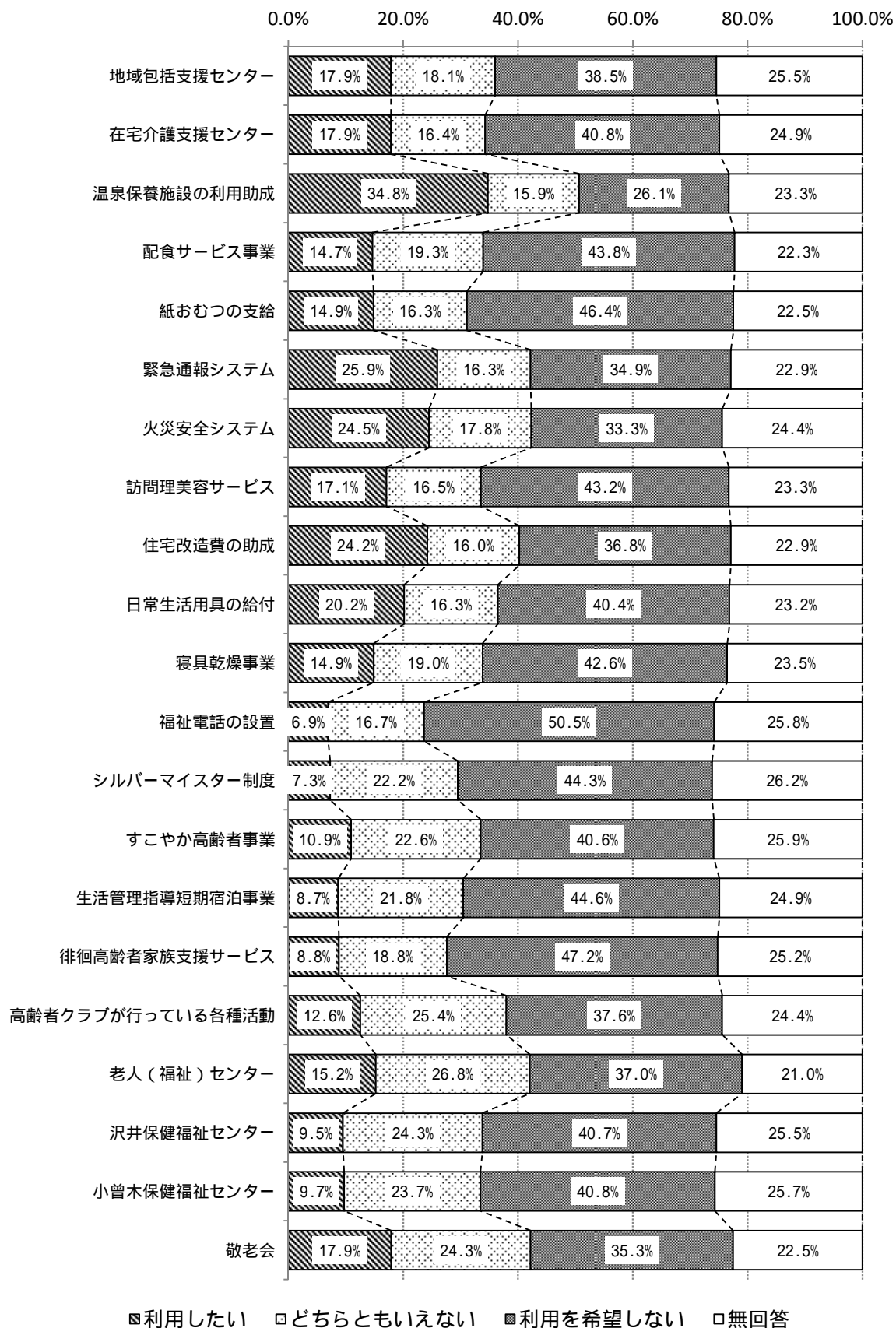
- 利用したい
- 希望しない
対象者ではないため
- 無回答
- どちらともいえない
- 希望しない
必要としないため
- 希望しない
制度がよくわからないため
- 希望しない
その他

利用希望 - 第3地区 (n=719) -

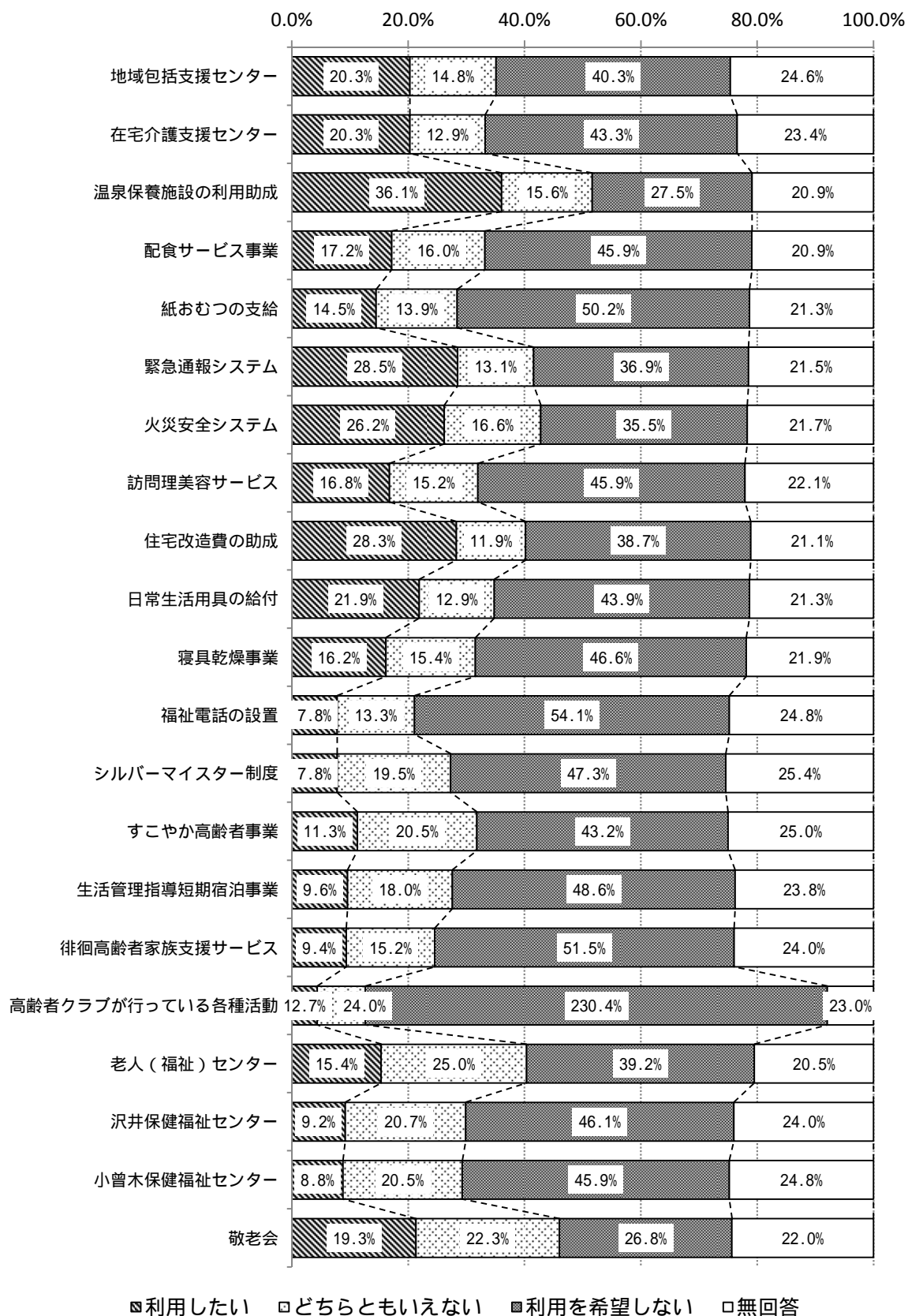


- 利用したい
- 希望しない
- 希望しない 対象者ではないため
- 無回答
- どちらともいえない
- 希望しない
- 希望しない 必要としないため
- 希望しない 制度がよくわからないため
- 希望しない
- その他

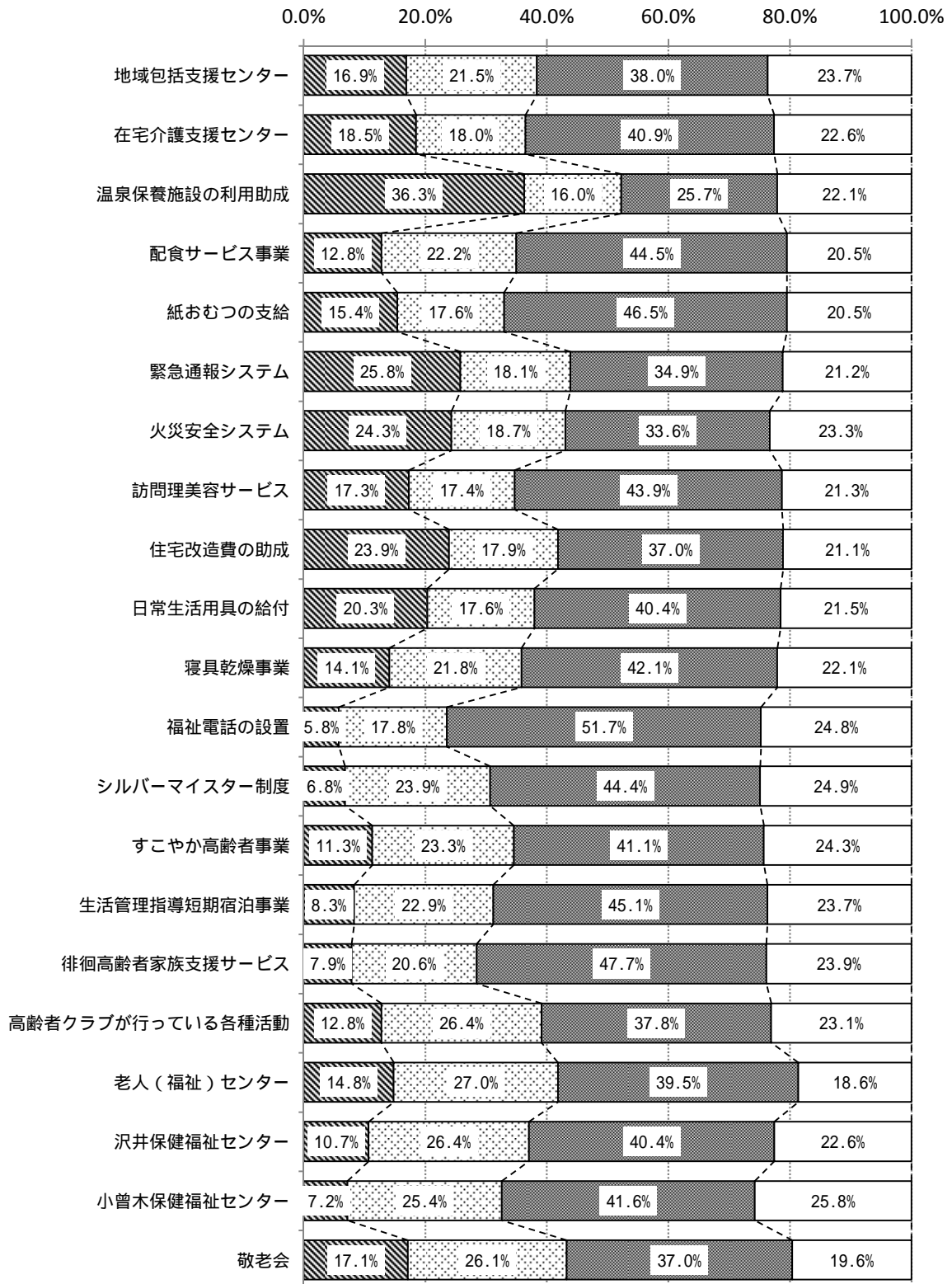
利用希望（希望しない理由を統合） - 市全体(n=2,047) -



利用希望（希望しない理由を統合） - 第1地区（n=488） -

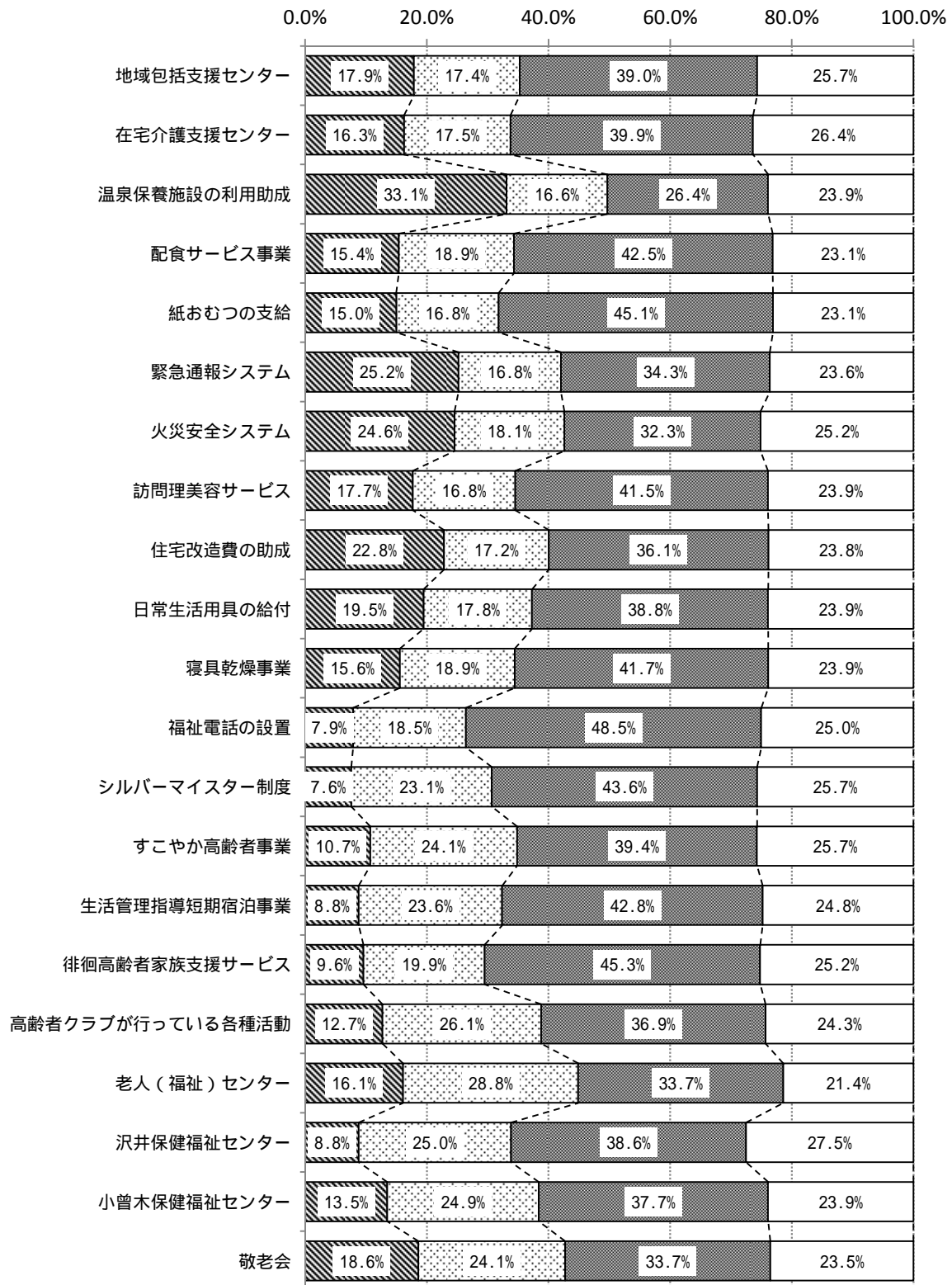


利用希望（希望しない理由を統合） - 第2地区（n=811） -



■利用したい □どちらともいえない ■利用を希望しない □無回答

利用希望（希望しない理由を統合） - 第3地区（n=719） -



■利用したい □どちらともいえない ■利用を希望しない □無回答

高齢者福祉サービスの利用希望について

高齢者福祉サービスの今後の利用意向について、「利用したい」割合は、【温泉保養施設の利用助成】が市全体で34.8%、第1地区が36.1%、第2地区が36.3%、第3地区が33.1%で最も高く、続いて【緊急通報システム】が市全体で25.9%、第1地区が28.5%、第2地区が25.8%、第3地区が25.2%である。

以下、【火災安全システム】(市全体24.5%)、【住宅改造費の助成】(市全体24.2%)、【日常生活用具の給付】(市全体20.2%)の順となっている。

「利用を希望しない」の割合は、【福祉電話の設置】が市全体で50.5%、第1地区が54.1%、第2地区が51.7%、第3地区が48.5%で最も高く、続いて【徘徊高齢者家族支援サービス】が市全体で47.2%、第1地区が51.4%、第2地区が47.6%、第3地区が45.3%である。

以下、【紙おむつの支給】(市全体46.4%)、【生活管理指導短期宿泊事業】(市全体44.6%)、【シルバーマイスター制度】(市全体44.3%)の順となっている。

「利用を希望しない」のうち、希望しない理由として「制度がよくわからないため」の割合は、【地域包括支援制度】(市全体8.0%)、【緊急通報システム】(市全体6.9%)、【すこやか高齢者事業】(市全体6.9%)、【シルバーマイスター制度】(市全体6.8%)の順となっている。

希望しない理由として「対象者ではないため」の割合は、【敬老会】(市全体11.8%)、【シルバーマイスター制度】(市全体8.1%)、【在宅介護支援センター】(市全体7.9%)、【紙おむつの支給】(市全体7.8%)の順となっている。

希望しない理由として「必要としないため」の割合は、【福祉電話の設置】(市全体37.1%)、【紙おむつの支給】(市全体35.0%)、【配食サービス】(市全体33.5%)、【徘徊高齢者家族支援サービス】(市全体32.5%)の順となっている。

Q11. 今後の青梅市の高齢者施策についての御意見等があれば、御自由に御記入ください。

記入内容	件数
サービスについて	71
高齢者施策について	58
アンケートについて	26
情報提供について	37
金銭面の負担について	31
介護保険制度について	16
交通機関の充実について	24
運動・娯楽施設等の充実について	36
老人（福祉）センターについて	14
介護保険料について	17
家族への支援について	4
施設入所について	12
介護施設について	22
バリアフリーについて	5
医療体制について	15
市の財政について	3
相談体制の充実について	15
高齢者の活用について	5
介護予防・認知症予防について	7
要介護認定について	6
高齢者クラブについて	2
敬老会について	10
介護職等の人材について	2

調査票に複数の記入内容がある場合、複数でカウントしてある。

生活支援ソフトによる調査結果の評価

生活支援ソフト（以下「本ソフト」と表記）は、日常生活圏域ニーズ調査（以下「ニーズ調査」と表記）回答者のデータをデータベース化し、複合抽出条件（クロスチェック）を用いて抽出対象者のリスト一覧、個人台帳、結果アドバイス表の示・出力などを行うアプリケーションであり、厚生労働省老健局から保険者に提供されたものである。

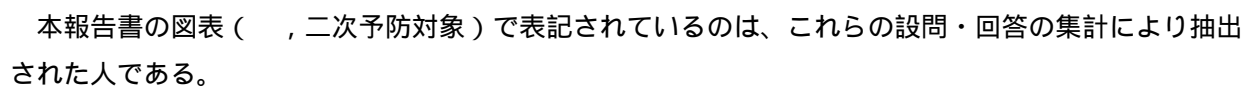
なお、本ソフトは、個々の高齢者の状態を把握し、個別の健康指導に供することを目的としているので対象データに制約があるため、集計対象の2047票の内、実際に本ソフトに入力可能なデータ票数は1983票であった。

以下、2013年12月に厚労省老健局から提供された改修版の本ソフトにより、「青梅市高齢者に関する調査」の調査データの属性別集計結果を示す。

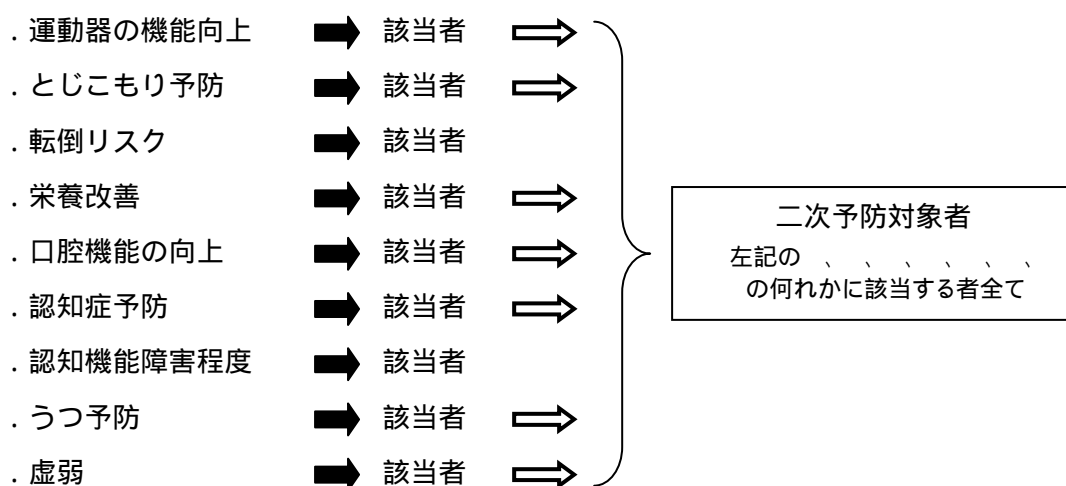
1. 機能についての評価 - 二次予防対象者の抽出

「二次予防対象者」は、要支援・要介護認定を受けていないが、生活機能低下の可能性があり、介護予防事業を利用することにより要介護状態になることを予防することが効果的であると考えられる人であり、以下の9の評価項目の中で下図に示す7つの評価項目の何れかに該当する者全てが対象となる。

二次予防対象については、「運動器の機能向上」「とじこもり予防」「転倒リスク」「栄養改善」「口腔機能の向上」「認知症予防」「うつ予防」「虚弱」の項目別評価と、総合評価「二次予防対象者」がある。

本報告書の図表（、二次予防対象）で表記されているのは、これらの設問・回答の集計により抽出された人である。

実際の抽出はアンケートの25項目の「基本チェックリスト」の回答状況を点数化し、その点数が一定以上の場合「候補者」となる。該当項目は、結果とともに以下で示す。



生活支援ソフトにおける評価項目と「高齢者に関する調査」の項目の対応

二次予防対象者の抽出

○ 基本チェックリスト

問番号	設問	該当する選択肢
問6-Q1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	「2. できるだけしていない」or「3. できない」
問6-Q2	日用品の買物をしていますか	「2. できるだけしていない」or「3. できない」
問6-Q5	預貯金の出し入れをしていますか	「2. できるだけしていない」or「3. できない」
問7-Q5	友人の家を訪ねていますか	「2. いいえ」
問7-Q6	家族や友人の相談にのっていますか	「2. いいえ」
問2-Q1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「2. いいえ」
問2-Q2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「2. いいえ」
問2-Q3	15分位続けて歩いていますか	「2. いいえ」
問3-Q1	この1年間に転んだことがありますか	「1. はい」
問3-Q2	転倒に対する不安は大きいですか	「1. はい」
問4-Q1	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」
問4-Q2	身長()cm、体重()kg	BMI<18.5
問4-Q3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」
問4-Q4	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」
問4-Q5	口の渇きが気になりますか	「1. はい」
問2-Q5	週に1回以上は外出していますか	「2. いいえ」
問2-Q6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. はい」
問5-Q1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	「1. はい」
問5-Q2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」
問5-Q3	今日が何月何日かわからない時がありますか	「1. はい」
問8-Q8	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	「1. はい」
問8-Q9	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	「1. はい」
問8-Q10	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	「1. はい」
問8-Q11	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	「1. はい」
問8-Q12	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	「1. はい」

○ 評価方法

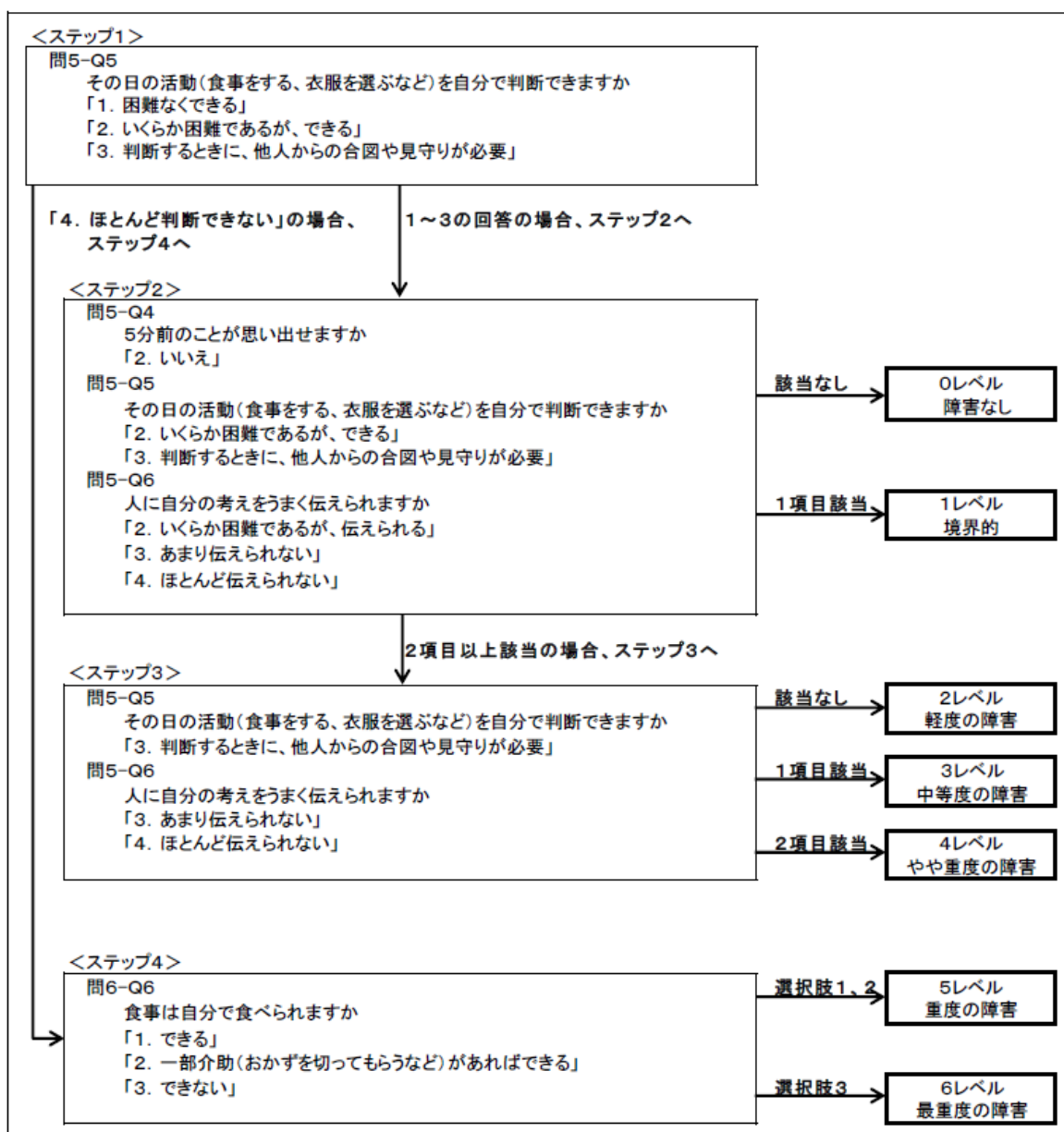
項目	評価に用いた問番号	評価方法
① 虚弱	問6-Q1・2・5、問7-Q5・6、問2-Q6及び以下の②～⑥までの14問(計20問)	10問以上該当する選択肢が回答された場合は「該当」
② 運動器の機能向上	問2-Q1～3、問3-Q1・2(計5問)	3問以上該当する選択肢が回答された場合は「該当」
③ 栄養改善	問4-Q1・2	全てで該当する選択肢が回答された場合は「該当」
④ 口腔機能の向上	問4-Q3～5	2問以上該当する選択肢が回答された場合は「該当」
⑤ 閉じこもり予防	問2-Q5	該当する選択肢が回答された場合は「注意」
⑥ 認知症予防	問5-Q1～3	いずれかで該当する選択肢が回答された場合は「注意」
⑦ うつ予防・支援	問8-Q8～12	2問以上該当する選択肢が回答された場合は「注意」

転倒リスク対象者の抽出

問番号	設問	配点と選択肢
問3-Q1	この1年間に転んだことがありますか	5:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問3-Q3	背中が丸くなってきましたか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問3-Q4	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問3-Q5	杖を使っていますか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問8-Q3	現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか	2:「5. 5種類以上」 0:「1~4または6」

〇6点以上:リスクあり

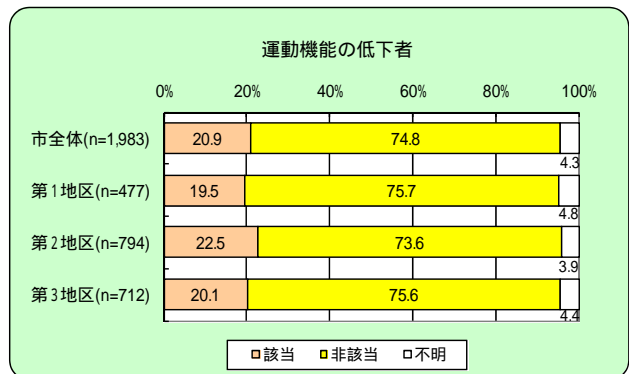
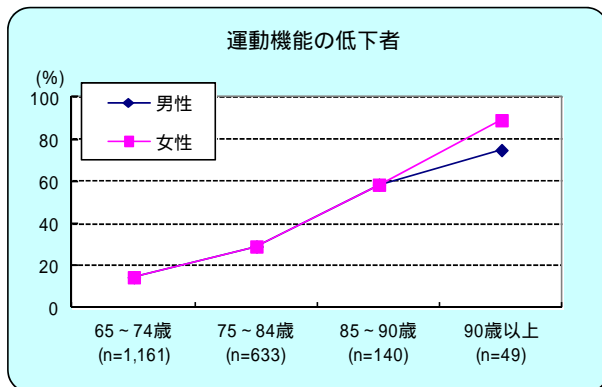
調査対象者の認知機能障害程度区分



、運動機能

運動機能の低下状況は、以下の図に示すように、該当者は男女いずれも年齢が高くなるに従って、上昇しているが、女性の方が加齢による機能低下が著しい。

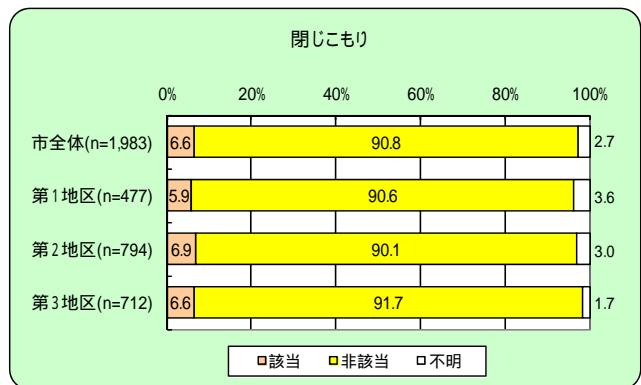
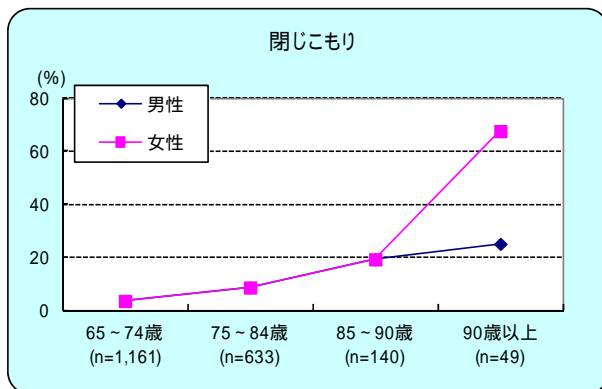
また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。



、閉じこもり

閉じこもりの状況は、以下の図に示すように、該当者は男女いずれも年齢が高くなるに従って、上昇しているが、女性の方が著しい。

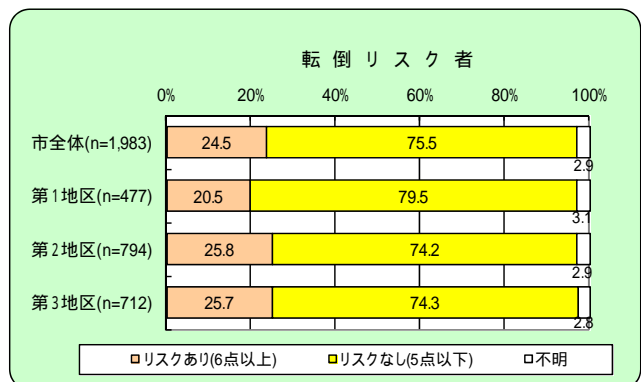
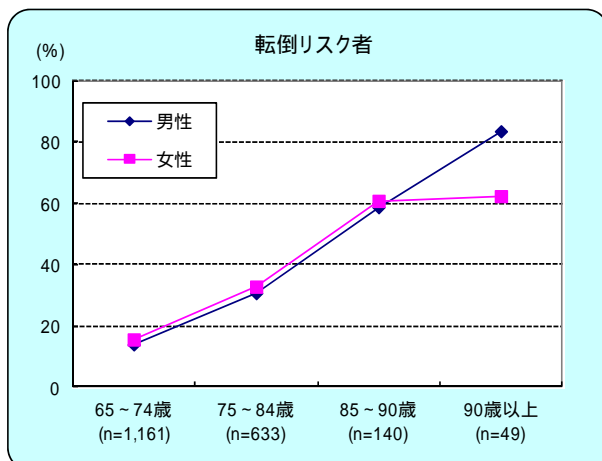
また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。



、転倒リスク

転倒リスクの状況は、以下の図に示すように、リスクが高い者の割合は、年齢が上昇するにつれて、高まり、85歳以上では60%を超えている。90歳未満では男女差はほとんどないが、90歳以上では男性のリスク者の割合だけが上昇している。

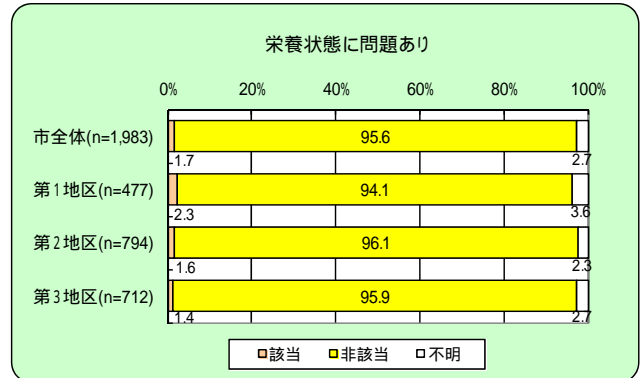
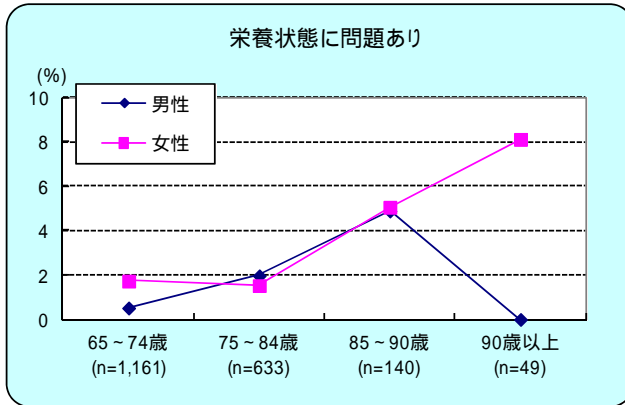
また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。



、栄養状態

栄養状態については、以下の図に示すように、該当者は男女いずれも年齢が高くなるに従って、上昇しているが、女性の方が加齢による機能低下が著しい。なお、男性の90%以上が0になっているのは、サンプル数が少ない状況でたまたま該当者がいなかったらと推察される、

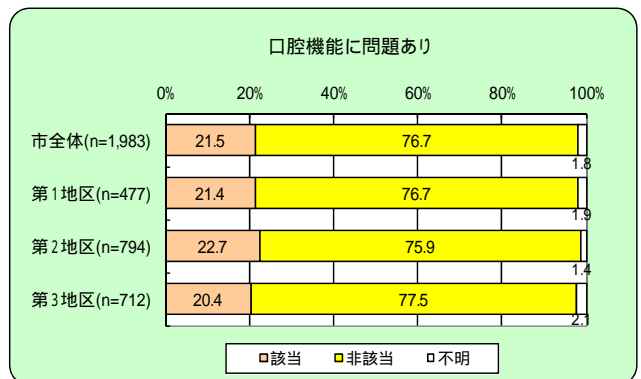
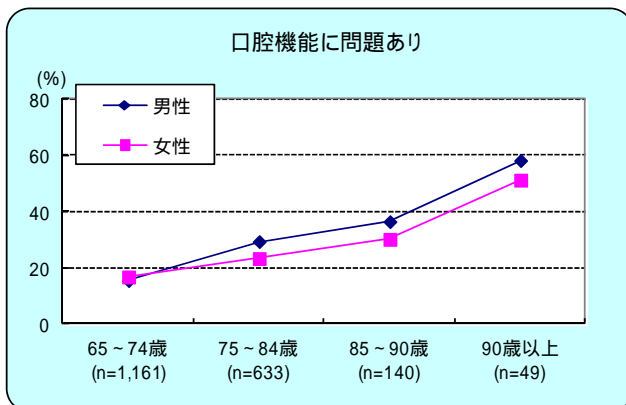
また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。



、口腔機能

口腔機能については、以下の図に示すように、該当者は男女いずれも年齢が高くなるに従って、上昇しているが、他の項目と異なり、男性の方が高くなっている。これは女性の方が口腔衛生についての関心が高いからと思われる。

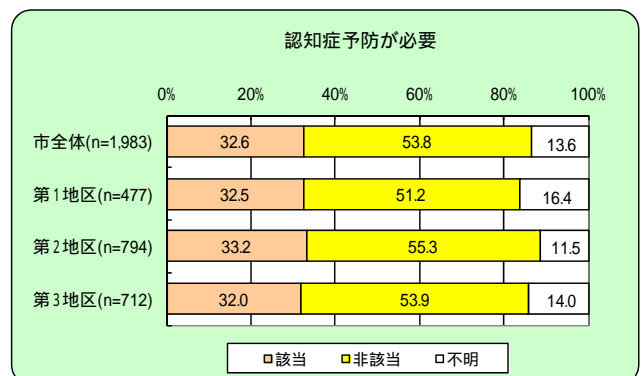
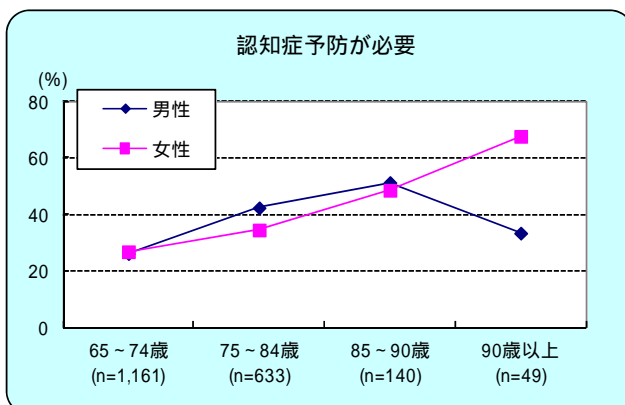
また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。



、認知症予防

認知症予防については、予防が必要な割合が、以下の図に示すように男女いずれも年齢が高くなるに従って上昇しているものの、女性の方が加齢による上昇が著しい。

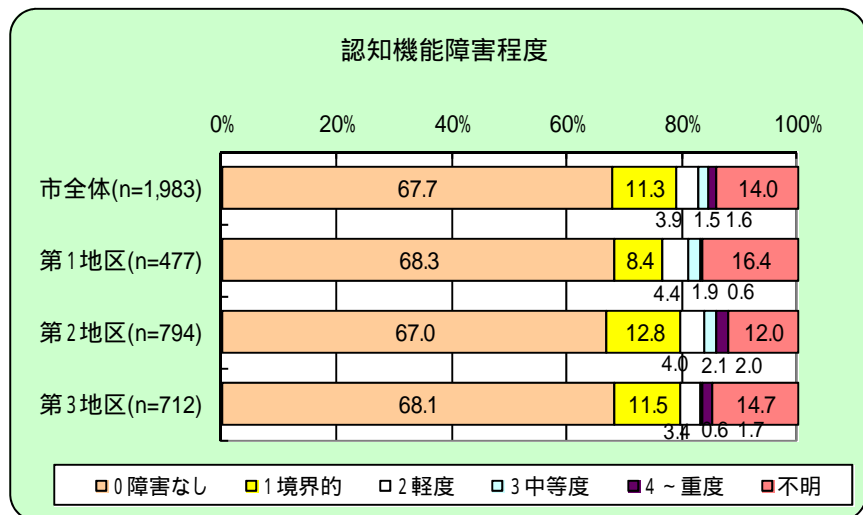
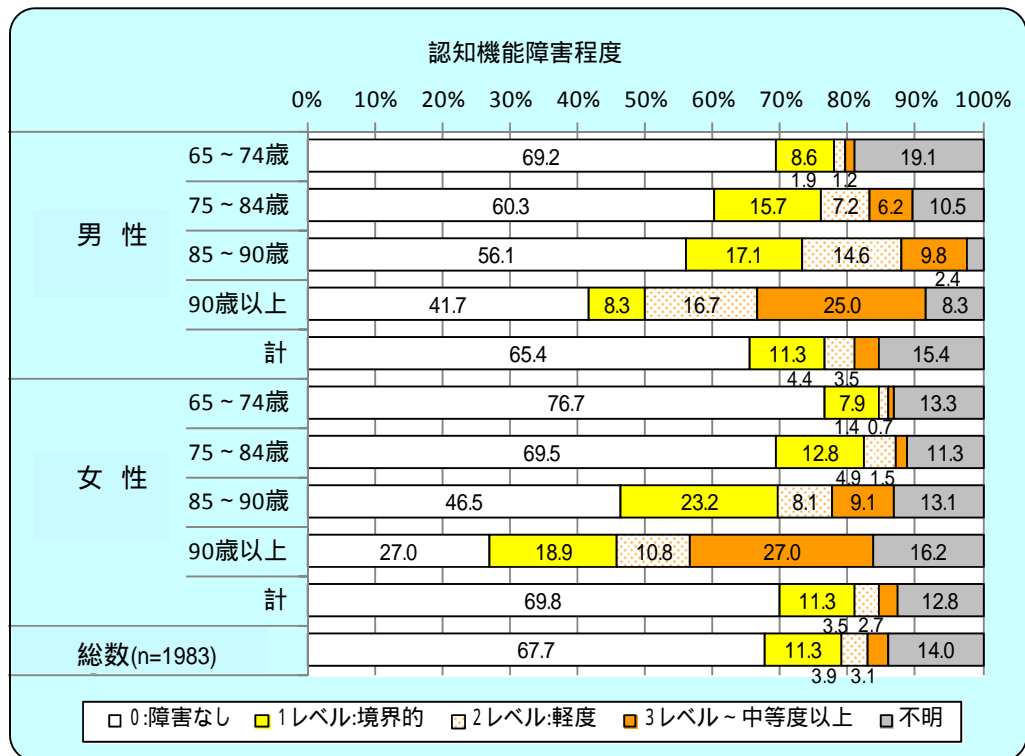
また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。



、認知機能障害程度

認知機能障害の程度については、以下の図に示すように男女いずれも年齢が高くなるに従って上昇しているものの、女性の方が加齢による上昇が著しい。

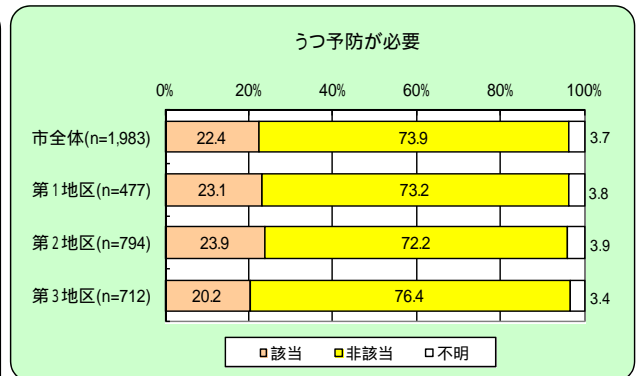
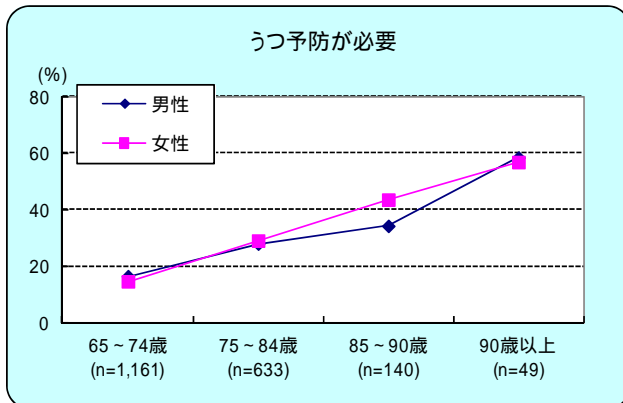
また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。



、うつ予防

うつ予防が必要なものの割合は、以下の図に示すように男女いずれも年齢が高くなるに従って上昇しており、男女差はほとんどない。

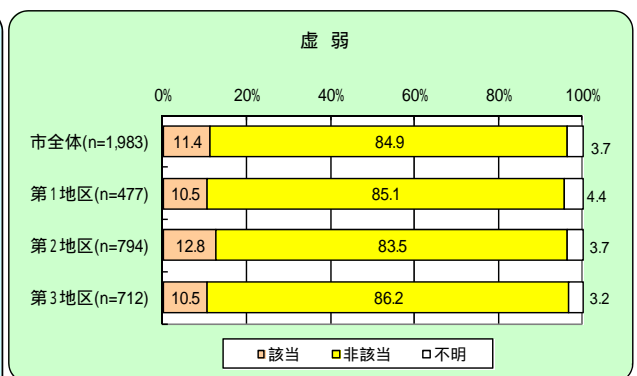
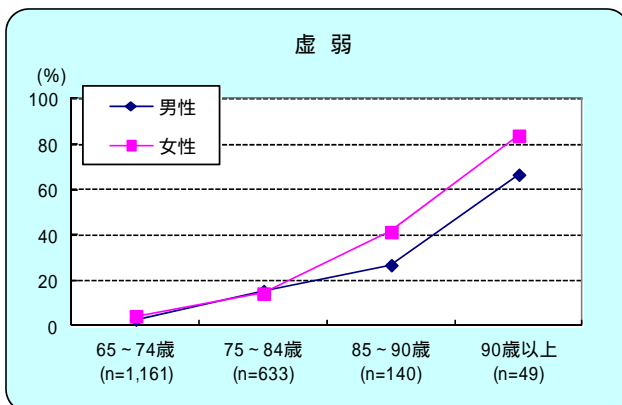
また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。



、虚弱

虚弱の程度については、以下の図に示すように男女いずれも年齢が高くなるに従って上昇しているものの、女性の方が加齢による上昇が著しい。

また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。

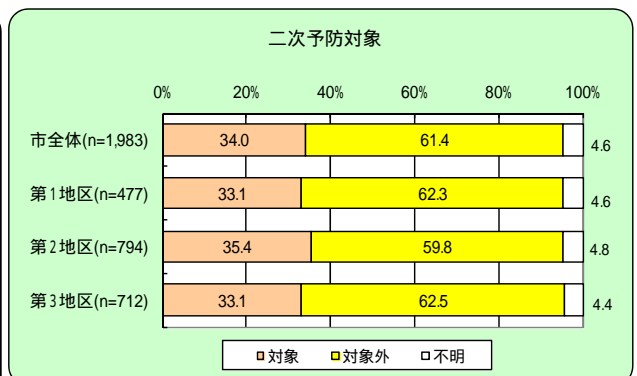
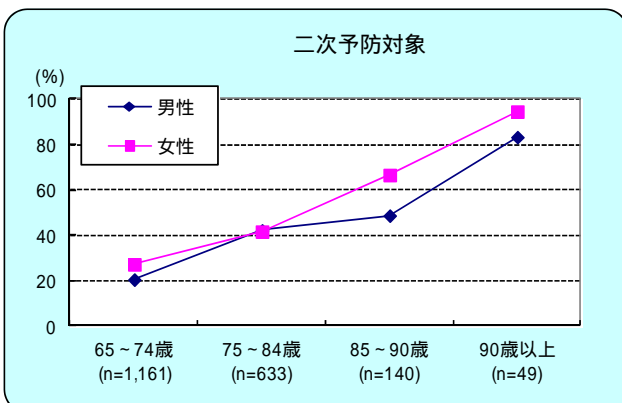


、二次予防対象

二次予防対象者は、以上の 、 、 、 、 、 に一つでも該当したものである。

その割合は、以下の図に示すように男女いずれも年齢が高くなるに従って上昇しているものの、女性の方が加齢による上昇が著しい。

また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。



第2章 高齢者に関する調査

・実数

属性	区分	全体	1 運動			2 閉じこもり			3 転倒		
			該当	非該当	不明	該当	非該当	不明	リスクあり	リスクなし	不明
男性	65～74歳	582	43	510	29	10	547	25	80	502	5
	75～84歳	305	76	216	13	21	277	7	93	212	17
	85～90歳	41	15	21	5	4	37		24	17	1
	90歳以上	12	9	3		3	9		10	2	
	計	940	143	750	47	38	870	32	207	733	23
女性	65～74歳	579	85	481	13	20	552	7	89	490	7
	75～84歳	328	96	213	19	28	292	8	107	221	19
	85～90歳	99	58	35	6	19	74	6	60	39	6
	90歳以上	37	33	4		25	12		23	14	3
	計	1,043	272	733	38	92	930	21	279	764	35
男女計	65～74歳	1,161	128	991	42	30	1,099	32	169	992	12
	75～84歳	633	172	429	32	49	569	15	200	433	36
	85～90歳	140	73	56	11	23	111	6	84	56	7
	90歳以上	49	42	7		28	21		33	16	3
	計	1,983	415	1,483	85	130	1,800	53	486	1,497	58
認定状況	一般	1,281		1,226	55	11	1,234	36	123	1,158	34
	二次予防	506	262	224	20	55	443	8	226	280	12
	要支援	90	68	18	4	19	68	3	68	22	1
	要介護	106	85	15	6	45	55	6	69	37	11
世帯	一人暮らし	253	62	181	10	12	236	5	68	185	7
	家族等と同居	1,698	338	1,290	70	106	1,551	41	410	1,288	46
	その他	21	13	5	3	12	5	4	6	15	4
地区	第1地区	477	93	361	23	28	432	17	98	379	15
	第2地区	794	179	584	31	55	715	24	205	589	23
	第3地区	712	143	538	31	47	653	12	183	529	20

・割合(%)

属性	区分	全体	1 運動			2 閉じこもり			3 転倒		
			該当	非該当	不明	該当	非該当	不明	リスクあり	リスクなし	不明
男性	65～74歳	582	14.7	83.1	2.2	3.5	95.3	1.2	15.4	84.6	1.2
	75～84歳	305	29.3	64.9	5.8	8.5	89.0	2.4	32.6	67.4	5.8
	85～90歳	41	58.6	35.4	6.1	19.2	74.7	6.1	60.6	39.4	6.1
	90歳以上	12	75.0	25.0		25.0	75.0		83.3	16.7	
	計	940	15.2	79.8	5.0	4.0	92.6	3.4	22.0	78.0	2.4
女性	65～74歳	579	14.7	83.1	2.2	3.5	95.3	1.2	15.4	84.6	1.2
	75～84歳	328	29.3	64.9	5.8	8.5	89.0	2.4	32.6	67.4	5.8
	85～90歳	99	58.6	35.4	6.1	19.2	74.7	6.1	60.6	39.4	6.1
	90歳以上	37	89.2	10.8		67.6	32.4		62.2	37.8	8.1
	計	1,043	26.1	70.3	3.6	8.8	89.2	2.0	26.7	73.3	3.4
男女計	65～74歳	1,161	11.0	85.4	3.6	2.6	94.7	2.8	14.6	85.4	1.0
	75～84歳	633	27.2	67.8	5.1	7.7	89.9	2.4	31.6	68.4	5.7
	85～90歳	140	52.1	40.0	7.9	16.4	79.3	4.3	60.0	40.0	5.0
	90歳以上	49	85.7	14.3		57.1	42.9		67.3	32.7	6.1
	計	1,983	20.9	74.8	4.3	6.6	90.8	2.7	24.5	75.5	2.9
認定状況	一般	1,281		95.7	4.3	0.9	96.3	2.8	9.6	90.4	2.7
	二次予防	506	51.8	44.3	4.0	10.9	87.5	1.6	44.7	55.3	2.4
	要支援	90	75.6	20.0	4.4	21.1	75.6	3.3	75.6	24.4	1.1
	要介護	106	80.2	14.2	5.7	42.5	51.9	5.7	65.1	34.9	10.4
世帯	一人暮らし	253	24.5	71.5	4.0	4.7	93.3	2.0	26.9	73.1	2.8
	家族等と同居	1,698	19.9	76.0	4.1	6.2	91.3	2.4	24.1	75.9	2.7
	その他	21	61.9	23.8	14.3	57.1	23.8	19.0	28.6	71.4	19.0
地区	第1地区	477	19.5	75.7	4.8	5.9	90.6	3.6	20.5	79.5	3.1
	第2地区	794	22.5	73.6	3.9	6.9	90.1	3.0	25.8	74.2	2.9
	第3地区	712	20.1	75.6	4.4	6.6	91.7	1.7	25.7	74.3	2.8

第2章 高齢者に関する調査

.実数

属性	区分	全体	4 栄養			5 口腔			6 認知症予防		
			該当	非該当	不明	該当	非該当	不明	該当	非該当	不明
男性	65～74歳	582	3	575	4	91	486	5	152	320	110
	75～84歳	305	6	287	12	90	206	9	129	143	33
	85～90歳	41	2	38	1	15	26		21	19	1
	90歳以上	12		11	1	7	5		4	7	1
	計	940	11	911	18	203	723	14	306	489	145
女性	65～74歳	579	10	557	12	98	477	4	155	348	76
	75～84歳	328	5	313	10	77	244	7	113	182	33
	85～90歳	99	5	83	11	30	62	7	48	41	10
	90歳以上	37	3	31	3	19	15	3	25	7	5
	計	1,043	23	984	36	224	798	21	341	578	124
男女計	65～74歳	1,161	13	1,132	16	189	963	9	307	668	186
	75～84歳	633	11	600	22	167	450	16	242	325	66
	85～90歳	140	7	121	12	45	88	7	69	60	11
	90歳以上	49	3	42	4	26	20	3	29	14	6
	計	1,983	34	1,895	54	427	1,521	35	647	1,067	269
認定状況	一般	1,281		1,262	19		1,262	19	310	782	189
	二次予防	506	14	477	15	320	181	5	208	238	60
	要支援	90	5	79	6	45	42	3	46	37	7
	要介護	106	15	77	14	62	36	8	83	10	13
	世帯	一人暮らし	253	3	242	8	55	190	8	82	139
世帯	家族等と同居	1,698	30	1,632	36	366	1,312	20	549	919	230
	その他	21	1	12	8	5	11	5	14	2	5
	地区	第1地区	477	11	449	17	102	366	9	155	244
地区	第2地区	794	13	763	18	180	603	11	264	439	91
	第3地区	712	10	683	19	145	552	15	228	384	100

.割合(%)

属性	区分	全体	4 栄養			5 口腔			6 認知症予防		
			該当	非該当	不明	該当	非該当	不明	該当	非該当	不明
男性	65～74歳	582	0.5	98.8	0.7	15.6	83.5	0.9	26.1	55.0	18.9
	75～84歳	305	2.0	94.1	3.9	29.5	67.5	3.0	42.3	46.9	10.8
	85～90歳	41	4.9	92.7	2.4	36.6	63.4		51.2	46.3	2.4
	90歳以上	12		91.7	8.3	58.3	41.7		33.3	58.3	8.3
	計	940	1.2	96.9	1.9	21.6	76.9	1.5	32.6	52.0	15.4
女性	65～74歳	579	1.7	96.2	2.1	16.9	82.4	0.7	26.8	60.1	13.1
	75～84歳	328	1.5	95.4	3.0	23.5	74.4	2.1	34.5	55.5	10.1
	85～90歳	99	5.1	83.8	11.1	30.3	62.6	7.1	48.5	41.4	10.1
	90歳以上	37	8.1	83.8	8.1	51.4	40.5	8.1	67.6	18.9	13.5
	計	1,043	2.2	94.3	3.5	21.5	76.5	2.0	32.7	55.4	11.9
男女計	65～74歳	1,161	1.1	97.5	1.4	16.3	82.9	0.8	26.4	57.5	16.0
	75～84歳	633	1.7	94.8	3.5	26.4	71.1	2.5	38.2	51.3	10.4
	85～90歳	140	5.0	86.4	8.6	32.1	62.9	5.0	49.3	42.9	7.9
	90歳以上	49	6.1	85.7	8.2	53.1	40.8	6.1	59.2	28.6	12.2
	計	1,983	1.7	95.6	2.7	21.5	76.7	1.8	32.6	53.8	13.6
認定状況	一般	1,281		98.5	1.5		98.5	1.5	24.2	61.0	14.8
	二次予防	506	2.8	94.3	3.0	63.2	35.8	1.0	41.1	47.0	11.9
	要支援	90	5.6	87.8	6.7	50.0	46.7	3.3	51.1	41.1	7.8
	要介護	106	14.2	72.6	13.2	58.5	34.0	7.5	78.3	9.4	12.3
	世帯	一人暮らし	253	1.2	95.7	3.2	21.7	75.1	3.2	32.4	54.9
世帯	家族等と同居	1,698	1.8	96.1	2.1	21.6	77.3	1.2	32.3	54.1	13.5
	その他	21	4.8	57.1	38.1	23.8	52.4	23.8	66.7	9.5	23.8
	地区	第1地区	477	2.3	94.1	3.6	21.4	76.7	1.9	32.5	51.2
地区	第2地区	794	1.6	96.1	2.3	22.7	75.9	1.4	33.2	55.3	11.5
	第3地区	712	1.4	95.9	2.7	20.4	77.5	2.1	32.0	53.9	14.0

第2章 高齢者に関する調査

.実数

属性	区分	全体	7 認知機能障害程度							
			0レベル 障害なし	1レベル 境界的	2レベル 軽度	3レベル 中等度	4レベル やや重度	5レベル 重度	6レベル 最重度	不明
男性	65～74歳	582	403	50	11	3	1	3		111
	75～84歳	305	184	48	22	12	2	5		32
	85～90歳	41	23	7	6	3	1			1
	90歳以上	12	5	1	2			3		1
	計	940	615	106	41	18	4	11		145
女性	65～74歳	579	444	46	8	2		2		77
	75～84歳	328	228	42	16	2		1	2	37
	85～90歳	99	46	23	8	4	1	4		13
	90歳以上	37	10	7	4	4		3	3	6
	計	1,043	728	118	36	12	1	10	5	133
男女計	65～74歳	1,161	847	96	19	5	1	5		188
	75～84歳	633	412	90	38	14	2	6	2	69
	85～90歳	140	69	30	14	7	2	4		14
	90歳以上	49	15	8	6	4		6	3	7
	計	1,983	1,343	224	77	30	5	21	5	278
認定状況	一般	1,281	976	102	9	6		4		184
	二次予防	506	314	83	32	10		3		64
	要支援	90	40	21	14	2		2		11
	要介護	106	13	18	22	12	5	12	5	19
世帯	一人暮らし	253	183	25	12					32
	家族等と同居	1,698	1,150	195	65	29	4	17	2	236
	その他	21	4	2			1	4	2	8
地区	第1地区	477	326	40	21	9		2	1	78
	第2地区	794	532	102	32	17	1	12	3	95
	第3地区	712	485	82	24	4	4	7	1	105

.割合(%)

属性	区分	全体	7 認知機能障害程度							
			0レベル 障害なし	1レベル 境界的	2レベル 軽度	3レベル 中等度	4レベル やや重度	5レベル 重度	6レベル 最重度	不明
男性	65～74歳	582	69.2	8.6	1.9	0.5	0.2	0.5		19.1
	75～84歳	305	60.3	15.7	7.2	3.9	0.7	1.6		10.5
	85～90歳	41	56.1	17.1	14.6	7.3	2.4			2.4
	90歳以上	12	41.7	8.3	16.7			25.0		8.3
	計	940	65.4	11.3	4.4	1.9	0.4	1.2		15.4
女性	65～74歳	579	76.7	7.9	1.4	0.3		0.3		13.3
	75～84歳	328	69.5	12.8	4.9	0.6		0.3	0.6	11.3
	85～90歳	99	46.5	23.2	8.1	4.0	1.0	4.0		13.1
	90歳以上	37	27.0	18.9	10.8	10.8		8.1	8.1	16.2
	計	1,043	69.8	11.3	3.5	1.2	0.1	1.0	0.5	12.8
男女計	65～74歳	1,161	73.0	8.3	1.6	0.4	0.1	0.4		16.2
	75～84歳	633	65.1	14.2	6.0	2.2	0.3	0.9	0.3	10.9
	85～90歳	140	49.3	21.4	10.0	5.0	1.4	2.9		10.0
	90歳以上	49	30.6	16.3	12.2	8.2		12.2	6.1	14.3
	計	1,983	67.7	11.3	3.9	1.5	0.3	1.1	0.3	14.0
認定状況	一般	1,281	76.2	8.0	0.7	0.5		0.3		14.4
	二次予防	506	62.1	16.4	6.3	2.0		0.6		12.6
	要支援	90	44.4	23.3	15.6	2.2		2.2		12.2
	要介護	106	12.3	17.0	20.8	11.3	4.7	11.3	4.7	17.9
世帯	一人暮らし	253	72.3	9.9	4.7				0.4	12.6
	家族等と同居	1,698	67.7	11.5	3.8	1.7	0.2	1.0	0.1	13.9
	その他	21	19.0	9.5			4.8	19.0	9.5	38.1
地区	第1地区	477	68.3	8.4	4.4	1.9		0.4	0.2	16.4
	第2地区	794	67.0	12.8	4.0	2.1	0.1	1.5	0.4	12.0
	第3地区	712	68.1	11.5	3.4	0.6	0.6	1.0	0.1	14.7

. 実数

属性	区分	全体	8 うつ予防			9 虚弱			10 二次予防対象		
			該当	非該当	不明	該当	非該当	不明	対象	対象外	不明
男性	65～74歳	582	95	479	8	17	537	28	120	432	30
	75～84歳	305	85	205	15	47	247	11	129	164	12
	85～90歳	41	14	26	1	11	30		20	17	4
	90歳以上	12	7	5		8	4		10	2	
	計	940	201	715	24	83	818	39	279	615	46
女性	65～74歳	579	84	481	14	25	545	9	158	404	17
	75～84歳	328	95	214	19	47	267	14	137	173	18
	85～90歳	99	43	46	10	41	49	9	66	24	9
	90歳以上	37	21	10	6	31	4	2	35	1	1
	計	1,043	243	751	49	144	865	34	396	602	45
男女計	65～74歳	1,161	179	960	22	42	1,082	37	278	836	47
	75～84歳	633	180	419	34	94	514	25	266	337	30
	85～90歳	140	57	72	11	52	79	9	86	41	13
	90歳以上	49	28	15	6	39	8	2	45	3	1
	計	1,983	444	1,466	73	227	1,683	73	675	1,217	91
認定状況	一般	1,281	144	1,101	36		1,253	28		1,200	81
	二次予防	506	182	306	18	85	389	32	506		
	要支援	90	51	36	3	55	30	5	76	10	4
	要介護	106	67	23	16	87	11	8	93	7	6
世帯	一人暮らし	253	75	162	16	25	216	12	93	148	12
	家族等と同居	1,698	361	1,288	49	189	1,453	56	565	1,061	72
	その他	21	6	8	7	13	5	3	14	3	4
地区	第1地区	477	110	349	18	50	406	21	158	297	22
	第2地区	794	190	573	31	102	663	29	281	475	38
	第3地区	712	144	544	24	75	614	23	236	445	31

. 割合(%)

属性	区分	全体	8 うつ予防			9 虚弱			10 二次予防対象		
			該当	非該当	不明	該当	非該当	不明	対象	対象外	不明
男性	65～74歳	582	16.3	82.3	1.4	2.9	92.3	4.8	20.6	74.2	5.2
	75～84歳	305	27.9	67.2	4.9	15.4	81.0	3.6	42.3	53.8	3.9
	85～90歳	41	34.1	63.4	2.4	26.8	73.2		48.8	41.5	9.8
	90歳以上	12	58.3	41.7		66.7	33.3		83.3	16.7	
	計	940	21.4	76.1	2.6	8.8	87.0	4.1	29.7	65.4	4.9
女性	65～74歳	579	14.5	83.1	2.4	4.3	94.1	1.6	27.3	69.8	2.9
	75～84歳	328	29.0	65.2	5.8	14.3	81.4	4.3	41.8	52.7	5.5
	85～90歳	99	43.4	46.5	10.1	41.4	49.5	9.1	66.7	24.2	9.1
	90歳以上	37	56.8	27.0	16.2	83.8	10.8	5.4	94.6	2.7	2.7
	計	1,043	23.3	72.0	4.7	13.8	82.9	3.3	38.0	57.7	4.3
男女計	65～74歳	1,161	15.4	82.7	1.9	3.6	93.2	3.2	23.9	72.0	4.0
	75～84歳	633	28.4	66.2	5.4	14.8	81.2	3.9	42.0	53.2	4.7
	85～90歳	140	40.7	51.4	7.9	37.1	56.4	6.4	61.4	29.3	9.3
	90歳以上	49	57.1	30.6	12.2	79.6	16.3	4.1	91.8	6.1	2.0
	計	1,983	22.4	73.9	3.7	11.4	84.9	3.7	34.0	61.4	4.6
認定状況	一般	1,281	11.2	85.9	2.8		97.8	2.2		93.7	6.3
	二次予防	506	36.0	60.5	3.6	16.8	76.9	6.3	100.0		
	要支援	90	56.7	40.0	3.3	61.1	33.3	5.6	84.4	11.1	4.4
	要介護	106	63.2	21.7	15.1	82.1	10.4	7.5	87.7	6.6	5.7
世帯	一人暮らし	253	29.6	64.0	6.3	9.9	85.4	4.7	36.8	58.5	4.7
	家族等と同居	1,698	21.3	75.9	2.9	11.1	85.6	3.3	33.3	62.5	4.2
	その他	21	28.6	38.1	33.3	61.9	23.8	14.3	66.7	14.3	19.0
地区	第1地区	477	23.1	73.2	3.8	10.5	85.1	4.4	33.1	62.3	4.6
	第2地区	794	23.9	72.2	3.9	12.8	83.5	3.7	35.4	59.8	4.8
	第3地区	712	20.2	76.4	3.4	10.5	86.2	3.2	33.1	62.5	4.4

2. 日常生活と社会参加

日常生活に関する高齢者の機能の状態について、厚生労働省の生活支援ソフトでは、以下に示すように、手段的自立度（IADL）と日常生活動作（ADL）で評価するようになっているが、支援ソフトの構成とマニュアルの説明は、このIADLとADLの評価に至る間に、社会参加に関する機能評価途中で社会参加に関する機能の状況の評価項目が記載されている。

そのため、マニュアルに沿って概要を以下に示す。

日常生活と社会参加についての生活支援ソフトにおける老健指標の評価項目と「高齢者に関する調査」の項目の対応

手段的自立度（IADL）

問番号	設問	選択肢
問6-Q1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」 1点
問6-Q2	日用品の買物をしていますか	
問6-Q3	自分で食事の用意をしていますか	
問6-Q4	請求書の支払いをしていますか	
問6-Q5	預貯金の出し入れをしていますか	

- 5点：高い
- 4点：やや低い
- 0～3点：低い

知的能動性

問番号	項目	選択肢
問7-Q1	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	「1. はい」:1点
問7-Q2	新聞を読んでいますか	
問7-Q3	本や雑誌を読んでいますか	
問7-Q4	健康についての記事や番組に関心がありますか	

- 4点：高い
- 3点：やや低い
- 0～2点：低い

社会的役割

問番号	項目	選択肢
問7-Q5	友人の家を訪ねていますか	「1. はい」:1点
問7-Q6	家族や友人の相談にのっていますか	
問7-Q7	病人を見舞うことができますか	
問7-Q8	若い人に自分から話しかけることがありますか	

- 4点：高い
- 3点：やや低い
- 0～2点：低い

老健指標総合評価（IADL、知的能動性、社会的役割の合計点）

- 11点以上：高い
- 9～10点：やや低い
- 8点以下：低い

日常生活動作（ADL）

問番号	項目	配点	選択肢
問6-Q6	食事	10: 5: 0:	「1. できる」 「2. 一部介助（おかずを切ってもらなど）があればできる」 「3. できない」
問6-Q7	寝床への移動	15: 10: 5: 0:	「1. 受けない」 「2. 一部介助があればできる」 「3. 全面的な介助が必要」 (問6-Q8の回答が「1. できる」「2. 支えが必要」の場合) 「3. 全面的な介助が必要」 (問6-Q8の回答が「3. できない」の場合)
問6-Q9	整容	5: 0:	「1. できる」 「2. 一部介助があればできる」または「3. できない」
問6-Q10	トイレ	10: 5: 0:	「1. できる」 「2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」 「3. できない」
問6-Q11	入浴	5: 0:	「1. できる」 「2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」または「3. できない」
問6-Q12	歩行	15: 10: 0:	「1. できる」 「2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」 「3. できない」
問6-Q13	階段昇降	10: 5: 0:	「1. できる」 「2. 介助があればできる」 「3. できない」
問6-Q14	着替え	10: 5: 0:	「1. できる」 「2. 介助があればできる」 「3. できない」
問6-Q15	排便	10: 5: 0:	「1. ない」 「2. ときどきある」 「3. よくある」
問6-Q16	排尿	10: 5: 0:	「1. ない」 「2. ときどきある」 「3. よくある」

(1) 日常生活

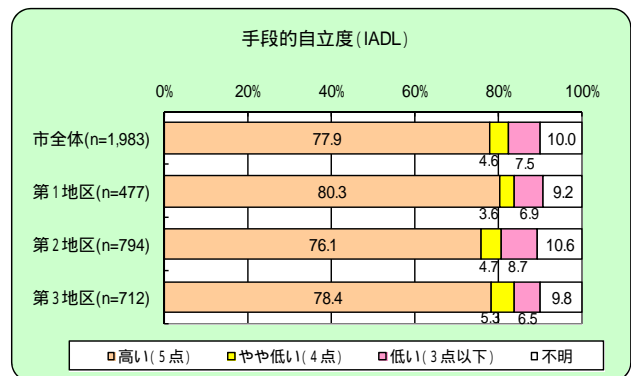
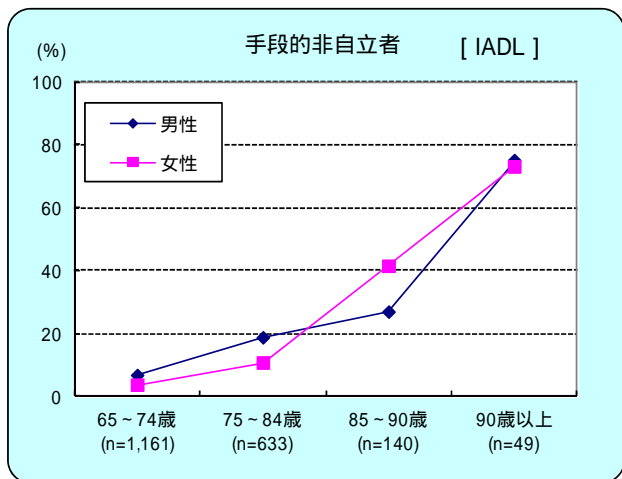
なお、「日常生活動作 (ADL)」は、脳神経と骨格及び筋肉による総合的な身体の運動機能についての評価であり、客観的な指標である。

しかし、手段的自立度 (IADL) に関しては、個人の能力ではなく、ライフスタイルをみる内容であり、本当は出来るのに、良好な人間関係の維持を考え、配偶者や子供たちに任せているのは評価されないことに留意してこの結果をみる必要がある。

・手段的自立度 (IADL)

手段的自立度 (IADL) について手段的非自立者の割合をみると、以下の図に示すように男女いずれも年齢が高くなるに従って上昇している。74歳未満の前記高齢者では大半が自立で非自立者は10%にみえないものが、90歳以上では男女とも非自立者の割合が8割近くに達している。

また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。

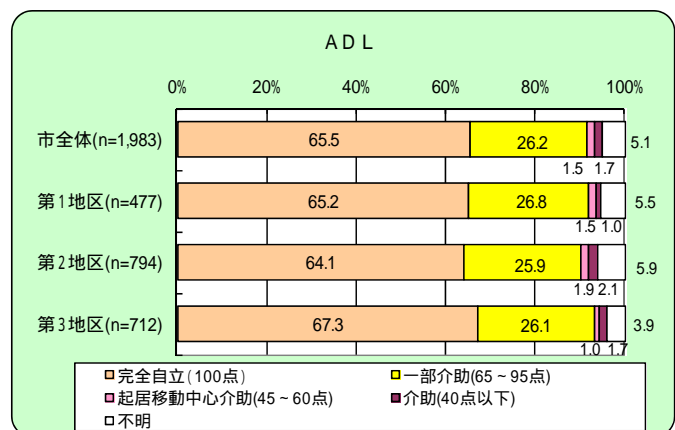
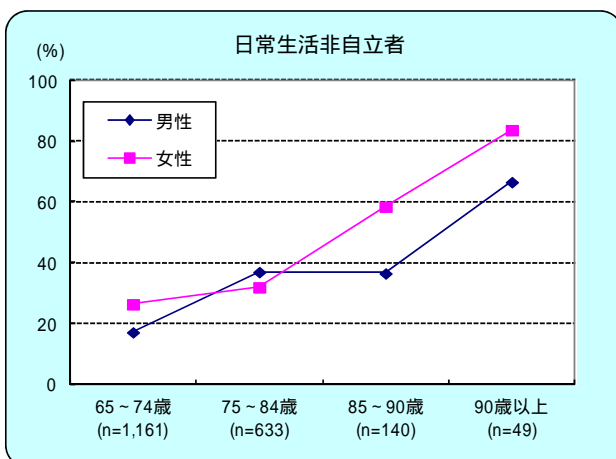


注: 「手段的非自立者」は、完全自立(5点)と不明を除く4点以下のもの。

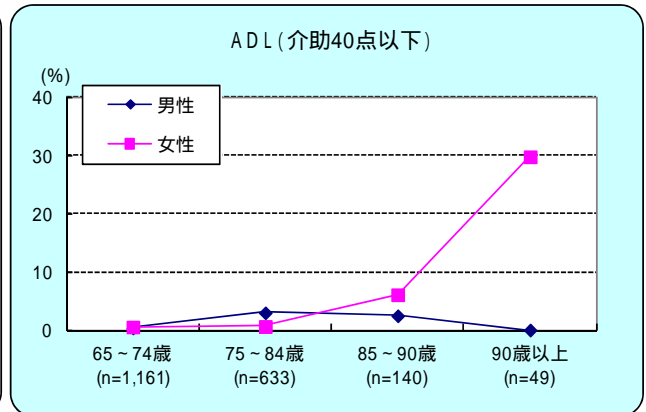
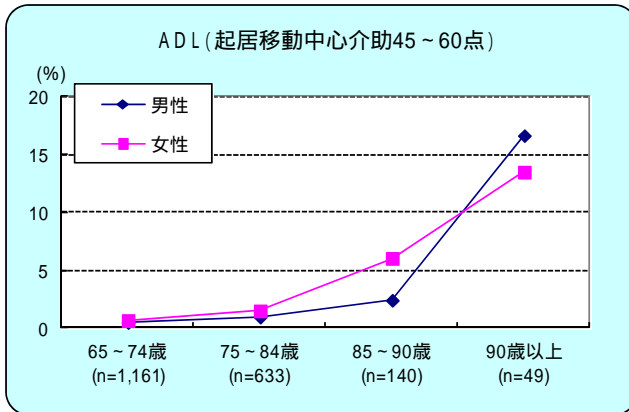
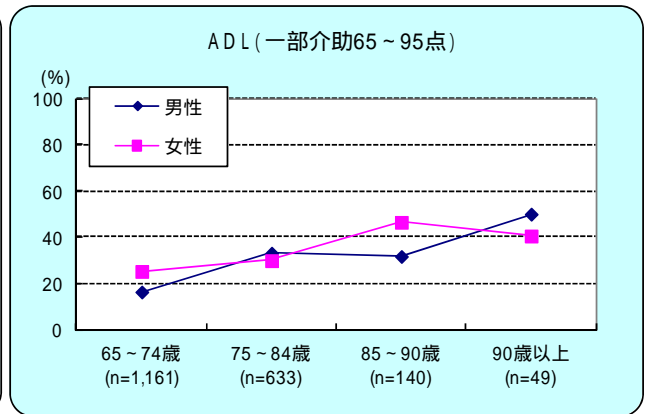
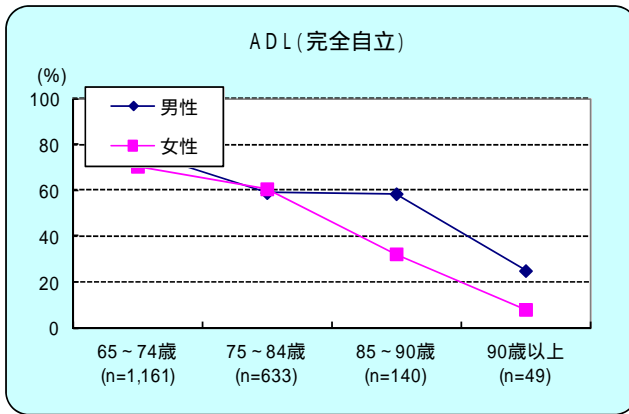
・日常生活動作 (ADL)

日常生活動作 (ADL) について非自立者の割合をみると、以下の図に示すように男女いずれも年齢が高くなるに従って上昇しているが、女性の方が著しく高くなっている。

また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。



注: 「日常非自立者」は、完全自立(100点)と不明を除く95点以下のもの。



.実数

属性	区分	全体	1 手段的自立度(IADL)				2 ADL				
			高い (5点)	やや低い (4点)	低い (3点以)	不明	完全自立 (100点)	一部介助 (65~95)	起居移動 中心介助	介助 (40点以)	不明
男性	65~74歳	582	455	26	13	88	450	95	3	2	32
	75~84歳	305	213	21	36	35	180	101	3	9	12
	85~90歳	41	28	4	7	2	24	13	1	1	2
	90歳以上	12	2	4	5	1	3	6	2		1
	計	940	698	55	61	126	657	215	9	12	47
女性	65~74歳	579	536	7	14	22	408	146	4	3	18
	75~84歳	328	262	15	20	31	199	98	5	2	24
	85~90歳	99	46	12	29	12	32	46	6	6	9
	90歳以上	37	3	3	24	7	3	15	5	11	3
	計	1,043	847	37	87	72	642	305	20	22	54
男女計	65~74歳	1,161	991	33	27	110	858	241	7	5	50
	75~84歳	633	475	36	56	66	379	199	8	11	36
	85~90歳	140	74	16	36	14	56	59	7	7	11
	90歳以上	49	5	7	29	8	6	21	7	11	4
	計	1,983	1,545	92	148	198	1,299	520	29	34	101
認定状況	一般	1,281	1,128	35	11	107	1,007	223			51
	二次予防	506	377	38	36	55	264	206	3	3	30
	要支援	90	31	14	30	15	18	53	9	1	9
	要介護	106	9	5	71	21	10	38	17	30	11
世帯	一人暮らし	253	211	6	16	20	146	87	1	2	17
	家族等と同居	1,698	1,324	85	118	171	1,144	429	28	23	74
	その他	21	4		13	4	4	1		9	7
地区	第1地区	477	383	17	33	44	311	128	7	5	26
	第2地区	794	604	37	69	84	509	206	15	17	47
	第3地区	712	558	38	46	70	479	186	7	12	28

.割合(%)

属性	区分	全体	1 手段的自立度(IADL)				2 ADL				
			高い (5点)	やや低い (4点)	低い (3点以)	不明	完全自立 (100点)	一部介助 (65~95)	起居移動 中心介助	介助 (40点以)	不明
男性	65~74歳	582	78.2	4.5	2.2	15.1	77.3	16.3	0.5	0.3	5.5
	75~84歳	305	69.8	6.9	11.8	11.5	59.0	33.1	1.0	3.0	3.9
	85~90歳	41	68.3	9.8	17.1	4.9	58.5	31.7	2.4	2.4	4.9
	90歳以上	12	16.7	33.3	41.7	8.3	25.0	50.0	16.7		8.3
	計	940	74.3	5.9	6.5	13.4	69.9	22.9	1.0	1.3	5.0
女性	65~74歳	579	92.6	1.2	2.4	3.8	70.5	25.2	0.7	0.5	3.1
	75~84歳	328	79.9	4.6	6.1	9.5	60.7	29.9	1.5	0.6	7.3
	85~90歳	99	46.5	12.1	29.3	12.1	32.3	46.5	6.1	6.1	9.1
	90歳以上	37	8.1	8.1	64.9	18.9	8.1	40.5	13.5	29.7	8.1
	計	1,043	81.2	3.5	8.3	6.9	61.6	29.2	1.9	2.1	5.2
男女計	65~74歳	1,161	85.4	2.8	2.3	9.5	73.9	20.8	0.6	0.4	4.3
	75~84歳	633	75.0	5.7	8.8	10.4	59.9	31.4	1.3	1.7	5.7
	85~90歳	140	52.9	11.4	25.7	10.0	40.0	42.1	5.0	5.0	7.9
	90歳以上	49	10.2	14.3	59.2	16.3	12.2	42.9	14.3	22.4	8.2
	計	1,983	77.9	4.6	7.5	10.0	65.5	26.2	1.5	1.7	5.1
認定状況	一般	1,281	88.1	2.7	0.9	8.4	78.6	17.4			4.0
	二次予防	506	74.5	7.5	7.1	10.9	52.2	40.7	0.6	0.6	5.9
	要支援	90	34.4	15.6	33.3	16.7	20.0	58.9	10.0	1.1	10.0
	要介護	106	8.5	4.7	67.0	19.8	9.4	35.8	16.0	28.3	10.4
世帯	一人暮らし	253	83.4	2.4	6.3	7.9	57.7	34.4	0.4	0.8	6.7
	家族等と同居	1,698	78.0	5.0	6.9	10.1	67.4	25.3	1.6	1.4	4.4
	その他	21	19.0		61.9	19.0	19.0	4.8		42.9	33.3
地区	第1地区	477	80.3	3.6	6.9	9.2	65.2	26.8	1.5	1.0	5.5
	第2地区	794	76.1	4.7	8.7	10.6	64.1	25.9	1.9	2.1	5.9
	第3地区	712	78.4	5.3	6.5	9.8	67.3	26.1	1.0	1.7	3.9

(2) 社会参加

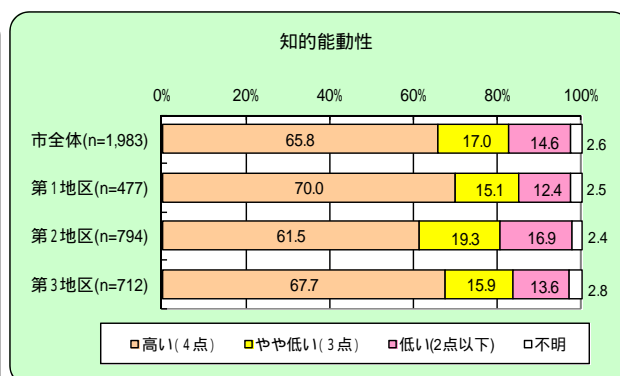
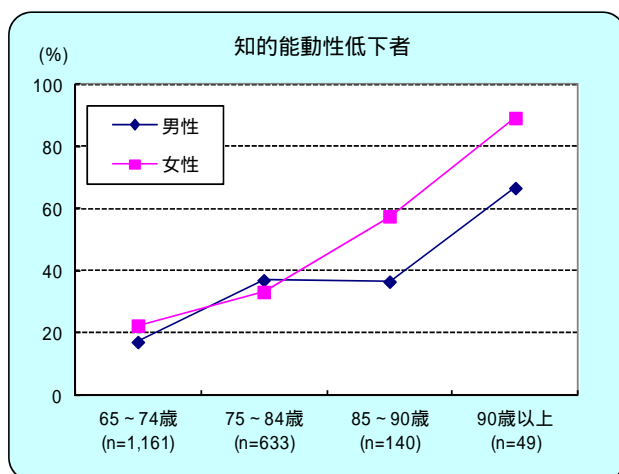
社会参加に関する機能の状況を年齢階層別に整理すると、以下の図に示すように、何れの評価も同じ傾向で、84歳未満では性別の相違はほとんどないと言えるが、85歳以上については、女性の機能低下が男性よりも高くなっている。

地区別に総合機能低下者の構成をみると、多少の相違はあるものの、ほぼ同じ傾向と言えよう。なお、全体としての年齢階層別の機能低下の状況を考慮すると、地区別の相違は、地区の年齢構成の相違が影響しているものと推察される。

、知的能動性

知的能動性について低下者の割合をみると、以下の図に示すように男女いずれも年齢が高くなるに従って上昇しているが、女性の方が著しく高くなっている。

また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。

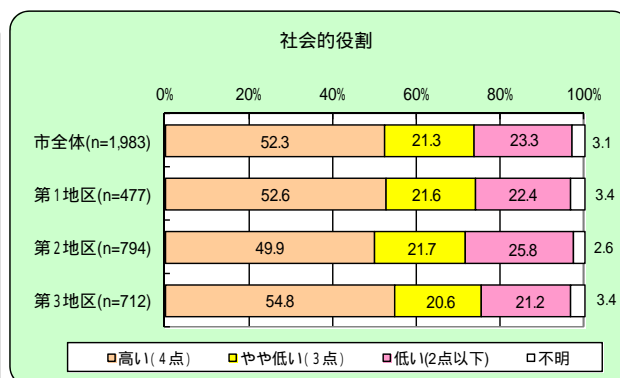
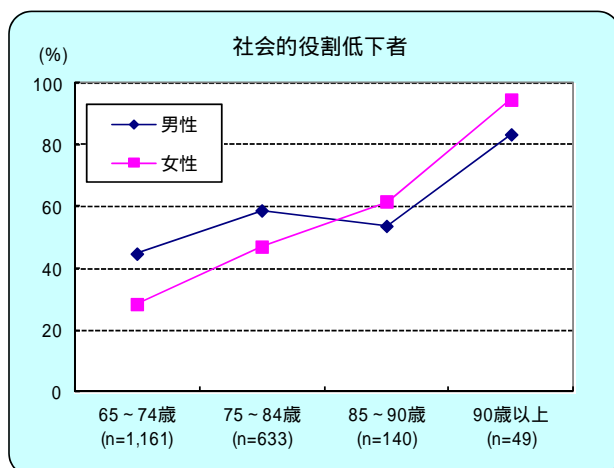


注：「知的能動性低下者」は、高い(4点)と不明を除く3点以下のもの。

、社会的役割

社会的役割について低下者の割合をみると、以下の図に示すように男女いずれも年齢が高くなるに従って上昇しているが、84歳未満は男性の方が低下者割合が高いのに対して、85歳以上では逆転し、女性の方が著しく高くなっている。

また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。

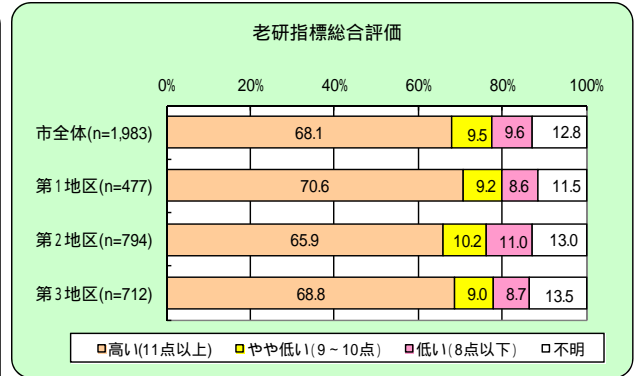
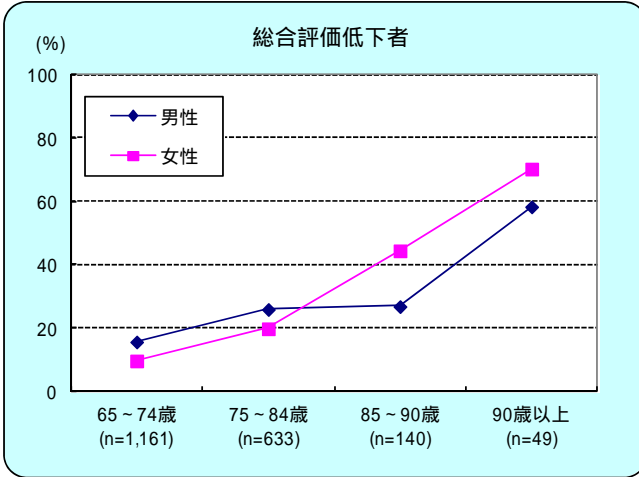


注：「社会的役割低下者」は、高い(4点)と不明を除く3点以下のもの。

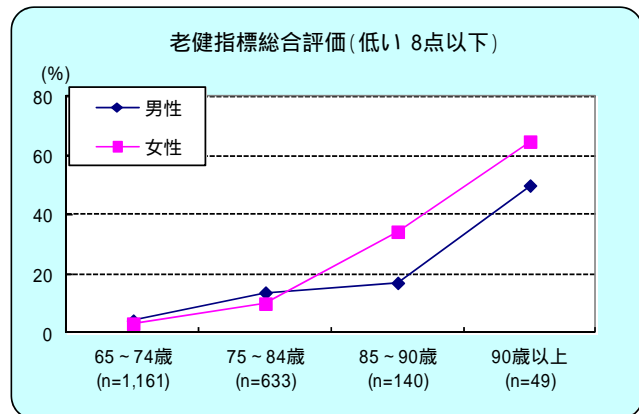
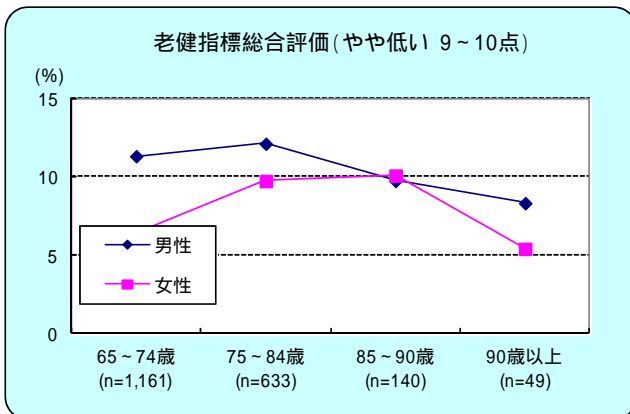
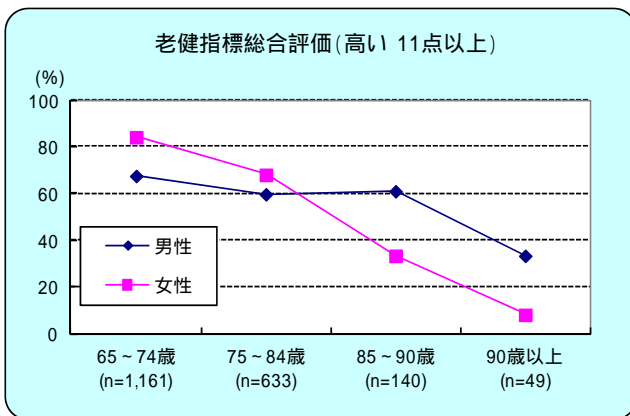
、老健指標総合評価

老健指標の総合評価について低下者の割合をみると、以下の図に示すように男女いずれも年齢が高くなるに従って上昇しているが、84歳未満は男性の方が低下者割合が高いのに対して、85歳以上では逆転し、女性の方が高くなっている。

また、地域別にみるとほぼ同じで相違がない。



注：「総合評価低下者」は、高い(11点以上)と不明を除く10点以下のもの。



第2章 高齢者に関する調査

実数

属性	区分	全体	1 知的能動性				2 社会的役割			
			高い (4点)	やや低い (3点)	低い (2点以)	不明	高い (4点)	やや低い (3点)	低い (2点以)	不明
男性	65～74歳	582	398	114	59	11	311	133	127	11
	75～84歳	305	193	57	47	8	116	83	96	10
	85～90歳	41	24	8	6	3	16	9	13	3
	90歳以上	12	4	6	2		2	3	7	
	計	940	619	185	114	22	445	228	243	24
女性	65～74歳	579	439	83	47	10	399	101	63	16
	75～84歳	328	210	52	57	9	164	70	84	10
	85～90歳	99	32	17	40	10	28	20	41	10
	90歳以上	37	4	1	32		1	3	32	1
	計	1,043	685	153	176	29	592	194	220	37
男女計	65～74歳	1,161	837	197	106	21	710	234	190	27
	75～84歳	633	403	109	104	17	280	153	180	20
	85～90歳	140	56	25	46	13	44	29	54	13
	90歳以上	49	8	7	34		3	6	39	1
	計	1,983	1,304	338	290	51	1,037	422	463	61
認定状況	一般	1,281	969	201	82	29	807	280	159	35
	二次予防	506	299	104	88	15	205	124	160	17
	要支援	90	27	22	39	2	17	13	57	3
	要介護	106	9	11	81	5	8	5	87	6
世帯	一人暮らし	253	146	53	45	9	116	55	75	7
	家族等と同居	1,698	1,151	281	229	37	912	365	372	49
	その他	21	2	1	15	3	1	1	15	4
地区	第1地区	477	334	72	59	12	251	103	107	16
	第2地区	794	488	153	134	19	396	172	205	21
	第3地区	712	482	113	97	20	390	147	151	24

割合(%)

属性	区分	全体	1 知的能動性				2 社会的役割			
			高い (4点)	やや低い (3点)	低い (2点以)	不明	高い (4点)	やや低い (3点)	低い (2点以)	不明
男性	65～74歳	582	68.4	19.6	10.1	1.9	53.4	22.9	21.8	1.9
	75～84歳	305	63.3	18.7	15.4	2.6	38.0	27.2	31.5	3.3
	85～90歳	41	58.5	19.5	14.6	7.3	39.0	22.0	31.7	7.3
	90歳以上	12	33.3	50.0	16.7		16.7	25.0	58.3	
	計	940	65.9	19.7	12.1	2.3	47.3	24.3	25.9	2.6
女性	65～74歳	579	75.8	14.3	8.1	1.7	68.9	17.4	10.9	2.8
	75～84歳	328	64.0	15.9	17.4	2.7	50.0	21.3	25.6	3.0
	85～90歳	99	32.3	17.2	40.4	10.1	28.3	20.2	41.4	10.1
	90歳以上	37	10.8	2.7	86.5		2.7	8.1	86.5	2.7
	計	1,043	65.7	14.7	16.9	2.8	56.8	18.6	21.1	3.5
男女計	65～74歳	1,161	72.1	17.0	9.1	1.8	61.2	20.2	16.4	2.3
	75～84歳	633	63.7	17.2	16.4	2.7	44.2	24.2	28.4	3.2
	85～90歳	140	40.0	17.9	32.9	9.3	31.4	20.7	38.6	9.3
	90歳以上	49	16.3	14.3	69.4		6.1	12.2	79.6	2.0
	計	1,983	65.8	17.0	14.6	2.6	52.3	21.3	23.3	3.1
認定状況	一般	1,281	75.6	15.7	6.4	2.3	63.0	21.9	12.4	2.7
	二次予防	506	59.1	20.6	17.4	3.0	40.5	24.5	31.6	3.4
	要支援	90	30.0	24.4	43.3	2.2	18.9	14.4	63.3	3.3
	要介護	106	8.5	10.4	76.4	4.7	7.5	4.7	82.1	5.7
世帯	一人暮らし	253	57.7	20.9	17.8	3.6	45.8	21.7	29.6	2.8
	家族等と同居	1,698	67.8	16.5	13.5	2.2	53.7	21.5	21.9	2.9
	その他	21	9.5	4.8	71.4	14.3	4.8	4.8	71.4	19.0
地区	第1地区	477	70.0	15.1	12.4	2.5	52.6	21.6	22.4	3.4
	第2地区	794	61.5	19.3	16.9	2.4	49.9	21.7	25.8	2.6
	第3地区	712	67.7	15.9	13.6	2.8	54.8	20.6	21.2	3.4

. 実数

属性	区分	全体	3 老研指標総合評価			
			高い (11点以)	やや低い (9~10)	低い (8点以)	不明
男性	65~74歳	582	393	66	25	98
	75~84歳	305	182	37	42	44
	85~90歳	41	25	4	7	5
	90歳以上	12	4	1	6	1
	計	940	604	108	80	148
女性	65~74歳	579	487	37	19	36
	75~84歳	328	223	32	33	40
	85~90歳	99	33	10	34	22
	90歳以上	37	3	2	24	8
	計	1,043	746	81	110	106
男女計	65~74歳	1,161	880	103	44	134
	75~84歳	633	405	69	75	84
	85~90歳	140	58	14	41	27
	90歳以上	49	7	3	30	9
	計	1,983	1,350	189	190	254
認定状況	一般	1,281	1,022	91	28	140
	二次予防	506	303	77	56	70
	要支援	90	18	19	35	18
	要介護	106	7	2	71	26
世帯	一人暮らし	253	157	49	20	27
	家族等と同居	1,698	1,185	137	158	218
	その他	21	2	2	12	5
地区	第1地区	477	337	44	41	55
	第2地区	794	523	81	87	103
	第3地区	712	490	64	62	96

. 割合(%)

属性	区分	全体	3 老研指標総合評価			
			高い (11点以)	やや低い (9~10)	低い (8点以)	不明
男性	65~74歳	582	67.5	11.3	4.3	16.8
	75~84歳	305	59.7	12.1	13.8	14.4
	85~90歳	41	61.0	9.8	17.1	12.2
	90歳以上	12	33.3	8.3	50.0	8.3
	計	940	64.3	11.5	8.5	15.7
女性	65~74歳	579	84.1	6.4	3.3	6.2
	75~84歳	328	68.0	9.8	10.1	12.2
	85~90歳	99	33.3	10.1	34.3	22.2
	90歳以上	37	8.1	5.4	64.9	21.6
	計	1,043	71.5	7.8	10.5	10.2
男女計	65~74歳	1,161	75.8	8.9	3.8	11.5
	75~84歳	633	64.0	10.9	11.8	13.3
	85~90歳	140	41.4	10.0	29.3	19.3
	90歳以上	49	14.3	6.1	61.2	18.4
	計	1,983	68.1	9.5	9.6	12.8
認定状況	一般	1,281	79.8	7.1	2.2	10.9
	二次予防	506	59.9	15.2	11.1	13.8
	要支援	90	20.0	21.1	38.9	20.0
	要介護	106	6.6	1.9	67.0	24.5
世帯	一人暮らし	253	62.1	19.4	7.9	10.7
	家族等と同居	1,698	69.8	8.1	9.3	12.8
	その他	21	9.5	9.5	57.1	23.8
地区	第1地区	477	70.6	9.2	8.6	11.5
	第2地区	794	65.9	10.2	11.0	13.0
	第3地区	712	68.8	9.0	8.7	13.5

第3章 介護サービス事業所調査

問1 貴事業所の概要についてお答えください。

法人の種類は、「社会福祉法人」が 47.5%と最も多く、次いで「医療法人」(19.1%)、「株式会社」(18.5%)、と続いている。

法人の種類

(上段単位:人)

		社福法	医法	株社	有社	NPO法	その他	合計
居宅サービス (短期入所生活介護療養介護以外)	居宅介護支援	11 42.3%	6 23.1%	4 15.4%	3 11.5%	-	2 7.7%	26 100%
	訪問介護	3 21.4%	-	5 35.7%	3 21.4%	2 14.3%	1 7.1%	14 100%
	訪問入浴介護	-	-	2 100%	-	-	-	2 100%
	訪問看護	1 11.1%	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%	-	-	9 100%
	訪問リハビリテーション	-	3 100%	-	-	-	-	3 100%
	通所介護	8 28.6%	1 3.6%	15 53.6%	3 10.7%	1 3.6%	-	28 100%
	通所リハビリテーション	-	5 100%	-	-	-	-	5 100%
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	1 100%	-	-	1 100%
	福祉用具貸与	-	-	2 50.0%	2 50.0%	-	-	4 100%
	計	23 25.0%	21 22.8%	29 31.5%	13 14.1%	3 3.3%	3 3.3%	92 100%
施設サービス	短期入所生活介護	24 100%	-	-	-	-	-	24 100%
	短期入所療養介護	-	4 100%	-	-	-	-	4 100%
	介護老人施設 介護老人施設 介護療養型 医療施設	24 100%	-	-	-	-	-	24 100%
地域密着型サービス	認知症対応型 通所介護	4 100%	-	-	-	-	-	4 100%
	小規模多機能型 居宅介護	-	-	-	2 100%	-	-	2 100%
	認知症対応型 共同生活介護	1 20.0%	-	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	-	5 100%
	複合型サービス	1 100%	-	-	-	-	-	1 100%
	計	6 50.0%	-	1 8.3%	3 25.0%	2 16.7%	-	12 100%
合計	77 47.2%	32 19.6%	30 18.4%	16 9.8%	5 3.1%	3 1.8%	163 100%	

職員体制

(単位：人)

	正規職員			正規職員以外								
				常勤			非常勤			登録ヘルパー		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
居宅介護支援	20	37	57	1	4	6	1	16	17	-	-	-
訪問介護	17	28	45	4	15	19	2	16	18	9	159	168
訪問入浴介護	10	5	15	-	-	-	1	9	10	-	-	-
訪問看護	8	34	42	-	6	6	9	16	25	-	-	-
訪問リハビリテーション	13	12	25	0	0	0	-	-	-	-	-	-
通所介護	42	50	92	0	15	15	55	186	254	-	-	-
通所リハビリテーション	51	82	133	-	2	2	14	29	43	-	-	-
短期入所生活介護	494	593	1087	48	108	156	105	341	446	-	-	-
短期入所療養介護	87	144	231	1	7	8	21	69	90	-	-	-
特定施設入居者生活介護	2	5	7	2	12	14	-	-	-	-	-	-
福祉用具貸与	46	14	60	13	34	47	-	-	-	-	-	-
介護老人施設	518	616	1134	48	108	156	109	356	465	-	-	-
介護老人保健施設	83	134	217	0	2	2	21	69	90	-	-	-
介護療養型医療施設	114	465	579	3	7	10	14	11	25	-	-	-
認知症対応型通所介護	5	3	8	-	3	3	-	27	27	-	-	-
小規模多機能型居宅介護	2	6	8	1	2	3	3	22	25	-	-	-
認知症対応型共同生活介護	9	21	30	6	28	34	1	14	15	-	-	-
複合型サービス	3	2	5	-	-	-	-	9	9	-	-	-
合計	1,524	2,251	3,775	127	353	485	356	1,190	1,559	9	159	168

短期入所生活介護、短期入所療養介護については、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の数と重複していることがあります。

正規職員の勤続年数

(単位：人)

	1年以下	2～3年	4年以上	合計
居宅介護支援	11	20	28	59
訪問介護	13	15	14	42
訪問入浴介護	1	14	0	15
訪問看護	4	9	24	37
訪問リハビリテーション	1	3	21	25
通所介護	21	31	37	89
通所リハビリテーション	27	78	28	133
短期入所生活介護 1	126	227	690	1043
短期入所療養介護 1	53	118	115	286
特定施設入居者生活介護	0	4	3	7
福祉用具貸与	16	25	63	104
介護老人福祉施設	133	200	757	1090
介護老人保健施設	50	118	104	272
介護療養型医療施設	83	128	368	579
認知症対応型通所介護	2	1	5	8
小規模多機能型居宅介護	0	7	1	8
認知症対応型共同生活介護	10	16	4	30
複合型サービス	5	0	0	5
合計	556	1,014	2,262	3,832

1 短期入所生活介護、短期入所療養介護については、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の数と重複していることがあります。

2 回答のなかった事業所があるため職員体制の数字と一致していません。

問2 貴事業所(又は貴施設)の利用者数を記入してください。

利用者全体に占める市内・市外利用者の割合は、全体で見ると市内(64.4%)、市外(35.6%)であるが、施設サービスを除くと市内(84.7%)、市外(15.3%)となっている。(単位：人)

	定員	市内利用者又は保険者(青梅市)	市外利用者又は保険者(青梅市外)	利用者計
居宅介護支援	2,012	1,759	141.5	1900.5
訪問介護	-	832	214	1,046
訪問入浴介護	-	88	36	124
訪問看護	-	289	138	427
訪問リハビリテーション	-	109	27	136
通所介護	665	1,169	145	1,314
通所リハビリテーション	364	258	136	394
短期入所生活介護	134	45	17	62
短期入所療養介護	-	-	1	1
特定施設入居者生活介護	27	3	23	26
福祉用具貸与	-	681	95	776
介護老人福祉施設	2,488	658	1,794	2,452
介護老人保健施設	350	135	202	337
介護療養型医療施設	594	60	500	560
認知症対応型通所介護	51	71	1	72
小規模多機能型居宅介護	50	43	-	43
認知症対応型共同生活介護	72	64	7	71
複合型サービス	25	14	-	14
合計	-	6,278	3,477.5	9,755.5

通所介護・通所リハビリテーション・認知症対応型通所介護の定員は1日当たり。

利用者全体に占める市内・市外利用者の割合

	市内利用者 (又は保険者青梅市)	市外利用者 (又は保険者青梅市外)	利用者計
居宅介護支援	92.6%	7.4%	100%
訪問介護	79.5%	20.5%	100%
訪問入浴介護	71.0%	29.0%	100%
訪問看護	67.7%	32.3%	100%
訪問リハビリテーション	80.1%	19.9%	100%
通所介護	89.0%	11.0%	100%
通所リハビリテーション	65.5%	34.5%	100%
短期入所生活介護	72.6%	27.4%	100%
短期入所療養介護	-	100.0%	100%
特定施設入居者生活介護	11.5%	88.5%	100%
福祉用具貸与	87.8%	12.2%	100%
介護老人福祉施設	26.8%	73.2%	100%
介護老人保健施設	40.1%	59.9%	100%
介護療養型医療施設	10.7%	89.3%	100%
認知症対応型通所介護	99%	1.4%	100%
小規模多機能型居宅介護	100%	-	100%
認知症対応型共同生活介護	90.1%	9.9%	100%
複合型サービス	100.0%	-	100%
合計	64.4%	35.6%	100%

問3 貴事業所の青梅市内(又は保険者青梅市)の利用者数を介護度別に記入してください。

(上段 単位：人)

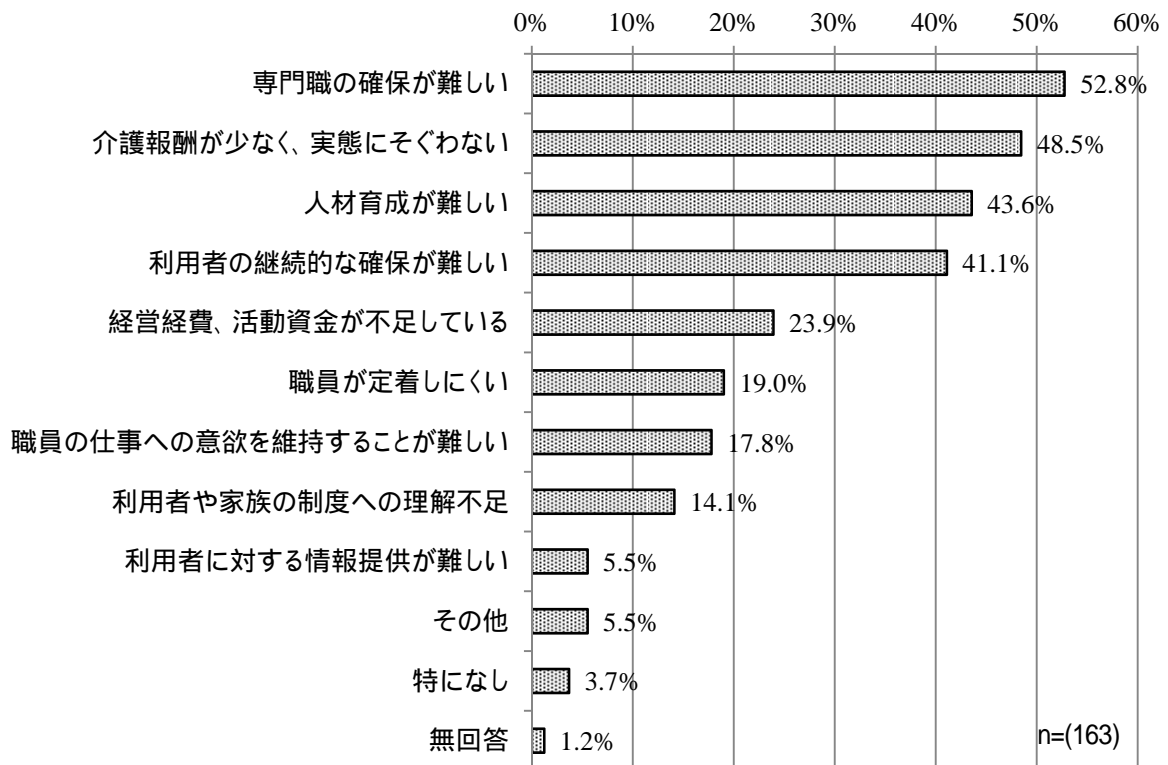
	申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
居宅介護支援 1	7 0.4%	183 10.4%	240 13.6%	429 24.3%	373 21.2%	239 13.6%	173 9.8%	119 6.7%	1,763 100%
訪問介護	2 0.3%	114 15.5%	118 16.0%	141 19.1%	139 18.9%	76 10.3%	78 10.6%	69 9.4%	737 100%
訪問入浴介護	-	-	1 1.1%	1 1.1%	2 2.3%	6 6.8%	18 20.5%	60 68.2%	88 100%
訪問看護	-	19 6.6%	38 13.1%	54 18.7%	43 14.9%	42 14.5%	46 15.9%	47 16.3%	289 100%
訪問リハビリ テーション	-	8 7.3%	11 10.1%	17 15.6%	22 20.2%	19 17.4%	18 16.5%	14 12.8%	109 100%
通所介護	3 0.3%	169 14.5%	190 16.3%	287 24.6%	235 20.1%	153 13.1%	86 7.4%	44 3.8%	1,167 100%
通所リハビリ テーション	-	23 9.0%	46 18.0%	44 17.2%	45 17.6%	35 13.7%	37 14.5%	26 10.2%	256 100%
短期入所 生活介護	-	2 4.0%	1 2.0%	6 12.0%	14 28.0%	13 26.0%	9 18.0%	5 10.0%	50 100%
短期入所 療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定施設入居者生 活介護	-	-	-	-	1 33.3%	-	2 66.7%	-	3 100%
福祉用具貸与	-	51 7.5%	83 12.2%	111 16.3%	141 20.7%	121 17.8%	102 15.0%	72 10.6%	681 100%
介護老人 福祉施設	-	-	-	35 5.2%	62 9.3%	141 21.1%	235 35.2%	195 29.2%	668 100%
介護老人 保健施設	3 2.2%	-	-	28 20.9%	28 20.9%	41 30.6%	27 20.1%	7 5.2%	134 100%
介護療養型 医療施設	-	-	-	2 3.3%	1 1.7%	9 15.0%	23 38.3%	25 41.7%	60 100%
認知症対応型 通所介護	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	17 23.3%	22 30.1%	15 20.5%	11 15.1%	5 6.8%	73 100%
小規模多機能型居 宅介護	-	-	2 4.7%	12 27.9%	12 27.9%	7 16.3%	7 16.3%	3 7.0%	43 100%
認知症対応型 共同生活介護	-	-	1 1.6%	20 31.3%	22 34.4%	11 17.2%	6 9.4%	4 6.3%	64 100%
複合型サービス				3 21.4%	1 7.1%	3 21.4%	4 28.6%	3 21.4%	14 100%
合計	16 0.3%	570 9.2%	732 11.8%	1,207 19.5%	1,163 18.8%	931 15.0%	882 14.2%	698 11.3%	6,199 100%

1 居宅介護支援事業所の要支援1・2は、地域包括支援センターから委託されたもの

問4 現在、貴事業所の円滑な事業運営を進めていくうえで、支障となっていることがありますか。(あてはまるものすべてに)

事業所の円滑な事業運営を進めていくうえで支障となっていることとしては、「専門職の確保が難しい」が52.8%と最も多く、次いで「介護報酬が少なく、実態にそぐわない」(48.5%)、「人材育成が難しい」(43.6%)と続いている。

「その他」の具体的な記入としては、「指示書など制度の煩雑さ」や「利用者の新規獲得が難しい」などがある。

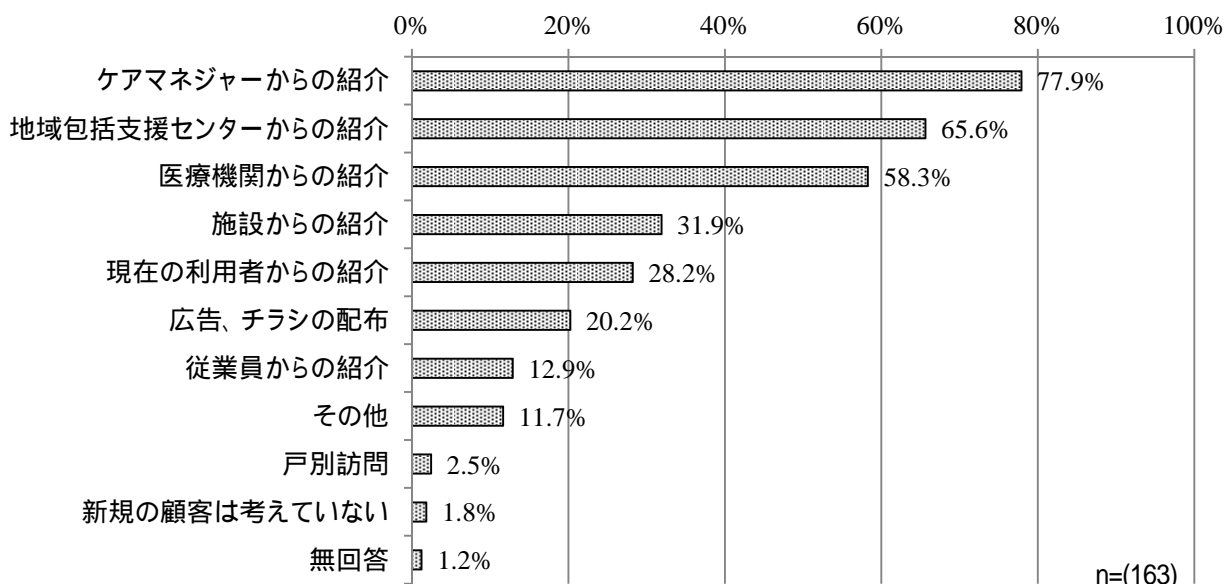


問5 新たな顧客を開拓する場合、具体的な方法はなんですか。(あてはまるものすべてに)

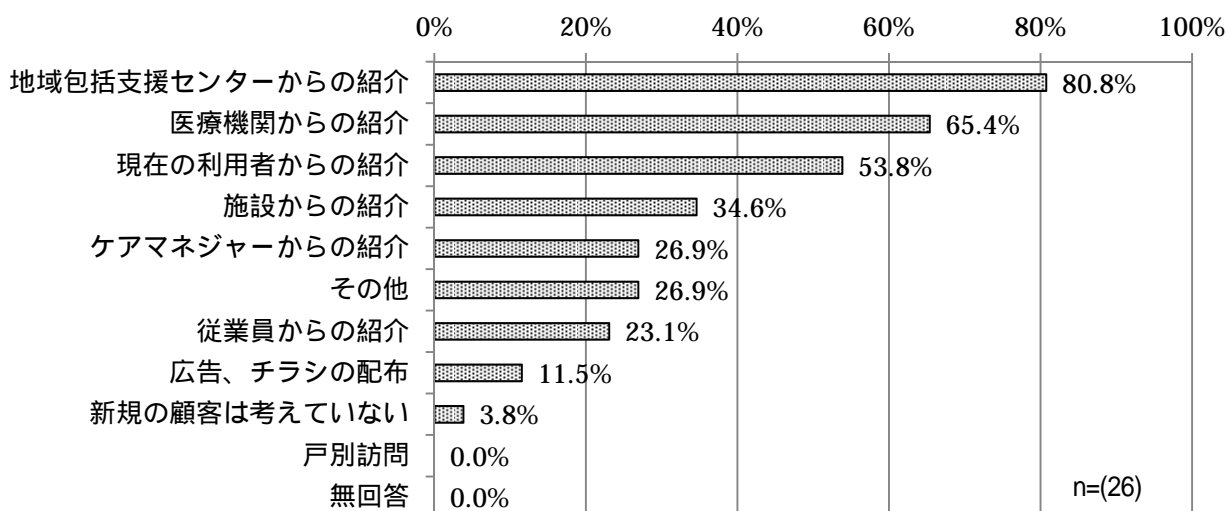
新たな顧客を開拓する具体的な方法としては、「ケアマネジャーからの紹介」が77.9%と最も多く、次いで「地域包括支援センターからの紹介」(65.6%)、「医療機関からの紹介」(58.3%)、と続いている。

また、居宅介護支援事業のみをみると、「地域包括支援センターからの紹介」が80.8%と最も多く、次いで「医療機関からの紹介」(65.4%)、「現在の利用者からの紹介」(53.8%)、と続いている。

「その他」の具体的な記入としては、「クチコミ」や「事業所挨拶回り」などがある。



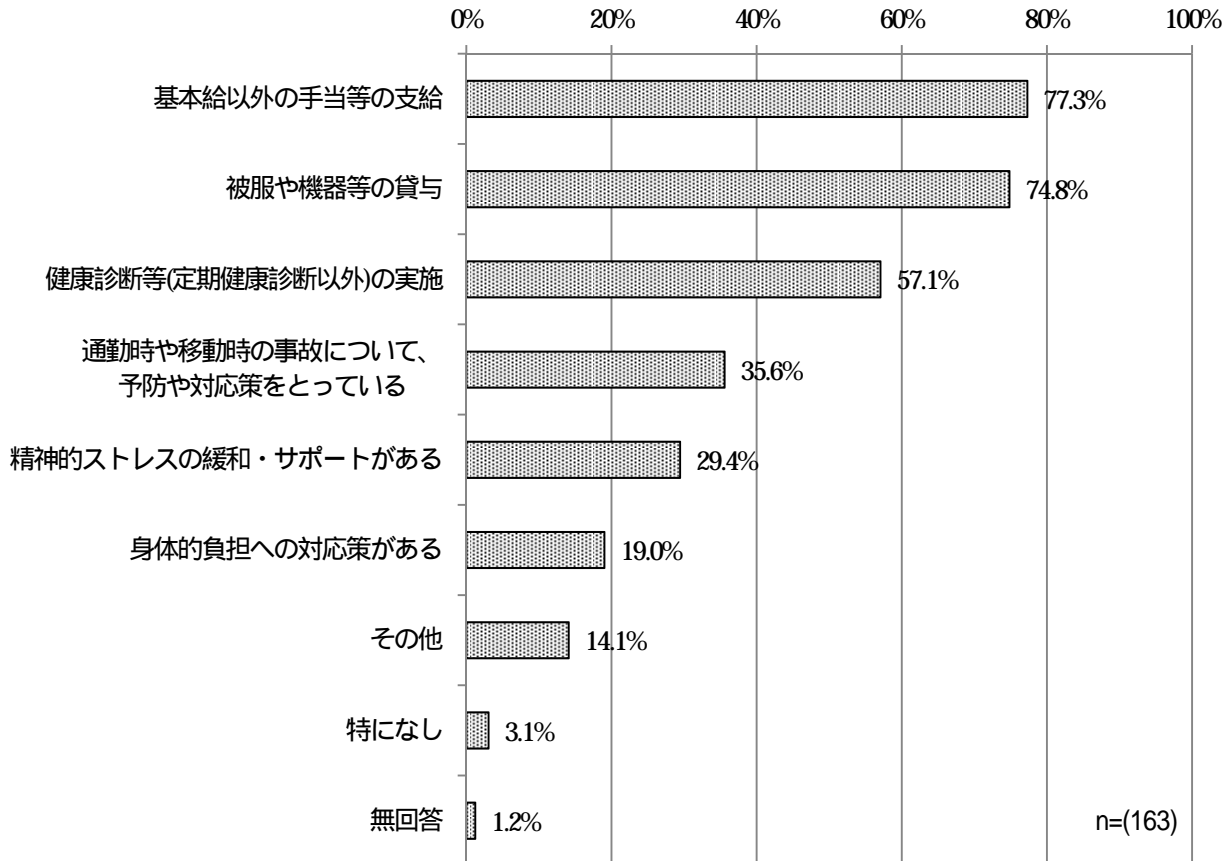
居宅介護支援事業所



問6 職員に対してどのような配慮を行っていますか。(あてはまるものすべてに)

職員に対しての配慮については、「基本給以外の手当等の支給」が77.3%と最も多く、次いで「被服や機器等の貸与」(74.8%)、「健康診断等(定期健康診断以外)の実施」(57.1%)、と続いている。

「その他」の具体的な記入としては、「新入職員へのサポート(チューター制度)」や「社員旅行」などがある。



問7 過去1年間における職員の採用および定着状況はいかがですか。(・ の質問について、採用状況・定着状況のそれぞれあてはまるもの1つに)

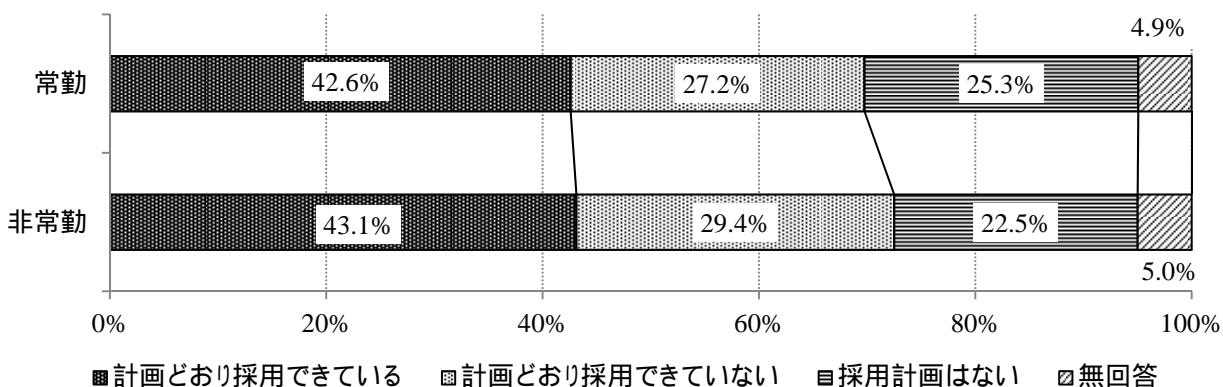
過去1年間における職員の採用状況については、常勤職員・非常勤職員ともに「計画どおり採用できている」が最も多く、定着状況については、常勤職員は「良い」が最も多く、非常勤職員は「比較的良い」が最も多くなっている。

	採用状況		定着状況	
	常勤職員	計画どおり採用できている	42.6%	良い
計画どおり採用できていない		27.2%	比較的良い	40.5%
採用計画はない		25.3%	あまり良くない	8.6%
無回答		4.9%	良くない	2.5%
			無回答	6.1%
非常勤職員	計画どおり採用できている	43.1%	良い	35.0%
	計画どおり採用できていない	29.4%	比較的良い	38.8%
	採用計画はない	22.5%	あまり良くない	11.9%
	無回答	5.0%	良くない	4.4%
			無回答	10.0%

n=(163)

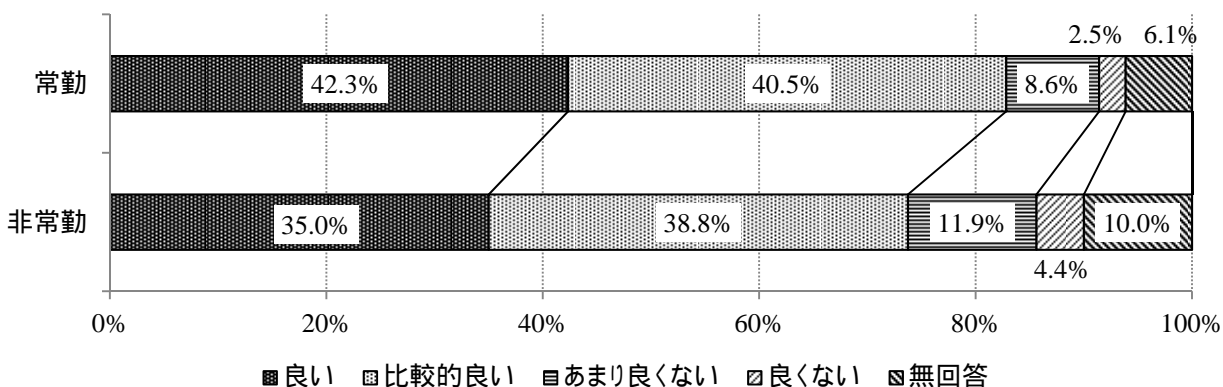
採用状況

n=(163)



定着状況

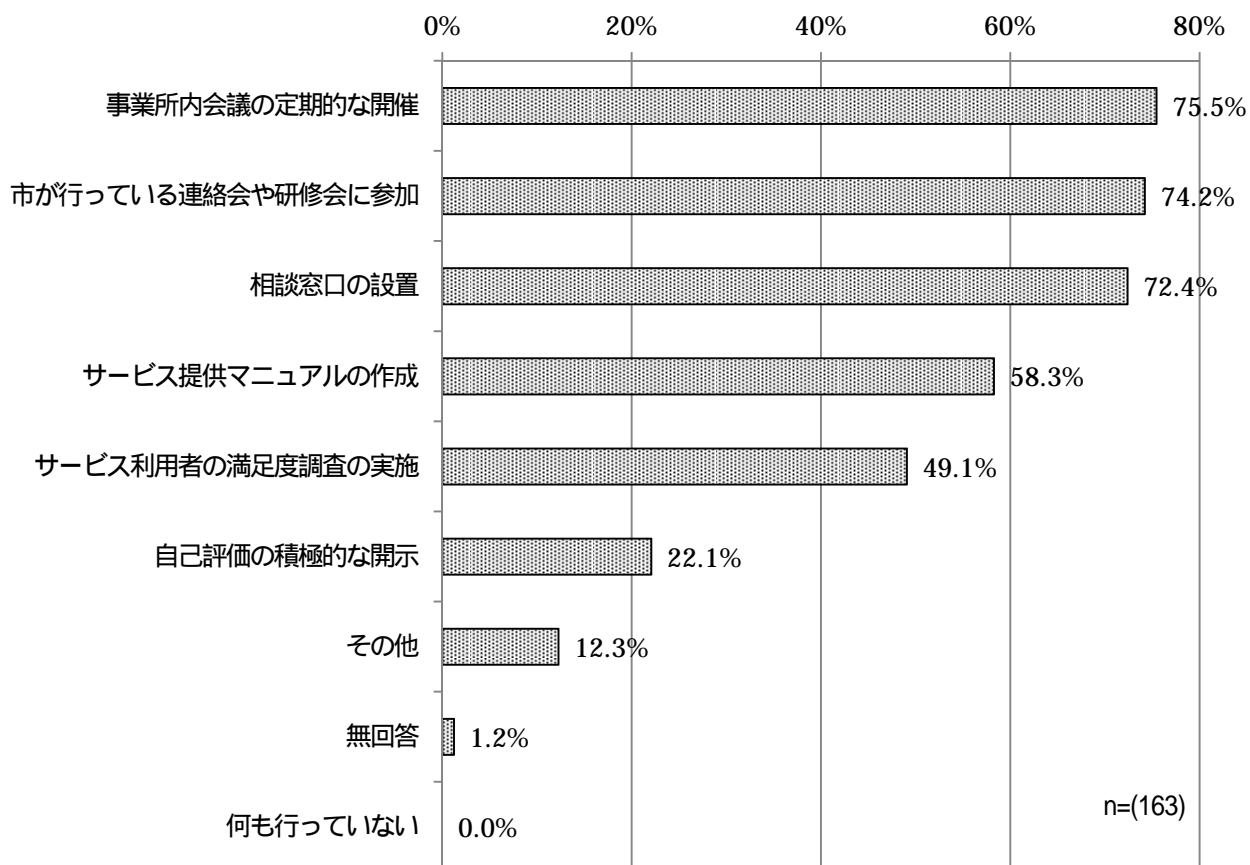
n=(163)



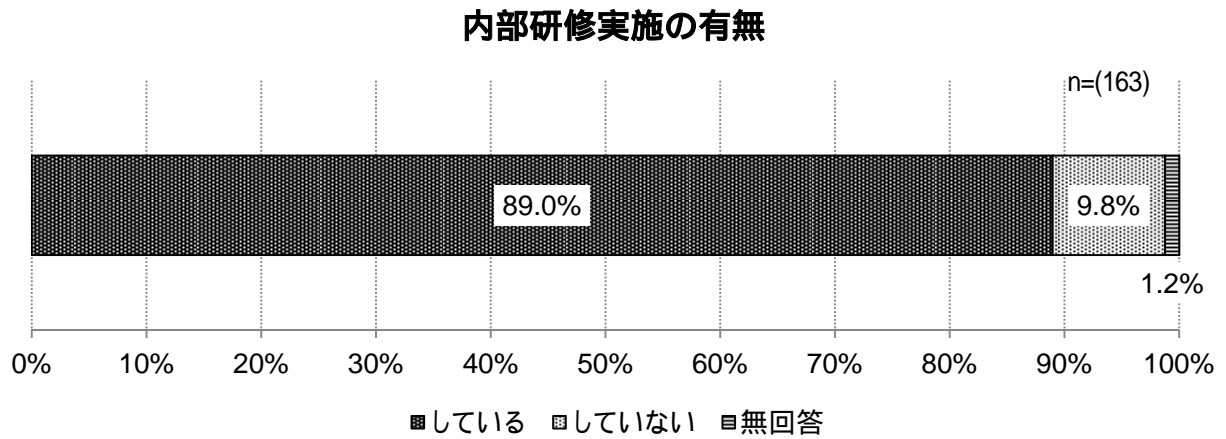
問8 サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに)

サービスの質の向上のための取り組みについては、「事業所内会議の定期的な開催」が75.5%と最も多く、次いで「市が行っている連絡会や研修会に参加」(74.2%)、「相談窓口の設置」(72.4%)、と続いている。

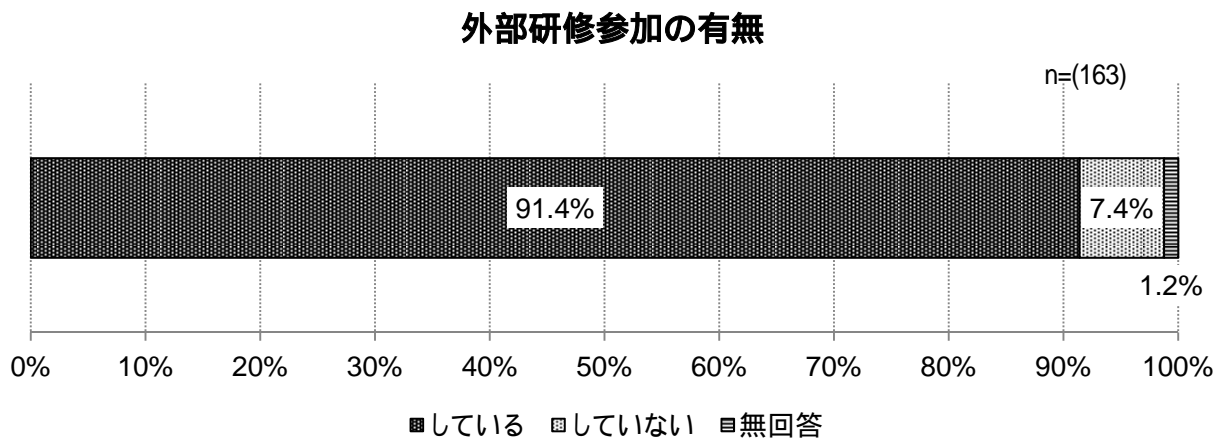
「その他」の具体的な記入としては、「外部研修の参加」や「第三者委員会の設置」などがある。



問9 全職員を対象とした内部研修を実施していますか。(あてはまるものに)



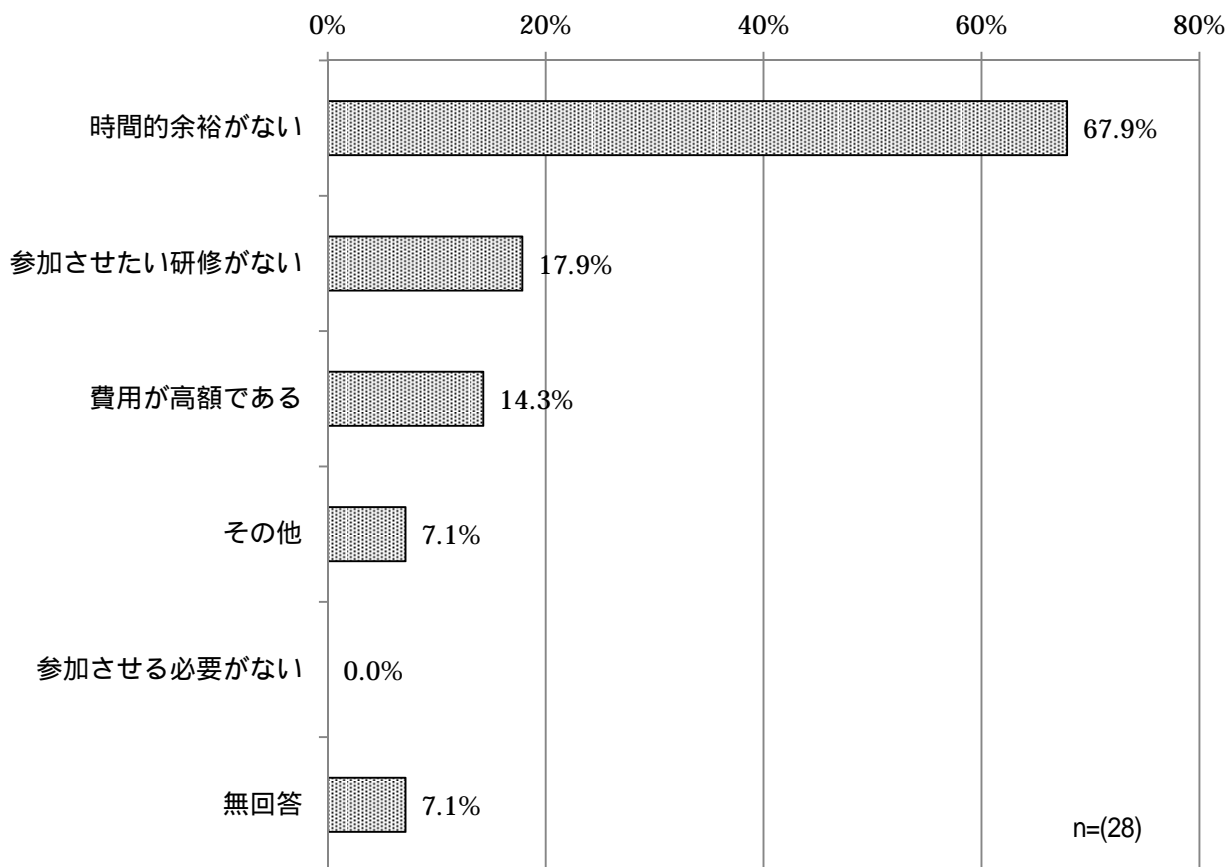
問10 外部研修会等へ職員を参加させていますか。(あてはまるものに)



問11 問9または問10で「2. していない」と答えた方にお聞きします。していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

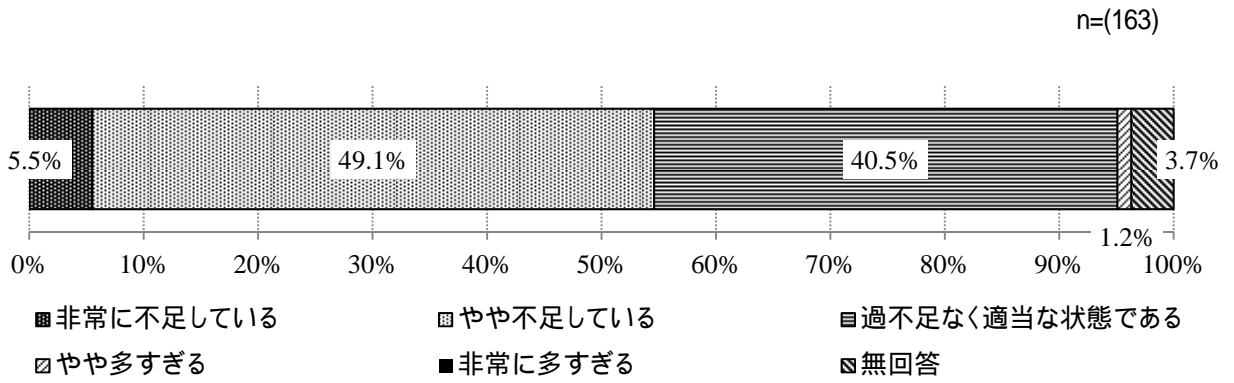
内部研修の実施、外部研修等への職員参加をしていない理由については、「時間的余裕がない」が 11.7%と最も多くなっている。

「その他」の具体的な記入としては、「一人ケアマネジャー事業所のため」などがある。



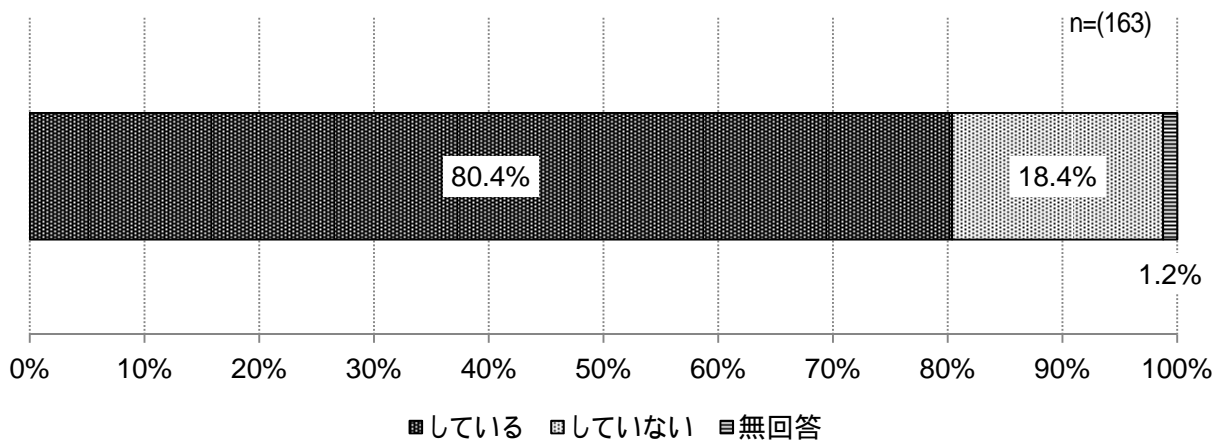
問12 現在のサービス提供状況からみて、職員の不足はありますか。(あてはまるもの1つに)

現在のサービス提供状況からみた職員の不足については、「やや不足している」が 49.1%と最も多く、次いで「過不足なく適当な状態である」(40.5%)、と続いている。



問13 事業所としてリスクマネジメントを行っていますか。

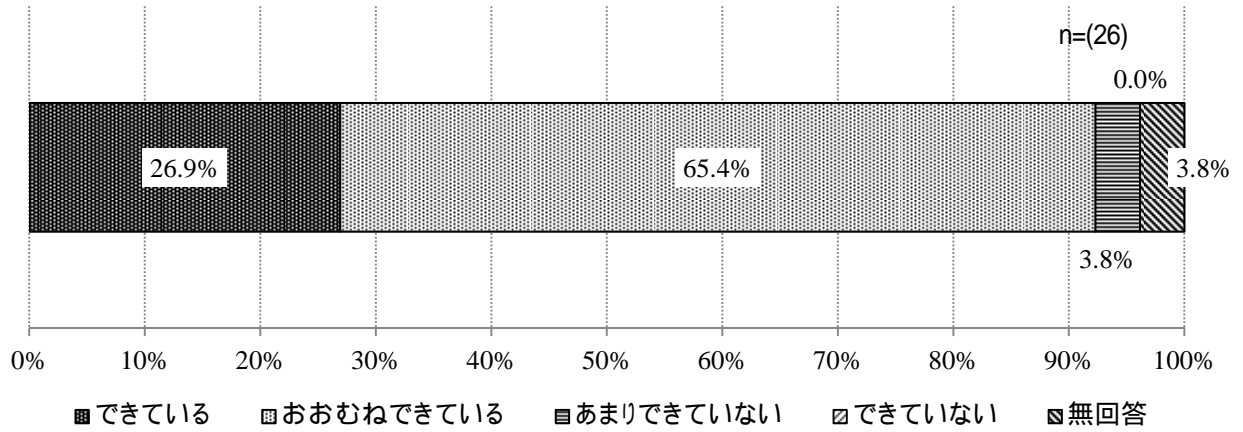
事業所としてリスクマネジメントを実施しているかについては、「している」が80.4%、「していない」が18.4%となっている。



「している」の具体的な記入としては、「各種マニュアルの作成・研修等」、「インシデント・アクシデントレポート、ヒヤリハットレポートの作成と分析、周知」、「リスクマネジメント委員会の作成」などとなっている。

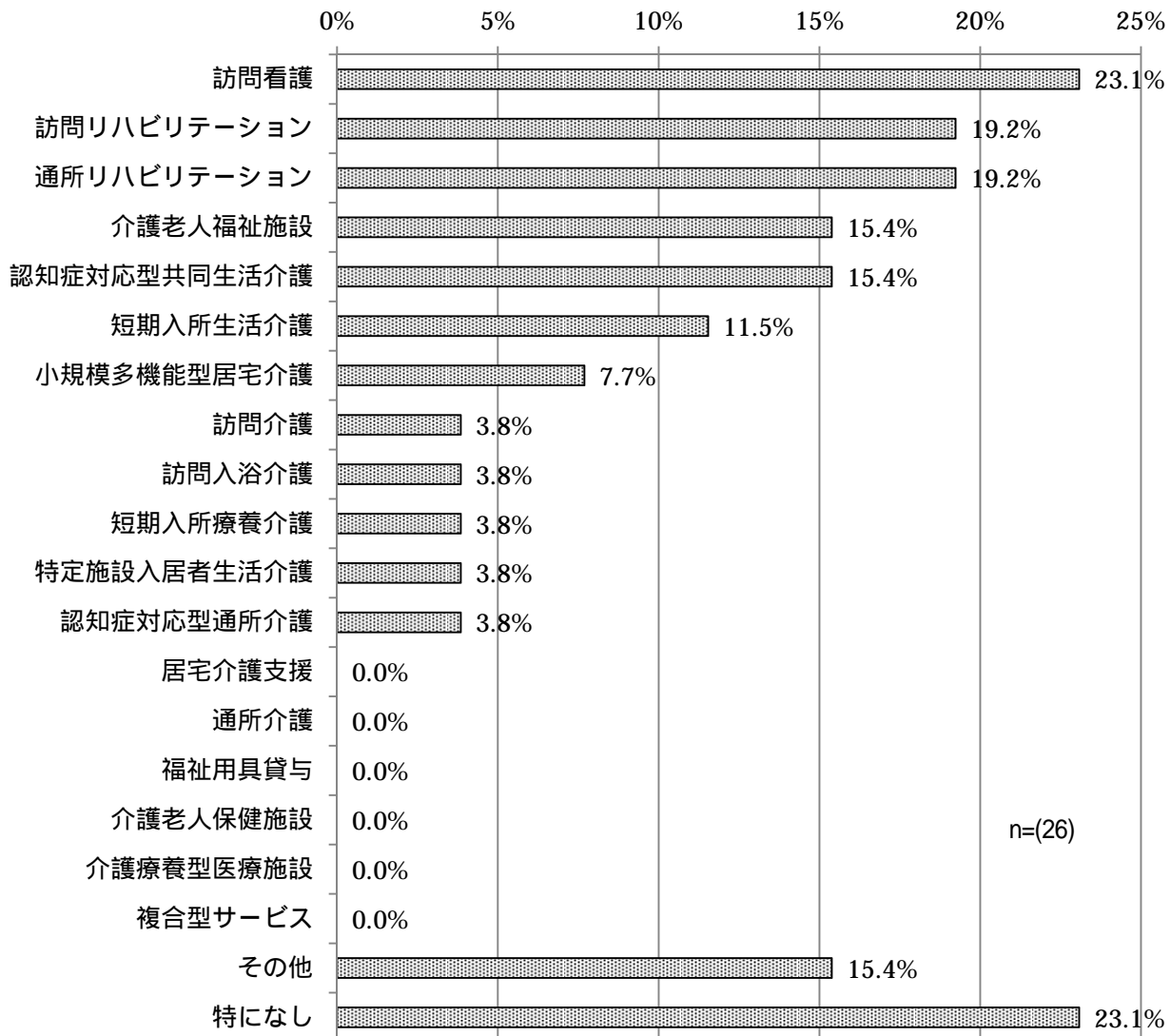
問14 居宅介護支援事業者の方に伺います。ショートステイは希望通りに利用できていますか。

ショートステイが希望通りに利用できているかについては、「できている」(26.9%)、「おおむねできている」(65.4%)と合わせて 92.3%となっている。



問15 居宅介護支援事業者の方に伺います。実際に提供しているサービスが、必要と考えるサービス量に対し不足していると感じるものがありますか。(あてはまるものすべてに)

不足していると感じるサービスについては、「訪問看護」が 23.1%と最も多く、次いで「訪問リハビリテーション」(19.2%)、「通所リハビリテーション」(19.2%)と続き、医療系のサービスが上位となっている。

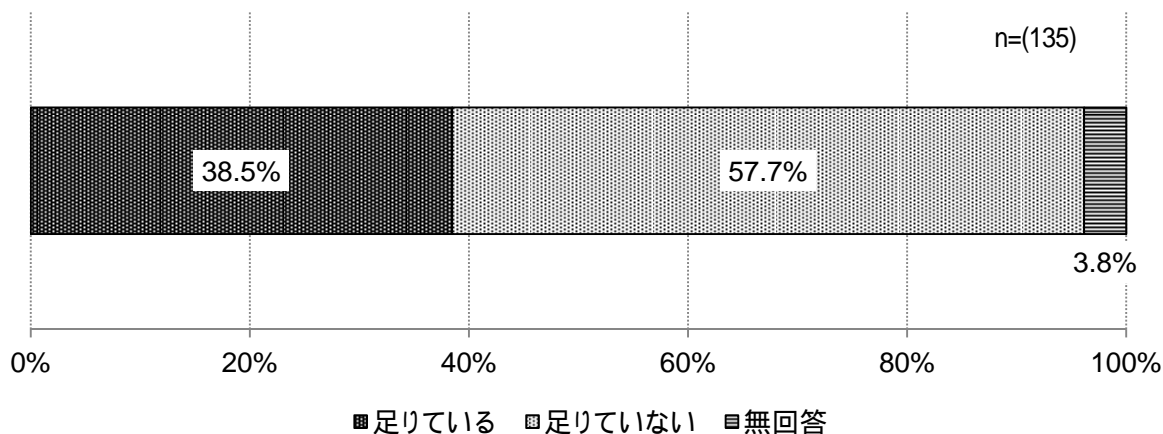


その他の具体的な記入としては、「シルバーピア」、「高次脳機能障害に特化したデイ」、「養護老人ホーム」となっている。

不足していると感じる理由としては、「利用者の希望する曜日、時間に対応できない場合がある。特に医療系サービスは、今が必要であるのにタイムリーにサービス提供ができない」、「訪問リハビリテーションの言語聴覚士が不足している。誤嚥予防や脳梗塞後の発語の訓練が必要な方が多いが、対応している事業所が少ない」などがある。施設サービスについては、「入所が難しい」、「介護度や、金銭的な理由で施設入所できない方が多くいる」などがある。

問16 居宅介護支援事業者の方にお伺いします。地域において、公的な高齢者支援サービスは足りていると思いますか。

公的な高齢者支援サービスが足りているかについては、「足りている」が38.5%、「足りていない」が57.7%となっている。



具体的には、どのようなサービスが不足していると思いますか。

具体的には、どのようなサービスが不足しているかの問いには、以下の回答があった。

- ・移動支援サービス(巡回バスや送迎車)
- ・通院、外出付き添い
- ・自宅への出張サービス(外出できない人の申請受付、相談等)
- ・安否確認や話し相手等の傾聴ボランティア
- ・一般の高齢者や、軽度の介護保険対象者が気軽に利用できるサロンや自立支援型のデイ
- ・継続的に利用できる介護予防教室
- ・介護保険が使えない独居高齢者への買い物や自宅メンテナンス等の支援。
- ・支給限度額では足りない部分について何らかの支援・施策
- ・配食サービス(週3回しか対応していない・地域が限られている)
- ・布団乾燥(玄関まで運ばないといけない)
- ・総合相談サービス
- ・虐待など権利擁護に関するサービス
- ・へき地の介護保険サービス(御岳山頂など)

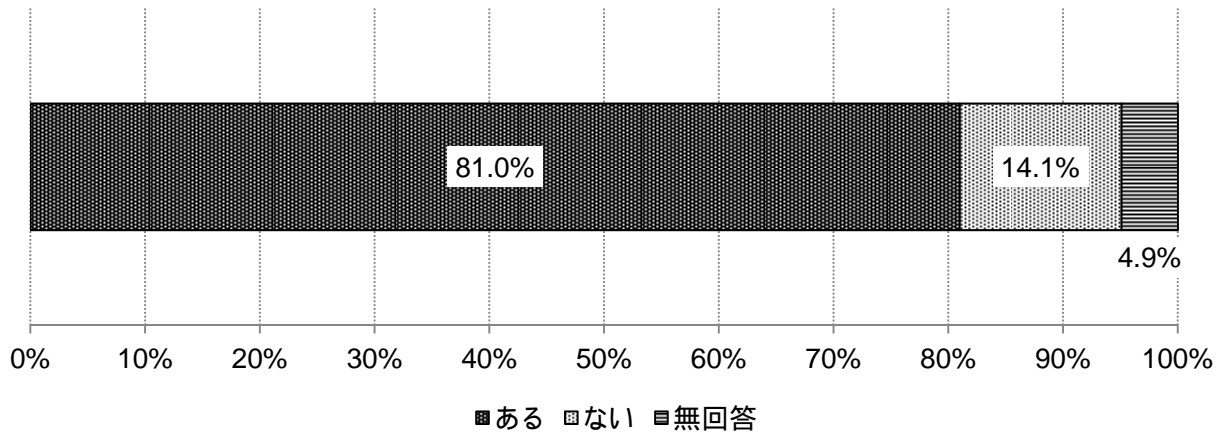
問17 サービス提供困難時は、どのように対応されていますか。具体的に御記入ください。

- ・ 各事業所との密な連携(電話・訪問)を行うことで、常に情報収集を行っている。また、状況確認の為、自宅訪問をこまめに行い、各事業所へ報告・対応等の指示を行っている。身体状況について変化がある場合、医療機関に連絡・報告し、指示を得ている。
- ・ 出来る限り、介護保険サービス、高齢者支援サービス等の社会資源は活用していますが、それでもリスクのある方については、御家族様、近隣、民生委員等のインフォーマルな資源の力を借りています。
- ・ 根気よく訪問や他事業所と連携し声かけを行い信頼関係構築、サービスを提供している。
- ・ 依頼元(包括支援センター、ケアマネジャー等)または、行政の担当者に相談する
- ・ なるべくご利用者様、家族の希望に沿った対応を心掛けますが、対応が困難な場合は、ケアマネジャーと相談を行います。
- ・ ケアマネジャーやご利用者様に定員がいっぱい、又、送迎範囲外にて現在はお受けできないことをお伝えしている。利用時に困難であると判断した場合には、ケアマネジャーに連絡、状況を説明し継続利用の方向で相談、検討するが、それでも難しい場合はご利用者様、ご家族様に説明しご理解頂く。
- ・ 体調不良や認知症による暴言など居宅介護支援事業所と連携し、利用者にとって一番適切なケアを実践している。
- ・ ドクター、PTの意見を取り入れ、家族とのカンファレンスを開催し、情報を共有し、よりよい方策を検討しながら対応している。
- ・ まずは、事業所内で、分析し、カンファレンスを開催、対応方法を検討。個人での対応が難しい時には、チームで関わり、管理者が担当ケアマネジャーと一緒に訪問やサービス担当者会議の出席などを実施している。必要に応じて、地域包括支援センターに相談し対応している。
- ・ 担当者会議等を開いて問題定義してできるだけ解決できる方向に努力を行っている。
- ・ 認知症が重度であり、BPSDなどの症状が出現しているなど、サービス提供が困難な場合、カンファレンス開催し、具体的な援助方法を検討しています。ご家族への情報提供や場合によっては、協力要請をすることで、サービスに繋げています。
- ・ 法人の上司、包括支援センターに相談しアドバイスをいただいている。法人内の専門職より事例検討としてとりあげ対策案を検討する。支援チームの事業所間で連携をとり会議を開催したりして考えを統一する。
- ・ サービス提供地域外では近隣の営業所を紹介している。
- ・ 他事業所の紹介。「訪問リハ」での対応ではなく、他のサービス(通所系サービス・医療機関等)を紹介。ケアマネジャーとの連携を行う。
- ・ 空きが出るまで待ついただくか、他の事業所を紹介するなど利用者の希望を伺い出来る限りのことは行っている。
- ・ 定員増による場合は、法人内の他事業所を紹介
- ・ 入所中のご利用者では、ご家族とさらに密に連携を図り、利用可能な物品や通院、入院などを相談し進めていく。入所やショートステイ利用前の段階でしたら、利用が可能と思われる他サービス等をお伝えしたりします。

- ・ サービス提供責任者がサービスにあたり、日時の変更をご利用者様にお願いする事がある。
- ・ ケアマネジャーに相談又は確認した後、利用者様に事情を説明し 時間の変更 曜日の変更。最終的に訪問が困難な場合はキャンセルをお願いしている。
- ・ 医療行為が必要な場合など、必要な機材が揃っていない。又は常時付き添いや見守り、処置が必要である際、他のお客様への対応の兼ね合いから困難とお断りすることがございます。
- ・ 台風、災害等で送迎が危険な場合は、通所を中止する。
- ・ 医療機関への入院(体調不良等で利用困難となった場合)・家族等との面談から退所の決定を行う(長期入院等)
- ・ 民間サービスに依頼。御岳山に関しては、今行えるサービスのみでフォローしている。
- ・ 困難と思われる事例はないが、エレベーターが無い上層階の場合は本人または家族等に了解のもと背負う等して送迎している。
- ・ 利用者が低血糖症状で救急車要請が必要な状態になったとき、家族に連絡をとり、救急車を要請し、家族に早急に来てもらい、救急車で医療機関に行ってもらった。
- ・ 迎え時、到着の前に電話を入れ外出し易くする。新規の利用者様には家族の声掛けをお願いする。
- ・ 事業所都合の場合は振替利用で対応しています。積雪等の天候関係の場合で送迎が困難な場合も同様です。
- ・ 例1.入浴中止者は清拭に変更 例2.食事形態の変更など
- ・ 介護拒否であれば、例えば時間を変えて声掛けをし、馴染みやすい言葉の方が良ければ、その様に話し、又、職員を変えて対応し、取り組む事にしている。
- ・ 例えば、帰宅願望等による不穏時は・・・1対1で対応できる体制を確保し、ドライブや散歩にて気分転換を図る他、場合によっては、ご家族、担当ケアマネとの話し合いにて、利用時間の見直し等々。
- ・ 認知症の方の御利用なので来園拒否が多く、その対応としては、利用者の様子を伺いながら接し、それでも無理な場合は人を替えるなり、時間を置いてなどして対応している。
- ・ 認知症の方の対応は当然ながらサービス提供側の意向通りは、なかなかいきません。利用者様の思いに沿った、受容・傾聴に努め利用者本位を優先したケアをしています。
- ・ 様々なサービス提供困難時が考えられますが、どのような場合でも誠意を持ち、こちらができることを最優先に考えながら行動し、利用者から信頼される対応を心がけています。

問18 貴事業所では地域の各種団体や組織(民生委員、自治会、他市社協等)との関わりはありますか。(あてはまるものすべてに)

地域の各種団体や組織との関わりがあるかについては、「ある」が81.0%、「なし」が14.1%となっている。

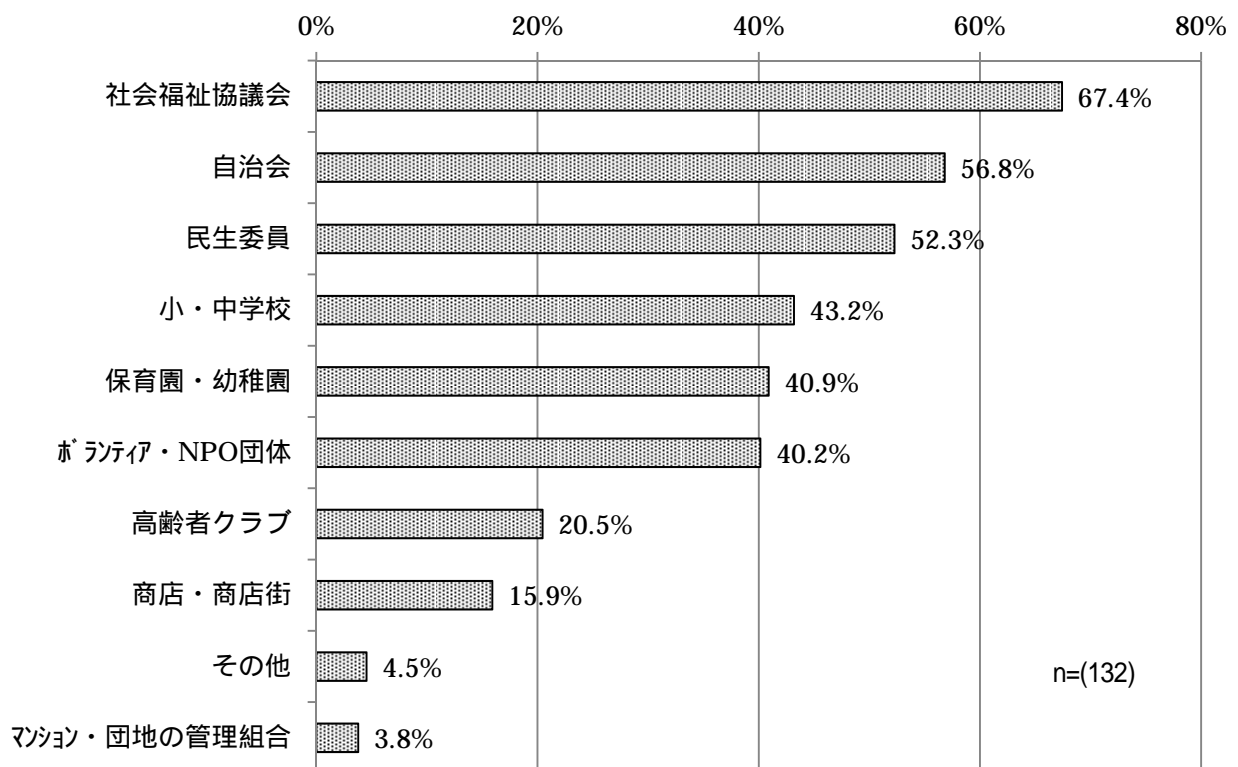


n=(163)

それはどのような団体・組織ですか。(あてはまるものすべてに)

関わりがある団体・組織については、「社会福祉協議会」が67.4%と最も多く、次いで「自治会」(56.8%)と続いている。

「その他」の具体的な記入としては、「病院」や「ケアマネ連絡会」、「高等学校」などがある。



n=(132)

問19 部屋の形態による床数は何床ですか。

介護老人福祉施設、介護老人保健施設のみ対象

施設数	ユニット個室	従来型個室	多床室	計(定員)
介護老人福祉施設(24 施設)	250 床	116 床	2,122 床	2,488 床
介護老人保健施設(3 施設)	0 床	65 床	290 床	355 床

問20 ショートステイは何床ですか。

介護老人福祉施設、介護老人保健施設のみ対象

施設数	空床型	併設型	計
介護老人福祉施設(24 施設)	102 床	69 床	171 床
介護老人保健施設(3 施設)	355 床	0 床	355 床

問21 施設の職員(常勤・非常勤)について、職種ごとに、青梅市民の人数、市外からの勤務者の人数を御記入ください。

介護老人福祉施設、介護老人保健施設のみ対象

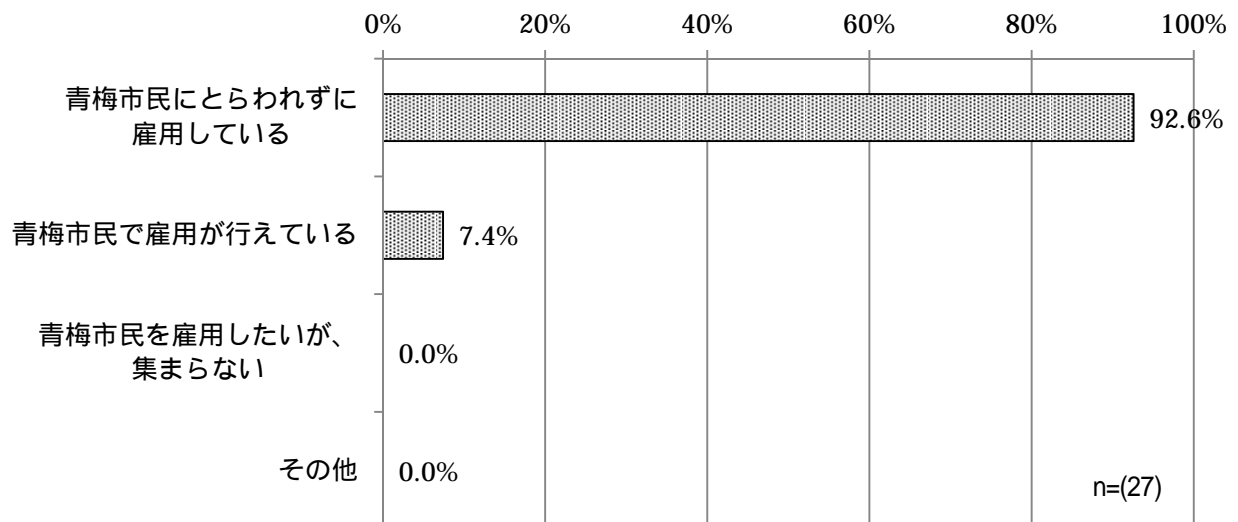
職種	市内(人)	市外(人)	計
生活相談員	30	22	52
介護職員	774	512	1286
看護職員	108	85	193
栄養士	17	19	36
機能訓練指導員	13	27	40
介護支援専門員	31	19	50
その他の職員(調理員等)	207	142	349
合計	1072	741	1813

問22 施設の各種職員(常勤・非常勤)について、青梅市民の雇用の実情や意向をお答え下さい。

介護老人福祉施設、介護老人保健施設のみ対象

青梅市民の雇用の実情や意向については、「青梅市民にとらわれずに雇用している」が92.6%と最も多く、次いで「青梅市民で雇用が行えている」(7.4%)と続いている。

その他(御意見など)については、特になかった。

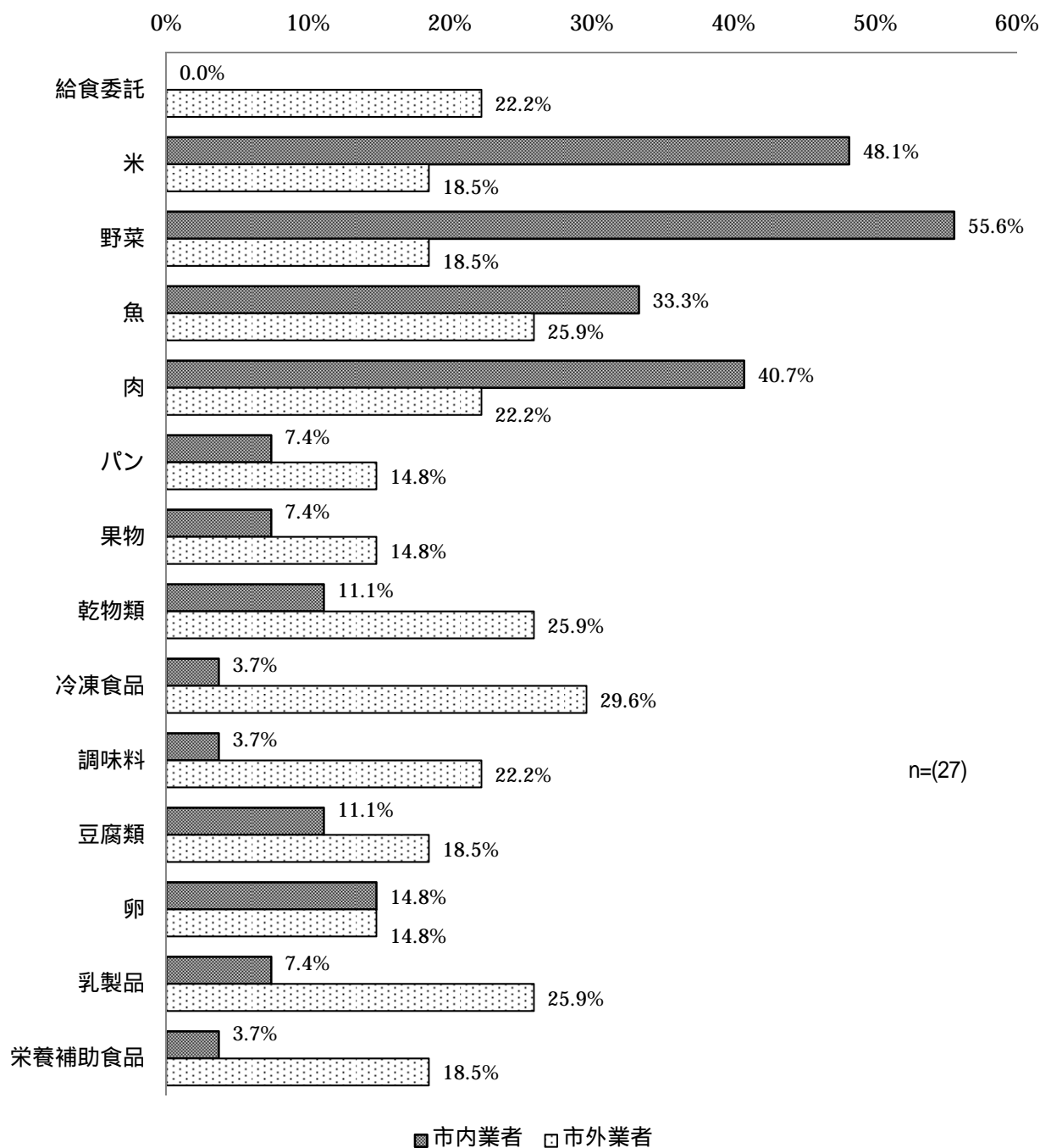


問23 施設の食材や物品等は、どこから購入等をしていますか。

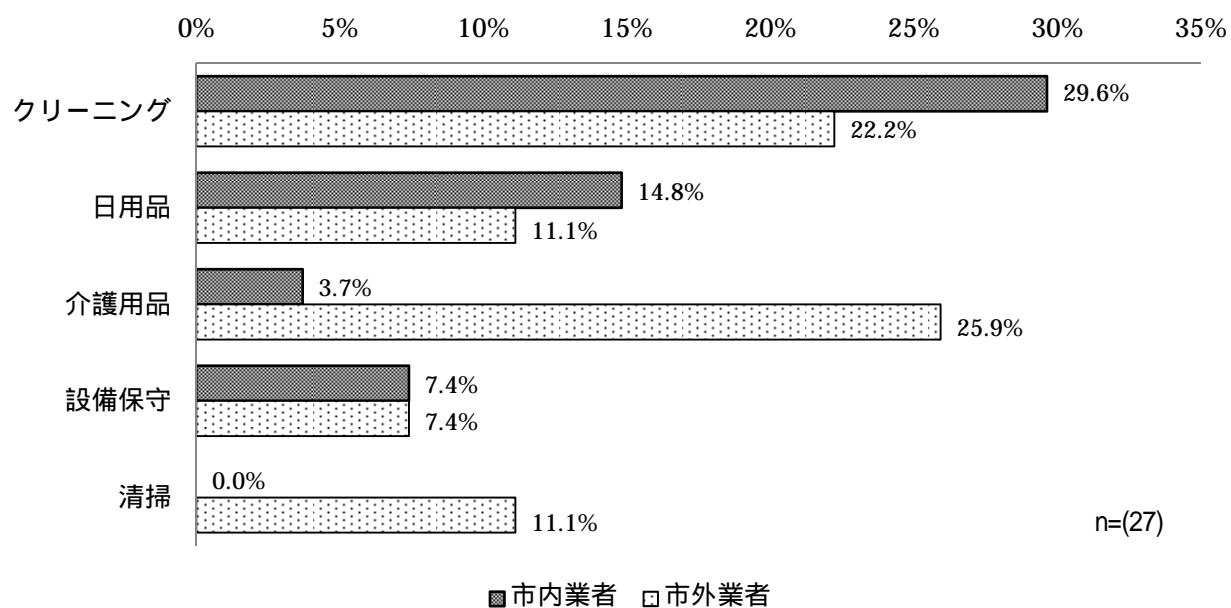
食材、その他物品カッコ欄に具体的に御記入し、「市内業者」、または「市外業者」のどちらかに をしてください。

介護老人福祉施設、介護老人保健施設のみ対象

食材については、「給食」を市外業者に委託をしている施設が22.2%となっている。食材を自らが購入している施設をみると、「米」、「野菜」、「魚」や「肉」については、市内業者から購入している施設の方が多いが、それ以外の食材（「卵」を除く）は市外業者から購入している施設の方が多い。



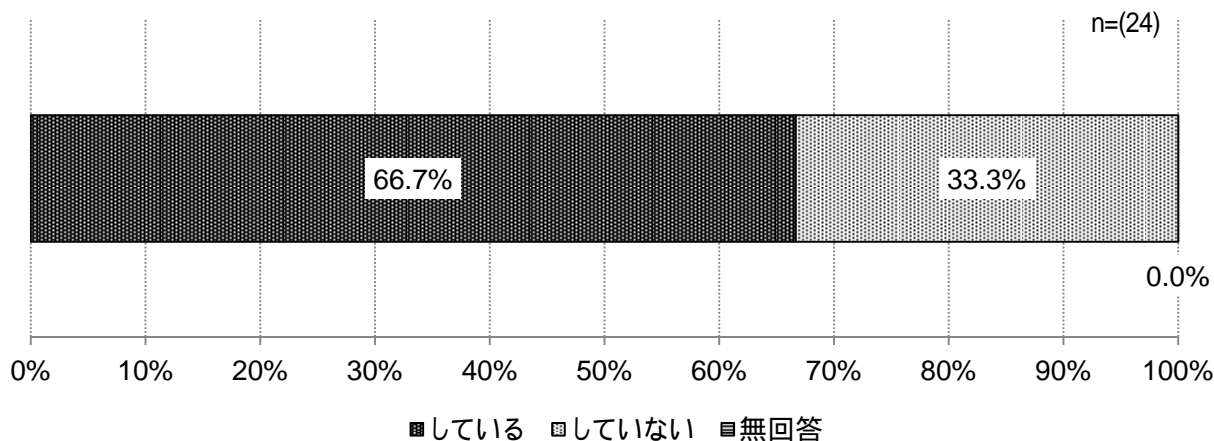
その他物品については、「クリーニング」や「日用品」については、市内業者から購入等している施設の方が多いが、「介護用品」や「清掃」は市外業者から購入等している施設の方が多い。「設備保守」は市内業者、市外業者に委託している施設が半々となっている。



問24 国の特別対策の一つである「社会福祉法人等による生計困難者等に対する利用者負担額軽減制度事業」を活用されていますか。

介護老人福祉施設、介護老人保健施設のみ対象

「社会福祉法人等による生計困難者等に対する利用者負担額軽減制度事業」を活用しているかについては、「している」が66.7%、「していない」が33.3%となっている。



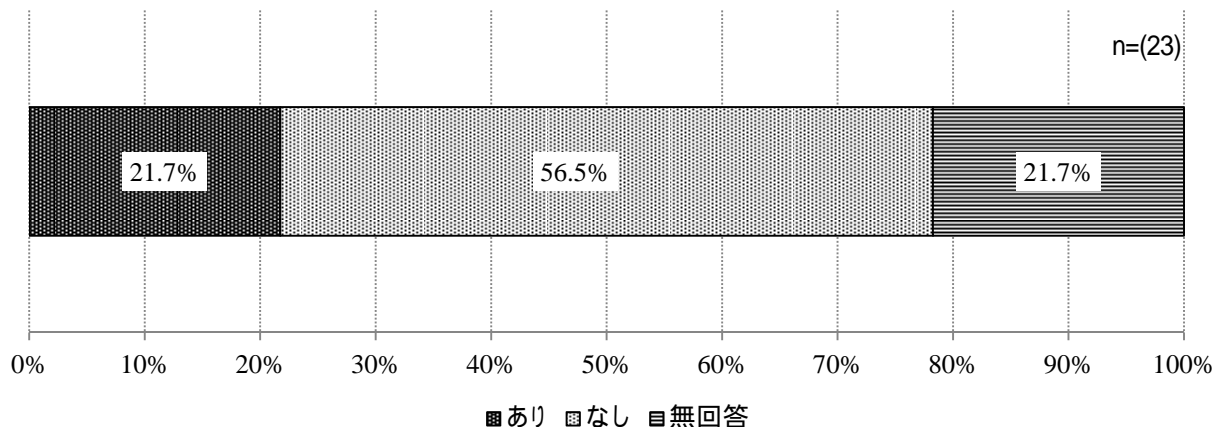
活用していない理由は何ですか。御記入ください。

- ・ 現在は実施していないが今後早期に行政機関との調整を進めて行く段階です。
- ・ 実施後の制度事業への補助金申請が煩雑。生活保護制度で不足していない。全法人の実施がなされていない。
- ・ 法人の意向により
- ・ 施設収入減収に繋がること、利用者負担軽減制度を利用されている入居者がいない。
- ・ 取り組める余裕が無い。
- ・ 手続き的に煩雑であり利用者・家族がこの制度を利用しないのではないかとされる。

問25 「定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス」を行う考えはありますか。

訪問介護、訪問看護事業者のみ対象

「定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス」を行う考えはあるかについては、「あり」が21.7%、「なし」が56.5%となっている。



参入しない理由、参入できない理由は何ですか。御記入ください。

- ・ 人員不足、確保が困難な為
- ・ 本社・支店の考え方で拠点の判断では、お答えできません。今の所は、定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスを行う話は聞いていません。
- ・ 一般論的にはこのサービスを行いたいと思うが、現実には下記の理由で事業参入はできない。職員確保が困難と思われる(オペレーター、訪問介護員=殊に、夜間・深夜)...訪問看護は「連携型」で可能。利用者の獲得が難しいと予想される。地域が広範囲になると予想される。経営的に採算がとれると思われない(サービス提供の苦労および費用負担のわりに報酬が低すぎる)
- ・ 夜間の人員体制の確保が難しい。
- ・ ヘルパーの確保が難しい。青梅の土地柄、巡回型を導入するには経費等を考えると収益が出るかどうか問題になっている。
- ・ 人員不足によるものが大きいです。また24時間対応型の場合は、人材の半分以上が主婦ですので配置が困難です。
- ・ 現在、職員体制が整わず、24時間体制がとれていないため
- ・ 人員確保が困難なため。採算をとれる見込みがたたないため。
- ・ 介護保険の対象者が少ない。ケアマネ等の連絡・会議に時間がかかる。夜間の訪問は実施しない。
- ・ 夜間活動できるスタッフが確保できない。通常の訪問看護で手がいっぱいの状況

問26 調査日時点での待機者(青梅市民のみ)の性別および生年月日を表に御記入下さい。また、過去1年間の平均待機者(青梅市民のみ)はおおよそ何人ですか。

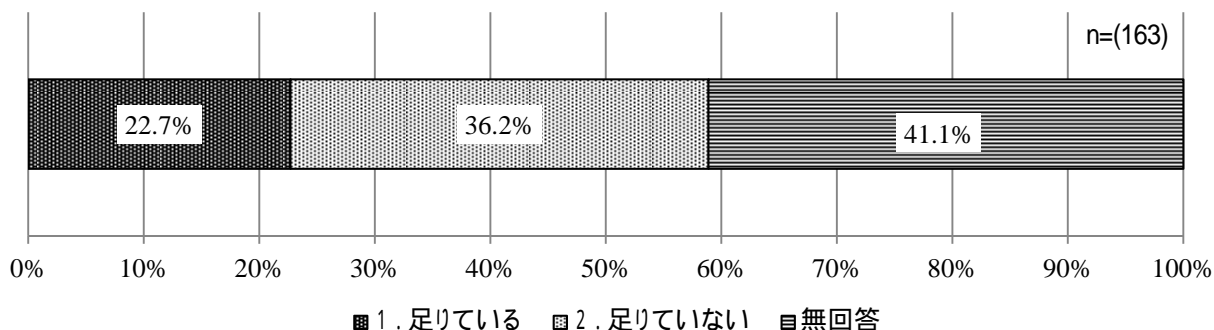
グループホームのみ対象

12月1日時点での待機者数 1	15人
1年間の平均待機者数 2	3.2人

- 1 グループホーム5施設の合計人数です。性別と生年月日が同一の方は1人と数えています。
- 2 グループホーム5施設の1年間の合計待機者数を施設数で除した数です。

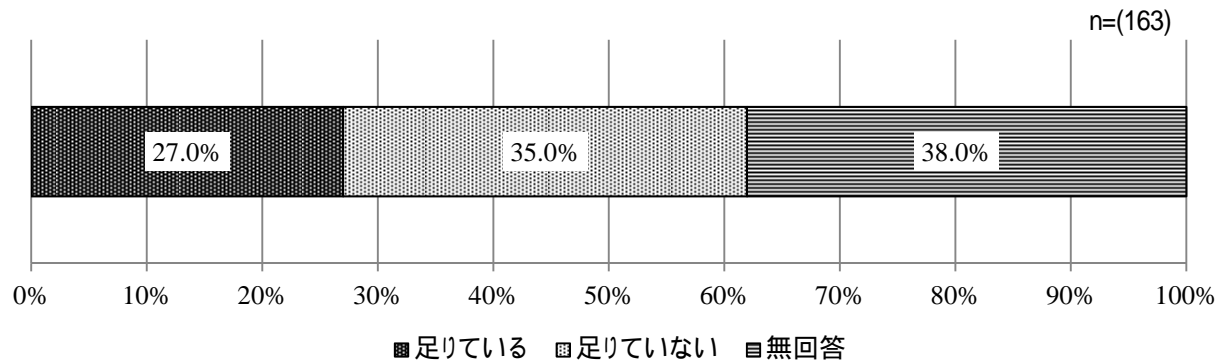
問27 現在、市内のグループホームは6事業所、8ユニットで、今後1事業所、1ユニット開設予定となっていますが、グループホームは足りていると思いますか。

グループホームは足りているかについては、「足りている」が22.7%、「足りていない」が36.2%となっている。



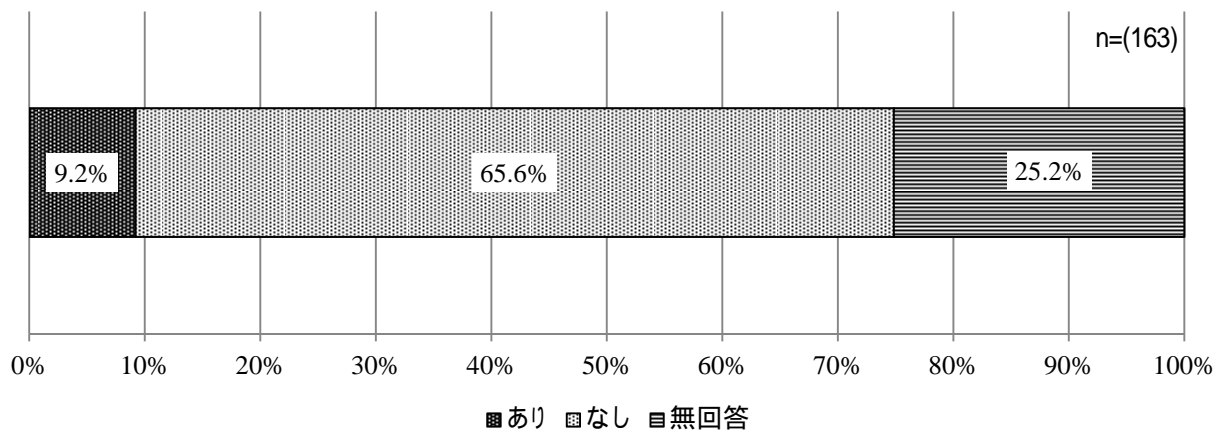
問28 現在、市内の小規模多機能型居宅介護事業所は2事業所で、複合型サービス事業所は1事業所となっていますが、小規模多機能型居宅介護事業所と複合型サービス事業所は足りていると思いますか。

小規模多機能型居宅介護事業所と複合型サービス事業所は足りているかについては、「足りている」が27.0%、「足りていない」が35.0%となっている。



問29 第6期(平成27～29年度)中に貴事業者で参入を検討している、あるいは参入を検討したい地域密着型サービスはありますか。

第6期に参入を検討、あるいは検討したい地域密着型サービスの有無については、「あり」が9.3%、「なし」が65.4%となっている。



「あり」の場合の各サービス別の回答数は下表のとおり。

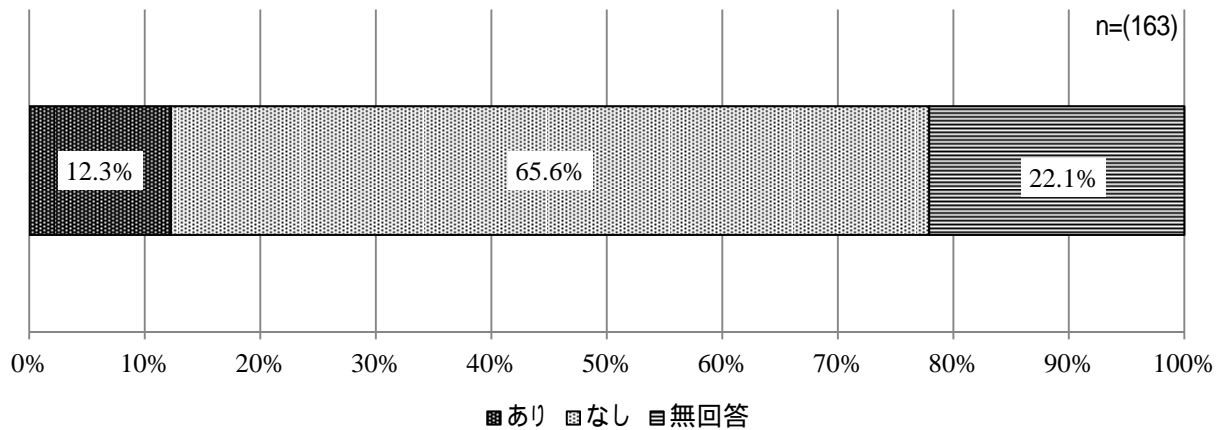
なお、運営主体が同一の事業所の回答は1件としている。

(単位：件)

認知症対応型通所介護	1
小規模多機能型居宅介護	5
認知症対応型共同生活介護	4
夜間対応型訪問介護	1
地域密着型特定施設入居者生活介護	1
地域密着型介護老人福祉施設	0
複合型サービス	2
定期巡回随時対応型訪問介護看護	1

問30 第6期(平成27～29年度)中に貴事業者で参入を検討している、あるいは参入を検討したい地域密着型以外のサービスはありますか。

第6期に参入を検討、あるいは検討したい地域密着型以外のサービスの有無については、「あり」が12.3%、「なし」が65.6%となっている。



「あり」の場合の各サービス別の回答数は下表のとおり。

なお、運営主体が同一の事業所の回答は1件としている。

(単位：件)

居宅介護支援	3
訪問介護	3
訪問入浴介護	0
訪問看護	1
訪問リハビリテーション	0
通所介護	5
通所リハビリテーション	1
短期入所生活介護	2
短期入所療養介護	0
特定施設入居者生活介護	2
福祉用具貸与	1
その他	2

「その他」は「介護保険外の必要とされるサービス」

問31 制度全般について御意見・御要望があればお書きください。

- ・ 地域によって、希望のサービス利用が難しい地域がありますが、民間の事業所だけでは、(交通費、移動時間、移動の手段など)対応しきれない実情があります。そういった地域の支援をどうしたらよいのか、検討が出来たらよいと思います。
- ・ 今後、要支援1・2の訪問介護・通所介護が市町村事業になった場合、サービスの削減にならないよう配慮していただきたい。現行のケアプランで維持できている方々はたくさんおります。予算の問題はあると思いますが、予防して介護にならないようにするのが介護給付費の削減にもつながると思います。
平成27年度改正で、利用者や家族が混乱しないようにケアマネジャーと共に保険者としても説明をしていただきたい。
- ・ 要支援～要介護1,2の軽度者における地域によるサービスの充実。自立支援を助けるような高齢者向けの外出援助対策や低所得者等の介護難民に対する細分化された支援をお願いしたい。
- ・ デイサービスの事業所で宿泊ができる場所があります。本人、ご家族に大変人気があり、ショートステイを利用するより活動性もあり、本人の自立支援の為にも利用していきたいところです。公的な補助を、介護報酬で組み立てていただけたら良いと思います。
- ・ 第1に、利用者負担の増加と、サービスの限界を感じています。青梅市のような山間部のある市町村においては、サービス量に限りがあるように思います。特養・老健は充実しているものの要介護1～3の重度に至らない方々の受け皿を構築して頂きたいと思います。当苑においては、特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム、青梅市内に1件のみ)を検討しています。複雑化、多様化するニーズに対応できるかと思えます。是非、検討して頂ければと思います。
- ・ 地域包括支援センターが足りないと思います。あと2箇所くらいあったほうが良いと思います。そして、民間の地域包括支援センターは”お抱え”になっているという感じが致します。時折、”お抱え”にならない様な指導をお願いしたいと存じます。
- ・ 地域柄「やって当たり前」な感覚の関わりが見られる。ケアマネの「何でも屋」は利用負担2割(年収に応じて)になるともっとエスカレートするのではと不安。出来ない事は出来ないと伝えるが他のケアマネと比較されて顧客が減ることも考えられる。
- ・ 軽度者について、今後制度改正が予定されていますが、予防の方や軽度の認知症の方が今まで使っていたサービスが使えなくなった時のダメージは大きいと思います。特に認知症の方は環境の変化に弱いので、急激に状態が悪化する可能性があります。そうした時に早急な対応が望まれますが、そうならないためには？万が一のときに早急な対応をするためには？どうしたら良いのか考えた上での制度改正なのでしょう。行政の対応に期待したいところですが、お役所様々の古い体質から”市民の生活を守るために”サービス事業者と協力し合えるように変えていただくことが先決かと思われま。
- ・ 要支援1・2の方々の訪問介護、通所介護が市町村事業になった場合、保険者によりサービスの差が出ない様に配慮して頂きたい。(羽村市、瑞穂町の方等、青梅市のサービスも利用しており、保険者により差が出てしまう事はないのでしょうか？)
- ・ 今後、支援の方のサービスを市としてどのような対応を行っていくか？生活保護を受けている方は良いが、ぎりぎり受けられない方。受給年金ではとても大変な方について市はどのように考えているのか？
- ・ あまり色々かえない様に願いたい

- ・ 訪問介護については、サービス時間が短縮されて、現場はいろいろな困難が生じている。元に戻してほしい。

「処遇改善加算」が利用者にかぶらされ利用者の負担が増え、苦情を言われることが多かった。元のよう
に公費で賄って欲しい。

目下、社会保障審議会介護保険部会で第6期の計画に関連して、要支援の訪問介護と通所介護を「地
域支援事業」に移す論議が行われている。予防といえども介護認定が出ているので、地域支援事業では
なく、従来通り介護保険給付にすべきと考える。地域支援事業に移してボランティアやNPOに任せて高齢
者の生活を支えられるであろうか、訓練を受けているヘルパーだから利用者の様子の変化などを見極め
て即座の対応が出来るが、ボランティアやNPOに任せて大丈夫であろうか、手当の遅れで重症になり、逆
に介護保険・医療財政が膨らむのではないか、などの心配がある。また、地域支援事業に移した場合、
サービス内容も報酬も市町村ごとにバラバラになり、殊に、報酬については「現在の報酬以下の単価を設
定する」と明記されている。もし、現在より低い単価が設定された場合、事業参入する事業者が減って、
サービスを受けられない利用者が出てくるのではないかと、危惧される場所である。

- ・ 住宅型有料をH22年から設置経営しておりますが、平均要介護度が上昇するに伴い介護保険サービスと
住宅型有料のオプションサービスを併用することになり、介護(居宅療養管理指導)と医療(お薬代)を合
わせる利用者自己負担が急増しており、御家族様からの要望もあり介護付(特定施設入居者生活介護)へ
移行を検討しています。担当課への調整はしているものの進展がありません。是非、第6期事業計画に組
み入れて頂ければと思います。
- ・ 弊社は小さい事業所で居宅介護支援をやっていないので、利用者を獲得するのが非常に難しい。地域
包括支援センター等から利用者を紹介していただくと助かります。また、市内に利用者が少なく、場所
的に遠いところが多くヘルパーさんの交通費もかかるため、介護保険のなかで交通費を支給していただ
ければ助かります。
- ・ 関連する介護支援事業所との連携がとりにくい。同じようなサービスを提供できない。(事業所によって
サービスの形態が異なるため)
- ・ 在宅生活を支えるためには、リハビリテーション職種により医療的なコーディネイト、問題解決のアドバイス
が必要になってきます。訪問リハビリをもっともっと利用しやすくすることで、地域の資源と利用者の潜在能
力を有効に使えるようになると思います。地域の互助の力と利用者の潜在能力を活用することがこれからの
介護保険制度を支えるために重要と考えます。
- ・ ケーブルカーを乗り継いで行く「御岳山」へ訪問リハビリの要望があり、平成25年10月から介入させてい
ただいています。ただ、ケーブルカー代などの問題もあり、まだまだ他職種の介護保険サービス参入が難
しいのが現状です。今後、御岳山の高齢化率も高まり、ますます介護保険サービスの必要性が高まると思
われますので、何か対策をお願い致します。
- ・ 介護保険の改正のたびに、現場にそぐわないという思いがしています。小規模の事業所は人員の配置面
で報酬が追いつかないというのが実情だと思います。利用者様の継続的な確保が難しい通所や訪問が安
定した資金を確保できる仕組みを考えていただくと、見通しをたてて、経営することが出来ると思いま
す。
- ・ 今後、要支援1,2の市町村移行、介護給付費の増加により小規模デイサービスの圧縮、地域密着型への
移行などへ変化していくと思われますが、利用者にとって必要なケアができること。また、事業所にとっても、
その必要なケアを提供できるような体制を維持できるよう切に願います。

- ・ 安心、安全で質の高いサービスを求められているが、人には人が必要であり介護報酬と人件費等の経費の割合が不適當。介護保険制度(予防含む)を利用し、元気になり生活も安定している本人や家族にとっては認定更新の際に非該当や等級が下がりそれまでと同じ様な利用が出来なくなり(通所等)、心身の悪化や家庭不和になる場合があります、認定調査の際にはより慎重な調査が必要と考えます。(家庭事情や認定後の心身の変化等、通所で考えた場合、週2回利用しているから現在の状態が保たれているケースもあります)
- ・ 利用者様のニーズに対して臨機応変に対応出来るような制度になって欲しいと感じます。ここ1年を振り返り、ニーズに応える形で夕食提供サービスを開始しましたが、他にも利用者様本人およびご家族または居宅支援事業事業者から宿泊サービス提供に関する問合せを度々頂いていますが、様々な面を考慮すると現状ではサービス開始出来ない現状もあります。今後、介護保険の改定に関して、通所介護に関しては厳しいとの報道もありますが、御支援や御指導を頂きたい、お願い致します。
- ・ 利用料個人負担一律一割は？
- ・ サービスを受けた結果を利用者様に問い、評価して欲しい。
- ・ ご利用者の新規開拓が難しく、居宅事業所や包括支援からの紹介もなく独自開拓活動しかないと感じている。
- ・ 消費税アップにともない、事業所運営全般で事業所経費もかさんでおり、これにつき十分な手当てを望みます。
- ・ 加算など必要性が高いものは、限度額から除外したほうが良い。必要なときに加算があるため、利用できないことがある。
- ・ 平成21年度介護報酬改定(3%アップ)や介護職員処遇改善交付金などにより、介護職員の賃金水準は改善しているものの、経営的観点からは、処遇改善交付金の将来的な持続可能性が判断できない以上、「一時金」や「諸手当」という認識としてしかならざるを得ないです。今後、さらなる高齢化の進展に伴い、適切な介護サービス需給を安定的に確保するため、介護職員の処遇改善に向けた取組については、積極的に取り組んで行くべきであると考えます。
- ・ 介護報酬の追加をお願いいたします。
- ・ 特別養護老人ホームは人件費支出が高いため、介護報酬の地域単価を実情に合うように見直してほしい。

介護サービスの質の水準を確保するために、各種の委員会の設置や研修の実施が義務付けられているが、休業日がなく24時間営業の事業所では、職員が交代勤務しており、これらの実施のために独自の活動が事実上できなくなるので、自主性に任せてほしい。

人員や専門職を配置基準としている加算は人件費に見合う単価にしてほしい。

- ・ 介護保険制定時の目的(目標)が国民のためから、政府また各行政のための制度改正となって行くようです。大変懸念されます。また、介護報酬の中に加算項目が多すぎ、現場としては煩雑極まりない。加算等算定するため職員の増員、会議等の開催回数の増大となり、施設経営を圧迫している。規制緩和・業務省力と言いながらその実、作業負担は増大し、監査等における規制は強くなっていると思う。監査において、市(法人)と東京都(施設関連)の監査を今年初めて受けたが、監査側が(10名)と多くもう少し配慮を願いたい。また、法人を市に委任するなら、併せて施設も委任してほしい。
- ・ 人員配置の見直しをお願いしたい。
定員数による介護報酬の改正
- ・ 青梅市内は都内でも飛び抜けて施設が多い市であり、在宅サービス等に於いても利用者を各事業所が取りあう状況が見られる中、現在の状況を踏まえ、青梅市として今後どのような対策を考えているのか伺いたい。又、地域包括支援システムを青梅市として今後どのように考えているのかも併せて伺いたい。

- ・ 制度改正が頻繁に実施され、制度に合わせて施設運営を行っていくのに多大な労力が必要である。居宅介護施設が乱立してきており、今後の運営が心配である。年々人材確保が厳しくなっていて、良質なサービス提供に支障を来し始めている。
- ・ 軽度者における地域によるサービスの充実(既存の福祉用具貸与者)。自立を助けるような福祉用具(貸与・購入)対象
- ・ 介護保険を使用して介護サービスを受ける利用者様・ご家族にとって介護保険の制度のことや料金のことを理解することが、なかなか難しいように感じます。施設見学や契約の時などに出来るだけ分かり易く具体的に説明していますが、利用者ご本人・ご家族の皆様が十分に把握しているかがいつも疑問に思います。介護保険事業に携わっている職員でも難しい部分があるので、一般の利用者様・ご家族にとってもっと分かり易い制度であつたら良いと思います。
- ・ 青梅市については高齢者の入所施設(短期入所含む)については非常に充実している地域であると認識しています。平成27年の制度改正に向けて、現在改定案が明らかになっていますが、その中で要支援1・2の訪問介護とデイサービス事業を介護保険から区市町村の事業へ移行するという案に関心があります。財源の問題、各区市町村によるサービスの質、量等の差がでるのではと気になります。介護保険制度と直接関係ありませんが、青梅市の各地域に現役と引退した各分野で活躍し、知識と技術を持って、なおかつまだ活躍できる高齢者が大勢おられると思います。これからの市の高齢者施策のなかにこのような人たちの活用(生き甲斐)も視野に入れてもいいのではと考えます。
- ・ 介護報酬低下に伴い、人材確保が困難となっている。
 - 小規模多機能型居宅介護サービスについて
 - 小規模多機能を説明することが難しいことを、理解できている紹介者が少ないため顧客獲得が難しい。
 - 通い、泊り、訪問サービスを24時間365日行い、尚且つ在宅サービスのような限度がないことで利用される方にとっては大変便利なサービスとなっている。しかし、人材確保が難しい今、サービス提供が困難な状況になっている。
 - 利用者・家族のサービス利用方法に対する理解が難しく、いくらでも利用できると思っている方が多い。
 - 説明をするが利用しようとしないうえ、クレームにつながることもある。
 - 介護報酬設定が低いことで低給与となつてしまい、職員の定着率が低い。
- ・ グループホームへの介護報酬を増やしてほしい。経済的に余裕がなく、グループホームを利用できない方が大勢いる。又、特養にもグループホーム対象の方がいるのが現状である。

[資料] 調査票

青梅市高齢者に関する調査票
介護サービス事業所調査票

青梅市高齢者に関する調査

御協力をお願い

皆様には、日ごろから青梅市政に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、介護保険制度がスタートしてから13年が経ち、来年度は、3年に一度の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しが行われます。

これに当たり、青梅市では、介護保険も含め高齢者福祉施策のより一層の充実を図るため、御意見・御要望などをお伺いするアンケート調査を実施することといたしました。

御多忙のこととは存じますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、アンケートに御記入いただいた内容はすべて統計的に処理されますので、個人が特定されるようなことは一切ございません。どうぞ、率直な御意見、お考えをお聞かせください。

平成25年12月

青梅市長 竹内俊夫

御記入に当たってのお願い

この調査の対象者は、市内の御自宅に住所があり、平成25年12月1日現在65歳以上の方です（調査総数3,000人、無作為抽出）。

御回答に当たっては、あて名の御本人についてお答えいただきますが、御家族の方が御本人の代わりに回答されたり、御一緒に回答されてもかまいません。

お答えは、該当する項目の番号を で囲んでください。

回答が「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に内容を具体的に御記入ください。

回答によって、答えなくてもよい質問があります。質問中の指示に従ってお答えください。

各質問は特に断りの無い限り平成25年12月1日時点でお答えください。

この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。

介護...介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時御家族などの援助を受けている状態

介助...御自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

御記入が済みましたら、お手数ですが、調査票を返信用封筒に入れ、平成25年12月24日（火）までに御投函ください。

調査内容で御不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

青梅市健康福祉部高齢介護課介護保険管理係

電話番号0428-22-1111（内線2122・2123）

< 記入上の注意 >

問1の2の設問で、あなたの住所の地区名は、次のとおりとなります。

あなたの住所（町名）	地区名
勝沼、西分町、住江町、本町、仲町、上町、森下町 裏宿町、天ヶ瀬町、滝ノ上町、大柳町、日向和田	1. 青梅地区
駒木町、長淵、友田町、千ヶ瀬町	2. 長淵地区
吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺	3. 大門地区
畑中、和田町、梅郷、柚木町	4. 梅郷地区
二俣尾、沢井、御岳本町、御岳、御岳山	5. 沢井地区
富岡、小曾木、黒沢	6. 小曾木地区
成木	7. 成木地区
東青梅、根ヶ布、師岡町	8. 東青梅地区
新町、末広町	9. 新町地区
河辺町	10. 河辺地区
藤橋、今井	11. 今井地区

質問の該当する答えの番号に をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

問1 あなたの御家族や生活状況について

Q1. この調査票を記入されたのはどなたですか。(は1つ)

- | | | |
|------------|-------------------|-----------|
| 1. あて名の御本人 | 2. 配偶者(妻、夫) | |
| 3. 息子または娘 | 4. 息子の配偶者または娘の配偶者 | |
| 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 | 7. その他() |

Q2. あて名の御本人がお住まいの地区はどちらですか。(前ページ参照、 は1つ)

- | | | | |
|---------|----------|----------|----------|
| 1. 青梅地区 | 2. 長淵地区 | 3. 大門地区 | 4. 梅郷地区 |
| 5. 沢井地区 | 6. 小曾木地区 | 7. 成木地区 | 8. 東青梅地区 |
| 9. 新町地区 | 10. 河辺地区 | 11. 今井地区 | |

Q3. あなた(あて名御本人)の年齢は、次のどれですか。(は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 65～74歳 | 2. 75～84歳 |
| 3. 85～90歳 | 4. 91～95歳 |
| 5. 96歳以上 | |

Q4. あなた(あて名御本人)の性別は、どちらですか。(は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

Q5. あなた(あて名御本人)は、介護認定の申請をしましたか。認定を受けている場合は、現在の要介護度をお答えください。(は1つ)

- | | | |
|------------------------|------------|---------|
| 1. 認定申請はしていない、または現在申請中 | 2. 自立(非該当) | |
| 3. 要支援1 | 4. 要支援2 | 5. 要介護1 |
| 6. 要介護2 | 7. 要介護3 | 8. 要介護4 |
| 9. 要介護5 | | |

Q6. 家族構成を教えてください。(は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 一人暮らし | (Q7へ) |
| 2. 家族など同居(二世帯住宅を含む) | (Q6-1、6-2へ) |
| 3. その他(施設入居など) | (Q7へ) |

御家族など同居されている方のみ

Q6-1. 御自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。

人		
(あてはまるものすべてに)		
1. 配偶者(妻、夫)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. その他()		

Q6-2. 日中、一人になることはありますか。

1. よくある	2. たまにある	3. ない
---------	----------	-------

Q7. あなたは、普段の生活で何らかの介護・介助が必要ですか。(は1つ)

1. 介護・介助の必要ない (Q8へ)
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (Q7-1へ)
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) (Q7-1~3へ)

Q7-1(介護・介助が必要な方のみ)介護・介助が必要になった原因はなんですか

(あてはまるものすべてに)	
1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病
3. がん(悪性新生物)	4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)
5. 関節の病気(リウマチ等)	6. 認知症(アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病	8. 糖尿病
9. 視覚・聴覚障害	10. 骨折・転倒
11. 脊椎損傷	12. 高齢による衰弱
13. その他()	14. 不明

Q7-2.(介護・介助を受けている方のみ)主にどなたの介護・介助を受けていますか

1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他()	

Q7-3.(介護・介助を受けている方のみ)主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか

1. 65歳未満	2. 65~74歳
3. 75~84歳	4. 85歳以上

Q8. 年金の種類は次のどれですか。(は1つ)

1. 国民年金	2. 厚生年金(企業年金あり)
3. 厚生年金(企業年金なし)	4. 共済年金
5. 無年金	6. その他

Q9. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(は1つ)

1. 苦しい	2. やや苦しい
3. ややゆとりがある	4. ゆとりがある

Q10. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(は1つ)

1. 一戸建て	2. 集合住宅
---------	---------

Q11. お住まいは、次のどれにあたりますか。(は1つ)

1. 持家	2. 民間賃貸住宅
3. 公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等)	
4. 借間	5. その他

Q12. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか。(は1つ)

1. はい (Q12 - 1へ)	2. いいえ (問2へ)
-------------------	---------------

Q12 - 1. (2階以上の方)お住まいにエレベーターは設置されていますか。(は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問2 運動・閉じこもりについて

Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q3. 15分位続けて歩いていますか。(は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q4. 5m以上歩けますか。(は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q5. 週に1回以上は外出していますか。(は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q7. 外出を控えていますか。(は1つ)

1. はい(Q7 - 1へ) 2. いいえ(Q8へ)

Q7 - 1. (外出を控えている方のみ)外出を控えている理由は、次のどれですか。

(あてはまるものすべてに)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 病気 | 2. 障害(脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障害(聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他() |

Q8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか

(それぞれ1つに)

A. 買い物

1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満

B. 散歩

1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満

Q9. 外出する際の移動手段は何ですか。

(あてはまるものすべてに)

- | | | | |
|------------------|----------|----------------|---------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. 自動車(自分で運転) |
| 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 6. 電車 | 7. 路線バス | |
| 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす | 10. 電動車いす(カート) | |
| 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー | 13. その他() | |

問3 転倒予防について

Q1. この1年間に転んだことがありますか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q2. 転倒に対する不安は大きいですか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q3. 背中が丸くなってきましたか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q5. 杖を使っていますか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

問4 口腔・栄養について

Q1. 6 か月間で2~3 kg以上の体重減少がありましたか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q2. 身長 _____ cm 体重 _____ kg

Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q4. お茶や汁物等でむせることがありますか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q5. 口の渇きが気になりますか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q6. 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q7. 定期的に歯科検診(健診を含む)を受けていますか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q8. 入れ歯を使用していますか (は1つ)

1. はい (Q8 - 1、2へ) 2. いいえ (Q9へ)

Q8 - 1. <入れ歯のある方>噛み合せは良いですか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q8 - 2. <入れ歯のある方>毎日入れ歯の正しい手入れをしていますか。(は1つ)

1. はい 2. いいえ

Q9. 1日の食事の回数は何回ですか。(は1つ)

1. 朝昼晩の3食 2. 朝晩の2食 3. 朝昼の2食
4. 昼晩の2食 5. 1食 6. その他

Q10. 食事を抜くことがありますか。(は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある
3. 月に何度かある 4. ほとんどない

Q11. 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか。(は1つ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 毎日ある (Q11-1へ) | 2. 週に何度かある (Q11-1へ) |
| 3. 月に何度かある (Q11-1へ) | 4. 年に何度かある (Q11-1へ) |
| 5. ほとんどない (問5へ) | |

Q11-1. どなたかと食事をとる機会がある方のみ) 食事をとる人はどなたですか

(あてはまるものすべてに)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 家族 | 2. 近所の人や友人 |
| 3. デイサービスの仲間 | 4. その他 |

問5 物忘れについて

Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q4. 5分前のことが思い出せますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q5. その時の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。(は1つ)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 困難なくできる | 2. いくらか困難であるが、できる |
| 3. 判断するとき、他人からの合図や見守りが必要 | |
| 4. ほとんど判断できない | |

Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか。(は1つ)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 伝えられる | 2. いくらか困難であるが、伝えられる |
| 3. あまり伝えられない | 4. ほとんど伝えられない |

問6 日常生活について

Q1. バスや電車で、一人で外出していますか(自家用車でも可)。(は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

Q2. 日用品の買物をしていますか。(は1つ)

1. できるし、している(Q3へ) 2. できるけどしていない(Q2 - 1へ)
3. できない(Q2 - 1へ)

Q2 - 1. (日用品の買物をしていない、できない方のみ)日用品の買物をする人は主に誰ですか。
(は1つ)

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー
4. 配達を依頼 5. その他

Q3. 自分で食事の用意をしていますか。(は1つ)

1. できるし、している(Q4へ) 2. できるけどしていない(Q3 - 1へ)
3. できない(Q3 - 1へ)

Q3 - 1. (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ)食事の用意をする人は主に誰ですか。(は1つ)

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー
4. 配食サービス利用 5. その他

Q4. 請求書の支払いをしていますか。(は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q5. 預貯金の出し入れをしていますか。(は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q6. 食事は自分で食べられますか。(は1つ)

1. できる
2. 一部介助(おかずを切ってもらうなど)があればできる
3. できない

Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けていますか。(は1つ)

1. 受けない 2. 一部介助があればできる
3. 全面的な介助が必要

Q8. 座っていることができますか。(は1つ)

1. できる 2. 支えが必要 3. できない

Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか。(は1つ)

1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない

Q10. 自分でトイレの利用ができますか。(は1つ)

1. できる 2. 一部介助(他人に手伝ってもらう)があればできる
3. できない

Q11. 自分で入浴ができますか。(は1つ)

1. できる 2. 一部介助(他人に手伝ってもらう)があればできる
3. できない

Q12. 50 m以上歩けますか。(は1つ)

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 1. できる | 2. 一部介助(他人に手伝ってもらう)ができればできる |
| 3. できない | |

Q13. 階段を昇り降りできますか。(は1つ)

- | | | |
|--------|--------------|---------|
| 1. できる | 2. 介助があればできる | 3. できない |
|--------|--------------|---------|

Q14. 自分で着替えができますか。(は1つ)

- | | | |
|--------|--------------|---------|
| 1. できる | 2. 介助があればできる | 3. できない |
|--------|--------------|---------|

Q15. 大便の失敗がありますか。(は1つ)

- | | | |
|-------|-----------|---------|
| 1. ない | 2. ときどきある | 3. よくある |
|-------|-----------|---------|

Q16. 尿もれや尿失禁がありますか。(は1つ)

- | | | |
|-------|-----------|---------|
| 1. ない | 2. ときどきある | 3. よくある |
|-------|-----------|---------|

Q17. 家事全般ができていますか (は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. できている | 2. できていない |
|----------|-----------|

問7 社会参加について

Q1. 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q2. 新聞を読んでいますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q3. 本や雑誌を読んでいますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q5. 友人の家を訪ねていますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q6. 家族や友人の相談にのっていますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q7. 病人を見舞うことができますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q8. 若い人に自分から話しかけることがありますか。(は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q9. 趣味はありますか。 (は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q10. 生きがいはありますか。 (は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q11. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 (は1つ)

(1) ボランティアのグループ		
1. 週 4回以上	2. 週 2～3回	3. 週 1回
4. 月 1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(2) スポーツ関係のグループやクラブ		
1. 週 4回以上	2. 週 2～3回	3. 週 1回
4. 月 1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(3) 趣味関係のグループ		
1. 週 4回以上	2. 週 2～3回	3. 週 1回
4. 月 1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(4) 老人クラブ		
1. 週 4回以上	2. 週 2～3回	3. 週 1回
4. 月 1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(5) 町内会・自治会		
1. 週 4回以上	2. 週 2～3回	3. 週 1回
4. 月 1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(6) 学習・教養サークル		
1. 週 4回以上	2. 週 2～3回	3. 週 1回
4. 月 1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(7) その他の団体や会		
1. 週 4回以上	2. 週 2～3回	3. 週 1回
4. 月 1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない

Q12. 以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか。

(は1つ)

(1)見守りが必要な高齢者を支援する活動		
1. 週4回以上	2. 週2~3回	3. 週1回
4. 月1~3回	5. 年に数回	6. していない
(2)介護が必要な高齢者を支援する活動		
1. 週4回以上	2. 週2~3回	3. 週1回
4. 月1~3回	5. 年に数回	6. していない
(3)子どもを育てている親を支援する活動		
1. 週4回以上	2. 週2~3回	3. 週1回
4. 月1~3回	5. 年に数回	6. していない
(4)地域の生活環境の改善(美化)活動		
1. 週4回以上	2. 週2~3回	3. 週1回
4. 月1~3回	5. 年に数回	6. していない
(5)収入のある仕事		
1. 週4回以上	2. 週2~3回	3. 週1回
4. 月1~3回	5. 年に数回	6. していない

Q13. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

あてはまるすべてに をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」をつけてください。

(1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(2)反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人 (あてはまるものすべてに)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (あてはまるものすべてに)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(4)反対に、看病や世話をしてあげる人(あてはまるものすべてに)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	

Q14. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください

(あてはまるものすべてに)	
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター・役所・役場	7. そのような人はいない
6. その他	

Q15. 友人関係についておうかがいします。

(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(は1つ)		
1. 週4回以上	2. 週2~3回	3. 週1回
4. 月1~3回	5. 年に数回	6. 会っていない
(2) この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。(は1つ) 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。		
1. 0人(いない)	2. 1~2人	3. 3~5人
4. 6~9人	5. 10人以上	
(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに)		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人	
6. ボランティア等の活動での友人	7. その他	8. いない

問8 健康について

Q1. 普段、御自分で健康だと思いますか。(は1つ)

1. とても健康	2. まあまあ健康
3. あまり健康でない	4. 健康でない

Q2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか

(あてはまるものすべてに)		
1. 高血圧	2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	
3. 心臓病	4. 糖尿病	
5. 高脂血症(脂質異常)	6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	
7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	8. 腎臓・前立腺の病気	
9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	10. 外傷(転倒・骨折等)	
11. がん(新生物)	12. 血液・免疫の病気	
13. うつ病	14. 認知症(アルツハイマー病等)	
15. パーキンソン病	16. 目の病気	
17. 耳の病気	18. その他()	19. ない

Q3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか(は1つ)

1. 1種類	2. 2種類	3. 3種類
4. 4種類	5. 5種類以上	6. 飲んでいない

問9 高齢者福祉サービスなどについて

Q1. 認定を受けた人で、介護保険のサービスを利用していない方にお尋ねします。その理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに)

1. 入院中であるため
2. 今のところ自分で身の回りのことをするよう努力しているため
3. 家族に介護してもらっているため
4. 利用方法がわからないから
5. 希望するサービスがないから
6. いざというときのために認定を受けたが、今のところサービスを受ける必要がないから
7. その他()

Q2. 今後の介護について、あなた(あて名御本人)はどのような希望をお持ちですか。現在、介護を必要としていない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください。(は1つ)

1. 家族や近隣、友人に支えられながら、できる限り在宅で暮らしたい
2. 介護サービスを利用しながら、できる限り在宅で暮らしたい
3. 福祉施設(特別養護老人ホームや有料老人ホームなど)に入り、介護を受けたい。
4. その他()
5. わからない

Q3. 介護保険制度において65歳以上の方からいただいている保険料は、青梅市では、基準月額4,300円です。この保険料と介護サービスのあり方について、あなた(あて名御本人)のお考えに近いものはどれですか。(は1つ)

1. 給付される介護保険サービスを多少おさえても、介護保険料が低い方がよい
2. 介護保険料が多少高くても、給付される介護サービスが充実しているほうがよい
3. どちらともいえない
4. その他()

Q4. あなたは「サービス付き高齢者向け住宅」に入居したいと思いますか。(は1つ)

<参考>

サービス付き高齢者向け住宅とは:

「高齢者住まい法」の改正により、平成23年10月からスタートした制度で、部屋の面積が原則25㎡以上、台所・水洗便所・浴室等を備え、バリアフリー構造で、安否確認や生活相談などの基本サービス等が付いた住宅です。

なお、家賃や基本サービス等に対する費用がかかります。

【月額費用の一例】

家賃 60,000 円、共益費 10,000 円、基本サービス費 31,500 円、食費 45,360 円

合計 146,860 円、ほかに光熱水費と介護保険1割を負担

1. 思う(Q4 - 1へ)

2. 思わない(Q4 - 2へ)

Q4 - 1. Q4で「思う」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか。(は1つ)

1. 見守りサービスがあり、安心して生活ができるため
2. 現在の自宅が老朽化して住みにくいので、住み替えを考えているため
3. 現在の自宅が広く管理が大変なので、住み替えを考えているため
4. その他()

Q4 - 2. Q4で「思わない」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか。(は1つ)

1. 住み慣れた自宅で、生活したいため
2. 家賃等の費用がかかり、費用負担が難しいため
3. その他()

Q5. あなた(あて名御本人)は、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか。

(あてはまるものすべてに)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 孫の世話など家族との団らん | 2. 旅行・レジャー |
| 3. テレビ・ラジオ・新聞・読書 | 4. ショッピング・買い物 |
| 5. 自治会や高齢者クラブなどの地域活動 | 6. 学習や教養を高めるための活動 |
| 7. 運動・スポーツあるいは散歩など身体を動かすこと | |
| 8. ボランティア活動 | 9. 仕事・就労 |
| 10. 友人・知人・近所とのつきあい | 11. その他() |
| 12. 特にない | |

Q6. あなた(あて名御本人)が、地域の活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。

(は3つまで)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 地域でどのような活動が行われているか知らない | |
| 2. 参加する時間的余裕がない | 3. 参加する経済的余裕がない |
| 4. 気軽に参加できる内容が少ない | 5. やりたいことが見つからない |
| 6. 同好の友人、仲間がいない | 7. 健康、体力に自信がない |
| 8. その他() | 9. 特にない |

Q7. あなた(あて名御本人)は、日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすることがありますか。

(は3つまで)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. ご自身や家族の健康 | 2. 生活費や医療・介護などの費用 |
| 3. 日常の金銭管理 | 4. 住まいのこと |
| 5. 食事 | 6. 掃除や洗濯などの家事仕事 |
| 7. 買い物や通院の手段がないこと | 8. 地震や台風などの自然災害 |
| 9. 独居・孤独への不安 | 10. 近所との人間関係や地域とのつながり |
| 11. その他() | 12. 特になし |

Q8. 現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域でどのような手助けがあれば助かると思いますか。

(は3つまで)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 2. ちょっとした買い物やゴミ出し |
| 3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い | 4. ちょっとした力仕事 |
| 5. 通院の送迎や外出の手助け | 6. 話し相手や相談相手 |
| 7. 気軽にいける居場所の提供 | 8. 食事の差し入れ(配食) |
| 9. その他() | 10. 特にない |

Q9. 市が充実させるべきと思う高齢者施策は次のうちどれですか。

(は3つまで)

1. ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動
2. 認知症の人及び介護する家族の支援
3. 生きがいづくりや社会参加に対する取り組み
4. 介護予防のための体操や筋力向上トレーニング
5. 福祉相談
6. 配食サービス・紙おむつの支給など生活支援サービス
7. 高齢者が働く場の確保
8. 成年後見等権利の擁護に関する取り組み
9. 悪徳商法・消費者被害から身を守る啓発活動
10. その他()

Q10. 高齢者福祉サービス

各事業ごとに、利用状況と今後の利用希望について、該当するものを選んでください。
(それぞれ は1つ)

事業名	利用状況			今後の利用希望					
	利用したことがある	知っているが利用していない	知らなかった	利用したい	どちらともいえない	利用を希望しない			
						制度がよくわからないため	対象者ではないため	必要としないため	その他
<記入例> 訪問理美容サービス	1	2	3	1	2	3	4	5	6
地域包括支援センター 高齢者の多様な相談に総合的に対応します。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
在宅介護支援センター 各種サービスの申請代行や相談を行います。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
温泉保養施設の利用助成 市が指定した温泉保養施設を利用する場合に利用料の一部を助成します。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
配食サービス事業 1食350円の自己負担で、週3回まで、ボランティア等により昼食の配送をします。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
紙おむつの支給 紙おむつ等を月額8,000円を限度に現物支給します。給付費の1割は自己負担です。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
緊急通報システム 急病や緊急事態のときに、無線発報器により救急車の出動などの救護が受けられます。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
火災安全システム 火災警報器等の給付や、専用通報機の設置により煙や熱を感知した際、消防車両等の出動が受けられます。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
訪問理美容サービス 訪問サービス券を交付し、自宅で散髪等を受ける際の訪問料金を助成します。	1	2	3	1	2	3	4	5	6

事業名 項目	利用状況			今後の利用希望					
	利用したことがある	知っているが利用していない	知らなかった	利用したい	どちらともいえない	利用を希望しない			
						制度がよくわからないため	対象者ではないため	必要としないため	その他
住宅改造費の助成 浴槽・流し台・洋式便器等改造費を一定基準額まで自己負担1割で助成します。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
日常生活用具の給付 入浴補助用具、歩行補助車等を一定基準額まで1割の自己負担で給付します。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
寝具乾燥事業 寝具の自然乾燥ができない世帯に、月1回4枚まで乾燥を1割負担で行います。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
福祉電話の設置 電話がない世帯の方に、電話設置にかかる費用を助成し、希望により週2回の安否確認を行います。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
シルバーマイスター制度 優れた技能・知識・経験を持った方を認定・登録し、ボランティアとして技能等を広める活動をしていただきます。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
すこやか高齢者事業 基本チェックリストにより対象となった方が、運動機能の向上等を目的とした介護予防事業に参加できます。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
生活管理指導短期宿泊事業 半年につき7日間までの期間、養護老人ホーム等を利用して生活指導、体調調整をはかります。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
徘徊高齢者家族支援サービス 人工衛星を利用した位置検索機器の端末を貸与します。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
高齢者クラブが行っている各種活動 地域の高齢者が自主的に組織した団体で、健康で豊かな生活のための活動をしています。	1	2	3	1	2	3	4	5	6

項目 事業名	利用状況			今後の利用希望					
	利用したことがある	知っているが利用していない	知らなかった	利用したい	どちらともいえない	利用を希望しない			
						制度がよくわからないため	対象者ではないため	必要としないため	その他
老人(福祉)センター 高齢者の憩いの場として、休養室や入浴施設などを設置しています。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
沢井保健福祉センター 高齢者の憩いの場として、休養室や入浴施設などを設置しています。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
小曾木保健福祉センター 高齢者の憩いの場として、休養室や入浴施設などを設置しています。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
敬老会 75歳以上の方の長寿をお祝いし、演芸等を催しお楽しみいただきます。	1	2	3	1	2	3	4	5	6

Q11. 今後の青梅市の高齢者施策についての御意見等があれば、御自由に御記入ください。

アンケートは以上で終了です。

多くの質問に御回答いただき、御協力ありがとうございました。

もう一度、記入漏れ等ないかどうか、御確認の上、同封の返信用封筒にて、御返送いただきますよう、お願いいたします。

介護サービス事業所調査

調査への御協力をお願い

日ごろから、青梅市政に御理解と御協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

市では、来年度、第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定を行います。

この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、市内で介護サービスを提供されている事業所の皆様を対象に、事業の現状と介護保険制度に対する御意見・御要望をお聞かせいただくため実施するものです。

お答えいただいた内容については統計的に処理し、御迷惑をおかけすることはありませんので、御協力いただきますようお願いいたします。

平成25年12月

青梅市長 竹内俊夫

御記入に当たってのお願い

複数の介護サービスを提供している場合は、実施事業ごとに御回答ください。

回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「1つに」「あてはまるものすべてに」などの指示に従って御回答ください。また、御意見や数字などを直接御記入いただく質問もあります。質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的にその内容を御記入ください。

職員数やサービス提供量等の数値については、平成25年12月1日現在でお答えください。

御記入いただいた調査票は、平成25年12月24日(火)までに、メールにて御返信ください。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

青梅市健康福祉部高齢介護課介護保険管理係
電話番号 0428-22-1111(内線 2122、2123)

貴事業所の名称、所在地および回答された方について御記入ください。

事業所名				
所在地				
記入者	氏名		役職	
連絡先	電話番号		FAX番号	
	メールアドレス			

問1 貴事業所の概要についてお答えください。

法人の種類 (1つに)	1. 社会福祉法人 2. 医療法人 3. 株式会社 4. 有限会社	5. NPO法人 6. その他 ()					
実施事業 (介護予防を含む) (1つに)	1. 居宅介護支援 2. 訪問介護 3. 訪問入浴介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハビリテーション 6. 通所介護 7. 通所リハビリテーション 8. 短期入所生活介護 9. 短期入所療養介護 10. 特定施設入居者生活介護	11. 福祉用具貸与 12. 介護老人福祉施設 13. 介護老人保健施設 14. 介護療養型医療施設 15. 認知症対応型通所介護 16. 小規模多機能型居宅介護 17. 認知症対応型共同生活介護 18. 複合型サービス 19. その他 ()					
職員体制		正規職員			正規職員以外		
		男	女	計	男	女	計
	常勤						
	非常勤	/					
登録ヘルパー (訪問介護事業者のみ)							
正規職員の 勤続年数	・ 1年以下 ()人 ・ 4年以上 ()人 ・ 2～3年 ()人						
開設年月日	昭和・平成 年 月						

問 2 貴事業所（又は貴施設）の利用者数を記入してください。

定 員	市内利用者（又は保険者青梅市）	市外利用者（又は保険者青梅市外）
人	人	人

問 3 貴事業所の青梅市内（又は保険者青梅市）の利用者数を要介護度別に記入してください。

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人	人	人	人	人	人	人	人	人

問 4 現在、貴事業所の円滑な事業運営を進めていくうえで、支障となっていることがありますか。（あてはまるものすべてに__）

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 . 専門職の確保が難しい
2 . 人材育成が難しい
3 . 職員が定着しにくい
4 . 職員の仕事への意欲を維持することが難しい
5 . 経営経費、活動資金が不足している
6 . 介護報酬が少なく、実態にそぐわない
7 . 利用者の継続的な確保が難しい
8 . 利用者に対する情報提供が難しい
9 . 利用者や家族の制度への理解不足
10 . その他（ _____ ）
11 . 特になし |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問 5 新たな顧客を開拓する場合、具体的な方法はなんですか。（あてはまるものすべてに__）

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 . 広告、チラシの配布
2 . ケアマネジャーからの紹介
3 . 現在の利用者からの紹介
4 . 従業員からの紹介
5 . 医療機関からの紹介
6 . 施設からの紹介
7 . 戸別訪問
8 . 地域包括支援センターからの紹介 | 9 . その他（ _____ ）
10 . 新規の顧客は考えていない |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|

問 6 職員に対してどのような配慮を行っていますか。(あてはまるものすべてに)

- 1 . 基本給以外の手当等の支給
- 2 . 健康診断等(定期健康診断以外)の実施
- 3 . 通勤時や移動時の事故について、予防や対応策をとっている
- 4 . 被服や機器等の貸与
- 5 . 身体的負担への対応策がある
- 6 . 精神的ストレスの緩和・サポートがある
- 7 . その他 ()
- 8 . 特になし

問 7 過去 1 年間ににおける職員の採用および定着状況はいかがですか。(. の質問について、採用状況・定着状況のそれぞれあてはまるもの 1 つに)

	採用状況	定着状況
常勤職員	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 計画どおり採用できている 2 . 計画どおり採用できていない 3 . 採用計画はない 	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 良い 2 . 比較的良い 3 . あまり良くない 4 . 良くない
非常勤職員	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 計画どおり採用できている 2 . 計画どおり採用できていない 3 . 採用計画はない 	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 良い 2 . 比較的良い 3 . あまり良くない 4 . 良くない

問 8 サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに)

- 1 . 相談窓口の設置
- 2 . 事業所内会議の定期的な開催
- 3 . サービス利用者の満足度調査の実施
- 4 . 自己評価の積極的な開示
- 5 . サービス提供マニュアルの作成
- 6 . 市が行っている連絡会や研修会に参加
- 7 . その他 ()
- 8 . 何も行っていない

問 9 全職員を対象とした内部研修を実施していますか。(あてはまるものに)

1 . している 2 . していない

問 10 外部研修会等へ職員を参加させていますか。(あてはまるものに)

1 . している 2 . していない

問 11 問 9 または問 10 で「2 . していない」と答えた方にお聞きします。していない理由はなんですか(あてはまるものすべてに)

1 . 時間的余裕がない 4 . その他 ()
2 . 費用が高額である 5 . 参加させる必要がない
3 . 参加させたい研修がない

問 12 現在のサービス提供状況からみて、職員の不足はありますか。(あてはまるもの1 つに)

1 . 非常に不足している 4 . やや多すぎる
2 . やや不足している 5 . 非常に多すぎる
3 . 過不足なく適当な状態である

問 13 事業所としてリスクマネジメントを行っていますか。

1 . している 2 . していない



それはどのようなものですか。具体的にご記入ください。

(例 : についての対応手順書を作成しており職員採用時等に研修している。)

居宅介護支援事業者の方 問 14、問 15、問 16 へ
 それ以外の方 問 17 へ

問 14 居宅介護支援事業者の方に伺います。ショートステイは希望通りに利用できていますか。(あてはまるものに)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 . できている | 3 . あまりできていない |
| 2 . おおむねできている | 4 . できていない |



「3 . あまりできていない」、または「4 . できていない」の場合、その理由はなんですか。

問 15 居宅介護支援事業者の方に伺います。実際に提供しているサービスが、必要と考えるサービス量に対し不足していると感じるものはありますか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 . 居宅介護支援 | 11 . 福祉用具貸与 |
| 2 . 訪問介護 | 12 . 介護老人福祉施設 |
| 3 . 訪問入浴介護 | 13 . 介護老人保健施設 |
| 4 . 訪問看護 | 14 . 介護療養型医療施設 |
| 5 . 訪問リハビリテーション | 15 . 認知症対応型通所介護 |
| 6 . 通所介護 | 16 . 小規模多機能型居宅介護 |
| 7 . 通所リハビリテーション | 17 . 認知症対応型共同生活介護 |
| 8 . 短期入所生活介護 | 18 . 複合型サービス |
| 9 . 短期入所療養介護 | 19 . その他 () |
| 10 . 特定施設入居者生活介護 | 20 . 特になし |



不足していると感じる理由を御記入ください。

問 16 居宅介護支援事業者の方にお伺いします。地域において、
公的な高齢者支援サービスは足りていると思いますか。
(あてはまるものに)

1 . 足りている

2 . 足りていない



「2 . 足りていない」と回答された事業者にお聞きします。
具体的には、どのようなサービスが不足していると思いますか。

問 17 サービス提供困難時は、どのように対応されていますか。
具体的に御記入ください。

問 18 貴事業所では地域の各種委員・団体・組織(民生委員、自治
会、社協等)との関わりはありますか。(あてはまるものに)

1 . ある

2 . ない



「1 . ある」の場合、それはどのような委員・団体・組織ですか。
(あてはまるものすべてに)

1 . 民生委員

5 . 高齢者クラブ

9 . マンション・団地の管理組合

2 . 自治会

6 . 社会福祉協議会

10 . その他

3 . 保育園・幼稚園

7 . 商店・商店街

()

4 . 小・中学校

8 . ボランティア・NPO 団体

介護老人福祉施設の方 問19～問24へ
 介護老人保健施設の方 問19～問23へ
 訪問介護事業者、訪問看護事業者の方 問25へ
 グループホームの方 問26へ
 それ以外の方 問27へ

問 19 部屋の形態による床数は何床ですか。

ユニット型個室	従来型個室	多床室	計(定員)
床	床	床	床

問 20 ショートステイは何床ですか。

空床型	併設型	計
床	床	床

問 21 施設の職員(常勤・非常勤)について、職種ごとに、青梅市民の人数、市外からの勤務者の人数を御記入ください。

職種	市内(人)	市外(人)	計
生活相談員			
介護職員			
看護職員			
栄養士			
機能訓練指導員			
介護支援専門員			
その他の職員(調理員等)			
計			

問 22 施設の各種職員(常勤・非常勤)について、青梅市民の雇用の実情や意向をお答え下さい。

1. 青梅市民で雇用が行えている。
2. 青梅市民を雇用したいが、集まらない。
3. 青梅市民にとらわれずに雇用している。
4. その他(御意見など)

()

問 23 施設の食材や物品等は、どこから購入等をしていますか。

食材、その他物品カッコ欄に具体的に御記入し、「市内業者」、
または「市外業者」のどちらかに をしてください。

種別	市内 / 市外業者	備考
食材(米、野菜)	市内業者・市外業者	記入例
その他(クリーニング)	市内業者・市外業者	記入例
食材()	市内業者・市外業者	
食材()	市内業者・市外業者	
その他()	市内業者・市外業者	
その他()	市内業者・市外業者	

問 24 国の特別対策の一つである「社会福祉法人等による生計困難者等に対する利用者負担額軽減制度事業」を活用されていますか。(あてはまるものに)

1. している	2. していない
---------	----------



「2. していない」と回答された事業者には伺います。
活用していない理由は何ですか。御記入ください。

問 25 訪問介護事業者、訪問看護事業者に伺います。

「定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス」を行う考えはありますか。(あてはまるものに)

1 . ある

2 . ない



「2 . ない」と回答された事業者に伺います。
参入しない理由、参入できない理由は何ですか。御記入ください。

--	--

問 26 グループホーム事業者に伺います。

調査日時点での待機者(青梅市民のみ)の性別および生年月日を表に御記入下さい。

	性別	生年月日
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

欄が足りない場合は、別の用紙(任意)に御記入ください。

また、過去1年間の平均待機者数（青梅市民のみ）はおおよそ何人ですか。

人

問 27 現在、市内のグループホームは6事業所、8ユニットで、今後1事業所、1ユニット開設予定となっておりますが、グループホームは足りていると思いますか。（あてはまるものに ）

1 . 足りている	2 . 足りていない
-----------	------------

問 28 現在、市内の小規模多機能型居宅介護事業所は2事業所で、複合型サービス事業所は1事業所となっておりますが、小規模多機能型居宅介護事業所と複合型サービス事業所は足りていると思いますか。（あてはまるものに ）

1 . 足りている	2 . 足りていない
-----------	------------

問 29 第6期（平成27～29年度）中に貴事業者で参入を検討している、あるいは参入を検討したい地域密着型サービスはありますか。（あてはまるものに ）

1 . <u>あり</u>	2 . なし
---------------	--------



該当するサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに ）

1 . 認知症対応型通所介護	5 . 地域密着型特定施設入居者生活介護
2 . 小規模多機能型居宅介護	6 . 地域密着型介護老人福祉施設
3 . 認知症対応型共同生活介護	7 . 複合型サービス
4 . 夜間対応型訪問介護	8 . 定期巡回随時対応型訪問介護看護

問 30 第6期(平成27～29年度)中に貴事業者で参入を検討している、あるいは参入を検討したい地域密着型以外のサービスはありますか。(あてはまるものに)

1 . あり

2 . なし



該当するサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに)

1 . 居宅介護支援

8 . 短期入所生活介護

2 . 訪問介護

9 . 短期入所療養介護

3 . 訪問入浴介護

10 . 特定施設入居者生活介護

4 . 訪問看護

11 . 福祉用具貸与

5 . 訪問リハビリテーション

12 . その他

6 . 通所介護

()

7 . 通所リハビリテーション

問 31 平成24年4月1日に介護保険法が改正され、第5期事業計画が策定されましたが、介護保険制度全般について御意見・御要望がありましたらお書きください。

御協力ありがとうございました。同封の返送用封筒にて御返送ください。

高齢者に関する調査報告書

介護サービス事業所調査報告書

2014年(平成26年)3月発行

【発行】 青梅市 健康福祉部 高齢介護課

〒198 - 8701 青梅市東青梅1 - 11 - 1

☎ 0428(22)1111(代表)

